

末日聖徒イエス・キリスト教会・2018年5月号

リアホナ

総大会の 説教

新たに2人の使徒が
支持される

新しい中央幹部と
中央補助組織役員が
支持される

7つの新しい神殿の建設が
発表される





大管長会

ラッセル・M・ネルソン大管長（中央）は、第188回年次総大会で第17代大管長として支持された。
大管長会の顧問はダリン・H・オークス管長（左）とヘンリー・B・アイリング管長（右）である。

土曜午前の部会

- 6 聖会
ヘンリー・B・アイリング管長
- 9 神から与えられる貴重な賜物
M・ラッセル・バラード会長
- 12 わたしは神の子供でしょうか
ブライアン・K・テラー長老
- 15 主もあなたがたをゆるして
下さったのだから、そのように、
あなたがたもゆるし合いなさい
ラリー・J・エコー・ホーク長老
- 17 預言者の心
ゲリー・E・ステイブソン長老
- 21 七たびを七十倍するまで
リン・G・ロビンズ長老
- 24 神の預言者
ニール・L・アンダーセン長老

土曜午後の部会

- 28 教会役員の支持
ダリン・H・オークス管長
- 29 2017年度教会監査部報告
ケビン・R・ジャーゲンセン
- 30 柔和で心のへりくだった者
デビッド・A・ベドナー長老
- 34 あともう一日
テラー・G・ゴドイ長老
- 36 業に励む若い女性たち
ボニー・L・オスカーソン
- 39 救いの儀式は驚くべき光を
もたらす
タニエラ・B・ワコロ長老
- 42 家庭で教える——
神聖で喜びに満ちた責任
デビン・G・デュラント
- 46 家族歴史と神殿活動——
結び固めと癒し
デール・G・レンランド長老

中央神権部会

- 50 すべてのアロン神権者
が理解すべきこと
ダグラス・D・ホームズ
- 54 はじめに
ラッセル・M・ネルソン大管長
- 55 長老定員会
D・トッド・クリストファーソン長老
- 58 見よ、王の軍は
ロナルド・A・ラズバンド長老
- 61 靈感に基づくミニスタリング
ヘンリー・B・アイリング管長
- 65 神権の力
ダリン・H・オークス管長
- 68 神の力と権能によるミニスタリング
ラッセル・M・ネルソン大管長

日曜午前の部会

- 75 導き手として聖なる御霊を受ける
ラリー・Y・ウィルソン長老
- 78 心を合わせて
レイナ・I・アブラト
- 81 純粋な愛——イエス・キリストの
真の弟子すべてに見られる
真のしるし
マッシモ・デ・フェオ長老
- 83 最後まで堪え忍ぶ者は救われる
クラウディオ・D・シビック長老
- 86 御子の御霊を受けられるように
ヘンリー・B・アイリング管長
- 89 小さな、簡単なこと
ダリン・H・オークス管長
- 93 教会のための啓示、
わたしたちの人生のための啓示
ラッセル・M・ネルソン大管長

日曜午後の部会

- 97 主はよみがえりぬ
ゲレット・W・ゴング長老
- 98 預言者は聖なる御霊の力によって
語る
ウリセス・ソアレス長老
- 100 ミニスタリング
ラッセル・M・ネルソン大管長
- 101 「彼らとともにいて彼らを強める」
ジェフリー・R・ホランド長老
- 104 ミニスタリング——
救い主のように
ジーン・B・ビンガム
- 107 「見よ、この人だ」
ディーター・F・ウークトドルフ長老
- 111 すべては人のために
ジェラルド・コセービショップ
- 114 神にお会いする用意
クエンティン・L・クック長老
- 118 神のみ業に進みて
ラッセル・M・ネルソン大管長
- 72 末日聖徒イエス・キリスト教会の
中央幹部と中央役員
- 119 2017年度統計報告
- 120 大会で話された実話や物語の索引
- 121 教会のニュース
- 137 「わたしに従ってきなさい——
メルキゼデク神権および扶助協会用」



第188回年次総大会の概要

2018年3月31日土曜午前、一般部会

司会——ヘンリー・B・アイリング管長。
開会の祈り——マービン・B・アーノルド長老。
閉会の祈り——W・マーク・バセット長老。
音楽——タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク、ライアン・マーフィー；オルガニスト——アンドリュー・アンズワース、クレイ・クリスチャンセン；「わが神、わが王」『賛美歌』87番；「感謝を神に捧げん」『賛美歌』11番、ウィルバーク編曲；“We Listen to a Prophet’s Voice” Hymns, 22, マーフィー編曲；“Press Forward, Saints” Hymns, 81；「イエス様の話聞かせて」『子供の歌集』36, マーフィー編曲；「贖いの主」『賛美歌』73番、ウィルバーク編曲。

2018年3月31日土曜午後、一般部会

司会——ダリン・H・オークス管長。
開会の祈り——マーク・A・ブラッグ長老。
閉会の祈り——ピーター・F・マーズ長老。
音楽——ユタ州ソルトレーク・シティーの宗教教育インスティテュートの合同聖歌隊；指揮——マーシャル・マクドナルド、リチャード・デッカー；オルガニスト——リンド・マーゲツ、ボニー・グッドリフ；「来たれ、予言者より」『賛美歌』13番、マシユース、グッドリフ編曲；“Where Can I Turn for Peace?” Hymns, 129, マクドナルド、バーカー編曲；「選べ、正義を」『賛美歌』152番；マクドナルド編曲のメドレー——“As Zion’s Youth in Latter Days” Hymns, 256, および「鉄の棒」『賛美歌』176番；「み旨のまま行かん」『賛美歌』172番、ウィルバーク編曲。

2018年3月31日土曜夜、中央神権部会

司会——ヘンリー・B・アイリング管長。
開会の祈り——M・ジョセフ・ブラフ。
閉会の祈り——K・ブレット・ナットレス長老。
音楽——ブリガム・ヤング大学—アイダホ校の神権者から成る聖歌隊；指揮——ランドール・ケンプトン、ポール・バッセルバーク、デビッド・ロサノトレス；オルガニスト——ブライアン・マシヤス、アンドリュー・アンズワース；「主のみ言葉は」『賛美歌』46番、バッセルバーク編曲, Sharpe Music Press刊；「天の御父」『賛美歌』76番、バッセルバーク編曲, Sharpe Music Press刊；「造り主の主を」『賛美歌』37番；“Rise Up, O Men of God” Hymns, 324。

2018年4月1日日曜午前、一般部会

司会——ラッセル・M・ネルソン大管長。
開会の祈り——S・マーク・パーマー長老。
閉会の祈り——ホアキン・E・コスタ長老。
音楽——タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク；オルガニスト——クレイ・クリスチャンセン、リチャード・エリオット；“On This Day of Joy and Gladness” Hymns, 64；「主はよみがえりぬ（アレルヤ）」『賛美歌』115番、ウィルバーク編曲；「主はみ子をつかわし」『子供の歌集』20, ホフハインズ編曲；「喜べ、主を」『賛美歌』32番；「主はよみがえりぬ」『賛美歌』114番、ウィルバーク編曲、オックスフォード大学刊。

2018年4月1日日曜午後、一般部会

司会——ダリン・H・オークス管長。
開会の祈り——ウェザーフォード・T・クレントン長老。
閉会の祈り——バレーリ・V・コードン長老。
音楽——タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク、ライアン・マーフィー；オルガニスト——リチャード・エリオット、ブライアン・マシヤス；「天父は灯台のごとく」『賛美歌』200番、マーフィー編曲；「羊を守る羊飼いの愛」『賛美歌』136番、ウィルバーク編曲；「イスラエルの救い主」『賛美歌』4番；「共に愛し合え」『賛美歌』192番。

ウィルバーク編曲；「神のみ業に進みて」『賛美歌』149番、エリオット編曲, Jackman 刊。

総大会の説教の入手

様々な言語に訳された総大会の説教をオンラインで聞くことができます。インターネットで conference.lds.org にアクセスし、言語を選択してください。大会説教は「福音ライブラリー」モバイルアプリでも利用できます。通常、総大会後6週間以内に、英語による大会の映像と音声を録音したものが配送センターを通じて入手できるようになります。障がいのある会員が利用できる形式の総大会に関する情報は disability.lds.org で入手できます。

表紙

表紙——写真／レスリー・ニルソン。
裏表紙——写真／コディー・ベル。

大会の写真

ソルトレーク・シティーにおける総大会の写真は以下のカメラマンによって撮影されました。コディー・ベル、ジャネイ・ビンガム、メーソン・コーバリー、ランディー・コリアー、ウェストン・コルトン、アレサンドラ・デアゴステイーニ、アシュリー・ラーソン、ブライアン・ニコルソン、レスリー・ニルソン、マット・ライアー、クリスティーナ・スミス、デイブ・ウォード、マーク・ワインバーク。



大管長会: ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会: M・ラッセル・バラード, ジェフリー・R・ホランド, ディーター・F・ウークトドルフ, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン, ロナルド・A・ラズバンド, ゲーリー・E・スティープソン, デール・G・レンランド, ゲレット・W・ゴング, ウリセス・ソアレス

編集長: ヒューゴ・E・マルチネス

編集長補佐: ランドール・K・ベネット, キャロル・F・マッコスキー

顧問: フライアン・K・アシュトン, リグランド・R・カーティス, ジュニア, エドワード・デュベ, シャロン・ユージンク, クリストファー・B・フランコ, ドナルド・L・ホルストロム, ダグラス・D・ホームズ

実務運営ディレクター: リチャード・I・ヒートン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー: ガーフ・キャン

編集主幹: アダム・C・オルソン

編集主幹補佐: ライアン・カー

出版補佐: フランシスカ・オルソン

執筆・編集: マリッサ・デニス, デビッド・ディクソン, デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリット, ローリー・フラー, ギャレット・H・ガーフ, ラリー・ポーター, ガート, ジョン・ライアン, ジェンセン, シャーロット・ラーカバル, マイケル・R・モリス, エリック・B・マドック, サリー・ジョンソン, オタゴーク, ジョシュア・J・パーキー, ジャン・ピンボロ, リチャード・M・ロムニー, ミンディー・セル, チャケル・ワードレイ, マリッサ・ウィティンソン

編集インテナー: リア・パートン

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース, フェイ・P・アンドラス, マンディー・ベントレー, C・キンボール・ボット, トーマス・チャイルド, デビッド・グリーン, コリン・ヒンクレー, エリック・P・ジョンソン, スーザン・ロフグレン, スコット・M・ムーイ, エミリー・チエコ・レミントン, マーク・W・ロビンソン, ブラッド・デア, K・ニコール・ウオーケンホースト

デザインインテナー: シオネ・イスキハ・アンガナ

版權および許諾コーディネーター: コレット・ネバカー・オヌ

制作主管: ジョーン・アン・ピーターズ

制作: アイラ・グレン・アデア, ジュリー・パーデット, トーマス・G・クロニン, ブライアン・W・キュギ, ギニー・J・ニルソン, デレク・リチャードソン

製版: ジョシュア・デニス

印刷ディレクター: スティーブン・T・ルイス

配送ディレクター: トロイ・R・パーカー

日本語版翻訳課長: 大森陽子

郵便宛先: Liahona, FL, 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0023, USA

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座)宛名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへお申し込みください。直接郵送いたします。

●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ 〒113-0057 東京都江川区西小岩5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会 〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30 電話: 03-3440-2351

価格 (2018年1月より) 年間購読: 国内 1,150円(送料込み) 海外 1,150円(+送料実費) 海外在住の方はお近くのディストリビューションセンターへのお申し込みをお勧めします。 普通号/大会号 110円

「リアホナ」(モルモン書)に出ている言葉。「羅針盤」または「指示器」の意は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスラム語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, キリジャ語, ハンガリー語, アイランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マンダリン語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スワヒリ語, スウェーデン語, タガログ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2018 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 韓国

著作権情報: 制限の記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、個人的に、また非営利目的(教会の召しも含む)で使用する場合に複製することができます。この指示内容は常に変更の可能性がります。複製資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 13, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール cor-intellectualpropertyldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada: May 2018 Vol. 42 No. 5, LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431) POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 507.1.5.2). NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.



話者リスト (50音順)

アイリング, ヘンリー・B 6, 61, 86
アブラム, レイナ・I 78
アンダーセン, ニール・L 24
ウィルソン, ラリー・Y 75
ウークトドルフ, ディーター・F 9, 12, 15, 21, 24, 30, 34, 39, 75, 78, 81, 83, 86, 89, 93, 97, 98, 104, 107, 111
エコー・ホーク, ラリー・J 15
オークス, ダリン・H 28, 65, 89
オスカーソン, ボニー・L 36
クック, クエンティン・L 114
クリストファーソン, D・トッド 55
コセー, ジェラルド 111
ゴドイ, テーラー・G 34
ゴング, ゲレット・W 97
シビック, クラウディオ・D 83
ジャーゲンセン, ケビン・R 29
スティープソン, ゲーリー・E 17
ソアレス, ウリセス 98
テーラー, フライアン・K 12
デ・フェオ, マッシモ 81
デュラント, デビン・G 42
ネルソン, ラッセル・M 54, 68, 93, 100, 118
バラード, M・ラッセル 9
ビンガム, ジーン・B 104
ベドナー, デビッド・A 30
ホームズ, ダグラス・D 50
ホランド, ジェフリー・R 101
ラズバンド, ロナルド・A 58
レンランド, デール・G 46
ロビンズ, リン・G 21
ワコロ, タニエラ・B 39

テーマ別索引

あ愛 54, 78, 81, 86, 100, 101, 104
アロン神権 50
安息日 9
イエス・キリスト 9, 12, 15, 21, 24, 30, 34, 39, 75, 78, 81, 83, 86, 89, 93, 97, 98, 104, 107, 111
一致 58, 78, 114
祈り 42, 75, 78, 83, 86, 93
癒し 46
教える 17, 42, 50
か家族 42, 65
家族歴史 36, 46, 114
家庭 42, 111
家庭訪問 100, 101
神の特質 12, 30
義 114
儀式 39, 46, 50, 97, 114
犠牲 114
逆境 107
教会組織 17, 58, 101
教会の召し 65, 93
悔い改め 21, 24, 50, 75, 83, 89, 107
啓示 75, 93
謙遜 30, 86
高慢 30
子供 12, 42
さ死 107
慈愛 61
従順 24, 83, 86, 89
十二使徒定員会 17, 93
贖罪 12, 15, 34, 39, 50, 81, 93, 97, 107
ジョセフ・スミス 12, 39, 86, 93, 97
神権 65, 68, 100
神権定員会 54, 55, 58, 61, 104
信仰 9, 24, 50, 86, 98, 118
神殿 97
神殿の業 36, 46, 114, 118
救いの計画 34, 81

聖会 6, 17, 24, 93
成功 21
聖餐 9, 21, 39, 83
青少年 104
聖文研究 12, 42, 83
聖約 39, 83, 97, 111, 118
聖霊 75, 86, 93, 98
責任 36, 114
総大会 118
備え 114
た大管長会 17, 93
堪え忍ぶ 83
父親の務め 65
父なる神 12, 78, 81
弟子の務め 36, 81, 104, 107, 111, 118
伝道活動 114
な柔和 30
は母親の務め 12
ふさわしさ 65, 75
扶助協会 100, 104
復活 89, 97, 107
復活祭 93, 97, 107
奉仕 9, 36, 54, 55, 61, 65, 68, 78, 81, 101, 104
ホームティーチング 100, 101
まミニスタリング 54, 55, 58, 61, 68, 78, 86, 100, 101, 104, 111
恵み 21
メルキゼデク神権 55, 58, 65
モルモン書 12
ゆ赦し 15, 21, 81
預言者 9, 17, 24, 30, 97, 98
預言者に従う 17, 24, 58, 98
喜び 34
わ若い女性 36, 100
若い男性 36



第188回年次総大会の見どころ

今 回の総大会は、メルキゼデク神権定員会の組織変更や新たなミニスタリング時代の始まりなど、多くの点で歴史的大会となった。中でも、何よりも心待ちにされていたのは、末日聖徒イエス・キリスト教会の第17代大管長としてラッセル・M・ネルソン大管長を支持する機会が与えられたことだろう。

聖会

わたしたちが立って、新しい預言者および大管長を支持したとき、挙げられた手の数は人間の記録係によっては数えられておらず、神との聖約として天で記録されたのである。

大会の間中、この教会が救い主の教会であり、主の僕たちを通して主によって導かれていることを示す事柄が幾つもあった。会員一人一人と生ける預言者の立ち位置を見た。すなわち、預言者は救い主とわたしたちの間に立つのではなく、わたしたちの傍らに立ち、救い主に通じる道を指し示してくれるのである。教会員は「ネルソン大管長が神によって召されたという

個人的な確認」を受け、「主が遣わされる人々の声に耳を傾ける」ことで「わたしたちの心を主イエス・キリストにつなぎとめる」機会を与えられた（26ページのニール・L・アンダーセン長老の説教を参照）。

- ネルソン大管長についてさらに詳しくは、16ページから成る『リアホナ』2018年5月号の特別付録を参照してください。

新しい指導者を支持する

ネルソン大管長のほかに、70人以上の新しい指導者を支持した。

- 新しい地域七十人を含め、支持された人々の一覧は6-8、28-29ページをご覧ください。
- 新しい指導者の紹介は121ページ以降をお読みください。

定員会の変更とミニスタリング

預言者の管理の下で大会中に発表された変更は、「教会をその初めから導いてきた〔神からの〕啓示の一例です」とジェフリー・R・ホランド長老は語った（101ページ参照）。

- 定員会の組織変更についての指示は、54ページ以降のネルソン大管長、D・トッド・クリストファーソン長老、ロナルド・A・ラズバンド長老の話をお読みください。
- ミニスタリングについての指示は、100ページ以降のネルソン大管長、ホランド長老、ジーン・B・ビンガム姉妹の話をお読みください。
- これらの変更についての詳細や指示のリソースは132-133ページの教会のニュースをご覧ください。

神殿建設の発表

「幕の両側にいるすべての神の子供たちに、救い主のもとに来て、聖なる神殿の祝福を受け、永続する喜びを得、永遠の命を受けるふさわしさを身につけるようお勧め」という「わたしたちが世に伝えるメッセージ」を強調するため、ネルソン大管長は7つの新しい神殿の建設を発表した。

- 新しい神殿の建設予定地については133ページをご覧ください。■





大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長



聖会

兄弟姉妹の皆さん、わたしはネルソン大管長から、今日わたしたちが集っているこの聖会の議事を進めるよう依頼されました。

これは全世界の末日聖徒イエス・キリスト教会の会員にとって、きわめて重要な機会です。

1880年10月10日に、ジョン・テラーがブリガム・ヤングの後を継いで、預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長として支持されて以来、このような機会はいずれも、教会員の声を表明するための教会全体の公式の聖会と呼ばれてきました。

定員会およびグループごとに賛意を表明します。皆さんがどこにいるかにかかわらず、求められたときにだけ起立して、名前を提示された人々を支持することを、挙手によって表明してください。起立するよう求められたときにだけ賛意を表明します。

テンプルスクウェアのタバナクルとアッセンブリーホールでは、割り当てを受けた中央幹部が、これらの施設における賛意の表明を見守ります。ステーキセンターでは、ステーキ会長会の一員が賛意の表明を見守ります。もし反対を表明する方がいれば、その方はご自分のステーキ会長に連絡してください。

それでは進めます。繰り返しますが、求められたときにだけ起立して賛意を表明してください。

大管長会の会員は立ってください。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエ

ス・キリスト教会の大管長として、ラッセル・マリオン・ネルソンを支持するよう、大管長会に提議します。

賛成の大管長会会員は、その意を表明してください。

大管長会第一顧問として、ダリン・ハリス・オークスを、第二顧問として、ヘンリー・ベニオン・アイリングを支持するよう、大管長会に提議します。

賛成の大管長会会員は、その意を表明してください。

十二使徒定員会会長として、ダリン・ハリス・オークスを、十二使徒定員会会長代理として、メルビン・ラッセル・バラードを支持するよう、大管長会に提議します。

賛成の大管長会会員は、その意を表明





てください。

十二使徒定員会会員として、M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、ディーター・F・ワークトドルフ、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラズバンド、ゲリー・E・スティーブソン、デール・G・レンランド、ゲレット・ウォルター・ゴング、ウリセス・ソアレスを支持するよう、大管長会に提議します。

賛成の大管長会会員は、その意を表してください。

大管長会顧問と十二使徒定員会を預言者、聖見者、啓示者として支持するよう、大管長会に提議します。

賛成の大管長会会員は、その意を表してください。

大管長会は座ってください。

ゴング長老とソアレス長老は、十二使徒定員会とともに座ってください。

ゴング長老とソアレス長老を含めて、十二使徒定員会の会員だけ立ってください。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソンを、先ほど大管長会に提示され、賛意が表明された大管長の顧問および十二使徒定員会の会員とともに支持するよう、十二使徒定員会に提議します。

賛成の十二使徒定員会会員は、その意を表してください。

座ってください。

中央幹部七十人、ならびに管理ビショップリックの会員は立ってください。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエ

ス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソンを、先ほど大管長会に提示され、賛意が表明された大管長の顧問および十二使徒定員会の会員とともに支持するよう、すべての中央幹部七十人ならびに管理ビショップリックの会員に提議します。

賛成するすべての中央幹部七十人と管理ビショップリックの会員は、その意を表してください。

座ってください。

次の方たちは世界中のどこにしようと立ってください。すべての地域七十人、聖任されている祝福師、大祭司、長老。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソンを、先ほど提示され、賛意が表明された大管長の顧問およ



び十二使徒定員会の会員とともに支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

座ってください。

扶助協会のすべての会員、すなわち、18歳以上のすべての女性は立ってください。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソンを、先ほど提示され、賛意が表明された大管長の顧問および十二使徒定員会の会員とともに支持するよう提議します。

賛成の方は手を挙げてその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

座ってください。

アロン神権だけを持つすべての方、すなわち、聖任されているすべての祭司、教師、執事は立ってください。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソンを、先ほど提示され、賛意が表明された大管長の顧問および十二使徒定員会の会員とともに支持するよう提議します。

び十二使徒定員会の会員とともに支持するよう提議します。

賛成の方は手を挙げてその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

座ってください。

12歳から18歳までの若い女性は立ってください。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソンを、先ほど提示され、賛意が表明された大管長の顧問および十二使徒定員会の会員とともに支持するよう提議します。

賛成の方は手を挙げてその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

座ってください。

では、すでに起立したすべての人を含めて、どこにいるかにかかわらず、すべての会員は立ってください。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソンを、先ほど提示され、賛意が表明された大管長の顧問および十二使徒定員会の会員とともに支持するよう提議します。

び十二使徒定員会の会員とともに支持するよう提議します。

賛成の方は手を挙げてその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

皆、座ってください。

兄弟姉妹の皆さん、皆さんの愛と支えに感謝します。■



十二使徒定員会会長代理
M・ラッセル・バラード会長

神から与えられる 貴重な賜物

キリストを信じるまことの信仰をごくわずかでも、たとえ、からし種ほどの信仰でも行使するなら、人生を信仰と喜び、幸福、希望、愛で満たすことができます。

兄 弟姉妹の皆さん、わたしたちはたった今聖会に出席したところです。この慣習は、古代イスラエルの民が集まって主の臨在を感じ、主の祝福を祝った聖書の時代にまでさかのぼることができます。¹ わたしたちは、この古代の慣習が預言者ジョセフ・スミスを通して回復された時代に生きる特権にあずかっています。² この最も神聖な機会に参加して感じたことを個人の日記に記録するよう、皆さんにお勧めします。

最近わたしたちは、愛する友人であり預言者である、トーマス・S・モンソン大管長に別れを告げました。だれもが寂しく思う一方で、主の教会を管理するために、主が新しい預言者、ラッセル・M・ネルソン大管長を召してくださったことに深く感謝しています。わたしたちは秩序ある方法で、今、教会歴史の新しい章を開いたのです。これは神から与えられた貴重な賜物です。

各自が手を挙げてネルソン大管長を支持したとき、わたしたちは神の御前に証人として立ち、彼がモンソン大管長の正統な継承者であることを認めました。また、大管長が主から指示を受けるときにわた

したちはその声に従うことを、挙手をもって約束しました。

主はこう言われました。

「……彼〔すなわち教会の大管長〕が……わたしの言葉と戒めを受けるとき、あなたがた……は、彼があなたがたとに与えるそれらのすべてを心に留めなければならない。

あなたがたは忍耐と信仰を尽くして、あなたもわたし自身の口から出ているかのように、彼の言葉を受け入れなければ

らない。」³

わたしが新しい預言者である大管長と知り合ってから60年以上になります。十二使徒定員会とともに33年間奉仕しましたが、彼が管理使徒となり、地上の聖なる神権のすべての鍵を管理する預言者となるために、主の御手によって備えられるのを、わたしは目にしてきました。わたしたち一人一人が大管長と顧問を完全に支持し、彼らの導きに従うことができますように。わたしたちはまた、十二使徒定員会の会員としてゴング長老とソアレス長老を心から歓迎します。

わたしたちはこの輝かしい復活祭の週末にイエスの復活を祝いますが、イエスは復活後、弟子たちに現れてこう言われました。「安かれ。父がわたしをおつかわしになったように、わたしもまたあなたがたをつかわす。」⁴ 二つの行為に注目してください。まず神はその御子を遣わされます。そして御子は御業を成し遂げるために、主の僕、すなわち死すべき体の男女を遣わされます。

主の業を行うために召されたこれらの人が人間的に不完全であることを知っても、驚くべきではありません。聖典には、偉大な業を成し遂げるために神から召された男女の出来事について詳しく記され





ていますが、天の御父の善良な息子と娘が、教会での割り当てを果たすために奉仕するように召され、全力を尽くして務めながらも、一人として完全な人はいませんでした。わたしたちも同じです。

人間に弱さや欠点があるという現実を考慮すると、互いに支え合って前進していくにはどうすればよいでしょうか。それは信仰——主イエス・キリストを信じる、偽りのないまことの信仰から始まります。救い主を信じる信仰は、キリストの教義と福音の第一の原則です。

数年前、わたしは聖地を訪れました。からし畑のそばを車で通ったとき、BYUエルサレムセンターの所長から、からし種を見たことがあるか聞かれました。ないと答えると、車を止め、彼はからしの木から取った種を見せてくれました。驚くほど小さな種でした。

わたしはイエスの教えを思い出しました。「よく言い聞かせておくが、もし、からし種一粒ほどの信仰があるなら、この山にむかって『ここからあそこに移れ』と言えば、移るであろう。このように、あなたがたにできない事は、何もないであろう。」⁵

もしからし種ほどの小さな信仰があれば、わたしたちが家族や教会員、教会員ではない人を含め、神の子供たちとともに仕えるとき、待ち受けている課題に対する落胆や疑いという山を動かせるように、主は助けてくださいます。

兄弟姉妹の皆さん、キリストを信じるまことの信仰をごくわずかでも、たとえ、からし種ほどの信仰でも行使するなら、人生を信仰と喜び、幸福、希望、愛で満たす

ことができます。

ジョージ・A・スミス長老は、預言者ジョセフ・スミスから受けた助言を次のように回想しています。「ジョセフはわたしに、どのような困難に取り囲まれようとも、決して落胆してはいけないと言いました。ノバスコシアの炭鉱の底に沈められ、ロッキー山脈全体が頭上にのしかかってきたとしても、落胆せずに踏ん張り、信仰を働かせ、勇気を持ち続けるならば、ついには山の頂に出ることができるのです。」⁶

パウロの言葉を思い出してください。「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができるようになる。これは、神から与えられるもう一つの貴重な賜物です。」⁷

わたしが話したこの賜物に加えて、もっと多くの賜物がありますが、その中からほんの少し紹介しましょう—安息日、聖餐、人への奉仕という賜物、そして神から与えられた、救い主という比類ない賜物です。

安息日の力とは、教会や家庭で、何からも妨げられずに、主の御霊を感じる楽しみや喜び、ぬくもりを経験することです。

あまりに多くの人が、電子機器を使ってほとんどオンラインの生活をしています。昼夜を問わず、彼らの顔は画面に向き、イヤフォンをしているので、御霊の静かな細い声を聴くことができません。電子機器から離れる時間を取らなければ、主の声を聞く機会を逃してしまうかもしれません。主はこう言われました。「静まって、わたしこそ神であることを知れ。」⁸ さて、主によって靈感された最新技術を利用するのは何ら悪いことではありませんが、賢

く使わなければなりません。安息日の賜物を忘れないでください。

聖餐会で聖餐を受けるという祝福は、決してありふれた行為や決まり切った行為になってはいけません。わたしたちが生活の中で一息ついて、安らぎと喜び、幸せをより深く感じる時間は、1週間でわずか70分しかありません。

聖餐を取って聖約を新たにするのは、わたしたちが主を常に覚えることを主に示すしるしです。主の贖罪は、神から与えられる貴重な賜物です。

天の御父の子供たちに仕えるという特権は、互いに仕え合うことによって、御父の愛する御子の模範に従うもう一つの機会なのです。

奉仕の機会の中には、家族の中での奉仕や教会の召し、地域社会の奉仕団体への参加など、公式に割り当てられるものもあります。

教会員は男女を問わず、本人が望むのであれば、どこに住んでいようと、いかなるレベルの行政機関の役職であろうと、立候補することを躊躇すべきではありません。わたしたちの声は、学校や町や国にとって今必要であり、重要なのです。民主主義の国では、進んで奉仕する高潔な男性や女性に投票することが、会員であるわたしたちの義務です。

割り当てなしに、非公式に奉仕する機会の多くは、人生の旅路で出会う人々に手を差し伸べるときにもたらされます。イエスが良いサマリヤ人のたとえを使って、神を愛するべきことと、自分を愛するように隣人を愛するべきことを律法学者に教えられたのを思い出してください。⁹

奉仕により、キリストの生涯と使命を理解するための窓が開かれます。聖文が教えているように、主は仕えるために来られました。「それは、人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためであるのと、ちょうど同

じである。』¹⁰

ペテロは救い主のこの世での使命を(5つの英単語で)的確に表現しています。イエスは「よい働きをしながら……巡回されました。」¹¹

主イエス・キリストは、神から与えられるすべての賜物の中で、最も貴重な賜物です。イエスはこう言われました。「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。」¹²

ニーファイは救い主の重要性を理解して、こう宣言しました。「わたしたちはキリストのことを話し、キリストのことを喜び、キリストのことを説教し、キリストのことを預言し、また、どこに罪の赦しを求めればよいかを、わたしたちの子孫に知らせるために、自分たちの預言したことを書き記すのである。」¹³ わたしたちはいつでも、どこでも、キリストを生活の中心に置かなければなりません。

忘れてならないのは、わたしたちは主の御名を冠する場所で礼拝し、主の御名でバプテスマを受け、主の御名で確認や聖任、エンダウメント、結婚の結び固めを受けるといことです。また、聖餐にあずかるときに主の御名を受け、真のクリスチャンになることを約束します。最後に、聖餐の祈りの中で「いつも御子を覚え」るように求められます。¹⁴

明日の復活祭の日曜日に備えるとき、キリストが至高者であられることを覚えておきましょう。主は義の裁き主、誠実な仲保者、祝福された贖い主、良い羊飼、約束されたメシヤ、真の友、まだまだ、たくさんあります。主はまさに、わたしたちの御父が与えてくださったきわめて貴重な賜物なのです。

主の弟子として、わたしたちは多くの要求や関心、割り当てを抱えています。しかし、中には、常に教会員の中心になければならない活動があります。主は命じておられます。「それゆえ、忠実でありなさい。

わたしがあなたを任命した職において務めなさい。弱い者を助け、垂れている手を上げ、弱くなったひざを強めなさい。」¹⁵

これが行動する教会です。清く汚れない信心です。霊的・物質的に困っている人々を助け、支え、強めるとき、それが真の意味での福音なのです。それを行うには、天の御父とイエス・キリストと主の贖罪を信じる信仰の証が彼らの心に根付くように彼らを見舞い、助けることが求められます。¹⁶

主の助けと祝福があって、回復された主の教会の会員であることを含む、神からの多くの貴重な賜物を大切にできますように。わたしたちが天の御父の子供たちに対する愛で満たされ、彼らの必要を理解し、福音に関する彼らの質問や懸念に分かりやすく親切な方法で答えて、互いへの理解や感謝を増し加えることができるように祈っています。

イエス・キリストがわたしたちの救い主であられることを証します。この総大会

で教えられることは、使徒や預言者から、中央幹部から、そして教会の中央組織の指導者である姉妹たちから、靈感によりもたらされます。主の喜びと平安が一人一人とともにありますように、主イエス・キリストの御名により、へりくだり祈ります、アーメン。■

注

1. See Encyclopedia of Mormonism (1992), "Solemn Assemblies," 4:1390 - 91
2. 教義と聖約 88:70 参照
3. 教義と聖約 21:4 - 5
4. ヨハネ 20:21, 強調付加
5. マタイ 17:20
6. ジョン・テラー, 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』 235 で引用
7. ビリビ 4:13
8. 詩篇 46:10
9. ルカ 10:25 - 37 参照
10. マタイ 20:28
11. 使徒 10:38
12. ヨハネ 14:6
13. 2 ニーファイ 25:26
14. 教義と聖約 20:77, 79
15. 教義と聖約 81:5, 強調付加
16. ヤコブの手紙 1:27 参照





七十人
ブライアン・K・テラー長老

わたしは神の子供でしょうか

自分が神の子であることを理解する力を、どうすれば経験することができるのでしょうか。それは、父なる神を知ろうとする努力から始まります。

先日、大好きな母と一緒に、かつて通っていた古い石造りの教会堂へ行きました。数十年前に出席していた同じ初等協会の部屋から聞こえてくるかわいい声に引き寄せられ、部屋の後ろから入り、面倒見のいい指導者たちが今年のテーマ「わたしは神の子です」¹を教えている様子を見学しました。忍耐と愛のある教師たちのことを思い出すと笑みがこぼれました。教師たちは当時、歌の時間に長椅子の端にいるやんちゃな男の子だったわたしに、「神の子ですか。ほんとうに神から送られてきたのですか」²とで

も言うかのようによく目を向けたものです。

「わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子であることをあかしして下さる」聖霊に心を開くよう、すべての皆さんにお勧めします。³

ボイド・K・パッカー会長の語った言葉は、分かりやすく貴重です。「皆さんは、神の子です。神は皆さんの霊の父です。霊について言えば、皆さんは天の王の子孫であり、高貴な生まれなのです。この真理を心に刻み込んで、決して忘れないようにしましょう。皆さんの肉親の先祖が、何代先までさかのぼろうと、皆さんが

どのような人種や民族に属しようと、皆さんの霊の系図はたった1本しかありません。皆さんは、神の子なのです。」⁴

ブリガム・ヤングはこう言い表しています。「皆さんは……御父にまみえるとき、昔から存じ上げていた御方にまみえるのです。御父は皆さんを御手に受け入れられます。皆さんは御父の御腕の中にすっぽりと抱かれ、御父に接吻するのです。」⁵

人が神の子であることを巡る大きな戦い

モーセは顔と顔を合わせて主と語ったときに、自分が神の子であることを知りました。その後、神の子であるというモーセの自己像を巧妙にゆがめようとたくらむ「サタンが来て、……誘惑して言[いました]。『人の子モーセよ、わたしを拝みなさい。』」そこで、モーセはサタンを見て言った。『おまえはだれだ。見よ、わたしは……神の子だ。』⁶

サタンは武器を増殖して、わたしたちの神との関係に対する信念と知識を破壊しようとしています。有難いことに、わたしたちは時の初めから自分が神の子であることをはっきりと理解してきました。それは、「『われわれのかたち、われわれにかたどって人を造[ろうと]』『神[が]言われ』⁷、生ける預言者が「人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。したがって、[人類]は皆、神の属性と神聖な行く末を受け継いでいます」⁸と宣言しているからです。

この真理を「確実に」⁹知るようになると、わたしたちはあらゆる試練や問題や苦難を乗り越えることができるようになります。¹⁰ 主の使徒の一人は、「[個人的な悩みで]苦しんでいる人をどうやって助ければよいのでしょうか」と聞かれて、「彼らが神の子であることと、彼らが地上にいる目的を教えてください」とアドバイスしました。¹¹

「わたしの持つ知識の中で最も力ある知識」

この力ある真理は、わたしの友達のジェ





ンの人生を変えました。ジェン¹²は10代のころ、大きな交通事故を起こしました。自分の身体的外傷もひどかったのですが、どうしてもなくつらかったのは、相手の車の運転手が亡くなったことでした。「あの子たちから母親を奪ったのは、わたしなのです」とジェンは言います。「わたしたちは天父の娘です。天父はわたしたちを愛し……て〔おられ〕ます。」¹³ほんの数日前まで起立してこの言葉を暗誦していたジェンは、疑問を持つようになりました。「御父がわたしを愛してくださるわけがないわ。」

ジェンは言います。「けがの痛みは収まりましたが、情緒的・霊的な傷が癒えることは決してないだろうと思いました。」

ジェンはどうにか生きていくために、そんな気持ちを心の奥底にしまい込み、それに触れないようにして、平静を装っていました。1年後、やっと事故のことを話せるようになると、靈感を受けたカウンセラーは、「わたしは神の子です」という言葉を書いて、毎日10回ずつそれを言うようにとアドバイスしたのです。

「書くことは簡単でしたが、この言葉を使うことはできませんでした」と、当時を振り返ってジェンは言います。「……言おうとすると現実に引き戻され、神がわたしに御自分の子供でいてほしいと望んでおられるとは思えませんでした。わたしはひざを抱えて泣きました。」

数か月後、ジェンはやっと、そのノルマを毎日果たすことができるようになりました。彼女はこう言っています。「心を全部注ぎ出して神に嘆願しました。……すると、その言葉が信じられるようになってきたのです。」これが信じられるようになると、主はジェンの傷ついた心を癒してくださるようになりました。モルモン書を読むと、主の贖いに安らぎと勇気が感じられるようになったのです。¹⁴

ジェンはこんな結論にたどり着きました。「キリストはわたしの苦しみや悲し

み、罪の意識を感じておられました。わたしは神の純粋な愛を感じたのです。これほどの力を感じたことはそれまでありませんでした。自分が神の子であると知っていることは、わたしの持つ知識の中で最も力ある知識です。」

父なる神を知ろうとする努力

兄弟姉妹の皆さん、自分が神の子であることを理解する力を、どうすれば経験することができるのでしょうか。それは、父なる神を知ろうとする努力から始まります。¹⁵ラッセル・M・ネルソン大管長はこう証しています。「神の子が、神とその愛する御子についてさらに知ろうと努めるとき、大いなることが起こります。」¹⁶

救い主について学び、救い主に従うと、御父のことが分かるようになります。「御子は……〔御父の〕本質の真の姿であって、」¹⁷「子は父のなさることを見てする以外に、自分からは何事もすることができない」¹⁸とイエスは教えておられます。イエスのあらゆる言葉と行いは、神の本質と、また、神と人はどのような関係にあるのかを示しています。¹⁹ジェフリー・R・ホランド長老はこう教えています。「主の体のすべての毛穴から血が流れ出、苦悩に満ちた叫びが主の口から発せられ、キリストはそれまでいつも頼っていた御自分の御父により頼み、『アバ』と呼びました。今の言葉では、『お父さん』……でしょう。」²⁰

イエスがゲツセマネで熱烈に御父をお求めになったように、少年ジョセフ・スミスも、1820年に聖なる森で神を祈り求めました。「あなたがたのうち、知恵に不足

している者があれば、その人は……神に、願い求めるがよい」²¹という言葉を読んで、ジョセフは祈りに行きました。

後にこう書いています。「わたしは……ひざまずいて、心の願いを神に告げ始めた。……

……わたしは自分の真上に、……光の柱を見た。……

……わたしは筆紙に尽くし難い輝きと栄光を持つ二人の御方がわたしの上の空中に立っておられるのを見た。すると、そのうちの御一方がわたしに語りかけ、わたしの名を呼び、別の御方を指して、『これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい』と言われた。」²²

救い主と預言者ジョセフ・スミスの模範に従って熱烈に神を求めるならば、御父が自分を名前で御存じで自分が御父の子供であることが、ジェンのように自分の経験を通して分かるようになります。

母親、特に若い母親の皆さん、「罪に屈しない世代」を育てようとして打ちのめされたりうまいかないと感じたりすることがしばしばであったとしても、²³神の計画の中で果たす自分の重要な役割を、決して過小評価しないでください。幼い子供を追いかけ回していると焦げ臭いにおいが台所から漂ってきて、愛情を込めて作った夕食が燔祭になってしまったことに気づくことがあるかもしれません。そのようないらする出来事が起こったら、神があなたの最もつらい日々を聖別してくださる²⁴ことを思い出してください。「恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。」²⁵主は穏やかにそう言って安心させてくださ



います。ジョイ・D・ジョーンズ姉妹は、「わたしたちの子供たちは、自分が神の子であることを理解する資格があって当然です」²⁶ と言っています。その期待にこたえている皆さんをほめたたえます。

わたしたち皆が神とその御子を求めるよう勧めます。ネルソン大管長はこう言っています。「モルモン書以外にこのような真理をはっきりと力強く教えている書物はありません。」²⁷ モルモン書を開いて、神が確かに「[わたしたちの] 繁栄と幸いのためにあらゆること」を行われ²⁸、「慈悲と恵みに満ち、怒るに遅く、長く堪え忍び、慈しみ深[く]」²⁹、「すべての人が神にとって等しい存在である」³⁰ ことを学んでください。人生の極限的な状況で傷ついたり、途方に暮れたり、怖くなったり、怒ったり、悲しくなったり、飢えたり、見捨てられて希望を持ってなくなったりしたときには³¹、モルモン書を開いてください。次のことが分かるようになります。「神は決してわたしたちをお見捨てにはなりません。これまででもそうでしたし、これからもそうです。そのようなことはおできにならないのです。神は[そのようなことをする]御方ではありません。」³²

御父を知るようになるとすべてが変わります。特に心が変わります。自分がほんとうに神の子であって神の目から見て大きな価値があることを神の御霊が優しく教えてくれるからです。³³ わたしたちが祈りで嘆願し、聖文を調べ、従順になる努力をして神を求めるならば、神は聖約の道をわたしたちとともに歩いてくださいます。

神の人格のすばらしさ——わたしの証

わたしは、父なる神、³⁴「全能の主なる神」³⁵を愛しています。神は、わたしたちが悲しむときにともに泣き、わたしたちの不義を根気強く懲らしめ、わたしたちが「[神を]知……る[ため]に自分の罪をすべて捨て」ようとするときに喜んでくださいます。³⁶ わたしの礼拝する神は、常に

「みなしごの父」³⁷、友のない者の友であられます。御父である神をわたしが知るようになったことを、感謝を込めて証します。そして、神の完全さと属性、「卓越した特性」³⁸について証します。

自分が神の子として持つ「貴い生得権」³⁹を、「唯一の、まことの神と、また、[神]がつかわれたイエス・キリスト」⁴⁰を知ることによって、わたしたち皆が真の意味で理解して大切にすることができるよう切に祈ります。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 「2018年 分かち合いの時間の概要——わたしは神の子です」, lds.org/manual/primary 参照
2. 「神の子です」『賛美歌』189番参照。〔訳注：英語の歌詞には、神がわたしを地上に送ってくださった、という意味のフレーズが出てくる〕
3. ローマ8:16
4. ボイド・K・バックー「若い男性、女性の方へ」『聖徒の道』1989年7月号, 59
5. Brigham Young, “Discourse,” *Deseret News*, Oct. 1, 1856, 235
6. モーセ1:12–13, 強調付加
7. 創世1:26 参照
8. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145
9. ジョセフ・スミスはこう言っている。「神の属性を確実に知ることは福音の第一の原則です。」(from the King Follett sermon, Apr. 7, 1844; in *History of the Church*, 6:305)
10. アルマ36:3, 27 参照
11. Russell M. Nelson, in Tad R. Callister, “Our Identity and Our Destiny” (Brigham Young University devotional, Aug. 14, 2012), speeches.byu.edu
12. 名前を変更しています。
13. 「若い女性のテーマ」『成長するわたし』, 3。PersonalProgress.lds.org [英語]
14. 2ニーファイ2章:6–9章; モーサヤ2–5章; 14–16章; アルマ7章; 34章; 39–42章; ヒラマン14章; 3ニーファイ11章; モロナイ7章参照
15. 預言者ジョセフ・スミスはこうに教えている。「神の性質を理解しなければ、人は自身自身を理解することができません。」(『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』40)

16. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書——この書物なしの人生とは」『リアホナ』2017年11月号, 61
17. ヘブル1:3
18. ヨハネ5:19
19. ジェフリー・R・ホランド「偉大な神の性質」『リアホナ』2003年11月号, 70 参照
20. ジェフリー・R・ホランド「父親らの手で」『リアホナ』1999年7月号, 19
21. ヤコブの手紙1:5
22. ジョセフ・スミス——歴史1:15–17
23. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」『リアホナ』2015年11月号, 97 参照
24. 「主のみ言葉は」『賛美歌』46番4節 [英語] 参照
25. イザヤ41:10
26. Joy D. Jones, in Marianne Holman Prescott, “2018 Primary Theme ‘I Am a Child of God’ Teaches Children Their Divine Identity,” Church News section of LDS.org, Jan. 5, 2018, lds.org/news.
27. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書——この書物なしの人生とは」61
28. ヒラマン12:2。2ニーファイ26:24も参照
29. *Lectures on Faith* (1985), 42
30. 2ニーファイ26:33
31. わたしは平原を横断する旅を経験した開拓者の老人が次の証をする感動的な話が大好きである。「わたしたちは皆さんがとても想像できないようなとてもつらい目に遭いました。寒さと飢えのためにたくさんの人が死んでいきました。でも、生き残った人たちの口から非難めいたことを一言でも聞いたことがありますか。その隊から、背教したり教会を去ったりする人はだれもいませんでした。なぜなら、その隊にいたわたしたちは皆、神が生きておられるとの絶対的な知識があったからです。あの極限の状態で神という御方と知り合いになれたのですから。」(in David O. McKay, “Pioneer Women,” *Relief Society Magazine*, Jan. 1948, 8)
32. George Q. Cannon, “Remarks,” *Deseret Evening News*, Mar. 7, 1891, 4
33. 教義と聖約18:10 参照
34. 使徒5:30; 22:14; 「全能の父なる神よ」『賛美歌』40番参照
35. モーセ1:3。黙示15:3; 21:22–23; 3ニーファイ4:32; 教義と聖約109:77; 121:4も参照
36. アルマ22:18
37. 詩篇68:5。ヤコブの手紙1:27も参照
38. *Lectures on Faith* (1985), 42
39. 「山のごとく強く」『賛美歌』167番 [訳注：英語の歌詞には “O youth of the noble birthright” (貴い生得権を持つ若人) というフレーズが出てくる。]
40. ヨハネ17:3



七十人
ラリー・J・エコー・ホーク長老

主もあなたがたをゆるして 下さったのだから、 そのように、あなたがたも ゆるし合いなさい

自分に過ちを犯した人を惜しみなく赦すことができるようになると、だれでも、言葉に尽くせない平安を得、救い主のパートナーとなることができます。

「週」の初めの日、夜明け前に、女たちは用意しておいた香料を携えて、墓に行った。

ところが、石が墓からころがしてあるので、中にはいってみると、主イエスのからだが見当らなかった。

そのため途方にくれていると、見よ、輝いた衣を着たふたりの者が、彼らに現れた。

女たちは驚き恐れて、顔を地に伏せていると、このふたりの者が言った、『あなたがたは、なぜ生きた方を死人の中にたずねているのか。』¹

そのかたは、ここにはおられない。よみがえられたのだ。』¹

明日、復活祭の安息日に、わたしたちは特別な方法で、イエス・キリストがわたしたちにしてくださったことを思い出します。「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信

じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。』² 永遠に生きるため、最終的にわたしたちは主と同じように復活するのです。

また、悔い改めの機会と責任を受け入れられるならば、イエス・キリストの聖なる贖



いの奇跡を通して、わたしたちも罪と悪い行いに対する赦しの賜物を頂くことができます。そして、必要な儀式を受けて聖約を守り、戒めに従うことによって永遠の命と昇栄を得ることができるのです。

今日わたしは特に、救い主、贖い主であるイエス・キリストが与えてくださった、とても大切で貴重な賜物である赦しについて話したいと思います。

1982年12月のある晩、妻のテリーとわたしは、アイダホ州ボカテロの自宅にかかってきた電話で目が覚めました。電話に出ましたが、姉のすすり泣く声が聞こえるだけでした。やっとのことで、姉は苦しそうに言いました。「トミーが死んだの。」

コロラド州デンバーの郊外で、酒を飲んだ20歳の男性が運転する車が、時速85マイル（136キロメートル）以上のスピードで無謀にも赤信号を無視し、わたしの末の弟トミーが運転する車に激突したのです。弟と妻のジョーンは即死でした。二人はクリスマスパーティーの後、幼い娘が待つ家に帰る途中でした。

妻とわたしはすぐにデンバーに飛び、遺体安置所へと向かいました。両親やきょうだいとともに、愛するトミーとジョーンの死を悲しみました。愚かな犯罪行為によって、わたしたちは二人を失ったのです。わたしたちの胸は張り裂け、事故を起こした若者に対する怒りが湧き上がってきました。

トミーはアメリカ合衆国司法省の弁護士を務めており、それからの数年間、アメリカ先住民の土地と天然資源の保護を強力に推し進めようとしていた矢先でした。

しばらくして、危険運転致死罪に問われた若者の判決公判が開かれました。嘆きと悲しみの中で両親と姉のケイティーが公判に出席しました。同じく公判に出席していた飲酒運転者の両親は、公判が終了すると、ベンチに座り込み泣いていました。その二人のそばに座っていたわたしの両親と姉は、なんとか気持ちを立て直そうとしていましたが、しばらくして立ち



上がり、運転手の両親のもとへ歩み寄ると、慰めと赦しの言葉をかけました。男性たちは握手し、女性たちは手を握り合いました。そこには全員の深い悲しみと涙がありました。そして、どちらの家族もひどい苦しみに遭っていることを知りました。母と父、そしてケイティーは、内に秘めた力と勇気の模範を示し、赦しとはどのようなものかを家族に見せてくれました。

こうした場面で赦しの手が差し伸べられたことで、わたし自身の心は和らぎ、癒しの道が開かれました。長い時間をかけて、わたしは赦しの心を持つにはどうしたらよいのかを学びました。苦しい重荷が取り除かれたのは、唯一、平和の君の助けがあったからです。これからもずっと、トミーとジョーンがいなくなったことを寂しく思うでしょう。しかし今は、赦しによって無上の喜びとともに二人のことを思い出すことができます。そして、わたしたちが再び家族として一緒になれることをわたしは知っています。

わたしは、違法な行為を見逃してよいと言っているのではありません。人は自分が犯した犯罪行為や市民としての不正行為に対する責任に問われることは、皆が十分に承知していることです。しかし同時に、わたしたちは神の息子、娘としてイエス・キリストの教えに従い、赦しに値しないように思える人をも、赦さなければならぬことを知っています。

救い主はこう教えておられます。

「もしも、あなたがたが、人々のあやまちをゆるすならば、あなたがたの天の父も、あなたがたをゆるして下さるであろう。

もし人をゆるさないならば、あなたがたの父も、あなたがたのあやまちをゆるして下さらないであろう。」³

自分に過ちを犯した人を惜しみなく赦

すことができるようになると、だれでも、言葉に尽くせない平安を得、救い主のパートナーとなることができます。主のパートナーになることで、はっきりと、決して忘れることのできない方法で、救い主の力がわたしたちの生活にもたらされます。

使徒パウロはこう勧告しました。

「だから、あなたがたは、神に選ばれた者……であるから、あわれみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。

互いに忍びあい、……ゆるし合いなさい。主もあなたがたをゆるして下さったのだから、そのように、あなたがたもゆるし合いなさい。」⁴

主はこう述べておられます

「それゆえ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは互いに赦し合うべきである。自分の兄弟の過ちを赦さない者は、主の前に罪があるとされ、彼の中にもっと大きな罪が残るからである。

主なるわたしは、わたしが赦そうと思う者を赦す。しかし、あなたがたには、すべての人を赦すことが求められる。」⁵

救い主、贖い主であられるイエス・キリストの教えは明白です。つまり、罪人が赦しを得たいのであれば、まず自分が進んでほかの人を赦さなければなりません。⁶

兄弟姉妹、皆さんの人生であなたを傷つけた人はいませんか。恨みや怒りを覚えて当然だと思えることをいつまでも引きずってはいませんか。高慢な気持ちがあるために、赦し、忘れることができないでいませんか。皆さんにお勧めします。完全に赦し、心からの癒しを得られるようにしましょう。そして今日、赦すことができなくても、赦したいと望んで努力するならば、わたしが弟の死後、最終的にそうなったように、必ず赦せるようになることを

知ってください。

そしてもう一つ、赦しの大切な要素に、自分自身を赦すことが含まれていることも忘れないでください。

主は言われました。「自分の罪を悔い改めた者は赦され、主なるわたしはもうそれを思い起こさない。」⁷

今日、皆さんにお願いします。イエス・キリストの模範を思い出し、それに従ってください。ゴルゴタの十字架の上で、主は、激しい苦しみの中でこう言われました。「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。」⁸

赦しの心を持ち、その心に従って行動するならば、わたしの両親や姉のように、救い主の次の約束を実現することができます。「わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。」⁹

人を赦すことで、イエス・キリストの教えに心を留め、模範に従うならば、わたしたちにこの平安がもたらされることを証します。わたしたちが赦すとき、救い主はわたしたちを強めてくださることを約束します。そうすれば主の力と喜びがわたしたちの生活に流れ込んでくることでしょ。

墓は空です。キリストは生きておられます。わたしは主を知っています。わたしは主を愛しています。主の恵みに感謝しています。その恵みは強める力であり、すべてのものを癒す十分な力です。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. ルカ 24 : 1 - 6
2. ヨハネ 3 : 16
3. マタイ 6 : 14 - 15
4. コロサイ 3 : 12 - 13, 強調付加
5. 教義と聖約 64 : 9 - 10
6. See James E. Talmage, *The Articles of Faith*, 12th ed. (1924), 110
7. 教義と聖約 58 : 42
8. ルカ 23 : 34
9. ヨハネ 14 : 27



十二使徒定員会
ゲーリー・E・スティーブソン長老

預言者の心

わたしたちは、主の預言者が正しく召され、神聖な力によって主が指示された方法で主の業が行われていることを喜びます。

わたしは、今日のこのすばらしい機会に、聖霊がわたしたち一人一人とともにいてくださるよう一心に祈ってきました。この神権時代における17代目の預言者が聖会で支持されたとき、わたしたち全員がともに目の当たりにしたことは最も感動的でした。

今日主がわたしに望んでおられる話のテーマを知るために導きを求めていたとき、わたしの思いは、最近召された新しい大管長会と話したことに向けられました。その話し合いの中で、顧問の一人がこのよ

うな言葉を分かち合ってくれました。「わたしは、教会の会員が、新しい預言者となったラッセル・M・ネルソン大管長の召しに伴って起こったすばらしい出来事と、総大会で行われる聖会の意義と神聖さを理解するように心から願っています。」また、このようにも言いました。「もう10年にもなるので、特に教会の青少年を含む多くの人々は、このことを覚えていなかったり、以前に経験していなかったりでしょう。」

このことが、かつてわたしが経験したこ

とについてじっくりと考えるきっかけとなりました。わたしが覚えている最初の預言者は、デビッド・O・マッケイ大管長です。わたしが14歳のときに亡くなりました。マッケイ大管長の死によって感じた喪失感と、母が目には浮かべた涙、そして家族の中に感じた悲しみを思い出します。わたしは祈るとき、「どうかデビッド・O・マッケイ大管長を祝福してください」という言葉がとても自然に口から出ていたのを覚えています。もしよく注意していなければ、大管長が亡くなった後も同じ言葉で祈っていたかもしれません。わたしの心と思いの中に、マッケイ大管長の後の預言者に対しても同じ気持ちと確信があったらと思うことができました。しかし、自分の子供一人一人を愛する親と同じように、わたしは預言者への愛、つながり、そして証を、デビッド・O・マッケイ大管長に続くジョセフ・フィールディング・スミス大管長や、その後のそれぞれの預言者、すなわち、ハロルド・B・リー、スペンサー・W・キンボール、エズラ・タフト・ベンソン、ハワード・W・ハンター、ゴードン・B・ヒンクレイ、トーマス・S・モンソン、そして今日のラッセル・M・ネルソン大管長に見いだしました。わたしは、手を挙げ、心を高め、それぞれの預言者を完全に支持しました。

わたしたちの愛する預言者が亡くなったときに、悲しみと喪失感を味わうのは自然なことです。しかし、この地上で生ける預言者が召されてわたしたちが支持をするという、回復のたいなる祝福を経験するとき、わたしたちの悲しみは喜びと希望によって和らぎます。

さてそこで、これまで90日にわたってわたしが目にしてきたこの神聖なプロセスについて話します。4つに分けて述べたいと思います。第1に、預言者の死と大管長会の解散について、第2に、新しい大管長会の再組織が行われるまでの期間について、第3に、新しい預言者の召しに





ついて、第4に、聖会における新しい預言者と大管長会の支持についてです。

預言者の死

2018年1月2日、愛する預言者トーマス・S・モンソンが亡くなって幕の向こう側に行きました。モンソン大管長は永遠にわたしたちの心に残るでしょう。モンソン大管長の死去に際し、ヘンリー・B・アイリング管長が述べた以下の思いは、わたしたちの気持ちを端的に表しています。「モンソン大管長の際立った特徴は、救い主のように、個人に関心を向けて貧しい者や病める者に手を差し伸べたということでしょう。それが世界中のすべての個人にも及んだのです。」¹

スペンサー・W・キンボール大管長はこう説いています。

「一つの星が水平線のかなたに沈むとき、別の星が姿を現します。死から命が生まれるのです。」

主の業に終わりはありません。たとえ一人の強力な指導者が亡くなったときでさえも、神の王国に継続性と永続性をお与えになった寛容な神の恵みによって、教会は一瞬たりとも指導力を欠くことはありません。この神権時代において、以前……すでに起こったように、民は敬虔な態度で預言者の墓を閉じ、涙を乾かし、顔を未来に向けるのです。²

大管長不在期間

預言者の死から大管長会の再組織までの間は、「大管長不在期間」と呼ばれています。その間、十二使徒定員会は、定員会会長の指導の下で、教会における指導をつかさどる鍵を共同で保有します。ジョセフ・F・スミス大管長はこう教えています。「教会の長は常にただ一人です。死亡またはその他の理由で大管長会がなくなった場合、十二使徒会が教会の次の長となり、〔大管長会が再び〕組織されるまでこの機能を果たします。」³

つい最近、大管長不在期間は、モンソン大管長が亡くなった1月2日に始まり、12日後の1月14日の日曜日に終わりました。その安息日の朝、先任使徒であり十二使徒定員会会長であるラッセル・M・ネルソン会長の管理指示の下に、十二使徒は断食と祈りの精神でソルトレーク神殿の上階の部屋に集まりました。

新しい預言者の召し

この神聖で記念すべき集会において、兄弟たちは、半円状に並んだ13の椅子に先任順に座り、よく確立された一致と全会一致の規範に従い、最初に大管長会の組織を支持する挙手を行い、その後、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソン大管長を支持する挙手を行いました。この支持に続いて、十二使徒定員会が輪になってネルソン大管長の頭に手を置き、次の最先任使

徒が声に出して聖任と任命を行いました。

その後、ネルソン大管長は、ダリン・ハリス・オークス管長、ヘンリー・ベニオン・アイリング管長を自らの顧問として、オークス管長を十二使徒定員会会長として、メルビン・ラッセル・バラード会長を十二使徒定員会会長代理として指名しました。同様の支持の挙手に続いて、これらの兄弟たちは、ネルソン大管長によりそれぞれの職に任命されました。これは、御霊が豊かに注がれたきわめて神聖な経験でした。その日の行動と出来事に、わたしたちが熱心に祈り求めた主の御心が力強く表れたことを完全な確信をもって証します。

ネルソン大管長の聖任と大管長会の再組織により、大管長不在期間は終わりを告げ、新しく組織された大管長会は、地上における主の王国を治めるに当たり、驚くべきことに、寸分の乱れもなく機能し始めたのです。

聖会

今朝、この神聖なプロセスは聖文で命じられていることに従って完結しました。教義と聖約に次のように概説されています。「すべてのことを秩序正しく、信仰の祈りによって、教会員の同意を得て行わなければならない。」⁴「教会員の信頼と信仰と祈りによって支持された三人の管理大祭司が、教会の大管長会の定員会を構成する。」⁵

デビッド・B・ヘイト長老は、今日わた

したちが参加したと同じ聖会が以前に行われたときにこう述べています。

「わたしたちは……天にかかわる事柄を執り行うためにこの場に集い、最も神聖な出来事である聖会に加わって、その証人となりました。いにしへの時代と同じように、世界中の聖徒たちが、この日に主の御霊を豊かに受けられるよう、断食をし祈りをささげてきました。そして、今朝この時に当たりこの会場はまさに御霊に満たされています。」

聖会とは、その名が示すように、神聖、厳粛、かつ敬虔な機会であり、聖徒が大管長会の管理の下に集う会です。』⁶

兄弟姉妹の皆さん、主の代弁者、神の預言者が正しく召されたので、また、神聖な力によって主が指示された方法で主の業が行われていることを主が喜んでおられるので、わたしたちも喜びにあふれ、「ホサナ!」と叫ぶことさえできます。

ラッセル・M・ネルソン大管長

神の力により聖任されるこのプロセスによって、預言者は神の力により召されます。モンソン大管長がこの地上で生きた最も素晴らしい人の一人であったように、ネルソン大管長もその一人です。ネルソン大管長は、この時代にわたしたちを導くために、主によって十分に備えられ、特別に教えを受けてきました。今日、わたしたちの愛する献身的な預言者ラッセル・M・ネルソン大管長を、この最後の神権時代における教会の第17代大管長として迎えることは、大いなる祝福です。

ネルソン大管長は、まさに卓越した人物です。わたしは十二使徒定員会において、2年余りの間、定員会会長としてのネルソン大管長と奉仕する特権に恵まれました。ともに旅行し、その活力に驚嘆しました。ネルソン大管長のスピードについて行くには、素早く動かなければならないからです。ネルソン大管長はこれまでの人生で合計133の国を訪問しました。

ネルソン大管長は若者や年配の人皆に手を差し伸べています。すべての人を知っているようで、名前を覚えることに特別な賜物を持っています。ネルソン大管長を知る人は皆愛されていると感じます。それはわたしたち一人一人もそうです。それはネルソン大管長がすべての人に誠実な愛と関心を持っているからなのです。

わたしとネルソン大管長とおもなつながりは教会の役職においてでしたが、大管長が中央幹部として召される前に送っていた職業人生についてもわたしはよく理解するようになりました。御存じのように、ネルソン大管長は世界にその名を知られた心臓外科医であり、医師経歴の早い段階で、人工心肺開発の草分けとなりました。1951年、人工心肺を使った最初の心臓切開手術を支援する研究チームに所属していました。またスペンサー・W・キンボール大管長が預言者になる少し前に、キンボール大管長の心臓手術を行いました。

興味深いことに、ネルソン大管長が十二使徒に召された34年前、心臓を治療し強化するという心臓外科医としての仕事は終わりましたが、その後、世界中の何万という数え切れないほどの人の心を強め、治すことに献身する、使徒の務めが始まったのです。人々は、ネルソン大管長の知恵と奉仕と愛の言動によって高められ、癒されてきました。

キリストのような心

日々の行いにおけるキリストのような心を思い描くとき、ネルソン大管長が目につかびます。ネルソン大管長よりも高いレベルでこの特性を体現する人に会ったことがありません。ネルソン大管長のキリストのような心が示されるのをじかに観察する立場にいることは、わたしにとってこの上ない教育となっています。

わたしが2015年10月に十二使徒に召されて何週間もしないうちに、ネルソン大管長の過去の職業人生を垣間見る機会



がありました。大管長が心臓外科手術の先駆者として表彰されるイベントに招かれたのです。会場に入ったとき、ネルソン大管長が医師としてまた執刀医として何年も前に収めた成果を認めてたたえる数多くの専門家がそこにいるのを見て、わたしは大変驚きました。

その夜、大勢の専門家が立ち上がり、ネルソン大管長の医療分野に対する顕著な貢献に尊敬と称賛の意を表しました。各発表者がネルソン大管長の様々な功績を説明したのが印象的でしたが、それ以上に、わたしは隣に座った男性と交わした会話に魅了されました。彼はわたしがだれかは知りませんでした、ネルソン大管長を、ネルソン博士として知っていました。大管長は1955年当時、医学校の胸部外科手術研修プログラムのディレクターだったのです。

この男性はネルソン大管長の教え子で、多くの思い出を語ってくれました。最も興味深かったのはネルソン大管長の教え方の説明で、彼が言うには、大管長はその教え方で有名だったとのことでした。彼は、心臓外科手術研修医の教育の多くは手術室で行われたと説明してくれました。そこで研修医は、実験室のように、教授陣の監視の下で外科手術を観察し、執刀しました。ある教授陣の執刀医が使っていた手術室の環境は、雑然としていて、競争的で、圧迫感に満ち、利己的でさえあったと言います。それは難しい環境で、時には自信を喪失するようなものだったそうです。結果として、研修医は自分の職業人生がしばしば危機に瀕しているとさえ感じました。

それから彼は、ネルソン大管長の手術室で見られたユニークな環境について説明してくれました。そこは平和で、静かで、威厳がありました。研修医は深い尊敬をもって扱われました。しかしネルソン博士は、手順を実際に示した後に、研修医一人一人が最も高い水準の手術を行うことを



期待しました。この男性はさらに、ネルソン博士の手術室からどのようにして最高の治療結果と最高の外科医が生まれたかを説明しました。

わたしはまったく驚きませんでした。これは、わたしが十二使徒定員会においてじかに観察し、ほんとうに祝福されてきたことなのです。ある意味において、わたしは「訓練を受けている研修医」であるかのように感じています。

ネルソン大管長には、人を教える並外れた方法があって、建設的で、敬意を表し、気持ちを高める方法で誤りを正してくれます。ネルソン大管長はキリストのような心を持っていて、わたしたちすべての模範です。どのような状況にあっても、行いと心をイエス・キリストの福音の原則に調和できることを、わたしたちはネルソン大管長から学んでいます。

わたしたちは今、わたしたちの預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長を支持するという大いなる祝福を受けています。ネルソン大管長はその人生を通じて、学生、父親、教授、夫、医師、神権指導者、祖父、そして使徒として数多くの役割を尊んで大いなるものとしてきました。これまでネルソン大管長はこれらの役割を果た

してきましたし、預言者の心をもってこれからもそう続けることでしょう。

兄弟姉妹の皆さん、今日参加し目の当たりにした聖会は、ラッセル・M・ネルソン大管長が、全人類に対する主の生ける代弁者であるという証をわたしにもたしてくれました。父なる神とイエス・キリスト、救い主、贖い主としての主の役割に対するわたしの証をお伝えします。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. Henry B. Eyring, in Marianne Holman Prescott, "Apostles Share Thoughts about President Thomas S. Monson on Social Media," Church News section of LDS.org, Jan. 12, 2018, news.lds.org.
2. Spencer W. Kimball, in, Conference Report, Apr. 1970, 118
3. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』223参照
4. 教義と聖約 28:13
5. 教義と聖約 107:22
6. デビッド・B・ヘイト「聖会」『リアホナ』1995年1月号, 16参照



七十人会長会
リン・G・ロビンズ長老

七たびを 七十倍するまで

つまずきの石や不完全なところが至る所にある人生でやり直す機会があることに、わたしたちは皆感謝しています。

問 違いは人生の現実です。何千回、いや、恐らく何百万回もの間違いを犯すことなく上手にピアノを弾けるようになることは、基本的に不可能です。外国語を学ぶためには、何千回、いや、恐らく何百万回も間違えて恥ずかしい思いをすることに直面しなければなりません。世界最高のスポーツ選手も、ミスを犯し続けます。

「成功とは、失敗しないことではなく、熱意を失うことなく失敗を繰り返すことである」と言われてきました。¹

電球の発明について、トーマス・エジソンはこう言っています。「わたしは1,000回失敗したのではない。1,000のステップを経て電球は発明されたのだ。」² チャールズ・F・ケタリングは失敗を「成功への道を指し示す道しるべ」と呼んでいます。³ 失敗する度にそこから知恵ある教訓を得て、つまずきの石を踏み台に変えることができるよう願っています。

ニーファイは揺るがぬ信仰を持っていたため、失敗を重ねながらも最後には真鍮の版を手に入れました。モーセは10回試みて、やっとイスラエル人とともにエジプトを脱出することができました。

ニーファイもモーセも、主の用向きを受

けていたのに、なぜ主は手を差し伸べて、最初の試みで成功するよう助けてくださらなかったのかと、わたしたちは疑問に思うことがあります。なぜ主は彼らが、そしてわたしたちが、成功しようと努力する際にもがき、失敗することを許されるのでしょうか。この質問について、たくさんある答えの中から幾つかを挙げます。

・第1に、主は、「これらのことはすべて、

〔わたしたち〕に経験を与え、〔わたしたち〕の益となる」⁴ ことを御存じだからです。

- ・第2に、「善を尊ぶことを知るために、苦さを味わう」⁵ ことができるようにするためです。
- ・第3に、「この戦いは主の戦いであって」⁶、主の恵みによってのみ、わたしたちは主の業を成し遂げて主のような者になることができるということを証明するためです。⁷
- ・第4に、多くのキリストのような特質を育み、磨くためです。この特質は、反対のもの⁸ と苦難の炉によってしか「精錬」⁹ することができません。

ですから、つまずきの石や不完全なところが至る所にある人生でやり直す機会があることに、わたしたちは皆感謝しています。

1970年、ブリガム・ヤング大学の1年生のころ、わたしは、傑出した教授であるジェイ・バリフが教える物理学の入門コースを取りました。コースの単元が一つ終わる度に、テストがありました。Cを取った学生がもっと良い評点が欲しいと言っていると、バリフ教授は、同じ内容を扱った別



のテストを受けさせてくれました。その学生が2度目のテストでBを取り、それでも満足しない場合には、3度でも4度でも、それ以上でも、テストを受けることができました。何度もやり直す機会を与えることによって、この教授はわたしが物理学で良い成績を取り、ついにはAが取れるようにしてくれました。

努力し続けるよう生徒たちを鼓舞してくれる、類いまれな知恵のある教授でした。失敗を悲劇ではなく学びと考へ、失敗を恐れずにそこから学ぶようにと生徒に教えたのです。

先日わたしは、この偉大な人物に電話をかけました。物理のコースを取って以来47年ぶりです。評点を上げるために無制限にテストを受けられるようにしたのはなぜかと尋ねると、こんな答えが返ってきました。「生徒の側に立ちたかったのです。」

わたしたちは失敗や挫折の後にやり直

す機会があることに感謝していますが、やり直す機会を与えて罪や失敗、挫折を乗り越えられるようにしてくれる救い主の恵みには、ただ驚くばかりです。

救い主ほどわたしたちの側に立ってくださる御方は、ほかにおられません。テストを何回でも受けさせてくださいます。救い主のようになるためには、生まれながらの人との日々の闘いの中で、やり直す機会が数え切れないほど必要になります。こうした闘いは、欲求をコントロールし、忍耐と救しを学び、怠惰を克服し、不作為の罪に陥らないようにするなど、少し挙げるだけでもたくさんあるのです。間違いを犯すのが人の本性だとするなら、人間の本性が神の本質に取って代わるまで、わたしたちは何度過ちを繰り返せばよいのでしょうか。1,000回ですか。100万回くらいかかるかもしれません。

細くて狭い道には誘惑が多く、わたした

ちが日々失敗するだろうことを御存じだったために、救い主は無限の代価を払って、わたしたちがこの試しの世を無事生き抜くために、必要なだけ何度でもチャンスを与えられるようにしてくださいました。主がお許しになる逆境があまりにつらく、耐え難いと思えることがあるかもしれませんが、主が希望なしにわたしたちをほうっておかれることはありません。

人生で試練に遭っても望みを持ち続けられるよう、救い主の恵みはいつも用意されており、常に目の前にあります。主の恵みとは「神聖な助けまたは力です。……また、人に能力を授ける力であり、これによって男性も女性も、最善を尽くした後に永遠の命と昇栄を得ることができるのです。」¹⁰ 主の恵みと主の愛あるまなざしは、人生の旅の最後までずっとわたしたちに注がれており、わたしたちが細くて狭い道の途中でつまづいたとしても、主は励まし、重荷を軽くし、強め、解放し、守り、癒し、そのほかの方法で「御自分の民を……救[ってくださいます。]」¹¹

悔い改めは、いつでも活用できる神の賜物で、失敗を重ねても熱意を失うことなく前進できるようにしてくれます。悔い改めは、失敗したときのための代替策ではありません。悔い改めは主の計画であり、わたしたちが悔い改める必要があることを、主は御存じなのです。この福音は悔い改めの福音であり、ラッセル・M・ネルソン大管長が述べたように、「生涯にわたる教育課程」です。¹²

この悔い改めという生涯にわたる教育課程の中で、聖餐は、常に主の救しを受けられるようにするために主が定められた方法です。打ち砕かれた心と悔いる霊をもって聖餐を受けるならば、毎週主は赦してください、わたしたちが失敗を重ねて成長し、聖約の道を歩んでいけるようにしてください。なぜなら、「彼らが罪を犯したにもかかわらず、わたしの心は、彼らに対する哀れみに満たされている」¹³ からです。





しかし、一体主は何度まで赦してくださいのでしょうか。どこまで寛容深くいてくださるのでしょうか。あるとき、ペテロは救い主に尋ねました。「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯した場合、幾たびゆるさねばなりませんか。七たびまでですか。」¹⁴

思うに、ペテロは、十分に多い回数だと考えて七度と言ったのでしょうか。何度も赦すことの愚かさを強調して、善行にも限度があるべきだと考えたのです。それに答えて、救い主はペテロに、基本的に回数を述べなかつたばかりか、赦す回数に限度を設けることもされませんでした。

「イエスは彼に言われた、『わたしは七たびまでとは言わない。七たびを七十倍するまでにしなさい。』」¹⁵

救い主が490回という上限を設けようとしておられたわけではないのは明らかです。それは、聖餐を取る回数に490回までという限度があると言っているようなものです。491回目には天の監査役が執り成してこう言うでしょう。「申し訳ありませんが、あなたの悔い改めカードが失効しました。ここから先は自力で頑張ってください。」

主は七を七十倍するという計算式を、主の無限の贖罪、限りない愛、際限のない恵みのたとえとして使われたのです。「そしてわたしは、民が悔い改める度に、わたしに対する彼らの過ちを赦そう。」¹⁶

これは、聖餐が、罪を犯してもよいという許可証になるという意味ではありません。これは、主が次の言葉をモルモン書

に入れられた一つの理由なのです。「しかし、悔い改めて真心から赦しを求めた者は、その度に赦された。」¹⁷

真心からという言葉には、心から努力してほんとうに変化するという意味合いがあります。「変化」とは「神と自分自身また生活全般に対して新たな姿勢をもたらす思いと心の変化」¹⁸ という、『聖句ガイド』の悔い改めの定義において主要な言葉です。このような変化は、結果として霊的な成長をもたらします。ということは、成功とは、失敗を積み重ねることではなく、熱意を失うことなく失敗を重ねて成長していくことなのです。

変化については、この言葉を考えてください。「変化しない物事は同じ状態のままです。」これは明らかな事実ですが、皆さんの知性を疑って言っているのではなく、ボイド・K・パッカー会長の深い知恵を秘めた言葉であり、こう続きます。「そして、変化することがなくなったら、人間は終わりなのです。」¹⁹

救い主のような者になるまでわたしたちは成長を止めたくはありません。²⁰ ですから、これからも失敗する度に起き上がり、欠点があろうとも成長し、進歩し続ける必要があります。わたしたちの弱さについて、主はこう言って元気づけてくださっています。「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全に表われる。」²¹

低速度撮影の写真や成長曲線でもないかぎり、わたしたちの肉体的な成長を肉眼

で見ることはできません。同様に、霊的な成長も、普通は後で振り返ってみないかぎり分からないものです。常日頃からそのように後で振り返って自分の成長を確かめ、「キリストを確固として信じ、完全な希望の輝きを持〔って〕……力強く進〔もう〕」と自分を奮い立たせるのは賢明なことです。²²

みもとに帰るわたしたちの旅路にやり直す機会を無数に与えてくださる、天の両親と救い主の愛にあふれた優しさと忍耐、寛容に、永遠に感謝します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. この引用がだれの言葉かには諸説があり、例えば、アブラハム・リンカーンとも、ウインストン・チャーチルとも言われている。
2. Thomas Edison, in Zorian Rotenberg, "To Succeed, You Must Fail, and Fail More," Nov. 13, 2013, insightsquared.com.
3. Charles F. Kettering, in Thomas Alvin Boyd, *Charles F. Kettering: A Biography* (1957), 40. この引用はよくC・S・ルイスの引用だとも言われる。
4. 教義と聖約122:7。救い主ですら、「さまざまの苦しみによって従順を学〔ばれた〕」のである（ヘブル5:8）。以上の聖句は置かれた状況や好ましくない条件のために生じる艱難や苦しみについて述べているが、自分の犯した過ちも、そこから何かを学ぶのであれば、わたしたちのためになる。
5. モーセ6:55
6. サムエル上17:47。1ニーファイ3:29も参照
7. モルモン書ヤコブ4:7参照
8. 2ニーファイ2:11参照
9. イザヤ48:10:1ニーファイ20:10
10. Bible Dictionary, "Grace", 強調付加
11. アルマ7:12
12. ラッセル・M・ネルソンの言葉。ダリン・H・オークスとニール・L・アンダーセン「悔い改め」(2015年6月26日に行われた新任伝道部会長セミナーでの説教) 11より。
13. 教義と聖約101:9
14. マタイ18:21
15. マタイ18:22
16. モーサヤ26:30, 強調付加
17. モロナイ6:8, 強調付加
18. 『聖句ガイド』「悔い改め」の項, scriptures.lds.org
19. Boyd K. Packer, Kingsland Georgia Stake conference, Aug. 1997.
20. 3ニーファイ27:27参照
21. 2コリント12:9。エテル12:27も参照
22. 2ニーファイ31:20



十二使徒定員会
ニール・L・アンダーセン長老

神の預言者

預言者は皆さんと救い主の間に立つのではありません。むしろ、皆さんの傍らに立ち、救い主に通じる道を指し示してくれるのです。

わたしも、ゲレット・ゴング長老とウリセス・ソアレス長老を十二使徒定員会の比類なき兄弟愛の輪に歓迎したいと思います。

ラッセル・M・ネルソン大管長を主の預言者および末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長として支持したとき、わたしたちは神によって定められた厳かな聖会の参加者となりました。厳かであるのは、この1時間の出来事が、世の始まる前から天において予期されていたものだからです。地上の業を導いておられる主イエス・キリストは今日、アイリング管長を通して、主の聖約の民であるわたしたちに預言者、油注がれた指導者を提示し、わたしたちが大管長を支持し、その勧告に従う意思を公に表明する機会を与えてくださいました。

このカンファレンスセンターにいない何百万もの皆さんにお伝えしたいと思います。ネルソン大管長の支持が行われている間、この建物にとどまっていた主の御霊は、まさに皆さんが心待ちにしていた御霊でした。この場が霊的な力で満たされていたのです。天に導かれた聖会には、このカンファレンスセンターだけでなく、アジアやアフリカ、北アメリカの礼拝堂から、中央アメリカ、南アメリカ、ヨーロッパの家庭から、そして太平洋、海の島々の屋根付きテラスから、世界中の人々が参加しています。皆さんが世界のどこにしようと、た

とえスマートフォンの音声でしか接続できない所にいようと、この聖会に参加しているのです。ビショップがわたしたちの挙手を数えたわけではありませんが、この様子は確かに天から見守られており、神と聖約を交わしたわたしたちの行いは命の書に記録されています。

主が預言者をお選びになる

預言者を選ぶのは主御自身です。選挙運動、討論、根回し、不和、不信、混乱、騒動など何一つありません。わたしたちが祈りの気持ちでネルソン大管長を囲んだとき、神殿の上階の部屋には天の力がわたしたちとともにあったこと、そして主が紛れもなく大管長を承認しておられる

と感じたことを証したいと思います。

ネルソン大管長が神の預言者として奉仕するよう選ばれたのは、ずっと前のことでした。エレミヤの予任について語られた主の言葉は、ネルソン大管長にも当てはまります。「わたしはあなたをまだ母の胎につくらないさきに、あなたを知り、あなたがまだ生れないさきに、あなたを聖別し、あなたを立てて万国の預言者とした。」¹ わずか3年前、90歳だったネルソン長老の前任順位は第4位で、3人の前任使徒のうち二人は年下でした。生と死をつかさどる主が、預言者をお選びになるのです。現在93歳のネルソン大管長は驚くほど健康です。これから10年も20年もお元気でいてほしいと願っていますが、ただ、スキー場にはもう行かないでほしいと説得しているところです。

わたしたちは預言者を主に油注がれた者として支持していますが、わたしたちが礼拝するのは神である天の御父と、その御子だけであることを明言します。わたしたちがいつの日か、再び御二方のみもとに行けるのは、救い主イエス・キリストの功德と憐れみと恵みによるものです。²

なぜわたしたちは預言者に従うのか

イエスはまた、わたしたちに遣わされるしもべ僕について重要な真理も教えておられま



フランス、カルカソンヌ



118番目のひ孫とネルソン大管長

す。主は言われました。「あなたがたを受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしをおつかわしになったかたを受け入れるのである。」³

主の預言者の最も重要な役割は、救い主について教え、わたしたちを主のもとに導くことです。

ラッセル・M・ネルソン大管長には、従うべき多くの論理的な理由があります。信仰を異にする人々でさえ、彼のすばらしさを認めています。大管長は22歳で医師となり、心臓外科医として尊敬を集め、開胸手術の開発におけるパイオニアとしてよく知られています。

多くの人々が彼の知恵と判断力を高く評価しています。90年の間、生と死について学び、私利私欲なく生き、世界中の神の子供たちを愛して教え、10人の子供、57人の孫、118人のひ孫を持つ、豊かな人生経験の持ち主なのです。(ひ孫の数は頻繁に変わります。一人のひ孫は今週の水曜日に生まれたばかりです。)

大管長をよく知る人はまた、「ネルソン大管長は人生の困難に信仰と勇気をもって立ち向かった」と言います。大管長の37歳の娘エミリーが、愛する夫と5人の幼い子供を残してがんで亡くなったとき、わたしは大管長がこう言うのを聞きました。「わたしは彼女の父であり、医師であり、主イエス・キリストの使徒でしたが、頭を垂れて『わたしの思いではなく、御心が行われますように』と認めなければなりません。』⁴

塔の見張り人

このようなすばらしい特質に感銘を受けはしますが、わたしたちがネルソン大管長に従うのはなぜでしょうか。わたしたちはなぜ預言者に従うのでしょうか。それは、主イエス・キリストが彼を召し、御自身の塔の見張り人とされたからです。

カルカソヌは、中世に建てられたフランスの驚くべき城郭都市です。防護壁からそびえる高い塔は、見張り人が昼夜を問わずそこに立ち、遠くの敵を見張るために建てられました。敵が近づくの目にする、見張り人は警告の声を上げ、カルカソヌの人々を差し迫る、見えぬ危険から守ったのでした。

預言者は塔の見張り人であり、見えぬ霊的な危険からわたしたちを守ってくれます。

主はエゼキエルに言われました。「わたしはあなたを立てて、イスラエルの家を見守る者とする。あなたはわたしの口から言葉を聞き、わたしに代って彼らを戒めよ。」⁵

わたしたちはよく、預言者に従う必要があると言いますが、主がその預言者に課しておられる重荷について考えてみてください。「あなたが悪人を戒めて、その道から離れさせるように語らなかつたら、悪人

は自分の罪によって死ぬ。……わたしはその血を、あなたの手を求める。」⁶

さらなる個人的な証

わたしたちは、もしペテロやモーセの時代に生きていたら彼らを受け入れていたように、ネルソン大管長を受け入れます。神はモーセにこう告げられました。「わたしはあなたの口と共にあって、あなたの言うべきことを教えるであろう。」⁷ わたしたちは主の預言者の言葉を「〔主御自身の〕口から出ているかのように」信仰をもって受け入れます。⁸

これは盲目的な信仰でしょうか。いいえ、違います。わたしたちにはそれぞれ、イエス・キリストの福音の回復が真実であるという霊的な証があります。わたしたちは自らの意思と選択により、今朝手を挙げて、「信頼と信仰と祈りによって」⁹ 主の預言者を支持し、その勧告に従うことを表明しました。末日聖徒として、わたしたちはネルソン大管長が神によって召されたという個人的な確認を受ける特権があります。妻のキャシーは30年近く前からネルソン大管長を個人的に知っており、大管長に天与のかいとう外套が授けられたことに何の





疑いも持っていませんが、大管長が聖任されてからというもの、預言者としての役割をより深く実感できるように祈りながら、過去34年間のネルソン大管長の大会説教を読み返し始めました。謙遜に、ふさわしい方法で求めるなら、皆さんにもさらなる証が与えられることを証します。

わたしたちは、なぜ進んで預言者の声に従うのでしょうか。永遠の命を熱心に求める人々にとって、預言者の声は荒れ狂う世にあって霊的な安全をもたらすものです。

わたしたちは非常に騒々しい惑星に住んでいます。インターネット、スマートフォン、数々の娯楽など、あらゆるものがわたしたちの注意を引いて影響を及ぼし、製品を買わせてその標準を受け入れさせようとします。

絶え間なく流れ込む情報と意見は、「だまし惑わす策略」にはまり、「吹きまわされたり、もてあそばれたりする」¹⁰ という聖文の警告を思い起こさせます。「風の吹くままに」¹¹ 「人々の悪巧みによって」¹² それらは起こります。

わたしたちの心を主イエス・キリストにつなぎとめるには、主が遣わされる人々の声に耳を傾ける必要があります。混沌とした世にあって預言者に従うことは、凍て

つくような寒い日に、温かく心地良い毛布に包まれるようなものです。

わたしたちは理性、討論、口論、論理、説明を重視する世に生きています。「なぜ?」という質問は、生活の多くの場面において建設的なものです。知性の力により、日々直面する無数の選択肢から選択し、決断できるようにしてくれるからです。

しかし、主の声はしばしば説明なしにやって来ます。¹³ 信頼を寄せる伴侶や子供たちに対して、不貞が及ぼす影響について学者たちが研究し始めるずっと前に、主は「あなたは姦淫してはならない」と宣言されました。¹⁴ わたしたちは知性だけに頼ること以上に、聖霊の賜物を大切にします。

驚かないでください

預言者の声は優しく語りかけますが、しばしばわたしたちが変わるように、悔い改めて主に立ち返るように求めます。正す必要があるなら、先延ばししないようにしましょう。また、預言者の警告が現在支持の厚い意見と異なっても、心配しないでください。預言者が口を開くやいなや、不信仰な人々がいらだち、あざけりの声を浴びせるのはいつものことです。へりくだって主の預言者の勧告に従うなら、安全と平安の祝福が増し加えられる

ことを約束します。

時折、自分の見解が主の預言者の教えとはじめから一致しなくても、驚かないでください。ひざまずいて祈るなら、それはわたしたちにとって、学び、へりくだる機会となります。わたしたちは神を信頼し、信仰をもって前進します。やがて天の御父から、霊的により明瞭な教えを受けられると知っているからです。ある預言者は、救い主の比類ない賜物を「御子の御心は御父の御心にのみ込まれてしまう」と表現しています。¹⁵ わたしたちの心を神の御心にゆだねる〔訳注—英語では「降伏する」という意味を持つsurrender〕ことこそ、降伏などではなく、栄えある勝利の始まりなのです。

中には、何が預言者の声で、何が預言者の個人的な意見なのかを知りたいと、預言者の言葉を分析しすぎる人もいることでしょう。

1982年、中央幹部に召される2年前に、当時のラッセル・M・ネルソン兄弟はこう述べています。『「大管長は、いつ預言者として語り、いつそうではないのか」と自問することは一切ありません。わたしの関心は、『どうしたらもっと預言者のようになれるか』ということにあります。』また、こう付け加えています。「わたしの〔哲学〕は、預言者の言葉の最後に疑問符を付けないで、代わりに感嘆符を付けることです。』¹⁶ これが、謙遜かつ霊的な人が選ぶ生き方です。それから36年たった今、彼は主の預言者となっています。

救い主を信じる信仰を強める

神の預言者の言葉を祈りの気持ちで研究し、注意深く、そして忍耐強く、自分の心を預言者の靈感された教えに霊的に沿わせるとき、主イエス・キリストを信じる信仰が強められることを、わたしは経験を通して知りました。¹⁷ 預言者の勧告を無視して自分の知恵に頼ることを選ぶなら、わたしたちの信仰は揺らぎ、永遠の観

点は曇ってしまいます。皆さんが断固として預言者に従い続けるなら、救い主を信じる皆さんの信仰は増し加えられると約束します。

救い主はこう言われました。「預言者は皆、わたしについて証した。」¹⁸

預言者は皆さんと救い主の間に立つものではありません。むしろ、皆さんの傍らに立ち、救い主に通じる道を指し示してくれるのです。預言者の最大の責任であり、わたしたちへの最も貴重な贈り物は、イエスがキリストであるというその揺るぎない証と確固とした知識です。かつてのペテロのように、わたしたちの預言者も「〔彼こそ〕生ける神の子キリスト」であると宣言しています。¹⁹

将来、わたしたちは地上での人生を振り返り、生ける預言者のいる時代に生きたことを喜ぶことでしょう。その日、わたしたちがこう語れるようにと祈ります。

わたしたちは預言者の言葉に耳を傾けました。

彼を信じました。

忍耐と信仰をもって、その言葉を研究しました。

彼のために祈りました。

彼を支持しました。

へりくだり、彼に従いました。

彼を愛しました。

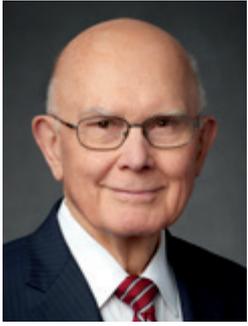
イエスがキリスト、救い主、贖い主であり、ラッセル・M・ネルソン大管長が地上における主の油注がれた預言者であることを厳かに証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. エレミヤ 1:5
2. 2ニーファイ 2:8 参照
3. マタイ 10:40
4. Personal memory ; also see Spencer J. Condie, *Russell M. Nelson : Father, Surgeon, Apostle* (2003), 235
5. エゼキエル 33:7
6. エゼキエル 33:8



7. 出エジプト 4:12
8. 教義と聖約 21:5
9. 教義と聖約 107:22
10. エベソ 4:14
11. ヤコブの手紙 1:6
12. エベソ 4:14
13. タリン・H・オークス管長は次のように言っています。「わたしは 1988 年のインタビューで、……神の啓示に対して人が理由をつけようとすることへの見解を説明しました。『主はなぜこれを命じられたのだろうか』『主はなぜあのように命じられたのだろうか』という疑問を抱きながら聖文を読んでも、100 回に 1 回も理由が分かることはないことに気づくでしょう。主はこのような形で理由を明らかにされないからです。わたしたち〔人間〕は啓示に理由をつけます。戒めにも理由をつけることがあります。そのようなとき、わたしたちは独りよがりになっています。一部の人はここで話題になっている〔啓示〕に理由をつけましたが、……それが見当外れだったことが分かりました。ここから学ぶべき教訓があります。……わたしはずいぶん昔にある結論に達しました。それは、戒めには信仰を持っているけれども、その戒めに関してほめかされる理由については信仰を持っていないということです。』……『……わたしにとっては、どの理由も自分が不要な危険にさらすものなのです。……過去に犯した過ちを繰り返さないようにしましょう。つまり、啓示に説明をつけないようにしましょう。説明は多くの場合、人間が作り上げたものだったことが後で分かります。啓示は、主の御心に従って支持するものであり、そこに安全があります。』(Life's Lessons Learned [2011], 68 – 69)
14. 出エジプト 20:14
15. モーサヤ 15:7
16. ラッセル・M・ネルソンの言葉を引用、レーン・ジョンソン「心臓外科医ラッセル・M・ネルソンと従順」『聖徒の道』1983 年 4 月号, 37 参照
17. ヘンリー・B・アイリング管長は言いました。「もう一つの誤った考えは、預言者の勧告を受け入れるか否かの選択を、良いアドバイスを受け入れて得をするか、それとも受け入れずに今の状態にとどまるかの選択と同列にとらえることです。しかし、預言者の勧告を受け入れないという選択をすると、わたしたちが立つ土台が変わり、わたしたちは今までよりもっと危険な状態にさらされます。預言者の勧告を受け入れなければ、後に与えられる靈感に満ちた勧告を受け入れる力が弱まるのです。ノアが箱舟を造ろうとしていたとき、それを助けようとの決断をする最良のときは、ノアが助けられるように求めた最初のときでした。その後は、求められては断ることを繰り返す度に御霊に対する感受性が失われていきました。そして、繰り返されるノアの警告が次第に愚かしく思えてきたところで雨が降り始めるのです。そのときはもう手遅れでした。」(「助言の中に安全を見いだす」『聖徒の道』1997 年 7 月号, 29)
18. 3ニーファイ 20:24
19. マタイ 16:16。ヨハネ 6:69 も参照



大管長会第一顧問
ダリン・H・オックス管長

教会役員の支持

これまで統計報告は4月の総大会のこの部会で提示されてきましたが、今後、この部会終了後すぐにLDS.orgに掲載されるとともに、教会機関誌の大会号にも掲載されることをお伝えします。

これから賛意の表明をいただくために、教会指導者の変更と教会の中央役員と地域七十人の名を提示します。その後、教会監査部実務運営ディレクターのケビン・R・ジャーゲンセン兄弟が2017年度の教会の監査報告を読み上げます。

十二使徒定員会の新しい会員としての召しが与えられましたので、わたしたちはゲレット・W・ゴング長老とウリセス・ソアレス長老を七十人会長会の会員から解任するように提議いたします。

さらに、クレグ・C・クリステンセン長老、リン・G・ロビンズ長老、ファン・A・ウセダ長老を七十人会長会会員から、2018年8月1日をもって解任いたします。

これらの兄弟たちの献身的な奉仕に対して感謝を示してくださる方は、その意を表してください。

わたしたちは、次の方々を地域七十人から解任するよう提議します。スティーブン・R・バンガーター、マシュー・L・カーペンター、マティアス・ヘルド、デビッド・P・ホーマー、カイル・S・マッケイ、R・スコット・ルニア、ファン・パブロ・ビラル。

これらの兄弟たちの熱心な働きに対し

て、わたしたちとともに感謝を示してくださる方は、手を挙げてその意を表してください。

わたしたちは、ボニー・L・オスカーソン姉妹、キャロル・F・マッコンキー姉妹、ニール・F・マリオット姉妹を、心からの感謝をもって中央若い女性会長会から

解任するよう提議します。また、素晴らしい働きをしてくださった中央若い女性管理会の会員も同様に解任します。

彼女たちの卓越した働きと献身に、ともに感謝を示してくださる方は、その意を表してください。

わたしたちは、中央初等協会会長会第一顧問として奉仕して下さったボニー・H・コードン姉妹を解任するよう提議いたします。

コードン姉妹に感謝を示してくださる方は、手を挙げてその意を表してください。

以下の方々を今後直ちに、七十人会長会の会員として支持するよう提議いたします。カール・B・クック長老、ロバート・C・ゲイ長老。

また、以下の方々は2018年8月1日から、七十人会長会の会員として奉仕します。テレンス・M・ビンソン、ホセ・A・テ



イシェイラ、カルロス・A・ゴドイ。

賛成の方は挙手をもってその意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

わたしたちは、次の方々を新しい中央幹部七十人として支持するよう提議します。ステイーブン・R・バンガーター、マシュー・L・カーペンター、ジャック・N・ゲラード、マティアス・ヘルド、デビッド・P・ホーマー、カイル・S・マッケイ、フアン・パブロ・ピラル、和田貴志。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

わたしたちは、次の方々を新たな地域七十人として支持するよう提議します。リチャード・K・アハジェ、アルベルト・A・アルバレス、デュエイン・D・ベル、グレン・バージェス、ピクトール・R・カルデロン、アリエル・E・チャパロ、ダニエル・コルドバ、ジョン・N・クレーグ、ミハイイル・チエズラ、ウィリアム・H・デイビス、リチャード・J・デヴリーズ、カイラル・G・ドミンゲス、ショーン・ダグラス、マイケル・A・ダン、ケネス・J・ファーメイジ、エドガー・フロレス、シルビオ・フロレス、サウロ・G・フランコ、カルロス・A・ジェナロ、マーク・A・ギルモア、セルジオ・A・ゴメス、ロベルト・ゴンサレス、ヴィルヒリオ・ゴンサレス、スペンサー・R・グリフィン、マシュー・S・ハーディング、デビッド・J・ハリス、ケビン・J・ハサウェイ、リチャード・ホルツアップフェル、ユスターシュ・イルンガ、オケチュクウ・I・イモ、ピーター・M・ジョンソン、マイケル・D・ジョーンズ、パングウェ・S・コンゴロ、ジョージ・ケネス・G・リー、アレテミオ・C・マリゴン、エドガル・A・マンティヤ、リンカーン・P・マーティンズ、クレメント・M・マツワゴサタ、カール・R・マウラー、ダニエル・S・メヘル・ジュニア、グレン・D・メラ、アイザック・K・モリソン、永友裕、アリストア・B・オジャーズ、R・ジェフリー・パーカー、ピクター・P・パトリック、デニス・E・ピネダ、

エンリケ・S・シンプリシオ、ジェフリー・H・シンガー、マイケル・L・スタヘリ、ジャロ・スピアントロ、ジェフリー・K・ウェツツェル、マイケル・S・ウィルステッド、ヘルマット・ワンドラ、デビッド・L・ライト。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

わたしたちは、ボニー・H・コードンを

中央若い女性会長に、ミッシェル・リン・クレーグを第一顧問、レベッカ・リン・クレーブンを第二顧問として支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方はその意を表してください。

わたしたちは、リサ・リーン・ハーケネスを中央初等協会会長会第一顧問として

2017年度 教会監査部報告

教会監査部実務運営ディレクター

ケビン・R・ジャーゲンセン提出

末日聖徒イエス・キリスト教会大管長会に対する報告

教義と聖約第120章の啓示に定められているように、教会基金の支出の承認は、什分の一配分評議会が行います。同評議会は、大管長会、十二使徒定員会、および管理ビショップリックで構成されています。教会の各部門は承認された予算のとおり、教会の方針と手続きに従って基金を使います。

教会監査は、資格のある専門家によって構成され、教会の他のあらゆる部門から独立しており、基金の収支と教会資産の保全に関する合理的保証を提供するという目的のために監査を行う責任があります。

監査の結果、教会監査では、2017年度において、教会のすべての資料、献金や寄付、支出、および教会資産は、適切な会計と承認された予算、および教会の方針と手続きに従って記録し、管理されているという見解に達しました。教会は、予算内で賄い、負債を避け、必要時に備えて貯蓄するという、教会員に対して教えられている慣行に従っています。

以上、謹んでご報告いたします。

教会監査部

ケビン・R・ジャーゲンセン

実務運営ディレクター ■



十二使徒定員会
デビッド・A・ベドナー長老

支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

そのほかの中央幹部、地域七十人、中央補助組織会長会を現在のまま支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

ネルソン大管長、表明が記録されました。これまでの提議のいずれかに反対の方はご自分のステーキ会長に連絡してください。

ただ今行われた支持により、現在中央幹部は116人となりました。40パーセント近くがアメリカ合衆国以外の次の国々の出身者です。ドイツ、ブラジル、メキシコ、ニュージーランド、スコットランド、カナダ、韓国、グアテマラ、アルゼンチン、イタリア、ジンバブエ、ウルグアイ、ペルー、南アフリカ、アメリカ領サモア、イギリス、プエルトリコ、オーストラリア、ベネズエラ、ケニア、フィリピン、ポルトガル、フィジー、中国、日本、チリ、コロンビア、フランス。

兄弟姉妹の皆さん、皆さんの変わらぬ信仰と教会の指導者のための祈りに感謝します。

新たな中央幹部七十人と新たな中央若い女性会長会の方々、そして中央初等協会会長会のハークネス姉妹は、壇上にござ席ください。■

柔和で 心のへりくだった者

柔和さは贖い主がどのような御方かを決定づけている重要な特質であり、義にかなった態度で応じ、進んで従い、自らをしっかりと制することによって表されます。

わ たしたちの教会指導者を支持する神聖な機会があることを喜ばしく思います。ゴング長老とソアレス長老を、十二使徒定員会に心から歓迎します。お二人の奉仕の業は世界中の個人や家族に祝福をもたらすことでしょう。ともに仕え、学んでいきたいと思っています。

救い主が備えておられる神の特質¹はわたしたち一人一人がその模範に倣って身につけるように努めるべきものであり、その重要な特質についてともに学ぶにあたって、聖霊がわたしたちを教え、照ら

してくださいように祈ります。

まずこのキリストのような特質がはっきりと現れている例を幾つか示し、その後、その具体的な特質を明らかにしたいと思います。それぞれの例をよく聞いて、わたしの問いに対してどのような答えが考えられるか、わたしと一緒に考えてください。

例1 裕福な青年とアミュレク

新約聖書の中に、イエスに次のように尋ねた裕福な青年のことが書かれています。「先生、永遠の生命を得るためには、どんなよいことをしたらいいでしょうか。」² 救い主はまず、戒めを守るように青年を諭されました。次に主は、青年の必要と状況に合わせてさらにもう一つのことを彼にお求めになりました。

「イエスは彼に言われた、『もしあなたが完全になりたいと思うなら、帰ってあなたの持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい。』

この言葉を聞いて、青年は悲しみながら立ち去った。たくさんの資産を持っていたからである。」³

この裕福な青年の反応を、モルモン書





に述べられているアミュレクの経験と比べてみてください。アミュレクは勤勉で裕福な人であり、多くの親族と友人がいました。⁴彼は自分自身について、自分は幾度となく呼ばれたが聞こうとせず、神にかかわる事柄について知っていながら知りたいと思わなかったと述べています。⁵根は善良な人でしたが、新約聖書で述べられている裕福な青年のように、アミュレクはこの世の事柄に心を奪われていたのです。

以前は心をかたくなにしていたのですが、アミュレクは天使の言葉に従い、預言者アルマを家に迎え入れ、食物を提供しました。そしてアルマの滞在中に霊的に目覚め、福音を宣べ伝えるように召されました。その後、アミュレクは「かつて自分の友であった者たちから拒まれ、また自分の父親や親族からも拒まれ……自分の金、銀、貴重な品々をすべて神の言葉のために」捨てました。⁶

裕福な青年とアミュレクが異なる反応を見せたのはなぜだと思いますか。

例2 パホーラン

モルモン書に述べられている戦争の危機的な時期に、ニューフェイスの軍の司令官であったモロナイと、大さばきつかさであり国の総督であったパホーランが手紙のやりとりをしています。モロナイの軍は政府からの支援が不十分であったために苦しんでおり、モロナイはパホーランを「非難」する手紙を書き、⁷パホーランと他の指導者たちのことを無頓着で、怠慢で、民を心にかけず、国賊ですらあると非難しました。⁸

パホーランは、モロナイとその誤った主張に対して容易に腹を立てることもできたでしょうが、そうはしませんでした。思いやりをもって応じ、モロナイの知らなかった政府に対する謀反について述べました。その後、パホーランは次のように述べています。

「まことに、モロナイ殿、あなたに申しませんが、わたしはあなたがひどい苦難を受

けていることを喜ばず、むしろ、そのことを深く悲しんでいます。……

……あなたは手紙の中でわたしをとがめましたが、それはどうでもよいことです。わたしは怒っておらず、むしろあなたの心の広さを喜んでいきます。」⁹

モロナイの非難にパホーランが落ち着いて応じたのはなぜだと思いますか。

例3 ラッセル・M・ネルソン大管長とヘンリー・B・アイリング管長

6か月前の総大会で、ラッセル・M・ネルソン大管長は、モルモン書に記されている真理を研究し、深く考え、生活に取り入れるようにというトーマス・S・モンソン大管長の招きに自分がこたえたことについて話しました。ネルソン大管長は次のように述べています。「わたしはその勧告に従おうと努力してきました。その中の一つとして、モルモン書がどのような書物で、何を確かにし、何に対して異議を唱え、何を成就し、何を分かりやすく説明し、何を明らかにしているかを簡条書きにすることから取り組みました。このような観点でモルモン書を見ることは、洞察と靈感を得る訓練となります。これを、皆さん一人一人にもお勧めします。」¹⁰

ヘンリー・B・アイリング管長も同じように、モンソン大管長の勧めが自分の生活において重要なものであることを強調しました。こう述べています。

「〔わたしは〕50年以上にわたって毎日モルモン書を読んできました。ですから、モンソン大管長の言葉はほかのだれかに向けて語られたのだと考えてもよかったのかもしれませんが。しかし、皆さんの多く

と同様、わたしは預言者の勧めと約束を聞いて、さらに努力するよう招かれていると感じたのです。……

わたしにとっても皆さんの多くにとっても、うれしいことに、その結果として預言者の約束が成就しました。」¹¹

主の教会のこれら2人の指導者が、モンソン大管長の招きに直ちに心から応じたのはなぜだと思いますか。

アミュレク、パホーラン、ネルソン大管長とアイリング管長が霊的な強さをもって応じた理由が、キリストのような特質の一つだけによるものと言っているではありません。確かに、これら4人の高潔な僕たちの人生に表れている霊的な成熟さは、相互に関連のある数多くの特質や経験によってもたらされたものです。しかし、救い主とその預言者たちは、わたしたち全員がもっと十分に理解し、生活に取り入れるように努める必要のある、欠くことのできない特質を強調してこられました。

柔和

次の聖句で、主が御自分について述べる際に挙げておられる性質に注目してください。「わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。」¹²

選ぶことのできたであろうあらゆる特質や徳の中から、救い主が柔和を強調することをお選びになっていることは、示唆に富んでいます。

1829年に預言者ジョセフ・スミスが受けた啓示にも同様のことがはっきりと見られます。主は次のように言っておられま



す。「わたしに学び、わたしの言葉を聴きなさい。わたしの御霊の柔和な道を歩みなさい。そうすれば、あなたはわたしによって平安を得るであろう。」¹³

柔和さは贖い主がどのような御方かを決定づけている重要な特質であり、義にかなった態度で応じ、進んで従い、自らをしっかりと制することによって表されます。この特質について考えると、アミュレクやパホーラン、ネルソン大管長、アイリング大管長がそれぞれ示した反応をさらによく理解することができます。

例えば、ネルソン大管長とアイリング大管長は、モルモン書を読んで研究するようというモンソン大管長の勧めに、義にかなった態度ですぐに応じました。二人とも教会において皆に知られた重要な役職で奉仕しており、何十年にもわたって聖文を幅広く研究していたにもかかわらず、何のためらいも尊大さも見せることなく応じたのです。

アミュレクは神の御心に進んで従い、福音を宣傳伝える召しを受け入れ、快適な環境と親しい人々との関係を後に残して出て行きました。そしてパホーランは、作用されるよりも作用する者となる広い視野と強い自制心に恵まれて、政府に対する謀反によって生じていた困難についてモロナイに説明しました。

現代社会では、柔和というキリストのような特質はしばしば誤解されています。柔和とは弱さではなく強さであり、受け身ではなく能動的で、臆病ではなく勇気があり、行き過ぎることなく節度があり、自らについて誇張せずに慎み深く、無作法でなく礼儀正しいことです。柔和な人は容易に怒らず、うぬばれず、尊大にならず、

他人が成し遂げた事柄を快く称えます。

謙遜さは一般に神を頼りとし、神の導きと支えを絶えず必要とすることを意味します。それに対して、**柔和**の際立った特徴は、聖霊から学ぶことに対して、そして能力や経験や教育において劣っているように思える人や重要な役職にない人、そのほかあまり貢献するものがないように思える人から学ぶことに対して特に優れた霊的な受容性を備えていることです。スリヤ王の軍勢の長ナアマンがその高慢さを克服し、柔和になって僕たちの助言を受け入れ、預言者エリシャに従ってヨルダン川で7度身を洗ったときのことを思い出してください。¹⁴ 柔和であることは、名声、地位、権力、富、称賛によってしばしば生じる高慢な盲目の状態からの主要な守りなのです。

柔和——キリストのような特質、霊的な賜物

柔和は、それを得たいと望み、道徳的な選択の自由を義にかなって行使し、いつも罪の赦しを保てるように努めることを通してはぐくまれる特質です。¹⁵ また、わたしたちが求めることがふさわしい霊的な賜物でもあります。¹⁶ しかし、そのような祝福が何のために与えられているのか、すなわち、神の子たちを益し、彼らに仕えるために与えられているということ覚えておくべきです。¹⁷

救い主のもとに来て主に従うとき、わたしたちは次第に少しずつ主のようになることができます。御霊によって、自制心を働かせ、落ち着いた穏やかな振る舞いをする力を授かります。このように、柔和さとは単にわたしたちの行うことではなく、主の弟子としてわたしたちがなる状態のこと

なのです。

モーセは「エジプト人のあらゆる学問を教え込まれ、言葉にもわざにも、力が」ありました。¹⁸ それにもかかわらず、モーセは「その人となり柔和なこと、地上のすべての人にまさって」いました。¹⁹ その知識と能力のゆえに高慢になっても不思議ではありませんでした。しかしそうならずに、柔和という特質と霊的な賜物に恵まれて、人生において傲慢さは消えていき、モーセは神の目的を成し遂げるために使われる大いなる者となりました。

主が示された柔和の模範

柔和であることの最も崇高で意義深い模範は、救い主御自身の生涯に見いだすことができます。

大いなる贖い主は、「万物の下に身を落とし」²⁰、「すべての不義からわたしたちをきよめ〔る〕」ために苦しみ、血を流し、亡くなられた御方であり、²¹ 御自分の弟子たちのほこりまみれの足を優しくお洗いになりました。²² そのような柔和さは、僕、また指導者としての主の顕著な特徴です。

ゲツセマネで激しい苦しみを受けたとき、イエスは義にかなった態度で応じ、進んで従うことの究極の模範を示しておられます。

「〔イエスは〕いつもの場所に着いてから、〔弟子たち〕に言われた、『誘惑に陥らないように祈りなさい。』」²³

そしてご自分は、……ひざまずいて、祈って言われた、

『父よ、みこころならば、どうぞ、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの思いではなく、みこころが成るようにしてください。』²³

この永遠に不可欠であって極度の苦痛を伴う経験の中で救い主が示された柔和さは、自分自身の知恵よりも神の知恵を優先することの大切さをわたしたち一人一人に示しています。

主がいつでも進んで従い、御自身を



しっかりと制しておられたことは、わたしたち皆に畏敬の念をもたらし、教訓を与えてくれます。神殿の衛兵とローマ兵の一団がゲツセマネに来て、イエスを捕えて拘束しようとしたとき、ペテロは剣を抜いて大祭司の僕の右の耳を切り落としました。²⁴ そのとき救い主は、その僕の耳に手を触れてお癒しになりました。²⁵ 救い主が手を伸ばして、御自分を捕えるかもしれない人を、御自分が捕えられて十字架につけられるのを防ぐために用いることもできた同じ天の力を用いて祝福されたということに注目してください。

また、主がピラトの前で訴えられ、十字架の刑を宣告されたときのことについて考えてください。²⁶ イエスは裏切りの場面で、「それとも、わたしが父に願って、天の使たちを十二軍団以上も、今つかわしていただくことができないと、あなたは思うのか」と言っておられました。²⁷ それにもかかわらず、「生者と死者双方の永遠の裁き主」²⁸ は、逆に一時的に政治を行う者として任命された人の前で裁きをお受けになったのです。「しかし、総督が非常に不思議

に思ったほどに、イエスは何を言われても、ひと言もお答えにならなかった。」²⁹ 救い主の柔和さは、主が自制心をもって応じ、確固として抑制を働かせ、御自分の持つ無限の力を自らの利益のために用いようとなさらなかったことにはっきりと表れています。

約束と証

モルモンは柔和さを、すべての霊的な能力や賜物が生じる礎と見なしています。

「したがって、もし人に信仰があれば、必ず希望もあるに違いない。信仰のない希望はあり得ないからである。

さらに見よ、あなたがたに言う。柔和で心のへりくだった人でなければ、信仰と希望を持つことはできない。

たとえ持てたとしても、その人の信仰と希望はむなしいものである。柔和で心のへりくだった人でなければ、神の御前に受け入れられないからである。また、人が柔和で、心がへりくだっており、イエスがキリストであることを聖霊の力によって認めるならば、その人には慈愛が必ずなけ

ればならない。慈愛がなければ、その人は何の価値もない。したがって、人には慈愛が必ずなければならない。」³⁰

救い主は次のように宣言されました。「柔和な人たちは、さいわいである、彼らは地を受けつぐであろう。」³¹ 柔和さは神の特質の欠くことのできない要素であり、救い主の贖いのおかげで、また贖いを通して、人生の中で授かり、伸ばすことができるものです。

イエス・キリストが復活して生きておられるわたしたちの贖い主であることを証します。わたしたちが主の御霊の柔和な道を歩むとき、主がわたしたちを導き、守り、強めてくださることを約束します。これらの真理と約束を、主イエス・キリストの聖なる御名により確かに証します、アーメン。■

注

1. 2ペテロ1:4 参照
2. マタイ19:16
3. マタイ19:21-22
4. アルマ10:4 参照
5. アルマ10:5-6 参照
6. アルマ15:16
7. アルマ60:2
8. アルマ60:5-33 参照
9. アルマ61:2, 9
10. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書——この書物なしの人生とは」『リアホナ』2017年11月号, 61
11. ヘンリー・B・アイリング「善を行うのを恐れてはならない」『リアホナ』2017年11月号, 100
12. マタイ11:29; 強調付加
13. 教義と聖約19:23; 強調付加
14. 列王下5:1-17 参照
15. モーサヤ4:12, 26; モロナイ8:25-26 参照
16. 教義と聖約46:8 参照
17. 教義と聖約46:8-9, 26 参照
18. 使徒7:22
19. 民数12:3
20. 教義と聖約88:6
21. 1ヨハネ1:9; 強調付加
22. ヨハネ13:4-5 参照
23. ルカ22:40-42
24. ヨハネ18:10 参照
25. ルカ22:51 参照
26. マタイ27:2, 11-26 参照
27. マタイ26:53
28. モロナイ10:34
29. マタイ27:14
30. モロナイ7:42-44
31. マタイ5:5



七十人
テラー・G・ゴドイ長老

あともう一日

わたしたち一人一人に今日という日が与えられています。そして、進んで犠牲を払うことが、今日を成功へと導く鍵となります。

数年前、わたしの友人夫婦にブリガムという名前のかわいい赤ちゃんが生まれました。生まれてから、ブリガムは難病のハンター症候群と診断されました。それは彼の命が長くないことを意味していました。ある日、ブリガムと家族が神殿の庭に来ていたときに、ブリガムが「あともう一日」という言葉を2回口にしました。そして次の日、ブリガムは亡くなりました。

わたしは何度かブリガムのお墓を訪ね、その度に、「あともう一日」という言葉について深く考えました。あともう一日しか生きられないと知っていたら、その言葉はどのような意味を持ち、またわたしの人生にどのような影響をもたらすだろうかと考えました。わたしは、妻や子供、ほかの人に対してどのように接するだろうか。もっと忍耐深く、礼儀正しくなるだろうか。自分の体を大切にしようか。より熱心に祈り聖文を研究しようか。わたしたちは皆、「あともう一日」と気づく瞬間、つまり与えられている時間を賢く使う必要があるということを何らかの形で認識する時がやってくると思います。

旧約聖書には、ユダ王国の王ヒゼキヤのことが書かれています。預言者イザヤは、ヒゼキヤがもうすぐ亡くなることを伝えました。預言者の言葉を聞いたヒゼキヤは、祈り、懇願し、ひどく泣き始めまし

た。そこで神は、ヒゼキヤの命を15年増しました（イザヤ 38：1-5 参照）。

もしわたしたちの残りの命が短いと伝えられたら、同じように、やり残したことや、やり直したいことのために、もう少し時間を延ばしてくださるよう歎願するのではないのでしょうか。

わたしたち一人一人に与えられた時間、つまり主が御自分の知恵で定められた時間の長さにかかわらず、すべての人に今日という日が与えられています。そして、進んで犠牲を払うことが、今日を成功へと導く鍵となります。

主は言われました。「見よ、今、人の子

の来臨までは今日と呼ばれる。まことに今日は犠牲の日である。』（教義と聖約 64：23, 強調付加）

犠牲という言葉は、ラテン語の「神聖な」という意味のサチエル（sacer）と「作る」という意味のファチエレ（facere）から来ています。つまり物事に誉れをもたらすために神聖なものにするということです。

「いけにえ（犠牲）は天の恵みもたらす」（「たたえよ、主の召したまいし」『賛美歌』（英文）27 番）

犠牲がわたしたちの日々を有意義で祝福された日とするのはどうしてでしょうか。

第1に、個人の犠牲はわたしたちを強め、犠牲にしたものに価値を与えます。

何年も前の断食安息日の日に、年配の女性が証をするために壇上に上がってきました。彼女は、ペルーのアマゾンにあるイキトスという町に住んでいました。バプテスマを受けたときからずっとペルー・リマ神殿で儀式を受けるのを目標にしてきたと話してくれました。彼女は長年にわたり忠実に什分の一を払い、わずかな収入を貯金してきました。

神殿に参入し神聖な儀式を受けた彼女の喜びは、語った言葉に表れていました。「わたしは今、とばりを通る準備がやっとで



きたとすることができます。わたしは世界で一番の幸せ者です。お金をためて神殿に来るのに何年かかったか皆さんは知らないでしょう。そして川で7日間、バスで18時間かけ、ついに主の宮に入れました。神殿を去るときに、自分自身に言いました。神殿に行くために必要とされたすべての犠牲を払った後に、交わしたあらゆる聖約を軽視するようなことは、どんなことがあってもしません。無駄になってしまうからです。これはとても重大な決意です。」

この姉妹から、個人の犠牲は、わたしたちの決断と決意を動かす計り知れない原動力だということを学びました。個人の犠牲は、わたしたちの行動、決意、聖約を動かす原動力となり、神聖な物事を有意義なものとしします。

第2に、ほかの人のための犠牲や、わたしたちのために払われた犠牲は、すべての人を祝福します。

わたしが歯科学校の学生だったとき、わたしが住んでいた地域の経済状況は好ましいものではありませんでした。インフラにより紙幣の価値がどんどん下がっていきました。

わたしが口腔手術のクラスを取ろうとしていた年のことを覚えています。その学期のクラスを登録する前に、手術器具をすべてそろえる必要がありました。わたしの両親は、そのためにお金をためていました。しかしある夜、思いも寄らないことが起こりました。わたしたちは器具を買いに行きましたが、すべての器具を買うためにためたお金では、ピンセットのセットしか買うことができないことに気づきました。わたしたちは手ぶらで家に帰り、大学の次の学期は行くことができないという思いで心が沈んでいました。突然、母が言いました。「テーラー、来なさい。出かけるわよ。」

わたしたちは、宝石を売り買いする店がたくさんある町の中心部に行きました。一つの店に着くと、母はバッグから青色の



小さな袋を取り出しました。それには、美しい金のプレスレットが入っていて、「愛する娘へ、父より」と刻まれていました。それはわたしの祖父が母の誕生日に贈ったプレスレットでした。そして母はわたしの目の前でそれを売ったのです。

お金を受け取ると、母はわたしに言いました。「わたしが確信していることが一つあるとすれば、それはあなたが歯医者になるということ。これで必要な器具を買いなさい。」その日以来、わたしがどのような学生になったか想像できるでしょうか。母が払った犠牲の大きさを知っていたので、わたしはクラスで一番の生徒となり、できるかぎり早く卒業したいと思いました。

わたしは、わたしたちのために払われた愛する者からの犠牲は、砂漠で乾いたのどを潤す冷たい水のように、わたしたちに活力を与えることを学びました。そのような犠牲は、希望と意欲をもたらします。

第3に、わたしたちが払う犠牲は、神の御子の犠牲に比べれば小さなものです。

大切にしていた金のプレスレットの価値ですら、神の御子の犠牲と比べものになるでしょうか。わたしたちはどうやってその無限の犠牲を尊ぶことができるでしょうか。わたしたちは毎日、信仰深く生きる日があともう一日与えられていることを思い出すことができます。アミュレクは教えました。「まことに、進み出て、もはや心をかたくなにしないでほしい。見よ、今があなたがたの救いの時であり、救いの日である。したがって、あなたがたが

悔い改めて心をかたくなにしなければ、偉大な贖いの計画はすぐにあなたがたに効果を及ぼすであろう。」(アルマ 34 : 31) 別の言葉で言えば、もしわたしたちが主に打ち砕かれた心と悔いる霊をささげるなら、わたしたちの生活の中に偉大な贖いの計画の祝福がすぐに表れるということです。

イエス・キリストの犠牲により、贖いの計画が可能なのです。その犠牲について、主御自身はこう言われました。「その苦しみは、神であって、しかもすべての中で最も大なる者であるわたし自身が、苦痛のためにおののき、あらゆる毛穴から血を流し、体と霊の両方に苦しみを受けたほどのものであった。そしてわたしは、その苦い杯を飲まずに身を引くことができればそうしたいと思った。」(教義と聖約 19 : 18)

そしてこの犠牲のゆえに、心からの悔い改めの過程を歩むことで、わたしたちの過ちや罪の重荷を取り除くことができます。実に、罪悪感、恥、痛み、苦しみ、自分自身を見下すことが、澄んだ良心、幸福、喜び、希望へと取って代わるのです。

同時に、主の犠牲を尊び感謝を示すことで、より良い神の子供となり、罪から遠ざかり、今まで以上に聖約を守るという熱烈な望みを受けることができます。

そうしたら、エノスのように罪の赦しを受け、自分自身を犠牲にし、同胞の幸いを願う気持ちを感じるようになるでしょう(エノス 1 : 9 参照)。そして「あともう一日」



前中央若い女性会長
ボニー・L・オスカーソン

の日々に、さらに進んでハワード・W・ハンター大管長の招きに従いたいと思うでしょう。「争いを修復してください。忘れられている友を探し出してください。疑念をはねつけ、それを信頼に変えてください。……穏やかな返答をしてください。青少年を励ましてください。言葉と行いであなたの誠実さを示してください。約束を守ってください。人へのわだかまりを捨ててください。敵対する人を赦してください。謝ってください。理解するように努めてください。ほかの人々に対するあなたの要望を吟味してください。まずほかの人のことを考えてください。親切であってください。優しくあってください。もう少し笑ってください。感謝を述べてください。見知らぬ人を歓迎してください。子供の心を喜ばせてください。……あなたの愛を何度も言葉にして告げてください。」(『歴代大管長の教え——ハワード・W・ハンター』31: adapted from “What We Think Christmas Is,” McCall’s, Dec. 1959, 82 – 83

わたしたちが払う個人の犠牲とほかの人から受ける犠牲から生じる強さと原動力が、わたしたちの日々の生活に満たされますように。そして特別な方法で、御子がわたしたちのために払われた犠牲による平安と喜びを感じることが出来ますように。その平安は、アダムが墮落したのは人が存在するためであり、人(つまり皆さん)が存在するのは喜びを得るためであると書かれている箇所です(2ニーファイ2:25参照)。その喜びは本物であって、犠牲と救い主イエス・キリストの贖いによってのみ与えられます。

主に従い、主を信じ、主を愛し、そしてあともう一日生きる機会が与えられる度に、主の犠牲が示された愛を感じることが出来ますように。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

業に励む若い女性たち

教会の若い女性はだれも、尊重され、奉仕する機会を与えられ、この業に貢献できる大切なものを持っていると感じるべきです。

年前の総大会の中央神権部会で、ジェラルド・コセービショップは教会の男性たちに向かって話し、アロン神権者とメルキゼデク神権者が救いの業を達成するためのパートナーとして切っても切れない関係にあることを説明しました。¹ そのメッセージは、アロン神権を持つ若い男性がこの地上における神の王国の建設に自らが果たす役割を理解するのを助け、大きな祝福になりました。両者が一致して奉仕することにより、教会が強められ、若い男性は自らの貢献がどれほど貴重で、この業がどれほど荘厳であるかを目にして、心に深い改心と固い決意を抱くようになります。

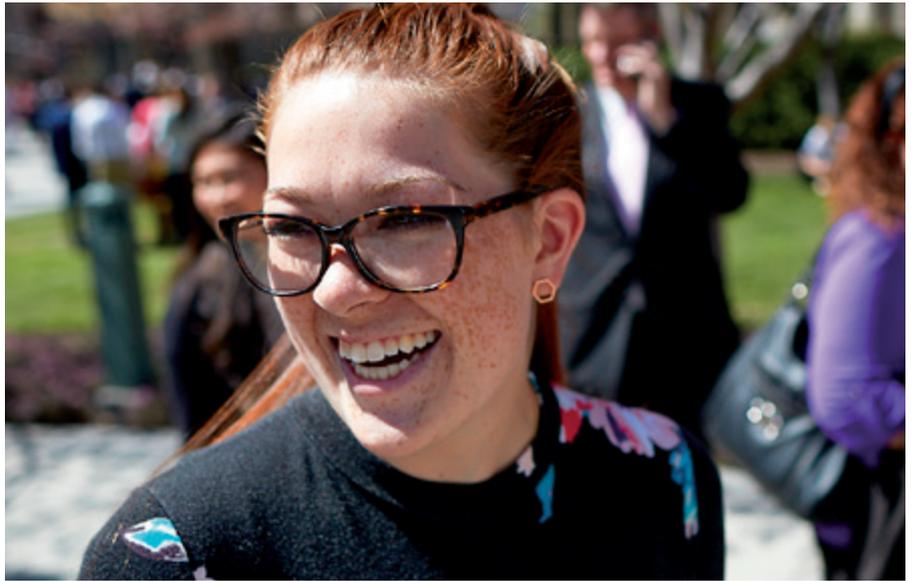
今日、わたしはそのメッセージに付け加えて、教会の若い女性も家族と教会における主の業の達成に同等に必要とされ、欠かすことのできない存在であることについて話したいと思います。

わたしもコセービショップのように十代の大半を教会の小さな支部で過ごし、通常なら大人が行う割り当てや召しを果たすように頼まれることがよくありました。例えば、わたしたち青少年が率先して活動や特別なイベントを計画し運営することもよくありました。劇の台本を書いたり、支部の活動の余興のためにグループを作って歌ったり、あらゆる集会に積極的に参加していました。わたしは支部の音楽

指導者に召され、毎週聖餐会で賛美歌の指揮をしました。16歳で毎週日曜日に支部の全員の前に立ち、賛美歌の指揮をすることは、すばらしい経験でした。自分が必要とされていると感じ、貢献できることがあると知ることができました。人に頼りにされ、役に立っていると感じることでできてうれしかったです。その経験は、イエス・キリストの証を築くのを助け、コセービショップと同じように、わたしの人生を福音の奉仕に根差したものとしてくれました。

会員は皆、自分がどれほど必要とされ





ているかを知るべきです。人にはそれぞれ貢献できる大切なものがあり、この重要な業を進めるうえで役に立つ独自の才能や能力があります。若い男性には、教義と聖約に記されたアロン神権の義務があり、それは人の目に触れやすく、分かりやすいものです。教会の若い女性、その両親、またその指導者にとってそれほど分かりやすくはないかもしれませんが、若い女性にもバプテスマを受けたときから聖約を伴う義務があります。それは、「悲しむ者とともに悲しみ、慰めの要る者を慰めることを望み、……いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、死に至るまでも神の証人になる」ことです。² 若い女性がワードや支部でクラス会長や青少年評議会、その他の召しで奉仕するとき、これらの責任を果たす機会が与えられます。教会の若い女性は皆、尊重され、奉仕の機会を与えられ、この業に貢献できる大切なものを持っていると感じるべきです。

『手引き 第2部』によれば、ワード内の救いの業には「会員伝道活動、改宗者の定着、あまり活発でない会員の活発化、神殿・家族歴史活動、福音を教えること」が含まれています。³ この業は、ワードのための神権の鍵を持つ忠実なビショップによって導かれます。わたしたち会長会は長年、「それらの中で、若い女性がかかわってはいけないのはどの分野だろうか。」と自問してきました。若い女性はこの業のあらゆる分野で貢献できるものがある、というのがその答えです。

例えば、最近ラスベガス地域でワードの神殿・家族歴史相談員として召されている数人の若い女性に会ったのですが、彼女たちは、ワードの人々に先祖の探求について教え、先祖を見つける助けができることをとても喜び、輝いていました。彼女たちには貴重なコンピューターの技術があり、ファミリーサーチの使い方も学んで、その知識を人と分かち合いたいという熱

意もありました。また、証があり、亡くなった先祖が救いに欠かせない儀式を神殿で行うことができるよう、彼らの名前を探し出すことの大切さを理解していることは明白でした。

数か月前、わたしは14歳の若い女性二人に、あるアイデアを試してみました。実際のワード評議会で使われたアジェンダを2回分入手し、そのコピーをそれぞれエマとマギーに渡しました。そして二人に、アジェンダに目を通し、ワード評議会の取り組み事項の中で自分が役に立てそうなものがないか見てほしいと頼みました。エマはワードに転入予定の新しい家族がいるのを見つけ、引越越しと荷ほどきの手伝いができると言いました。その家族の子供たちと友達になって、新しい学校を案内してあげることもできると考えました。また、ワードの夕食会が近づいているのを見て、様々な手伝いを申し出ることができると感じました。

マギーは、ワードには訪問やフェロウシップが必要なお年寄りが数人いることに気づきました。そしてすばらしい年配の会員を喜んで訪問して助けたいと言いました。また、ワードの会員たちにソーシャルメディアのアカウントの設定の仕方と使い方を教えられることもできると感じました。二つのアジェンダの取り組み事項の中に彼女たちが手伝えないものは一つなかったのです！

ワード評議会の人々やワードで何らかの召しを受けている人々は、若い女性た

ちをワード内の多くの必要を満たすことのできる貴重なリソースとして見ているでしょうか。通常、だれかの奉仕が必要となるような状況がたくさんありますが、多くの場合、そのような必要を満たすことができるのはワードの大人だけだと考えがちです。アロン神権者が父親やほかのメルキゼデク神権者とともに働くよう招かれているように、若い女性も母親やほかの模範的な姉妹たちとともにワードの会員に奉仕し、彼らの必要に応えるために仕えるよう求められてもよいはずですが。若い女性は能力と熱意にあふれ、ただ日曜日に教会に出席するよりもはるかに多くを行う意欲があります！

近い将来若い女性が果たすよう期待される役割を考えると、わたしたちは、将来の宣教師、福音の研究者、教会の補助組織の指導者、神殿ワーカー、妻、母親、メンター、模範、そして友人を備えるために、今、どのような体験をさせてあげることができるかと自問するべきではないでしょうか。実際に、今からそのような役割の多くを果たしてもらうことができます。青少年はよく、自分の日曜学校のクラスでレッスンを教えるのを手伝うように頼まれます。死者のためのバプテスマを行うために青少年のグループで神殿を訪れるとき、以前は儀式執行者やボランティアの人がしていた奉仕を今は若い女性ができるようになってきました。今では、初等協会の年齢の女の子たちが神権および神殿準備集会に出席するよう招かれ、自分たちも



となって神の日の栄の王国にふさわしい家族を作るために備えています。

天の御父の業は、その子供たちに不死不滅と永遠の命をもたらすことであると証します。⁶ わたしたちの大切な若い女性には、この偉大な業の達成を助けるという重要な役割があるのです。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ジェラルド・コセー「道を備える」『リアホナ』2017年5月号、75 - 78 参照
2. モーサヤ 18:9
3. 『手引き 第2部 —— 教会の管理運営』22
4. 『手引き 第2部』10.3.1
5. マタイ 10:39 参照
6. モーセ 1:39 参照

神権によって導かれる業の重要な参加者なのだ理解できるようになっています。そして、男性も女性も、青少年も子供たちも皆、神権の祝福を受けていて、だれもが主の業を推し進めるうえで積極的な役割を果たすことができると学んでいます。

ビショップの皆さん、皆さんには重い責任があり、アロン神権定員会の管理が優先順位のトップにあることは知っています。しかし同様に、『手引き 第2部』にはこうも書かれています。「ビショップと顧問は若い女性の組織に対して神権による指導を行う。この取り組みにおいて、両親および若い女性指導者と綿密に協力しながら、若い女性一人一人を見守り、強める。」また、「ビショップと顧問は若い女性の集会、奉仕、活動に定期的に参加する」とも記されています。¹ わたしたちは、時間を取って若い女性のクラスを訪問してくださるビショップ、そしてワードの若い女性とその業の単なる傍観者で終わらぬよう機会を提供してくださるビショップに感謝しています。若い女性がワードの会員の必要に応える貴重な戦力となれるように心を砕いてくださるビショップに心から感謝します！そのような意義深い方法で奉仕を行う機会は、楽しむだけの活動よりずっと彼女たちを祝福してくれます。

教会の若い女性の皆さん、十代の日々は忙しく、苦しいことが多いかもしれませ

ん。皆さんの多くが自尊心、不安、強いストレス、もしかするとうつ病といった問題にさえも苦しんでいることをわたしたちは知っています。自分の問題について思い悩むより、外に目を向けてみましょう。問題がすべて解決するわけではありませんが、奉仕は往々にして重荷を軽くし、苦しみを和らげてくれます。自尊心を高める最良の方法の一つは、人々を気遣って奉仕することによって、自分には貢献できる大切なものがあると示すことです。⁵ 周りに助けが必要な人がいたら、奉仕を申し出て、手を貸してください。聖約の義務を果たし、神の王国の建設に参加するとき、祝福が皆さんの生活に注がれ、弟子となることに深い、永続する喜びを見いだすことでしょう。

兄弟姉妹の皆さん、若い女性は素晴らしいです。若い女性には才能、限らない熱意、エネルギー、思いやり、優しさがあり、役に立ちたいと願っています。自分たちが救いの業において大切な、かけがえない存在であることを知る必要があります。若い男性がアロン神権の中で、メルキゼデク神権というより大きな奉仕に進むために備えるように、若い女性は、扶助協会という地上で最も偉大な女性の組織の会員となるために備えているのです。このような美しく、強く、忠実な若い女性と若い男性は共に、妻や夫、母親や父親



七十人
タニエラ・B・ワコロ長老

救いの儀式は 驚くべき光をもたらす

皆さんが儀式を受け、関連する聖約を尊ぶことにより、ますます闇が深まる世の中であって驚くべき光と守りがもたらされます。

兄 弟姉妹、わたしは皆さんとともに福音、すなわちキリストの教義を喜んでいます。

ある日、一人の友人が当時七十人だったニール・L・アンダーセン長老に、カンファレンスセンターで2万1,000人の前で話すのはどんな気持ちか尋ねました。アンダーセン長老はこう答えました。「目の前の2万1,000人よりも、後ろに座っている15人の兄弟たちに緊張するんです。」これを聞いてわたしは笑いましたが、今はよく分かります。この15人の方々を預言者、聖見者、啓示者として心から愛し、支持しています。

主はアブラハムに、彼の子孫と神権を通して地のすべての氏族は「永遠の命の祝福である福音の祝福」を受けると言われました（アブラハム2：11。2-10節も参照）。

約束された福音と神権の祝福は地上に回復され、1842年に預言者ジョセフ・スマスは限られた男女にエンダウメントを執行しました。その中にマーシー・フィールドینگ・トンプソンがいました。預言者は彼女に「[このエンダウメント]はあなたを暗闇から出して、驚くべき光の中に導くでしょう」と言いました。¹

今日は、皆さんやわたしを驚くべき光に導く、救いの儀式に焦点を当てます。

儀式と聖約

『真理を守る』にはこうあります。「儀式は神権の権能を通して行われる神聖で外形的な業です。儀式……には昇栄に不可欠な……救いの儀式と呼ばれてい[るものがあり]ます。その中にはバプテスマ、確認、(男性の場合)メルキゼデク神権への聖任、神殿のエンダウメント、結婚の結び固めが含まれます。」²

デビッド・A・ベドナー長老はこう教えています。「回復された主の教会で執行される救いと昇栄の儀式は、……各個人の生活に天の祝福と力が流れ込むことのできる、認可された経路となるのです。」³

硬貨の両面のように、すべての救いの儀式には神との聖約が伴います。わたしたちがその聖約を忠実に尊ぶなら、神は祝福を与えると約束されています。

預言者アミュレクはこう宣言しました。「現世は……神にお会いする用意をする時期である。」(アルマ34：32)どのように備えればよいでしょうか。ふさわしい状態で儀式を受けるのです。そして、ラッセル・M・ネルソン大管長の言葉を借りれば、「聖約の道にとどま」らなければなりません。ネルソン大管長はこう続けています。「主と聖約を交わして救い主に従う決意をし、それらの聖約を守るとき、世界中の男性、女性、子供たちのために備えられた、あらゆる霊的な祝福と特権を享受する門戸が開かれるのです。」⁴

皆さんの多くと同じように、ジョン・ニューマンとボニー・ニューマンはネルソン大管長が約束した霊的な祝福を受けています。ある日曜日、3人の幼い子供たちを連れて教会に行って帰って来た後、ボニーはジョンに言いました。「こんなこ



と、わたし一人ではもうできないわ。あなたも一緒にわたしの教会に行くか、皆で一緒に行ける教会をあなたが選ぶか、決めてちょうだい。子供たちはお父さんも神を愛していることを知る必要があるわ。」翌週の日曜日から毎週、ジョンは教会に出席しただけでなく、多くのワード、支部、初等協会で何年もピアノの伴奏者をしました。わたしは2015年4月にジョンと会う機会があり、そのとき話したことは、ポニーへの愛を表す最良の方法は彼女を神殿に連れて行くことであり、それはジョンがバプテスマを受けなければ実現しないということでした。

39年間末日聖徒イエス・キリスト教会に出席した後、ジョンは2015年にバプテスマを受けました。1年後、ジョンとポニーはテネシー州メンフィス神殿で結び固めを受けました。彼女が自身のエンダウメントを受けてから20年後のことです。47歳の息子、ロバートは父親について、「父は神権を受けてから一気に開花しました」と言っています。ポニーもこう言っています。「ジョンは前から明るく、朗らかな人でしたが、儀式を受け、聖約を尊ぶことでさらに優しくなりました。」

キリストの贖罪と模範

何年前にも、ポイド・K・パッカー会長はこう警告しました。「福音の儀式がなければ、良い行いだけで人は罪の赦しを受けることも、昇栄することもできません。」⁵ 実際のところ、御父のみもとに帰るためには儀式と聖約だけでなく、御子イエス・キリストとその贖罪も必要です。

ベニヤミン王は、キリストの御名により、その御名を通じてのみ人の子らに救いをもたらされると教えました（モーサヤ3:17参照。信仰箇条1:3も参照）。

イエス・キリストはその贖罪を通して、アダムの墮落の結果からわたしたちを贖い、悔い改めと将来の昇栄を可能にしてくださいました。主はその生涯を通して、

「神性の力が現れる」救いの儀式を受けることの模範を示されました（教義と聖約84:20）。

救い主は「あらゆる義を満たすために」（2ニーファイ31:5-6参照）バプテスマを受けられた後、サタンの誘惑に遭われました。同じように、わたしたちもバプテスマや結び固めの後に誘惑に遭わなくなるわけではありませんが、神聖な儀式を受けてそれに伴う聖約を尊ぶことにより、驚くべき光に満たされ、誘惑に対抗し打ち勝つ力を得ます。

警告

イザヤは末日に「地は……汚された。これは彼らが……〔儀式を変え〕……たからだ」と預言しています（イザヤ24:5参照。教義と聖約1:15も参照）。

これに関連する次の警告が預言者ジョセフ・スミスに明らかにされました。ある人々は「彼らは唇をもってわたしに近づくが、その心はわたしから遠く離れている。彼らは人の戒めを教義として教え、神を敬うさまをするけれども神の力を否定している[。]」（ジョセフ・スミス歴史—1:19）

多くの人は「信心深い様子をしながらその実を捨てる……。こうした人々を避けなさい」とパウロも警告しています（2テモテ3:5）。繰り返し申し上げます。こう

した人々を避けてください。

この世で遭遇する多くの妨げや誘惑は「強欲なおおかみ」のようです（マタイ7:15）。おおかみが近づくときのために羊と群れを備え、守り、警告するのはまことの羊飼いです（ヨハネ10:12参照）。良い羊飼いの完全な生涯に倣おうとしている羊飼いか見習いとして、わたしたちはほかの人だけでなく、自分自信の羊飼いなのではないのでしょうか。預言者、聖見者、啓示者の勧告により、そして聖霊の力と賜物により、わたしたちは目を見張って備えていればおおかみが来るのが分かるでしょう。反対に、自分や人の命を守ることに無頓着であれば、不慮の災難が起きるでしょう。無頓着は不慮の災難を呼びます。わたしたち一人一人が忠実な羊飼いとなるようお勧めします。

経験と証

聖餐はわたしたちが道にとどまるのを助ける儀式であり、ふさわしい状態で参加するならば、ほかのすべての儀式に関連する聖約を守っている証となります。数年前、妻のアニタとわたしはアーカンソー州リトルロック伝道部で奉仕していました。ある日、二人の若い宣教師と一緒にレッスンを教えました。レッスンの中で、わたしたちが教えていた善良な兄弟はこう言いま





した。「あなたがたの教会に行ったことがあります。なぜ毎週パンと水を取るのですか。わたしの教会では年に2回、復活祭とクリスマスに取り、とても意義深いものです。」

わたしたちは彼に、「パンとぶどう酒を頂くためにしばしば集ま」るように命じられていると話しました（モロナイ6：6。教義と聖約20：75も参照）。一緒にマタイ26章と第3ニーファイ18章を声に出して読みました。彼は、それでもまだ必要性が分からないと言いました。

わたしたちは次に、このようなたとえをしました。「あなたが重大な交通事故に

巻き込まれたとします。あなたは大けがをして、意識不明です。だれかが近くを通り、意識のないあなたを見て119番に通報したところ、あなたは手当を受けて意識を取り戻します。」

わたしたちはこの兄弟に尋ねました。「自分の状況によりやく気がついたとき、あなたはどんなことを知りたいですか。」

彼はこう答えました。「自分がどのような経緯でそうなって、だれが見つけてくれたかということです。その人は命の恩人ですから、毎日感謝したいと思います。」

わたしたちはそこで、救い主がわたしたちの命を救われたこと、毎日、毎日、毎日主

に感謝する必要があることを話しました。

次にご尋ねました。「主がわたしたちのために御自身の命を捨てられたことを知って、あなたはどのくらいの頻度で主の体と血を記念するパンと水を取りたいですか。」

彼はこう言いました。「分かりました！よく分かりました！でも、もう一つ言わせてください。あなたがたの教会はわたしたちの教会ほど活気がありません。」

わたしたちはさらにご尋ねました。「では、イエス・キリストがあのドアから入って来られたらどうしますか。」

彼は「すぐにひざまずきます」と言いました。

わたしたちはご尋ねました。「末日聖徒の教会に入るとき、救い主へのそういう敬虔な気持ちを感じませんか。」

彼はこう言いました。「分かりました！よく分かりました！」

彼はその復活祭の日曜日に教会に来て、その後もずっと通い続けました。

一人一人次のように自問するようお勧めします。「聖餐を含め、わたしが受ける必要のある儀式は何だろうか。わたしが交わり、守り、尊ぶべき聖約は何だろうか。」皆さんが儀式を受け、関連する聖約を尊ぶことにより、ますます闇が深まる世の中にあって驚くべき光と守りがもたらされることを約束します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』414
2. 『真理を守る』46。『手引き第2部——教会の管理運営』2.1.2も参照
3. デビッド・A・ベドナー「いつも罪の赦しを保つ」『リアホナ』2016年5月号、59-60
4. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018年4月号、7
5. ボイド・K・パッカー「唯一真の教会」『聖徒の道』1986年1月号、80-81参照



中央日曜学校会長第一顧問
デビン・G・デュラント

家庭で教える —— 神聖で喜びに満ちた責任

家庭でキリストのような教師になろうと努力するときに、天の助けがあるよう願います。

いとしい妻のジュリーとわたしが育てた6人の大切な子供は、全員家を離れ、つい最近夫婦二人だけになりました。家に子供が四六時中いたときを懐かしく思います。子供たちから学び、彼らに教える機会がなくなり、寂しく思います。

今日は両親の皆さん、また両親になることを望んでいる人に向けてお話しします。皆さんの多くは今、子育てをしています。ほかの人は、その機会がもうすぐやってくるかもしれません。別の人にとっては、親になることはまだ先にある祝福かもしれません。子供を教えることが神聖で喜びに満ちた責任であることを、わたしたちが認識することができるよう祈っています。¹

わたしたちは親として、子供に天の御父と御子イエス・キリストについて教えます。子供が初めての祈りをするのを助けます。子供がバプテスマを通して聖約の道²に入るときに、助けを導きます。神の戒めを守るよう教えます。神がその子供たちのために用意しておられる計画について教え、聖霊のささやきを識別できるよう助けます。古代の預言者について話し、生ける預言者に従うよう励まします。子供が成功できるよう祈り、試練のときには一緒に

悲しみます。神殿の祝福について証し、子供が専任宣教師として奉仕するために備える努力をします。子供が自ら親となるときに、愛ある助言を与えます。しかしそれでも、親になるのをやめることはありません。常に子供の教師であり、それらの永遠の召しから解任されることはありません。



せん。

今日は、家庭で子供を教えるという幾つかのすばらしい機会について考えてみましょう。

家庭の夕べで教える

まず家庭の夕べから始めましょう。わたしが育った信仰で満たされた家庭では、優先して家庭の夕べを開いていました。家庭の夕べで教えられたレッスンが何だったか覚えていませんが、毎週必ずしたことを覚えています。³ わたしの両親にとって大切なことだと理解していました。⁴

わたしの大好きだった家庭の夕べの活動を覚えています。お父さんは子供の一人に「テスト」を受けるよう招いて、子供に幾つかの指示を与えます。こんな感じでした。「まず、キッチンに行って冷蔵庫のドアを開けて閉める。それから寝室に行き、わたしのダンスから靴下を一足持って来る。それから戻って来て、3回ジャンプして『お父さん、できたよ』と言う。」

自分の順番が来るのを楽しみにしてい

ました。指示を完全にこなし、「お父さん、できたよ」と言えるのはかけがえのない瞬間でした。この活動は、わたしの自信を築く助けとなり、落ち着きのない子供だったわたしが福音の原則を集中して学ぶ助けとなりました。

ゴードン・B・ヒンクレイ大管長はこう教えました。「もし家庭の夕べの価値に疑いを持っているなら、試してみてください。子供たちをあなたの周りに集め、教え、証し、ともに聖文を読み、ともに楽しいひとときを過ごしてください。」⁵

家庭の夕べを開くのを妨げる反対勢力が常にあります。⁶ それでも、その妨げを回避する方法を見つけ、家庭の夕べを優先するよう、そして楽しさを重要な要素として取り入れることを勧めます。

家族の祈りで教える

家族の祈りは、教える絶好の機会です。

N・エルドン・タナー管長の父が家族の祈りのときに教えたことに感銘を受けました。タナー管長は言いました。

「ある晩、家族でひざまずいて祈っていたときに、わたしの父が主にこう言いました。『今日エルドンがしてはいけないことをしました。エルドンは悪いと思っています。もし彼を赦してくださるのなら、もう二度としないでしょ。』」

その言葉は、ただしかるよりも、二度と過ちを繰り返さないとわたしに決意をさせてくれました。⁷

子供のころ、家族のちょっと度が過ぎた祈りに時々イライラすることがあり、「さっき祈ったばかりなのに」と思うことがありました。今は親として、家族として祈りすぎることはないと思っています。⁸

わたしは、天の御父がイエス・キリストを愛する御子として紹介することにいつも感銘を受けてきました。⁹ わたしは、子供のために祈るときに、彼らを名前呼び、天の御父に彼らがわたしにとっていかに大切であるかを伝え、そのことを子供



たちが聞けるように祈ってきました。子供を祝福しているときや、子供と一緒に祈っているときは、子供への愛を伝える最良の機会のように思います。家族が集まり謙遜な祈りをささげるとき、力強い印象に残るレッスンが教えられます。

教える瞬間が来るときに教える

親が子供に教えるのは、急患のために待機している医者のようなものです。わたしたちはいつでも子供に教えられるよう備える必要があります。なぜなら機会がいつ訪れるかは分からないからです。

救い主は、「会堂の中ではなく、弟子たちと食事をしているとき、井戸から水をくんでいるとき、イチジクの木の下を通りがかったときなど、普段のごく日常的な場面で」教えられることが多々ありました。¹⁰

何年も前、わたしの母がわたしの兄のマットと交わした一番良かった福音の会話について話してくれました。一回は洗濯物をたたんでいたときに、もう一回は歯医者に行く車の中でした。わたしが母を尊敬している多くのことの一つは、いつも教える備えができていたことです。

母は親として、教え終わることがありま

せんでした。わたしがビショップとして奉仕していたとき、当時78歳だった母は、わたしに髪を切る必要があると言いました。母はわたしが模範となる必要があることを知っていて、そのことを言うのを躊躇しませんでした。お母さん、愛しているよ。

父親として、わたしは子供や孫を教える機会にこたえられるように、個人学習と聖典勉強をしたいという意欲を感じています。¹¹ 「教えるのに最適な瞬間は、[家族]が抱いている疑問や不安がきっかけとなって訪れることもあります。」¹² そのような機会が訪れたときに、わたしたちは耳を傾けているでしょうか。¹³

使徒ペテロは次のように勧告しています。「あなたがたのうちにある望みについて説明を求める人[そして子供]には、いつでも弁明のできる用意をしていなさい。」¹⁴

わたしが10代だったときに、父とわたしはどちらの握力が強いかわかることを楽しんでいました。お互いの手をできるかぎり強く握り締め、相手が顔をゆがめて痛がったら勝ちです。今となっては何がそんなに楽しかったのか分かりませんが、当時は楽しかったのを覚えています。あるときに、勝負が終わってから父はわた

し目を見て言いました。「デビン、手の力が強いね。その手が、決して若い女性を不適切に触れないという強さを常に持ってくれることを願っているよ。」それから父は、道徳的な清さを保つことと、ほかの人もそうできるように助けるよう勧めました。

ダグラス・L・カリスト長老は、彼の父についてこう言いました。「ある日、仕事から家に帰る途中に、父が突然こう言いました。『今日什分の一を払ってきて、献金用紙に「ありがとうございます」と書いたんだ。わたしは家族が祝福されていることを主に心から感謝している。』」

カリスト長老は彼の父—教師への感謝をこう述べました。「父は従順になる際の行動と態度の両方教えてくれました。」¹⁵

時折、次のように自問するのは賢明なことだと思います。「自分の行動や態度から、従順について子供たちに何を教えられるだろうか、あるいは何を教えているだろうか。」

家族の聖文研究で教える

家族の聖文研究は、家庭で教義を教える絶好の機会です。

ラッセル・M・ネルソン大管長は言いました。「両親は主の御言葉に従うだけでなく、それを子供に教えるように神から命じられています。」¹⁶

妻とわたしは、一貫性をもって、また工夫して子供を育てようと努力しました。ある年、わたしたち家族はモルモン書をスペイン語で読むことにしました。それが理由で伝道に行った子供はすべてスペイン語の伝道部に召されたのでしょうか。Es posible (そうなのかもしれません)。

ブライアン・K・アシュトン兄弟が高校3年生のときに、彼の父と一緒にモルモン書の全ページを読んだという経験に感銘を受けました。アシュトン兄弟は聖典を愛していて、聖文の言葉は彼の心と思いに刻まれています。アシュトン兄弟が10代



だったときに彼の父がその種¹⁷を植え、今は真理の根が深く張った大きな木に育ちました。アシュトン兄弟もまた、彼自身の上の子供たちと同じことをしました。¹⁸彼はつい最近、8歳の息子にこう尋ねられました。「パパ、いつになったらパパと一緒にモルモン書が読めるの。」

模範によって教える

最後に、親として最も影響を与える教え方は模範です。わたしたちは、「言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも、純潔にも、信者の模範」となるよう勧告されています。¹⁹

最近妻と旅行に行ったときに訪問した教会で、この聖句が実践されているのを見ました。これから伝道に出る若い男性が聖餐会で話しました。

彼は言いました。「皆さんは教会ではわたしの父は素晴らしい人だと思っているかもしれませんが……。」そして少し間をおきました。わたしは次に彼が何を言うのか気になりました。そして彼は続けて言いました。「家では、もっと素晴らしい人です。」

集会後、わたしはこの若い男性に、彼の父に対するすばらしい賛辞を述べてくれたことに感謝しました。それから、彼の父親はそのワードのビショップだったということを知りました。ビショップとしてワードのために信仰深く奉仕していたにもかかわらず、彼の息子は家庭で最良の働きが行われていると感じていたのです。²⁰

D・トッド・クリストファーソン長老はこう勧告しました。「後の世代に……教える機会はたくさんあります。わたしたちは最善を尽くして考え、努力し、それらの機会を十分に活用しなければなりません。何よりも、わたしたちは、より良い、またより一貫性のある教師〔特に模範によって教える教師〕になるよう両親を励まし、助け続けなければなりません。」²¹

救い主はそのように教えられます。²²

去年、下の子供二人と一緒に旅行に行ったときに、妻はセントジョージ神殿とサンディエゴ神殿で身代わりのバプテスマをしたらどうかと提案しました。わたしは心の中でつぶやき、こう思いました。「家にいるときに神殿に参入しているのに、今は旅

行中ですよ。もっと旅行らしくしたらいいの。」バプテスマが終わってから、妻は神殿の外で写真を撮りたいと言いました。わたしはまた無言でつぶやきました。皆さんは、次に何が起きたか想像できるかと思います。わたしたちは写真を撮ったのです。

妻は、わたしたちが先祖をどのように助けたのかを子供たちに覚えていてほしいと願っていますし、わたしもそう思っています。神殿の大切さを教えるのに改まったレッスンが必要ではありませんでした。わたしたちは実践していたのです。神殿を愛しその同じ愛を子供たちにも分かち合いたいと思っている妻に感謝しています。

両親がお互いを大切にし義にかなった模範を示すとき、子供たちは永遠に祝福されます。

まとめ

家庭で教えるのに最善を尽くしている皆さんのうえに、平安と喜びがありますように。もし改善する余地があったり、もっと準備が必要だと感じるのであれば、どうか御霊の促しに謙遜に従い行動するよう決意してください。²³

L・トム・ペリー長老は言いました。「健全な社会やそこに住む人々の幸せ、繁栄、平和の根底にはすべて、家庭での子供の教育という共通の基盤があるのです。」²⁴

わたしの家にはもう子供はいませんが、大人になった子供やその子供たち、そしていつか、さらにその子供たちを教える貴重な機会が来るのを切望し、またそのために備え、待機しています。

家庭でキリストのような教師になろうと努力するときに、天の助けがあるよう切に願います。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 68 : 25 ; 93 : 40 参照

L・トム・ペリー長老はこう教えた。「敵対する者であるサタンは非常に広範囲に影響を

及ぼし、社会のまさに基盤である家庭を攻撃して、これを徐々に弱め、破壊しようとしています」。親は、家庭での教育が非常に神聖で重要な責任であることを肝に銘じなければなりません。」(「家庭で子供を教える母親」『リアホナ』2010年5月号, 30)

大管長会と十二使徒定員会はこう教えている。「夫婦は、互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対しても愛と関心を示すという厳粛な責任を負っています。『子供たちは神から賜った嗣業であり』(詩篇 127 : 3)とあります。両親には、愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも必要なものを与え、また互いに愛し合い仕え合い、神の戒めを守り、どこにいても法律を守る市民となるように教えるという神聖な義務があります。夫と妻、すなわち父親と母親は、これらの責務の遂行について、将来神の御前で報告することになります。」(「家族 —— 世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145)

2. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018年4月号, 7参照

3. デビッド・B・ベドナー長老はこう教えた。「家族の祈り、聖文学習、家庭の夕べについて何を覚えているか聞いたら、成人した息子たちからどのような答えが返ってくるか予想できます。息子たちは、あときの祈りが、あときの聖文学習が、あるいは特に意義深かったあの家庭の夕べのレッスンが、その後の自分の霊的成長を変えたとは答えられないでしょう。しかし息子たちは、家族がいつも一貫していたことは覚えていると答えるでしょう。」(「家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わる」『リアホナ』2009年11月号, 19)

4. 「愛ある家は」『賛美歌』186番参照

5. 「歴代大管長の教え —— ゴードン・B・ヒンクレー」164

6. 2ニーファイ 2 : 11 参照

7. N. Eldon Tanner, "Never Be Ashamed of the Gospel of Christ," Ensign, Feb. 1980, 4.

8. 3ニーファイ 18:21 参照

9. マタイ 3 : 16 - 17 ; 3ニーファイ 11 : 6 - 8 ; 教義と聖約 18 : 34 - 36 ; ジョセフ・スミス —— 歴史 1 : 17 参照

10. 「偶発的に訪れる『教える瞬間』を活用する」『救い主の方法で教える』16。「救い主の方法で教える」には、家庭で教える様々なコツや資料がある。

11. 教義と聖約 11 : 21 ; 84 : 85 参照

12. 『救い主の方法で教える』16

13. 「耳を傾ける」『わたしの福音を宣べ伝えなさい』185 - 186 参照

14. 1ペテロ 3 : 15

15. Douglas L. Callister, "Most Influential Teacher — Emeritus Seventy Pays Tribute to Father," Church News section of LDS.org, Aug. 29, 2016, LDS.org/news.

16. ラッセル・M・ネルソン「あなたの家を整えなさい」『リアホナ』2002年1月号, 81

17. アルマ 32 : 28 - 43 参照

18. メリンダ・アシュトン姉妹は、アシュトン兄弟が家を離れているときには彼の代わりを務める。

19. 1テモテ 4 : 12。アルマ 17 : 11 も参照

20. ジェフリー・L・スチュワートビショップは、ユタ州セントジョージのサウスゲート第二ワードのビショップとして奉仕している。息子のサミュエルは、今コロンビア・メドリン伝道部に伝道している。

21. D. Todd Christofferson, "Strengthening the Faith and Long-Term Conversion of the Rising Generation," general conference leadership meeting, Sept. 2017.

22. 3ニーファイ 27 : 21, 27 参照

23. 教義と聖約 43 : 8 - 9 参照

24. L・トム・ペリー「家庭で子供を教える母親」30





十二使徒定員会
デール・G・レンランド長老

家族歴史と神殿活動 —— 結び固めと癒し

わたしたちが家族歴史を集めて、先祖のために神殿に参入するとき、神は、とばりの両側で約束された祝福を同時に成就してくださいます。

家族の関係は、わたしたちが直面する経験の中でも最も報いがあり、取り組みがいのあるものです。わたしたちの多くが、家族の中の何らかの不一致に直面してきました。この末日のイエス・キリストの教会の回復の業における二人の英雄の間にも、このような不一致がありました。パーリー・プラットとオーソン・プラットは兄弟であり、初期の改宗者であり、使徒に聖任された人でした。それぞれ信仰の試しに遭いましたが、揺るぎない証をもって切り抜けました。二人とも真理の大義のために大いに犠牲を払い、貢献しました。

ノーブーの時代に、二人の関係はぎくしゃくし、1846年には激しく公然と対立するようになりました。生じた亀裂は深く、長期に及びました。不仲を解消するため、パーリーが最初にオーソンに手紙を書きましたが、オーソンは返答しませんでした。パーリーは諦め、オーソンが書かないかぎり、手紙のやりとりは永遠に終わらだと思いました。¹

数年後の1853年3月、オーソンは、自分たち兄弟のアメリカ人の最初の先祖であるウィリアム・プラットの子孫に関する本を出版する企画があることを知りまし

た。オーソンは、この貴重な家族歴史の収集を見たときに「幼子のように」泣き出しました。彼の心は和らぎ、そして兄との不仲を修復することを決意しました。

オーソンはパーリーにこう書き送りました。「ところで、愛する兄さん、わたしたちの先祖ウィリアム・プラット中尉のすべての子孫の中には、わたしたち以上にその子孫を探し出すことに大きな関心を抱いている人はだれもいません。」先祖のために身代わりの儀式を執行できるように、末日聖徒には家族歴史を調べてまとめる義務があるということを理解していた最初の

人物の一人が、オーソンでした。彼の手紙はこう続いています。「わたしたちは、この企画に先祖の神が御手を差し伸べておられることを知っています。……返信することに後ろ向きであったことをおわびします。……わたしを赦してくれるよう願っています。」² 揺るぎない証はありましたが、不仲を修復し、傷が癒され、赦しを求め、赦すきっかけとなったのは、先祖に対する愛でした。³

神が一つの事柄を行うよう指示される場合、多くの目的を念頭に置いておられることがよくあります。家族歴史と神殿活動は、死者のためだけでなく、同じように生者にも祝福をもたらします。オーソンとパーリーは、それにより互いに心に向け合うようになりました。家族歴史と神殿活動は、癒しを必要としたものを癒す力を与えました。

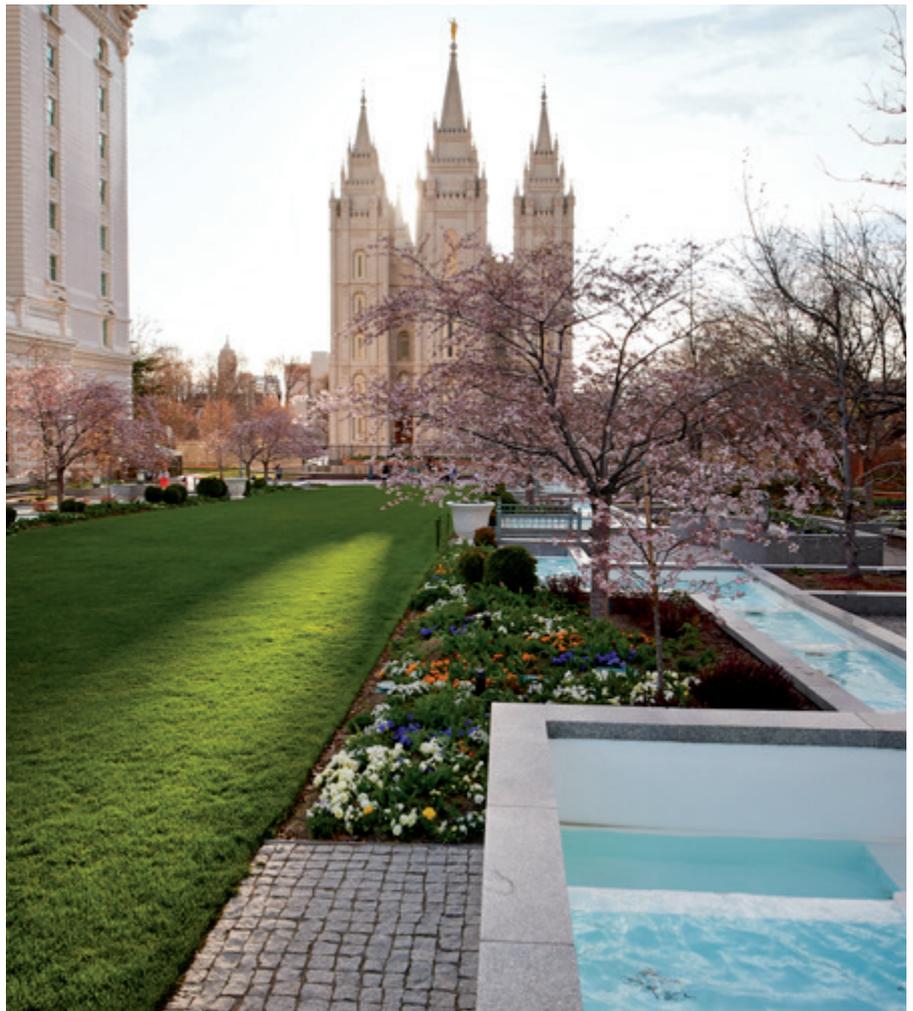
教会員として、わたしたちには、先祖を探し出して家族歴史をまとめるという、神により定められた責任があります。これは奨励される趣味の域をはるかに超えています。救いの儀式は神のすべての子供のために必要だからです。⁴ わたしたちは、救いの儀式を受けることなく亡くなった先祖を見つけなければなりません。わたしたちは神殿でその儀式を身代わりで行うことができます。そして、先祖はその



儀式を受け入れるかどうか選ぶことができるのです。⁵ わたしたちはまた、家族ネームを持っているワードやステークの会員を助けるように勧められています。⁵ 家族歴史と神殿活動によって死者を贖う助けができるということは、息をのむほどすばらしいことです。

しかし、今日、家族歴史と神殿活動に携わるとき、わたしたちも、預言者や使徒たちによって約束された「癒し」の祝福を享受するのです。⁶ これらの祝福もまた、現世におけるその祝福の及ぶ範囲、特異性、祝福のもたらす結果を考えると、息をのむほどすばらしいものです。この長いリストには次の祝福が含まれます。

- ・ 救い主と救い主の贖いの犠牲に関する理解が増す。
- ・ 聖霊の影響力が増し、⁷ 自分自身の生活に対する力と導きを感じるようになる。
- ・ 信仰が増して、救い主に帰依する思いが深まり、持続する。
- ・ 学び、悔い改める能力と意欲が増す。⁸ 自分が何者であって、どこから来たかを理解し、また自分が行く場所についてより明確なビジョンを持てる。
- ・ 心を精錬し、聖め、和らげる力が心に増す。
- ・ 主の愛を感じる能力を増すことによって喜びが増す。
- ・ 現在、過去、あるいは将来の家族の状況がどうであろうと、あるいはファミリーーツリーがどんなに不完全であろうと、家族への祝福が増す。
- ・ 先祖と生きている親族に対する愛と感謝の気持ちが増し、自分はまだ独りではないと感じる。
- ・ 癒しを必要とするものを見分け、ひいては主の助けを受けてほかの人々に仕える力が増す。
- ・ 数々の誘惑とますます強まるサタンの影響力からの守りが増す。



- ・ 悩む心や傷ついた心、不安な心を修復し、傷ついた者を癒す助けが増す。⁹

皆さんがこれらの祝福のいずれかを求めて祈ってきたなら、家族歴史と神殿活動に携わってください。そうするときに、祈りは答えられます。死者のために儀式が執行されると、地上にいる神の子供たちは癒されます。ラッセル・M・ネルソン大管長が、教会の大管長としての初めてのメッセージの中で次のように述べたのも、驚くには当たりません。「神殿で礼拝し、そこで先祖のために奉仕することで、皆さんは祝福され、よりいっそうの啓示と平安を受け、聖約の道にとどまるという決意をさらに強めることができます。」¹⁰

昔の預言者も、生者と死者の両方に対する祝福を予見しました。¹¹ 天からの使者はエゼキエルに、神殿と神殿から湧き出る水の示現を見せ、次のように告げました。

「この水は……流れて行き、[砂漠]に

落ち下り、その水が、……[死]海にはいると、それは清くなる。

おおよその川の流れる所では、もろもろの動く生き物が皆生き……る。これはその水がはいると、海の水を清くするためである。この川の流れる所では、すべてのものが生きている。」¹²

その水には二つの注目すべき特徴があります。第1に、小川には支流はありませんでしたが、それがさらに遠く流れるにつれ、より広く、より深くなって大河となりました。個人が家族として結び固められるときに神殿から流れ出る祝福についても、同様のことが起こります。結び固めの儀式で家族が一つに結ばれると、何世代にもわたって、行きつ戻りつしながら有意義な成長が起こります。

第2に、川は、それが触れるものすべてを一刷新しました。神殿の祝福にも同様に、すばらしい癒しの力があります。神殿の祝福は、心と生活と家族に癒しを与え



ることができるのです。

例を挙げて説明しましょう。1999年に、トッドという名の若い男性が、脳内の血管破裂により倒れました。トッドと家族は教会員でしたが、それほど活発ではなく、だれも神殿の祝福は受けていませんでした。トッドの生涯の最後の夜に、母親のベティーは、ベッドの傍らに座り、彼の手をなでながらこう言いました。「トッド、あなたがほんとうに行かなければならないのなら、あなたの神殿の儀式が必ず行われるようにすると、約束するわ。」翌朝、トッドは脳死を宣告されました。外科医は、トッドの心臓をわたしの患者であったロッドという名のすばらしい人に移植しました。

移植から数か月後、ロッドは、心臓提供者の家族の所在を知り、彼らと文通を始めました。およそ2年後、トッドの母親ベティーは、初めて神殿に参入するときにロッドを招待しました。ロッドとベティーは、ユタ州セントジョージ神殿の日の栄えの部屋で初めて直接に対面しました。

その後しばらくして、トッドの父親、すなわちベティーの夫が亡くなりました。それから数年後、ベティーは、亡くなった息

子の神殿の儀式を行う際に、息子の身代わりとなるようロッドに頼みました。ロッドは喜んで引き受けました。そして、ユタ州セントジョージ神殿の結び固めの部屋で身代わりの儀式が行われたのです。ベティーは、亡くなった夫の身代わりを務めた孫と聖壇をはさんでひざまずき、夫に結び固められました。その後、ベティーは頬に涙しながら、聖壇にいる二人に加わるようロッドを招き寄せました。ロッドは二人の傍らにひざまずき、彼女の息子トッドの身代わりを務めました。トッドの心臓はロッドの胸の中で鼓動を打っていました。そのときに、ロッドの心臓提供者であるトッドは、永遠にわたって両親に結び固められたのです。トッドの母親は、何年も前に死にゆく息子に告げた約束を守ったのでした。

しかし、話はこれで終わりません。心臓移植から15年後、ロッドは婚約し、ユタ州プロボ神殿で結び固めを執行してほしいとわたしに求めました。結婚式の日、わたしは、結び固めの部屋の隣の部屋でロッドとすばらしい花嫁キムに会いました。彼らの家族と親友たちは結び固めの部屋で待っていました。わたしはロッ

ドやキムと短く言葉を交わした後、何か質問があるか尋ねました。

ロッドはこう言いました。「ええ、心臓提供者の家族がここに来ていて、お会いしたいと言っています。」

それは予期していなかったことで、わたしは尋ねました。「ここにいるというのですね。今ですか。」

ロッドは、「はい」と答えました。

わたしは部屋を出て、結び固めの部屋から家族を呼びました。ベティーと彼女の娘と義理の息子がやって来ました。ロッドはベティーを迎えてハグをし、来てくれたことに感謝を述べ、それからわたしを紹介してこう言いました。「ベティー、レンランド長老です。何年もの長い間あなたの息子さんの心臓の面倒を見てくださった医者でした。」彼女は部屋を横切ってきて、わたしを抱き締めました。その後、全員でハグと喜びの涙の数分間を過ごしました。

落ち着きを取り戻した後、わたしたちは結び固めの部屋へ移動し、そこで、ロッドとキムはこの世においても永遠にわたっても結び固められました。ロッドとキム、ベティー、それにわたしは、天がきわめて近く、以前に死すべき世のとばりを通り抜けたほかの人々がその日わたしたちとともにいたことを証することができます。

悲劇や死、苦難はありますが、神は、無限の力をもって、個人と家族を結び固め、癒されます。わたしたちは神殿で経験する気持ちを、天を垣間見たとたとえることがあります。¹³ その日、ユタ州プロボ神殿で、C・S・ルイスの次の言葉がわたしの心に響き渡りました。「人々は……一部の一時的な苦しみについて、『将来の至福もそれを埋め合わせることはできない』と言う。かつていた天が戻って、その苦悶さえも栄光に変えるということを知らずに。……祝福された者はこう言うだろう。『わたしたちは天のほか、決してどこにも住んだことがない』と。」¹⁴

神はわたしたちを強くし、助け、支えてくださいます。¹⁵ また、きわめて深い苦悩を晴らして聖めてくださいます。¹⁶ わたしたちが家族歴史を集めて、先祖のために神殿に参入するとき、神は、とばりの両側で同時にこれらの約束された祝福の多くを成就してください。同様に、わたしたちがワードヤステークのほかの人々が同じことを行うように助けるときにも、祝福が与えられます。神殿の近くに住んでいない会員も、家族歴史活動に携わり、神殿の儀式を行うために先祖の名前を集めることによって、これらの祝福を受けることができます。

しかしながら、ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように忠告しています。「わたしたちは、ほかの人々が得た神殿と家族歴史の経験から、終日、心に励ましを受けることができます。しかし、実際に自ら喜びを味わうためには、行動を起こさなければなりません。」さらにこう続けています。「神殿・家族歴史活動をさらに進めるために、今年皆さんはどのような犠牲を払えるか、よく祈って考えるようにしてください。できれば、時間の犠牲を払うことです。」¹⁷ 皆さんがネルソン大管長の招きにこたえるとき、自分の家族を見つけ、集め、つなぐこととなります。さらに、エゼ



キエルが述べた川のように、祝福が皆さんと皆さんの家族に流れ込むことでしょう。皆さんは癒しを必要とするものに対する癒しを見いだすことでしょう。

オーソン・プラットとパーリー・プラットは、この神権時代の始めに家族歴史と神殿活動がもたらす癒しと結び固めの効力を経験しました。ベティーとその家族とロッドはそれを経験しました。皆さんも経験できます。イエス・キリストの贖いの犠牲によって、イエス・キリストは、死者と生者の両方に、すなわち全員にこれらの祝福を用意しておられます。これらの祝福があるので、わたしたちは、比喩的表現で言えば、「天のほか、決してどこにも住んだことがない」ことが分かります。¹⁸ イエス・キリストの御名により証します。アーメン。■

注

1. See Parley P. Pratt to Orson Pratt, May 25, 1853, Orson Pratt Family Collection, Church History Library, Salt Lake City; in Terry L. Givens and Matthew J. Grow, *Parley P. Pratt: The Apostle Paul of Mormonism* (2011), 319.
2. Orson Pratt to Parley P. Pratt, Mar. 10, 1853, Parley P. Pratt Collection, Church History Library, Salt Lake City; in Givens and Grow, *Parley P. Pratt*, 319.
3. 特に、オーソン・プラットは、ウィリアム・プラットの子孫に関する本の出版を助けただけでなく、数年後の1870年に、彼の家族と一緒に、その本に名前がある人々のために、ソルトレーク・シティーのエンダウメントハウスで、2,600を超える死者のためのパプテスマを執行了した (see Breck England, *The Life and Thought of Orson Pratt* [1985], 247)。
4. See Joseph Smith, *History of the Church*, 6: 312–13.
5. See “Names Submitted for Temple Ordinances,” First Presidency letter, Feb. 29, 2012. 身代わりの神殿の儀式のために名前を提出する先祖は、提出者と縁続きでなければならない。例外なく、教会員は、有名人やユダヤ人のホロコースト犠牲者など、認可されていないグループからの名前を提出してはならない。
6. ダリン・H・オークス「賢く秩序正しく」1989年12月号、18–23；D・トッド・クリストファーソン「死者の贖いと、イエスへの証」『リアホナ』2001年1月号、10–13；ボイド・K・パッカー「あなたの家族歴史——始めること」『リアホナ』2003年8月号、12–17；トーマス・S・モンソン「変化の時代にあって変わらぬ真理」『リアホナ』2005年5月号、19–22；ヘンリー・B・アイリング「結ばれた心」『リアホナ』2005年5月号、77–80；M・ラッセル・バラード「信仰、家族、概要、実」『リアホナ』2007年11月号、25–27；ラッセル・M・ネルソン「救いと昇栄」『リアホナ』2008年5月号、7–10；ラッセル・M・ネルソン「先祖と愛によって結ばれる」『リアホナ』2010年5月号、91–94；デビッド・A・ベドナー「子孫の心は向かうであろう」『リアホナ』2011年11月号、24–27；リチャード・G・スコット「死者を贖う喜び」『リアホナ』2012年11月号、93–95；クエンティン・L・クック「根と枝」『リアホナ』2014年5月号、44–48；トーマス・S・モンソン「業を速める」『リアホナ』2014年6月号、4–5；ヘンリー・B・アイリング「心を向けるという約束」『リアホナ』2014年7月号、4–5；デビッド・A・ベドナー「伝道、家族歴史、および神殿」『リアホナ』2014年10月号、14–19；ニール・L・アンダーセン「神殿と科学技術のある『自分の時代』」『リアホナ』2015年2月号、26–33；Neil L. Andersen, “Sharing the Temple Challenge,” *Family Discovery Day*, Feb. 2015, LDS.org; クエンティン・L・クック「家族歴史の業がもたらす喜び」『リアホナ』2016年2月号、22–27；ゲーリー・E・スティーブンスン「神権の鍵と権能はどこにあるのでしょうか」『リアホナ』2016年5月号、29–32；ディーター・F・ウークトドルフ「救う人々をたたえ」『リアホナ』2016年5月号、77–80；クエンティン・L・クック「神殿の中の自分の姿を見る」『リアホナ』2016年5月号、97–101；デール・G・レンランド、ルース・L・レンランド、アシュリー・R・レンランド「家族歴史と神殿の祝福」『リアホナ』2017年2月号、34–39；Dallin H. Oaks and Kristen M. Oaks, “Connected to Eternal Families,” *Family Discovery Day*, Mar. 2018, LDS.org. 参照
7. 教義と聖約 109: 15 参照
8. 教義と聖約 109: 21 参照
9. ボイド・K・パッカー「ギレアドの乳香」『聖徒の道』1988年1月号、16–18；エレミヤ 8: 22: 51: 8 参照
10. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018年4月号、7
11. エゼキエル 40–47 章；『聖句ガイド』「エゼキエル」参照
12. エゼキエル 47: 8–9
13. スベンサー・W・キンボール「天国の光景」『聖徒の道』1972年4月号、147–151 参照
14. C. S. Lewis, *The Great Divorce: A Dream* (2001), 69.
15. イザヤ 41: 10 参照
16. 「主のみ言葉は」『賛美歌』46 番参照
17. ラッセル・M・ネルソンとウェンディー・W・ネルソン「神殿・家族歴史活動によって天を開く」『リアホナ』2017年10月号、19
18. Lewis, *The Great Divorce*, 69.



中央若い男性会長会第一顧問
ダグラス・D・ホームズ

すべてのアロン神権者が 理解すべきこと

皆さんがアロン神権に聖任されていることは、神の子供たちにキリストの贖いの力を届けるうえで非常に大切なことです。

兄 弟の皆さん、この歴史的な大会に皆さんとともに出席できることは特権です。わたしは伝道部会長になったばかりのころ、新任宣教師たちの最初のグループをわくわくしながら迎え入れました。経験のある何人かの宣教師が彼らの集会の準備をしていました。見ると、子供用の椅子を半円形に並べています。

「この小さな椅子は何だい」とわたしが尋ねると、

宣教師たちはどこかすまなそうに、「新しい宣教師の椅子です」と言いました。

わたしたちがほかの人をどう見るかは、その相手が自分の存在と可能性をどう捉えるかに大きな影響を与えると、わたしは考えています。¹ その日、新しい宣教師たちは大人用の椅子に座りました。

わたしが時々心配に思うのは、神がアロン神権の若い男性に神聖な務めとかけがえのない仕事を託しておられることを理解できるように彼らを助ける代わりに、^{ひび}比喩的な意味でわたしたちは彼らに子供用の椅子を与えているのではないかとこのことです。

トーマス・S・モンソン大管長は、「神の神権を持つ……という意味」を若い男性

に理解してもらう必要があると勧告しています。「聖任されている召しの神聖さを霊的な意味で自覚できるように、彼らを導く必要があります。」²

今日わたしは、アロン神権の力と神聖さをさらによく理解して、わたしたちがさらに熱心に神権の義務にまい進できるように聖霊の導きと靈感を祈り求めます。わたしのメッセージはすべてのアロン神権者に向けたものですが、メルキゼデク神権を持つ人たちもそれに含まれます。

デール・G・レンランド長老は、神権の目的は神の子供たちをイエス・キリストの贖いの力にあずからせることだと教えています。³ 生活の中でキリストの贖いの力を受けるには、キリストを信じ、罪を悔い改め、儀式によって神聖な聖約を交わしてそれを守り、聖霊を受けなければなりません。⁴ これらの原則は、一度だけ従えばよいというものではありません。それらは「キリストのもとに来て、キリストによって完全にな[る]」ための天に向かって続く進歩の過程で、互いに補強し合い、形成され、連動していくものです。⁵

では、この進歩の過程でアロン神権はどのような役割りを果たすのでしょうか。どうすれば、アロン神権によってキリストの贖いの力にあずかることができるのでしょうか。この答えは、アロン神権の鍵、つまり、天使の働きと備えの福音の鍵の中にあると思います。⁶

天使の働き

天使の働きの一つの側面から始めましょう。神の子供たちがイエス・キリストを信じる信仰を持てるようになるには、まず、キリストについて知り、キリストの福音を学ぶ必要があります。使徒パウロの言





業のとおりです。

「聞いたことのない者を、どうして信じる
ことがあろうか。宣べ伝える者がいなく
ては、どうして聞くことがあろうか。

つかわれなくては、どうして宣べ伝え
ることがあろうか。……

したがって、信仰は聞くことによるので
あり、聞くことはキリストの言葉から来る
のである。」⁷

時の始めから、神は「天使たちを遣わし
て、人の子らを教え導き、キリストの来臨
について明らかにされた」のです。⁸ 天使
とは、神のメッセージを携えた天からの使
いです。⁹ ヘブライ語でもギリシャ語でも、
天使の語源は「使者」です。¹⁰

天使は権能を受けた使いであって、神
から遣わされて神の言葉を伝え、人の信
仰を築きます。それとまったく同様に、ア
ロン神権を持つわたしたちは、「教え、ま
たキリストのもとに来るようにすべての人
を招く」ために聖任されています。¹¹
福音を宣べ伝えるのは神権の義務です。
この義務に伴う力は預言者だけのもので
も、宣教師だけのものでもありません。そ

れはあなたにも与えられます。¹²

では、どのようにしてこの力を得るの
でしょうか。12歳の執事やわたしたちは、
神の子供たちの心にどのようにしてキリス
トを信じる信仰を育むのでしょうか。ま
ずキリストの言葉を心に大切に蓄えて、そ
の力がわたしたちの内に宿るようにしま
す。¹³ そうするならばわたしたちは「人々
を確信に導く神の力」を持つようにな
ると、主は約束しておられます。¹⁴ それは、
定員会の集会で教えているときかもしれ
ませんし、会員の家を訪問しているとき
かもしれません。または、友達や家族と話
しているときなど、もっと気楽な場面か
もしれません。どんな状況であれ、備えが
できていれば、わたしたちは天使がする
ように聖霊の力によって福音を教える
ことができるのです。¹⁵

わたしは最近、パプア・ニューギニア
のアロン神権者ジェイコブがモルモン書
の力と、悪をはねのけて御霊に従うた
めにその力がどう役立ったかについて証
するのを聞きました。その言葉によっ
てわたしの信仰も、ほかの人たちの
信仰も強くなり

ました。アロン神権者が定員会の集
会で教え、証するのを聞いたとき
にも、わたしの信仰は強くなりました。

若い男性の皆さん、皆さんは権能
を受けた主の使者です。皆さんは言
言葉と行いを通して、キリストを
信じる信仰を神の子供たちの心
に届けることができます。¹⁶
「皆さんは彼らにとって『仕える
天使』とな〔る〕」とラッセル・
M・ネルソン大管長は言ってい
ます。¹⁷

備えの福音

キリストを信じる信仰が強くなっ
てくると必ず、変わりたい、言
い換えれば悔い改めたいという
気持ちになります。¹⁸ そのため、
天使の働きに備えの福音、つまり、
「悔い改めとバプテスマと罪の
赦しの福音」の鍵が伴うのは、
理にかなっているのです。¹⁹

アロン神権の義務を調べると、
悔い改めて善い人になるよう
人を導くという務めがあること
がはっきりと分かります。²⁰
それは、街角に立って「悔い改
めよ」と叫ぶという意味ではあ
りません。自分が悔い



オーストラリア・シドニーでブエロンゴ家族にバプテスマを施した祭司たちは、「イエス・キリストより権能を受け[ている]」ことの意味を理解するようになった。

改め、自分が赦すという意味合いの方が強いのです。そして、周りの人に仕えるときに、悔い改めをもたらす希望と平安を与えることができます。なぜなら、わたしたちが自分でそれを経験しているからです。

わたしは、アロン神権者たちが同じ定員会の会員を訪問するのに同行したことがあります。彼らの気遣いが兄弟たちの心を穏やかにして神の愛が感じられるようにするのを見ました。若い男性の一人が、悔い改めの力について仲間証するのを聞きました。彼が証すると、仲間は心が穏やかになり、決意を新たに、キリストの癒しの力を感しました。

ゴードン・B・ヒンクレイ大管長はこう教えています。「悔い改めることは、罪の赦しを得ることと同義ではありません。赦しをもたらす力はアロン神権にあるのです。」²¹ アロン神権の儀式であるバプテスマと聖餐は、罪の赦しのために人が悔い改めたことを証し、悔い改めを完成させます。²² ダリン・H・オークス管長は、これを次のように説明しました。「わたしたちは罪を悔い改め、打ち砕かれた心と悔いる霊をもって主のみもとに来るように、また聖約に従って聖餐にあずかるよう命じられています。わたしたちがそのようにしてバプテスマの聖約を更新するなら、主はバプテスマの清めの効果を更新してください。」²³

兄弟の皆さん、救い主の贖いの力によ

て、悔い改めた人の心に罪の赦しをもたらす儀式を施すのは、神聖な特権です。²⁴

先日、わたしはある祭司の話を聞きました。努力して、初めて自分で聖餐の祝福をしたのだそうです。祝福したとき、力強い御霊がこの祭司とワードの会員たちに下りました。この集会で後にこの祭司は、その聖餐の儀式で感じた神の力について簡潔ながらもはっきりと証しました。

オーストラリア・シドニーで、祭司定員会の4人の会員が、ブエロンゴ家族にバプテスマを施しました。この経験がいかに強い影響を息子に与えたかを、この祭司たちの一人の母親が話してくれました。彼らは「イエス・キリストより権能を受け[ている]」ことの意味を理解するようになったのです。²⁵

御存じのように、祭司は神殿で身代わりのバプテスマを施すことができるようになりました。この間、わたしの17歳の息子は、先祖の身代わりのバプテスマをわたしに施しました。アロン神権に対して、また、神の子供たちのために働く特権に対して、親子ともども感謝の気持ちを深く感じました。

若い男性の皆さん、自分の受けている神権の義務を熱心に果たすとき、あなたは「人の不死不滅と永遠の命をもたらす」²⁶ 神の業に、神とともに携わっているのです。このような経験は、宣教師になって悔い改めとバプテスマについて教えたいと

いう望みを増し、そのための準備になります。また、メルキゼデク神権を受けて生涯にわたって奉仕するための備えにもなります。

わたしたちの模範であるバプテスマのヨハネ

アロン神権者の皆さん、わたしたちには、バプテスマのヨハネと同じ僕となる特権と義務があります。ヨハネは権能を授けられた使者として、キリストについて証し、万人を悔い改めとバプテスマに導くために遣わされました。つまり、これまで論じてきたアロン神権の鍵を行使したのです。そして、こう宣言しました。「わたしは悔改めのために、水でおまえたちにバプテスマを授けている。しかし、わたしのあとから来る人はわたしよりも力のあるかたで、……このかたは、聖霊と火によっておまえたちにバプテスマをお授けになるであろう。」²⁷

このようにアロン神権は、天使の働きと備えの福音の鍵を持ち、この世で受けられる最大の賜物である聖霊の賜物を、神の子供たちがメルキゼデク神権を通して受けられるよう道を備えます。²⁸

神は何と深遠な責任をアロン神権者に与えておられることでしょうか。

勧めと約束

「神の神権を持つ……という意味」²⁹を理解できるよう若い男性たちを助けるようにとモンソン大管長は言いました。親の皆さんと神権指導者の皆さん、この勧告の大切さを感じることができますか。アロン神権を理解してその義務を尊んで大いなるものとする経験は、彼らが忠実なメルキゼデク神権者、力ある宣教師、義にかなった夫・父親となるための備えになります。奉仕を通して彼らは、神権の力、すなわち神の子供たちの救いのためにキリストの御名によって働く力が現実にあることを理解し、それを実感するようになり

ます。

若い男性の皆さん、神は皆さんのために一つの業を用意しておられます。³⁰ 皆さんがアロン神権に聖任されていることは、神の子供たちにキリストの贖いの力を届けるうえで非常に大切なことです。この神権の義務を生活の中心にするならば、かつてないほど神の力を感じるようになることを約束します。皆さんは自分が、神の業を行うという聖なる召しを受けた神の息子であることを理解するようになるでしょう。そして、バプテスマのヨハネのように、皆さんは神の御子が再び来られるためのために道を備える助けをするのです。これらの真理を証します。イエス・キリストの御名によって、アーメン。■

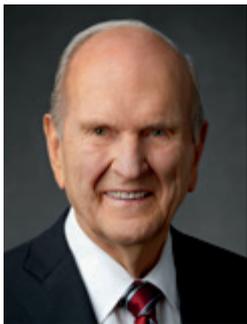
注

1. これはモーセに起こったことである。驚くべき方法で神にまみえた後、モーセは自分に対する見方が変わった。自分を神の子と見るようになったのだ。そのような見方ができるようになると、サタンに打ち勝つのも容易になった。サタンはモーセを「人の子」と呼んでいる（モーセ1:1-20参照）。トーマス・S・モンソン「人が将来なり得る姿を見る」『リアホナ』2012年11月号、68-71；デール・G・レンランド「神の目を通して」『リアホナ』2015年11月号、93-94も参照
2. Thomas S. Monson, general conference leadership meeting, Mar. 2011.
3. デール・G・レンランド「神権と救い主の贖いの力」『リアホナ』2017年11月号、64-67参照
4. 2ニーフアイ31-32章；3ニーフアイ11:30-41；27:13-21；エテル4:18-19；モーセ6:52-68；8:24参照
5. モロナイ10:32。『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』6も参照
6. 教義と聖約13:1；84:26-27；107:20参照
7. ローマ10:14-15, 17。ジョセフ・スミスは、これと同じ真理を教えている。「信仰は、神の僕たちの証を通じて神の言葉を聞くことによってもたらされます。その証には、常に預言と啓示の霊が伴います。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』385）
8. モロナイ7:22。アルマ12:28-30；13:21-24；32:22-23；39:17-19；ヒラマン5:11；モロナイ7:21-25, 29-32；教義と聖約20:35；29:41-42；モーセ5:58参照。マタイ28:19；ローマ10:13-17も参照
9. See George Q. Cannon, *Gospel Truth*, sel. Jerreld L. Newquist (1987), 54.

10. See James Strong, *The New Strong's Exhaustive Concordance of the Bible* (1984), Hebrew and Chaldee dictionary section, 66, Greek dictionary section, 7.
11. 教義と聖約20:59
12. ヘンリー・B・アイリング「彼らも強くなるためである」『リアホナ』2016年11月号、75-78；アルマ17:3；ヒラマン5:18；6:4-5；教義と聖約28:3参照
13. 1ヨハネ2:14；アルマ17:2；26:13；32:42参照。『神への務めを果たす——アロン神権者用』は、これを達成するための大切なツールである。
14. 教義と聖約11:21。教義と聖約84:85も参照
15. 2ニーフアイ32:3；教義と聖約42:14；50:17-22参照
16. モロナイ7:25参照
17. ラッセル・M・ネルソン「神権を敬う」『聖徒の道』1993年7月号、43。アルマ27:4も参照
18. アルマ34:17；ヒラマン14:13参照
19. 教義と聖約84:27
20. 教義と聖約20:46, 51-59, 73-79参照。『神への務めを果たす——アロン神権者用』は、わたしたちの義務を理解するための大切なツールである。
21. ゴードン・B・ヒンクレー「アロン神権——神からの賜」『聖徒の道』1988年6月号、49
22. D・トッド・クリストファーソン長老はこう説明している。「水によるバプテスマは、悔い改めの過程の最終段階、つまり、最高の段階です。罪を捨て、従順の聖約を交わすことにより、悔い改めは完了します。確かに、その聖約を交わさないかぎり悔い改めは完了しないのです。」（『キリストを信じる信仰を築く』『リアホナ』2012年9月号、14-15参照）D・トッド・クリストファーソン「悔い改めという神の賜物」『リアホナ』2011年11月号、38-41；ジョセフ・スミス訳——マタイ26:24（『聖句ガイド』）も参照
聖餐の儀式は「毎週神聖な聖約を更新する



- 機会であり、これによってわたしたちは、バプテスマと確認の霊的な清めと同じ効果をもたらす救い主の贖いの恵みにあずかる者となることができ[る]」（『神と交わす聖約を理解する』『リアホナ』2012年7月号、21）。ダリン・H・オークス「いつも御子の御霊を受ける」『聖徒の道』1997年、1月号、66-69も参照
23. ダリン・H・オークス「アロン神権と聖餐」『リアホナ』1999年1月号、42
 24. デビッド・A・ベドナー長老は、こう説明している。「回復された主の教会で執行される救いと昇栄の儀式は、儀礼や象徴的な所作をはるかに超えたものです。むしろ、各個人の生活に天の祝福と力が流れ込むことのできる、認可された経路となるのです。」（『いつも罪の赦しを保つ』『リアホナ』2016年5月号、59-60）
 25. 教義と聖約20:73
 26. モーセ1:39
 27. マタイ3:11
 28. 教会の多くの指導者が、現世で受ける最大の賜物を聖霊だとしている。
ダリン・H・オークス管長はこう言っている。「常に聖霊の導きを受けるということは、わたしたちが現世で持てる財産の中で、最も貴重なものです。」（『アロン神権と聖餐』『リアホナ』1999年1月号、42）
ブルース・R・マッコンキー長老は、次のように教えている。「永遠の見地から言えば、永遠の命こそが神のあらゆる賜物の中で最大のものです。しかし、視野を狭めてこの世だけを見るならば、聖霊の賜物が、現世で得られる最大の賜物なのです。」（『What Is Meant by "The Holy Spirit"?' *Instructor*, Feb. 1965, 57）。
ウィルフォード・ウッドラフ大管長は次のように教えている。「もし皆さんが聖霊を受けているならば——一人一人がそうあるべきですが——わたしは皆さんに向かって次のように言うことができます。すなわち、地上で人に与えられるものの中で、それ以上に大いなる賜物はなく、それ以上に大いなる祝福も、それ以上に大いなる証もありません。皆さんは天使の働きを受け、多くの奇跡を目撃し、地上で多くの不思議を見るかもしれません。それでもわたしは断言します。聖霊の賜物こそが、人が授かることのできる最も大いなる賜物なのです。」（『歴代大管長の教え——ウィルフォード・ウッドラフ』49）
そして、デビッド・A・ベドナー長老はこう付け加えている。「わたしたちが守る神の戒めと、わたしたちが従う教会指導者の霊感に満ちた勧告は第一に御霊を伴侶とすることを目的としています。基本的に、福音のすべての教えと活動は生活の中で聖霊を受けることにより、キリストのもとへ行くことが中心となっています。」（『聖霊を受けなさい』『リアホナ』2010年11月号、97）
 29. Thomas S. Monson, general conference leadership meeting, Mar. 2011.
 30. モーセ1:6参照



ラッセル・M・ネルソン大管長

はじめに

わたしたちは、主の御業をさらに効果的に果たすために、メルキゼデク神権定員会に関する重要な組織変更を発表します。

ホームズ兄弟、大切なメッセージをありがとうございます。

愛する兄弟の皆さん、わたしたちはトーマス・S・モンソン大管長とロバート・D・ヘイルズ長老がいなく、非常に寂しく思っています。それでもなお、わたしたちは皆「主のみ業に進み」ます。¹

わたしは聖なる神権を持つ男性一人一人に深く感謝しています。皆さんには、「すべての人が主なる神、すなわち世の救い主の名によって語る」ことを望んでおられる贖い主の期待がかかっています。² 主は聖任されたすべての息子たちが、「信仰もまた〔すべての〕地に増すため」に、主を代表し、主のために語り、主のために行動し、そして世界中の神の子供たちの生活を祝福することを望んでおられます。³

皆さんの中には、何世代にもわたって教会が確立されてきた地域で奉仕している人がいます。また、教会が比較的新しい地域で奉仕している人もいます。大きなワードに所属している人や、遠く離れた小さな支部に所属している人もいます。皆さんの個人的な状況に関係なく、皆さん一人一人は神権定員会の会員で、学び、教え、ほかの人々を愛し仕えるという神聖な義務があります。

今晚わたしたちは、主の御業をさらに効果的に果たすために、メルキゼデク神

権定員会に関する重要な組織変更を発表します。各ワードにおいて、今後大祭司と長老は一つの長老定員会に統合されます。この変更によって、ほかの人々に仕えるために神権を持つ男性の適応力と能力が大幅に強化されます。長老見込み会員は、その定員会から歓迎されフェロシップを受けます。各ステークにおいて、ステーク会長会は引き続きステークの大祭司定員会を管理します。その定員会の構成は現在の神権の召しに基づきますが、そのことはこの後に説明されます。

これから、十二使徒定員会のD・トッ

ド・クリストファーソン長老とロナルド・A・ラズバンド長老が、これらの重要な変更について詳しく教えてくれます。

この変更について、何か月も検討を重ねてきました。わたしたちは、会員を援助し、その交わりについて報告する方法を改善することが差し迫った必要であると感じてきました。このことをよりよく行うために、神権定員会を強める必要があります。主が聖徒たちのために意図しておられる愛と支援の奉仕についてよりよい指示を与えることができるようにするためです。

この変更は主の靈感によるものです。このことを実施するとき、これまでよりもさらに効果的に働けるようになるでしょう。

わたしたちは全能の神の御業に携わっています。イエスはキリストであられます。わたしたちは主の御前にへりくだる僕です。わたしたちの義務について学び行うときに、神が兄弟たちを祝福されますように。イエス・キリストの御名により祈ります、アーメン。■

注

1. 「神のみ業に進みて」『賛美歌』149番
2. 教義と聖約1:20
3. 教義と聖約1:21





十二使徒定員会
D・トッド・クリストファーソン長老

長老定員会

ワードのメルキゼデク神権定員会を一つにすることで、神権者に一致がもたらされ、救いの業のすべての事項を達成できるようになります。

最後の神権時代に教会が組織された後、程なくして主は一つの啓示の中で次のように述べられました。「あなたがたは、わたしの教会を治める方法を知り、すべてのことをわたしの前に正すために、あなたがたの信仰の祈りによってわたしの律法を受けるであろう。」¹ それ以降、この原則が教会において守られてきており、その約束を主は果たしてくださっています。現代に神権の職と定員会が預言者ジョセフ・スミスを通して設けられたのをはじめとして、時に応じて、神権組織と奉仕の様式が啓示されてきました。ブリガム・ヤング大管長、ジョン・テラー大管長、スペンサー・W・キンボール大管長などの在任中に、十二使徒定員会や七十人、大祭司、ならびにメルキゼデク神権とアロン神権のそのほかの職と定員会に関して、重要な調整事項が啓示され、実施されました。² さて、つい先ほどの歴史的な声明で、ラッセル・M・ネルソン大管長は、さらにきわめて重要な調整事項を発表しました。

その声明の一部をもう一度紹介したいと思います。「今晚わたしたちは、主の業をさらに効果的に果たすために、メルキゼデク神権定員会に関する重要な組織変更を発表します。各ワードにおいて、今後大祭司と長老は一つの長老定員会に統合されます。……〔ステーク大祭司〕定員会

の構成は、現在の神権の召しに基づきます。」

ネルソン大管長はさらにこう述べました。「この変更について、何か月も検討を重ねてきました。わたしたちは、会員を援助……する方法を改善することが差し迫った必要であると感じてきました。このことをよりよく行うために、神権定員会を強める必要があります。主が聖徒たちのために意図しておられる愛と支援の奉仕についてよりよい指示を与えることができるようにするためです。

この変更は主の靈感によるものです。このことを実施するとき、これまでよりもさらに効果的に働けるようになるでしょう。」³

大管長会の指示で、ロナルド・A・ラズバンド長老とわたしが、皆さんが抱く可能性のある疑問への回答となる幾つかの事柄について詳しくお話しします。

長老定員会と大祭司定員会

まず、繰り返しになりますが、ワードの大祭司グループと長老定員会に対する変更はどのようなものでしょうか。これからワードでは、長老定員会と大祭司グループの会員が、一つの定員会会長会の下で一つのメルキゼデク神権定員会に統合されます。この定員会は人数と結束力が増し、「長老定員会」となります。大祭司グループは廃止されます。長老定員会には、ワード内のすべての長老と長老見込み会員、ならびに、現在ビショップリックやステーク会長会、高等評議会、あるいは召しを果たせる状態にある祝福師として奉仕していない大祭司が所属します。ステークの大祭司定員会は、ステーク会長会、ビショップリック、高等評議会、ならびに召





しを果たせる状態にある祝福師として奉仕している大祭司により構成されます。

長老定員会会長会

長老定員会の会長会は、どのように組織しなければならないでしょうか。ステーク会長会は、各ワードにおいて現在の祭司グループの指導者と長老定員会会長会を解任し、新しい長老定員会会長と顧問を召します。新しい長老定員会会長会は、年代と経験の異なる長老と大祭司で構成され、一つの定員会会長会としてともに奉仕します。長老または大祭司が、定員会会長あるいは会長会顧問を務めます。これは大祭司が長老定員会を「引き取る」ということではありません。わたしたちが期待しているのは、長老と大祭司が定員会会長会と定員会の奉仕の中で、何らかの形で組み合わせられて協力し合うことです。この定員会の変更は、都合のつき次第速やかに実施すべきです。

長老定員会における神権の職

定員会の構成に関するこの調整により、定員会会員が保持している神権の職が変更されるのでしょうか。いいえ、定員会会員が過去に聖任されていたいかなる神権の職も、この方針によって取り去られるということはありません。御存じのように、男性は生涯のうちに様々な神権の職に聖任されるかもしれません。そして、新たな職を受けるときにも以前の聖任を失ったり、剥奪されたりすることはありません。時には、神権者は同時期に複数の職を受けて奉仕することがあります。大祭司が祝福師やビショップとして奉仕する場合などです。しかし通常は、自分のすべての職を同時に果たすことはありません。例えば、ビショップと七十人は、解任あるいは名誉会員となった場合、現役でその職を務めることはしません。したがって、保持しているほかの神権の職が何であっても、その人は長老定員会の会員であり、長老として奉仕します。

何年前に、ボイド・K・パッカー会長は次のように述べました。「神権はそれに付属するいかなる職よりも大いなるもので

す。……神権は分割できません。長老は使徒と同じ神権を持っています（教義と聖約 20：38 参照）。〔神権を与えられた〕人は、そのすべてを受けるのです。しかし神権の中には様々な職、すなわち権能と責任の区分があります。……ある職は別の職よりも『上』であるとか『下』であると言われることがよくあります。しかし上下関係よりも、メルキゼデク神権の職は、働きの分野の違いを表しているのです。』⁴ 兄弟の皆さん、メルキゼデク神権の別の職に「昇進」したというような言い方を、今後は教員がしないよう、わたしは心から願っています。

ステーク会長会、高等評議会、あるいはビショップリックに召される場合——あるいは祈りによる熟慮と靈感によりステーク会長が判断したそのほかの場合——長老は今後も引き続き大祭司に聖任されます。ステーク会長会、高等評議会、あるいはビショップリックとしての奉仕の期間が終わると、大祭司は再び自分のワードの長老定員会に復帰します。

長老定員会会長に対する指示

だれが長老定員会会長の務めについて指示を与えるのでしょうか。ステーク会長はステーク内のメルキゼデク神権を管理します。したがって、長老定員会会長はステーク会長に対して直接に責任を負い、ステーク会長がステーク会長から、また高等評議会を通じて訓練と指導を与えます。ワードにおける管理大祭司であるビショップも、長老定員会会長と定期的に会合を持ちます。ビショップは長老定員会会長と協議し、またワードのすべての組織と調和して働きながら、ワードの会員に仕え、祝福をもたらす最善の方法に関して適切な指示を与えます。⁵

これらの変更の目的

メルキゼデク神権定員会における今回の変更の目的は何でしょうか。ワードのメルキゼデク神権定員会を一つにすることで、神権者に一致がもたらされ、これまで大祭司グループにより調整が図られてきた神殿・家族歴史活動を含む、救いの業のすべての事項を達成できるようになります。あらゆる年齢と経歴の定員会会員が、互いの、また人生の異なる段階にある人々の物の見方と経験から益を得ることができます。また、長老見込み会員や新会員、ヤングアダルト、教会の活動に戻ってきた人など、ほかの人々に助言を与えるさらなる機会を、経験豊かな神権者に与えることができます。わたしは、長老定員会が今後果たすことになるますます重要な役割にいかにか胸の高鳴る思いで期待しているかを、適切な言葉で表現できません。これらの定員会に見られる知恵、経験、能力、強さは、教会全体に及ぶ神権の奉仕に関する新たな時代と新たな標準を予兆するものです。

20年前の総大会で、わたしは、七十人のボーン・J・フェザーストーン長老が以前に語った話をしましたが、ここでもう一度それを話すのは価値のあることだと思います。

「1918年、農夫だったジョージ・ゴートス兄弟は、ユタ州リーハイでテンサイを栽培していました。その年は冬が早く訪れたため、土の中に植えられているテンサイはほとんど凍ってしまいました。ジョージと若い息子フランシスにとって、収穫は時間のかかる、またつらい作業となりました。ちょうどそのころ、インフルエンザが流行し始めました。その恐ろしい病により、ジョージの息子チャールズと、チャールズの幼い子供3人が命を落としました。二人は女の子、もう一人は男の子でした。悲嘆に暮れながらもジョージ・ゴートスはわずか6日間で、ユタ州オグデンまで3度も往復して、埋葬するために遺体を自宅に引き取りました。この恐ろしい出来事が過ぎ去ると、ジョージとフランシスはテンサイ畑へ戻るために馬車に乗り込みました。

〔途中で〕近所の農夫たちが工場にテンサイの荷を運ぶ馬車の列に出会いました。通りすがりにみんなが声をかけてきました。『やあ、ジョージおじさん。』『大変だったなあ、ジョージ。』『気の毒なことをしたね、ジョージ。』『あんたには友達がいっぱいいるな、ジョージ。』

最後の馬車は……そばかすだらけのジャスパー・ロルフでした。彼は笑顔であいさつし、叫びました。『これで全部だよ、ジョージおじさん!』

〔ゴートス兄弟は〕フランシスの方を向いて、『あれがわしらのものだったなあ』と言いました。

農場の入り口に着くと、フランシスがテンサイ運搬用の赤い大きな荷台から飛び降りて門を開けました。そして〔ジョージは〕馬車の中に引き入れてから、一息ついて、辺りを見回しました。……すると……テンサイが見当たりません。ジャスパー・ロルフの言った言葉の意味が分かったのはそのときでした。『これで全部だよ、ジョージおじさん!』

〔ジョージは〕馬車から降りました。心からの愛情を注いできた茶色の豊かな土

を手にすくい、……テンサイの葉を手に取り……労働の象徴である土と葉を我が目を疑うかのように見詰めていました。

そして〔彼は〕テンサイの葉の山に腰をかけた。わずか6日間で愛する者を4人も埋葬のために運び、ひつぎを造り、墓穴を掘り、埋葬衣作りまで手伝いながら決して動じなかったあの強いジョージ、苦しい目に遭いながら動揺しなかった彼が、テンサイの葉の山に座って子供のようにすすり泣きました。

それから立ち上がった彼は、涙をぬぐい、……空を見上げて言いました。『父なる神よ、ワードの長老たちに感謝します。』⁶

そのように、神権を持つ人々と、彼らが個人と家族を高め、シオンを確立するためにこの先行う奉仕のゆえに、神に感謝します。

大管長会と十二使徒定員会、また七十人会長会は、長い間、この調整について考えてきました。多くの祈りと、神権定員会に関する聖文基盤の入念な研究、ならびにこれが主の御心であるという確認に





十二使徒定員会
ロナルド・A・ラズバンド長老

よって、わたしたちは、回復の業を推し進めるための具体的なさらなる一步となる事柄を、全会一致で推し進めています。主の指示であることは明らかで、わたしはそれを喜んでいきます。わたしは主と主の神権について、またその神権に皆さんが聖任されていることについて証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 41:3
2. See, for example, William G. Hartley, "The Priesthood Reorganization of 1877: Brigham Young's Last Achievement," in *My Fellow Servants: Essays on the History of the Priesthood* (2010), 227-64; "To the Seventies," in James R. Clark, comp., *Messages of the First Presidency of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints* (1965), 352-54; Hartley, "The Seventies in the 1880s: Revelations and Reorganizing," in *My Fellow Servants*, 265-300; Edward L. Kimball, *Lengthen Your Stride: The Presidency of Spencer W. Kimball* (2005), 254-58; Susan Easton Black, "Early Quorums of the Seventies," in David J. Whittaker and Arnold K. Garr, eds., *A Firm Foundation: Church Organization and Administration* (2011), 139-60; Richard O. Cowan, "The Seventies' Role in the Worldwide Church Administration," in *A Firm Foundation*, 573-93.
3. ラッセル・M・ネルソン「はじめに」『リアホナ』2018年5月号, 54
4. ボイド・K・パッカー「すべての長老、そしてすべての姉妹が知っておくべきこと——神権政体の原則に関する手引き」『聖徒の道』1994年11月号, 17, 19
5. 『手引き 第2部——教会の管理運営』7.3.1 参照
6. D・トッド・クリストファーソン「神権定員会」『リアホナ』1999年1月号, 44 参照。ボン・J・フェザーストーン「信仰、希望、愛があった」『聖徒の道』1973年11月号, 517-518も参照

見よ、王の軍は

すべてのメルキゼデク神権者が肩を並べてともに教え、学び、仕える祝福にあずかるとき、その喜びはどれほど大きいことでしょう。

愛する神権者の兄弟の皆さん、わたしたちの愛する預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長より割り当てを受けて、わたしはこの歴史的な時に、とてもへりくだる思いで皆さんの前に立っています。このすばらしい神の人と、わたしたちの新しい大管長会を、わたしはどれほど愛し、支持していることでしょう。D・トッド・クリストファーソン長老と十二使徒定員会のほかの兄弟たちの証に加えて、わたしも今晚発表された変更が主の御心であることを証します。

ネルソン大管長が述べたように、この件について教会の中央幹部は長い間祈りをもって話し合い、検討を重ねてきました。主の御心を求めて、メルキゼデク神権の定員会を強めたいという望みからでした。そして靈感が与えられ、今晚、わたしたちの預言者によって主の御心が知らされました。「まことに主なる神はそのしもべである預言者にその隠れた事を示さないで、何事もなまされない。」¹ 今日生ける預言者と与えられているわたしたちは、何と祝福されていることでしょう。

生涯にわたって、ラズバンド姉妹とわたしは教会や仕事上の様々な割り当てのために世界中を旅してきました。教会のほぼあらゆる形態のユニットを見てきました。メルキゼデク神権者が片手で数えられるほどしかないロシアの小さな支部、

メルキゼデク神権者の全体数が少ないため大祭司と長老と一緒に集会を行っているアフリカの新しく成長途上のワード、そして長老の人数が多いために定員会を二つに分割する必要がある、しっかりと確立されたワードもありました。

訪れたどの場所においても、主のすべての子供たちが彼らの抱えるあらゆる必要に応じて祝福を受けられるように、主の僕たちに先立って主の御手が置かれ、前もって人々と道が備えられるのを見てきました。主は「[わたしたち]に先立って行[き、わたしたち]の右におり、また左にい[て、主]の御霊は[わたしたち]の心の





中にあ〔り、主〕の天使たちは〔わたしたち〕の周囲にい〔る〕と約束されなかったのでしょうか。²

皆さんのことについて考えていると、賛美歌「見よ、王の軍は」が思い起こされます。

見よ、王の軍は
旗を掲げ
いのち いくさ
生命の戦
勝ちて進む
つわものごぞり
強く雄々し
指揮者に続き
うたい進む³

ワードレベルにおいて大祭司グループと長老定員会が合併し、一つの強力なメルキゼデク神権者の軍勢になるという発表によって生じるとされる幾つかの質問に、クリストファーソン長老が答えてくれました。

これらの変更によって、長老定員会と扶助協会はその働きを調和させやすくなるでしょう。また、定員会とビショップリックやワード評議会との調整もシンプルになるでしょう。そしてビショップは長老定員会と扶助協会の会長たちにもっと多くの責任を委任できるようになり、そうす

ることでビショップと顧問たちは自分たちの主要な務め、特に若い女性と、アロン神権を持つ若い男性を管理することに集中できるようになります。

教会の組織や職務に関する変更は珍しいことではありません。1883年、主はジョン・テラー大管長に次のように言われました。「わたしの教会および神権の管理と組織について、……わたしが定めた経路を通して、わたしの教会の将来における発展と完成のために、わたしの王国の適応と進歩のために、……必要なすべてのことを、折々、明らかにするであろう。」⁴

これから大祭司の兄弟たちに向けてお話しします。わたしたちは皆さんを愛しています。天の御父は皆さんを愛しておられます。皆さんは神権者から成る王の軍において重要な存在であり、皆さんの善意と奉仕、経験、そして義がなければ、この業を前進させることはできません。アルマは、人が大祭司に召されるのは、人々に教え、仕え、導く、彼らの非常に深い信仰と善い行いのためであると教えています。⁵ その経験は今、恐らくかつてなかったほどに必要とされています。

今後多くのワードで、長老の兄弟が定員会会長として、定員会に属する大祭司を管理する機会にあずかることでしょ

う。長老が大祭司を管理する例はこれまでもありました。世界の一部の地域では、大祭司のいる支部で長老が現在支部会長として奉仕していますし、長老定員会だけが組織されていて、そこに大祭司が出席している支部もあります。

すべてのメルキゼデク神権者がワードのすべての会員と肩を並べてともに教え、学び、仕える祝福にあずかるとき、その喜びはどれほど大きいことでしょうか。皆さんがどこにしようと、どのような状況にあらうと、神権を持つ兄弟の一同として、指導を行い、指導を受け、一つとなって奉仕する新たな機会を、祈りをもって忠実に喜んで受け入れるようにお勧めします。

では、主の聖なる神権の定員会の組織に関する主の御心を実行すべく前進するに当たって、明確にしておく必要があると思われるその他の事柄について話します。

ステーキ大祭司定員会にはどのような変更がなされるのでしょうか。ステーキ大祭司定員会はこれからも職務を果たします。ステーキ会長が引き続きステーキ大祭司定員会の会長を務めます。しかし、クリストファーソン長老が述べたように、今後、ステーキ大祭司定員会を構成するのは、現在ステーキ会長会、ワードのビショップリック、ステーキ高等評議会で



奉仕している大祭司と、召しを果たせる状態にある祝福師となります。ワードとステークの書記と幹部書記は、ステーク大祭司定員会の会員ではありません。現在大祭司、祝福師、七十人、使徒として奉仕している兄弟がワードを訪問し、神権会に出席することを望むときには、長老定員会の集會に出席します。

これらの召しを受けている兄弟がやがて解任されると、所属するユニットに戻って長老定員会の会員となります。

ステーク大祭司定員会の役割は何でしょうか。ステーク会長は、大祭司定員会の会員と集會を持ち、ともに評議し、証を述べ、訓練を行います。手引きで述べられているステークの集會は、2つの調整事項を加えて引き続き行われます。

1. ワードおよびステークでは、今後はもう神権役員会集會は開催されません。家族の繊細な問題や福祉に関する深刻な課題など、ワードで特別な案件が生じた場合には、拡大ビショップリック集會で検討することができます。そこまで慎重を期すに及ばないその他の事柄は、ワード評議会で採り上げることができます。これまでステーク神権役員会集會として知られてきた集會は、今後は「高等評議会集會」と呼ばれます。

2. ステーク内の聖任されたすべての大祭司による年次集會は、今後はもう開催されません。しかし、ステーク会長はこれからも年に1度、本日発表があったス

テーク大祭司定員会の集會を開催します。

ワードに複数の長老定員会を持つことはできるでしょうか。その答えは、「はい」です。教義と聖約第107章89節の精神にのっとり、ワードにいる活発なメルキゼデク神権者が非常に多いとき、指導者は複数の長老定員会を組織することができます。そのような場合、それぞれの定員会は年齢、経験、神権の職、強さにおいて適度にバランスが取れているべきです。

この靈感による定員会の再編をワードやステークで進めるとき、たくさんの祝福を目にすることを証します。少しだけ例を挙げましょう。

ビショップの指示の下で、より多くの神権者が優れた働き手として救いの業を支援することでしょう。これには、神殿・家族歴史活動によってイスラエルを集め、困っている家族や個人を助けるために働き、宣教師を助けて人をイエス・キリストのもとに導くことが含まれます。

以前に管理する召しを果たした指導者が長老たちの定員会に戻って経験を分かち合うとき、定員会の会員は強められるでしょう。

定員会の中にさらに多様な賜物や能力を持った人がいることになるでしょう。

ワード内や定員会内に存在する緊急の必要にもっと柔軟に応じることができ、奉仕が可能な人も増えて、奉仕の様々な割り当てを果たせるようになるでしょう。

定員会集會や割り当てにおいて、新しい長老と経験豊富な大祭司が互いに経験

を分かち合うとき、助言を受ける機会が増え、さらなる一致が生まれるでしょう。

ビショップと支部会長がもっと自由になって自分の召しを尊んで大いなるものとするので、群れを守り、助けの必要な人に奉仕を行えるように願っています。

それぞれのワードやステークが異なっていることは理解しています。そうした違いを承知のうえで、わたしたちは皆さんがこの総大会の後でこれらの変更を速やかに実施することを願っています。わたしたちは神の預言者から指示を与えられたのです。何という大きな祝福であり、責任でしょうか。義と力の限りを尽くして果たしましょう。

神権の権能は任命と聖任によって授けられますが、実際の神権の力、すなわち主イエス・キリストの御名によって行動する力は義にかなった生活を送ることによってのみ与えられるということを思い出してください。

主は回復の預言者、預言者ジョセフ・スミスに次のように宣言されました。

「見よ、見よ、わたしはあなたがたの群れの世話をし、長老たちを立てて彼らのもとに遣わそう。

見よ、わたしは、時が来ればわたしの業を速やかに行う。」⁶

実に、今は主が御自分の業を速めておられる時代です。

主が真実で忠実な者に約束しておられる多くの祝福を受けるにふさわしい者となるために、わたしたち一人一人がこの機会を生かして自分の生活を振り返り、改善し、さらに主の御心に沿ったものにしようではありませんか。

兄弟の皆さん、この壮大な御業の一部を担うために皆さんが行っているすべてのことに感謝しています。わたしたちがこの偉大な栄誉ある大義において前進できすように。

戦い終わり、
争い止め
平和の中に
皆あるとき
その多き群れ、
王の前に
永遠に歌もて
御名をたたえん
勝利よ、勝利よ
われらに主あり
勝利よ、勝利よ
主により勝たん
勝利よ、勝利よ、勝利よ
主により勝たん⁷



大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長

靈感に基づく ミニスタリング

聖なる御霊を最も受けられるのは、ほかの人のために一心に奉仕しているとき〔で〕す。救い主に代わって奉仕をするという神権の責任が与えられているのはそのためです。

今日、わたしたちは全員が、主がその預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長を通して御心を明らかにされたことの証人になります。わたしはネルソン大管長がこの地上における神の預言者であると証します。わたしたちの偉大な贖い主、救い主であられる主イエス・キリストについて証します。これは主の業であり、これは主の御心であることを、イエス・キリストの御名によって厳かに証します、アーメン。■

愛する兄弟の皆さん、この歴史的な総大会でお話できる特権に感謝しています。わたしたちは末日聖徒イエス・キリスト教会第17代大管長としてラッセル・M・ネルソン大管長を支持しました。わたしは毎日大管長とともに働く祝福にあずかってきましたが、ネルソン大管長が主のまことの教会を導

くよう神によって召されているという御霊の確認を感じています。

また、主がゲレット・W・ゴング長老とウリセス・ソアレス長老を十二使徒定員会の会員として召されたという証があります。わたしはこの二人を愛し、支持しています。お二人は、その教導の業を通して世界中の人々を、世代を越えて祝福するこ

注

1. アモス 3:7
2. 教義と聖約 84:88
3. 「見よ、王の軍は」『賛美歌』160番
4. In James R. Clark, comp., Messages of the First Presidency of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, (1965), 2:354.
5. アルマ 13章参照
6. 教義と聖約 88:72-73
7. 「見よ、王の軍は」『賛美歌』160番





とになるでしょう。

この大会は別な意味でも歴史的な大会です。ネルソン大管長は、教会のために主が組織された計画の中で、靈感された一歩を踏み出すことを発表しました。その計画の一環として、神権の責任をよりよく果たせるよう、ワードおよびステークレベルで新しい神権定員会の枠組みが作られました。これらの責任はすべて、御父の子供たちの神権による養いにかかわるものです。

愛をもって主の聖徒たちを養うという主の計画は、これまで様々な形で実行されてきました。ノーブーに着いて間もない頃、預言者ジョセフ・スミスは、ほとんど困窮した状態で町に到着する多くの改宗者を世話する方法を組織する必要に迫られていました。わたしの曾祖父母のうち4組がその中にいました。アイリング家、ベニオン家、ロムニー家、そしてスミス家です。預言者は、聖徒を地域ごとに組織して援助することにしました。イリノイ州では、そのような町の区分を「ワード」と呼びました。

大平原を横断するときには、聖徒たちが互いに助け合えるように「隊」が組織されました。父方の曾祖父の一人は、現在のオクラホマ州での伝道から帰る途中に、

平原を旅していたある隊に遭遇しました。彼は病気で体が大変弱っており、小さな荷馬車の中に同僚と横たわっていました。

隊の指導者は、ひどく傷んだ馬車に乗っている人々を助けるために二人の若い女性を送りました。そのうちの一人がスイスで改宗した若い姉妹で、宣教師の一人を見て気の毒に思いました。彼は、その聖徒たちの隊によって救われました。彼は回復し、ソルトレーク盆地までの残りの道を、助けてくれた若い姉妹と一緒に歩き切りました。二人は恋をして結婚し、わたしの曾祖父のヘンリー・アイリングと、曾祖母のマリア・ボンメリ・アイリングとなりました。

後年、大陸を横断するなんて大変な困難だったろうと言われる度にマリアはこう答えました。「いいえ、大変ではありませんでしたよ。ずっと、イエス・キリストの真の福音を見いだせるなんて何という奇跡だろうと二人で話しながら歩きましたから。思い出せるかぎり、最高に幸せな時間でしたよ。」

それ以降も、聖徒たちが互いを心にかけることができるよう、主は様々な方法を用いられました。そして今、主はわたしたちを祝福し、ワードとステークのレベルで、統合された強固な定員会を与えてくだ

さいました。ワードのすべての組織と連携して働く定員会です。

主は、地域で分けられたワードや隊にも、そして今回強化された定員会にも、主が聖徒たちを心にかけてくれるのと同じように、彼らが互いを心にかけてくれることを望んでおられます。その主の御心を成し遂げるためには、少なくとも二つのことが必要です。まず、それが達成されるのは聖徒たちが利己心を捨て、互いにキリストのような愛を感じる時です。聖文はそれを「慈愛……キリストの純粹な愛」と呼んでいます（モロナイ7：47）。次に、助けを受ける人にとって何が最善か主は御存じですが、助けようとする人が聖霊の導きを受けてそれを知るときに達成されます。

わたしはこの数週間に、今日の先ほどの発表のような、主がなさろうとしておられることをまるで予測していたかのように行動した会員たちを何度も目にしました。二つだけ例を挙げましょう。一つ目は、アロン神権の教師の職にある14歳の少年がした聖餐会での簡潔なお話です。彼は神権者が主に仕えるときに何を達成できるか理解していました。二つ目は、あるメルキゼデク神権者が靈感を受け、キリストのような愛をもってある家族に奉仕したことです。

まず、ワードの聖餐会で話した若い男性の言葉を紹介しましょう。わたしも出席していました。皆さんが14歳だったときのことを思い出しながら、この少年がその年齢では考えられないほどの分別をもって話す言葉に耳を傾けてください。

「去年14歳になってから、ワードの教師定員会の一員になれてとてもうれしいです。教師には執事のすべての責任に加え、幾つか新しい責任があります。

ここには教師もいれば、これから教師になる人もいます。すべての教会員はこの神権によって祝福されているので、教師の義務をさらによく知ることはだれにとっても大切なことです。

まず、教義と聖約 20:53 には『教師の義務は、常に教会員を見守り、彼らとともにいて彼らを強めることであ[る]』とあります。

次に、教義と聖約 20:54 - 55 にはこう記されています。

『教会の中に罪悪がないように、互いにかたくなになることのないように、偽り、陰口、悪口のないように取り計らうことであり、

また教会員がしばしば会合するように取り計らい、またすべての会員が自分の義務を果たすように取り計らうことである。』

若い男性はこう続けました。

「主はわたしたちに、教会を大切にすることだけでなく、キリストがなさるように教会の人々も大切にするように言っておられます。それは、これが主の教会だからです。わたしたちが戒めを守り、互いに親切にし、正直で、仲良くし、ともに楽しく過ごすならば、御霊を受けて、御父がわたしたちに何をしよう望んでおられるかを知ることができます。そうしなければ、召しを果たすことはできません。」

彼は続けて言いました。

「教師が正しい模範となる選択をして、良いホームティーチャーとなり、教会で会員にあいさつをし、聖餐を準備し、家で手伝いをし、平和を作り出すものとなるとき、それは神権を尊び、召しを果たす選択をしていることになるのです。」

良い教師であるとは、教会や教会の活動においてだけ責任ある行いをするものではありません。使徒パウロはこう教えています。『言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも、純潔にも、信者の模範になりなさい。』(1テモテ 4:12)

それから、若い男性はこう言いました。

「どこにしようと、何をしように関係ありません。わたしたちはいつでも、どこでも義の良い模範になることができます。」

父とわたしはブラウン家族のホームティーチャーです。¹ 訪問する度に、いろい

ろな話をし、もっと知り合えるのがうれしいです。ブラウン家族の好きなのところは、訪問する度によく話を聞いてくれ、いつも良い話を分かち合ってくれることです。

ホームティーチングを通してワードの人をよく知るようになると、教会で会員にあいさつするという教師の義務を果たしやすくなります。歓迎され、教会の一員だと感じてもらえば、ワードのすべての会員が愛されていると感じ、聖餐を受ける備えができます。

教会にきた会員にあいさつした後で、教師は毎週聖餐の準備をします。みんながとても敬虔なので、このワードで聖餐を配ったり、聖餐の準備したりするのがとても好きです。聖餐を準備したり、配ったりするとき、いつも御霊を感じます。毎週それができるのはほんとうに祝福です。

聖餐を配るなど、人の目に留まり、感謝される奉仕もありますが、聖餐の準備のように、普段は人に気づかれぬ奉仕もあります。わたしたちの奉仕している姿が人の目に留まるかどうかは重要ではありません。重要なのは、わたしたちが主に仕えたことを主は御存じだということです。

わたしたち教師は、神権の責任を果たすことを通して、教会や友人や家族を強めるよう、常に努力しなければなりません。いつも簡単にできるとは限りませんが、主は命じられたことを『[わたしたちが] 成し遂げられるように……道[を] 備え』² には何の命令も下されません(1ニーファイ 3:7)。」

この若い男性が話し終るとき、わたしはその成熟の度合いと分別に驚きました。彼は次のように話をまとめました。「[イエス・キリスト] に従うことを選べば、より善い人になれることを知っています。」

神権の奉仕に関するもう一つの話は、1か月前にあるワードの聖餐会で聞きました。またも、わたしはそれに参加していました。このとき、経験豊富なこのメルキゼデク神権者は、自分の説明していることが、



主がまさに今回強化された神権定員会に望んでおられることであると知らずに話していました。要点をお話ししましょう。

この兄弟とホームティーチングの同僚は7家族を割り当てられていました。ほとんどの家族が訪問を望んでいませんでした。ホームティーチャーがアパートに行っても、ドアを開けてもらえませんでした。電話にも出てくれません。伝言を残しても、折り返しの電話はありませんでした。先輩同僚のこの兄弟は、最後の手段として手紙を書くことにしました。何か反応があれば、鮮やかな黄色の封筒まで使い始めました。

7つの家族の中に、ヨーロッパから移住して来た、あまり教会に活発でない独身の姉妹がいました。彼女には二人の子供がいました。

何度も連絡を試みた後、彼女から携帯メールが届きました。忙しくてホームティーチャーと会う時間はない、と不愛想に書かれていました。彼女は二つの仕事を掛け持ちし、軍隊にも所属していたのです。本職は警察官で、刑事になることを目指し、刑事になれたら母国に戻ってその仕事を続けたいと考えていました。

ホームティーチャーたちは彼女と家で会うことは一度もできませんでしたが、この兄弟は定期的に携帯メールを送り続けました。月に一度は手書きの手紙を送り、お祝いの季節には子供たち一人一人にカードを送りました。



返事は一度もありませんでした。それでも、彼女はホームティーチャーの名前と連絡先、そして彼らが神権の奉仕を辛抱強く続けるだろうことを知っていました。

そして、ある日のこと、彼女から緊急のメールが届きました。助けが必要な事態が起きたのです。彼女はだれがビショップかは知りませんでしたが、ホームティーチャーがだれであるかは知っていました。

彼女は数日後、軍事演習で1か月ほど州を離れる必要がありましたが、子供たちを連れて行くことができません。子供の世話をする予定だった母親は、急病に見舞われた夫の看病のためにヨーロッパに帰ってしまっていました。

このあまり活発でない独身の姉妹には、下の子のためにヨーロッパ行きの航空券を買うお金はありましたが、12歳のエリックの分までは余裕がありませんでした。²彼女は、これから30日間、エリックを預かってくれるよい末日聖徒の家族を見つけてくれるようホームティーチャーに頼みました。

ホームティーチャーは、最善を尽くすとメールを返し、すぐに神権指導者と連絡を取りました。管理大祭司であるビショップは、その兄弟に扶助協会会長を含むワード評議会の会員に話すことを認めてくれました。

扶助協会会長はすぐに、エリックと同じ年頃の子供たちがいるよい末日聖徒の家

族を4家族見つけてくれました。1週間ずつ交代でエリックを預かってもらうことになったのです。それからの1か月、この4家族はエリックに食事をさせ、家族だけでいっぱいのアパートや小さな家に彼のための場所を作ってくれました。計画してあった夏の家族旅行にも、教会にも連れて行ってくれました。家庭の夕べも一緒に行い、ほかにもいろいろ尽くしてくれました。

エリックと同年齢の男の子のいる家族は、執事定員会の集会や活動にエリックを連れて行きました。この30日間で、エリックは生涯初めて毎週日曜日に教会に行くという経験をしたのです。

母親が演習から帰って来ても、エリックは教会に行き続けました。たいていは、エリックを受け入れた4つの家族のうちのどれかと一緒に、あるいは母親の訪問教師など、ほかに友達になった人たちと一緒に出席しました。そのうち、エリックは執事に聖任され、定期的に聖餐を配るようになったのです。

エリックの将来を想像してみましょう。家族が母国に戻るとき、そこでエリックが教会の指導者になったとしても驚かないでしょう。すべて、ビショップの指示の下、聖霊の力と慈愛の心をもって一致して奉仕した聖徒たちのおかげです。

神の王国で救われるためには慈愛がなければならぬことをわたしたちは知っています。モロナイはこう記しています。

「あなたがたに慈愛がなければ、あなたがたは決して神の王国に救われぬ。」(モロナイ10:21。エテル12:34も参照)

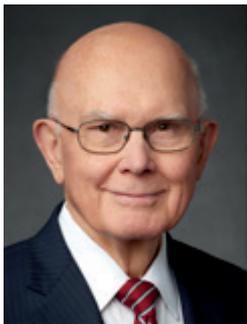
また、慈愛は、できることをすべて行った後に授けられる賜物であることも知っています。わたしたちは「御父が御子イエス・キリストに真に従う者すべてに授けられたこの愛で満たされるように……熱意を込めて御父に祈〔らなければなりません。〕」(モロナイ7:48)

聖なる御霊を最も受けられるのは、ほかの人のために一心に奉仕しているときだとわたしは思います。救い主に代わって奉仕をするという神権の責任が与えられているのはそのためです。奉仕をしているとき、わたしたちは自分のことをあまり考えません。そのようなとき、聖霊は早くわたしたちを訪れ、慈愛の賜物を授かるための生涯をかけた努力に助けを与えてくださいます。

わたしたちがさらに靈感を受けて慈愛の心で神権によるミニスターリングの務めを果たせるように、主はすでに御自身の計画を前進させる一歩を大きく踏み出されたことを証します。わたしたちに惜しみなく注がれる主の愛に感謝します。このことを、イエス・キリストの聖なる御名によって証します、アーメン。■

注

1. 名前は変更しています。
2. 名前は変更しています。



大管長会第一顧問
ダリン・H・オックス管長

神権の力

皆さんが持つ聖なる神権を尊んで大いなるものとするのは、
家族や教会の召しにおける主の御業に不可欠です。

ラッセル・M・ネルソン大管長から、啓示に基づいた発表がありました。それに関連して、クリストファーソン長老、ラズバンド長老、アイリング管長からも重要な話がありました。ネルソン大管長のこの後のお話を含め、これから話されることは、主の指導者であり神権者である皆さんが今後その責任において何を行っていくのかということについての話です。その助けとなるよう、皆さんが持っている神権をつかさどる基本的な原則について振り返ってみましょう。

I. 神権

メルキゼデク神権は、「人〔に〕……永遠の命をもたらす」という主の御業を成し遂げるために神から委任された神聖な権能です（モーセ1：39）。1829年、メルキゼデク神権は救い主の使徒であったペテロ、ヤコブ、ヨハネによりジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに授けられました（教義と聖約27：12参照）。その神聖さと力強さについては、わたしたちの力ではとても表現できるものではありません。

神権の鍵とは、神権の権能の行使を管理する力です。したがって、使徒たちはメルキゼデク神権をジョセフとオリバーに授けたとき、その行使を管理するための鍵も授けました（教義と聖約27：12-13参照）。しかし、そのときにすべての神権の鍵が

授けられたわけではありません。この「時満ちる神権時代」に必要なすべての鍵と知識は（教義と聖約128：18）、「教えに教え」を加える形で授けられるのです（21節）。さらに鍵が授けられたのは、7年後のカートランド神殿の中でした（教義と聖約110：11-16参照）。これらの鍵は、例えば死者のためのバプテスマなど、新たに加えられた割り当てにおいて神権の権能を管理するために授けられました。

メルキゼデク神権は、地位や称号ではありません。神の子のための神の御業を推し進めるために行使するよう委託された

神聖な力です。わたしたちは、神権を持つ男性が「神権」そのものではないことを常に覚えておかなければなりません。「神権と女性」という言い方も適切ではありません。「神権者と女性」と言うべきです。

II. 奉仕の働き

主イエス・キリストは、神権者に何を期待しておられるのでしょうか。わたしたちはどのようにして人を主のみもとに連れて行くのでしょうか。

ジョセフ・F・スミス大管長はこのように教えています。「教会は完全な組織を持つと言われていますが、それは真実です。ただ一つの問題は、これらの組織がそれぞれに課せられている義務を十分に認識していないことです。これらの組織が、要求されている義務を完全に認識するようになれば、もっと忠実に義務を果たすようになるでしょう。そして主の業はそれだけいっそう強くなり、世の中にさらに大きな影響を及ぼすようになるでしょう。」¹

スミス大管長はさらにこのように警告しています。

「聖なる神権の幾つかの職と位に関連して神が与えられた、……誉れある称号を、





人が考え出した称号と同じように用いたり考えたりするべきではありません。これらは飾りものでも、練達を表すものでもありません。わたしたちが仕えると言明している唯一の主の業において謙遜に奉仕するようとの任命を受けることなのです。……

……わたしたちは人の救いのために働いています。これがわたしたちに託されている最大の義務であると感じるべきです。したがって、神への愛と人の救いのために、地上において神の王国が勝利を得るために、必要であれば、あらゆるものを喜んで犠牲にする気持ちがなければなりません。』²

III. 神権の職

主の教会において、メルキゼデク神権の職にはそれぞれ異なった機能があります。教義と聖約の中で、大祭司は「散在しているそれぞれのステークを管理する常任の会長すなわち僕」と呼ばれています（教義と聖約 124：134）。また、長老は「〔主の〕教会の常任教導者」と呼ばれています（教義と聖約 124：137）。ほかにも、それぞれの機能に関する教えがあります。

大祭司は霊的な事柄を行い、つかさどります（教義と聖約 107：10、12 参照）。また、ジョセフ・F・スミス大管長はこのように教えています。「聖任されたすべての大祭司は、年長者や若者に模範を示すべきです。そして……義の教師としてふさわしくあり、勧告だけでなく、特に模範に

よって教えるべきです。長年積み重ねてきた経験によって、若い人々を祝福するのです。そうすることによって、個人として、自分の住む地域の力となります。』³

長老の義務について、十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老はこのように教えています。「長老は主イエス・キリストの教導者であり、……同胞に仕えるに当たって、……主に代わって働くよう委託されている主の代理人なのである。』⁴

マッコンキー長老は「ただの長老」という考え方を批判しました。「教会の長老の持つ神権は大管長の持つ神権と同じ」と述べています。「長老とはどのような人であろうか。……長老は羊飼いである。良い羊飼いの羊の群れの中で働く羊飼いである。』⁵

良い羊飼いの羊の群れの中で仕えるという大切な働きにおいて、メルキゼデク神権の大祭司と長老の職の間に差異はありません。教義と聖約の中の偉大な第 107 章で、主はこのように宣言しておられます。「メルキゼデク神権の位に従う大祭司は、大管長会の指示の下に、自らの職において職務を行い、霊的な事柄をつかさどる権利を持つ。また、長老……の職務〔あるいはアロン神権の職務〕を行う権利をも持つ。」（教義と聖約 107：10。12 節も参照）

あらゆる神権者にとって最も重要な原則は、モルモン書の預言者ヤコブが教えた原則です。ヤコブと弟のヨセフが民の祭司と教師に任じられた後、ヤコブはこう宣言しました。「そしてわたしたちは、も

し自分たちが力のかぎり神の言葉を民に教えなければ、民の罪を自分たちの頭に受けるという覚悟で責任を受けたので、主に対して自分たちの務めを尊んで大いなるものとした。」（モルモン書ヤコブ 1：19）

兄弟の皆さん、神権者としてのわたしたちの責任は重大です。ほかの団体なら、自分のメッセージを伝えたり、ほかの機能を果たしたりすることで、この世の業績基準を満たしたことに満足するかもしれませんが。しかし、神の神権を持つわたしたちには、まさに神の日の栄えの王国へ入るかどうかを左右する神聖な力が与えられています。わたしたちには、主がお定めになった目的と責任があり、それは教義と聖約の序文の中で明らかにされています。わたしたちは世に宣言する義務を負っています。

それは、「すべての人が主なる神、すなわち世の救い主の名によって語るため、信仰もまた地に増すため、

わたしの永遠の聖約が確立されるため、わたしの完全な福音が弱い者や純朴な者によって世界の果てまで、また王や統治者の前に宣べられるため」です。（教義と聖約 1：20 - 23）

この神聖な義務を果たすために、わたしたちは忠実に神権の召しと責任を「尊んで大いなるものとする」必要があります（教義と聖約 84：33 参照）。ハロルド・B・リー大管長は、神権を尊んで大いなるものとするこの意味についてこう説明しています。「神権者になる人は、主の代理人となるのです。その人は自分自身の召しについて、主の用向きを受けているのであると考える必要があります。それが神権を尊んで大いなるものにするということの意味です。』⁶

ですから、兄弟の皆さん、もし主御自身から、神の息子あるいは娘の一人を助けるよう依頼があったら、そして主は御自身の僕を通してそれを行われましたが、皆さんは引き受けるでしょうか。そしてもし引き

受けるとしても、「主の用向きを受け」、約束された助けを信頼して、主の代理人として行動できるでしょうか。

リー大管長は、神権を尊んで大いなるものとする事について、別の見方を教えています。「虫眼鏡を何かにかざすと、裸眼で見るとより大きく見えます。それが虫眼鏡です。さて……神権を尊んで大いなるものとする人は、自分が初めに思っていたよりも大いなるものとして神権を行使し、ほかの人が考える以上に大切なものとします。このようにして神権を尊んで大いなるものとするのです。」⁷

神権の責任を尊んで大いなるものとする神権者の例を紹介しましょう。アイダホ州のあるステーキ大会で同席したジェフリー・D・エルクソン長老から聞いた話です。若く、結婚して間もない長老であったころのジェフリーは、ひどく貧しく、大学の最終学年を修了できないと思い、退学して、心引かれる仕事に就くことにしました。数日後、長老定員会の会長が彼の自宅を訪れました。長老定員会会長は、「わたしが持っている神権の鍵の重要性を君は理解しているだろうか」とジェフリーに尋ねました。理解していると答えると、会

長はこう言いました。「君が大学を中退しようとしているという話を聞いたのだが、それ以来、主に悩まされて、何日も眠れない夜を過ごしてきたんだ。君にこういうメッセージを伝えるように言われてね。『長老定員会の会長として、君に大学を中退しないよう勧告する。』これが主から君へのメッセージだ。」会長はそう言いました。ジェフリーは大学に残りました。何年もたって彼に会ったとき、実業家として成功していた彼は神権者たちに向かってこう言いました。「あの〔勧告〕のおかげで人生が一変しました。」

一人の神権者が神権と召しを尊んで大いなるものとしたことにより、もう一人の神の子の人生が「一変した」のです。

IV. 家族における神権

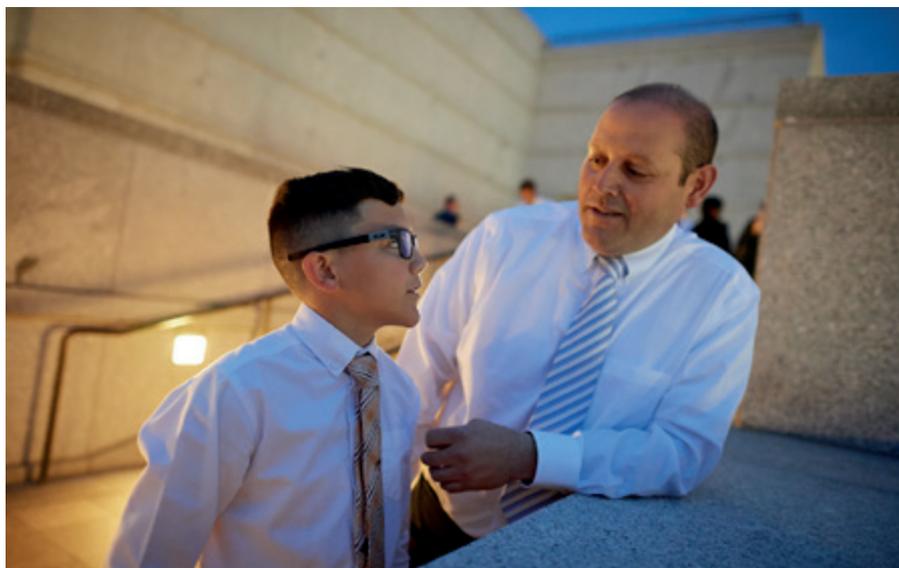
ここまでは、教会における神権の働きについて述べてきました。ここからは、家族における神権についてお話しします。まず、鍵についてです。神権の権能はその働きの鍵を持つ者の指示の下でしか行使できないという原則は、教会における基本原則ですが、家族における神権の権能の行使については当てはまりません。⁸ 神

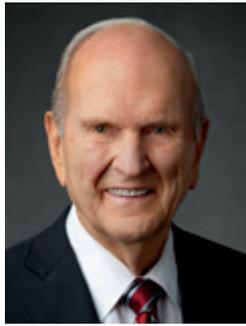
権を持つ父親は、その人が持つ神権の権能により家族の中で管理します。家族の誰かに勧告を与えたり、家族の集会を持ったり、妻や子供たちに神権の祝福を与えたり、家族やほかの人に癒しの祝福を与えたりするために、神権の鍵を持つ人の指示や承認を得る必要はありません。

父親たちが自分の家族の中で神権を尊んで大いなるものとするならば、ほかの何にも増して教会の使命を果たすことに貢献していることとなります。メルキゼデク神権を持つ父親は、戒めを守る必要があります。そうして初めて、家族に祝福を授けるために必要な神権の力を持つことができるようになるのです。また、愛に満ちた家族関係を培う必要もあります。そうすることで、家族が父親に祝福を求めてくるようになります。また、両親は家族がさらに神権の祝福を受けられるよう励まします。

家族の宣言で教えているように、父親は妻の「対等のパートナー」としての役割を果たします。⁹ また、父親の皆さん、神権の権能の力と影響力を行使する特権にあずかるときには、「説得により、寛容により、温厚と柔和により、また偽りのない愛により」行ってください（教義と聖約 121:41）。神権の権能の行使に関するこの高い標準は、家族の中で非常に大切です。ハロルド・B・リー大管長は大管長に就任した直後に次のように約束しました。「皆さんが持っている神権の力が最も素晴らしいと思えるのは、家庭の中に危機があったり、重い病気に見舞われたり、重要な決断を迫られたりした……ときです。全能の神の力である神権の力には、それが主の御心なら、奇跡を行う力もあります。しかし、わたしたちがその神権を行使するためには、そのためのふさわしさがが必要です。この原則を理解できなければ、偉大な神権を受けていてもその祝福にあずかることはできません。」¹⁰

愛する兄弟の皆さん、皆さんが持つ聖





ラッセル・M・ネルソン大管長

なる神権を尊んで大いなるものとするのは、家族や教会の召しにおける主の御業に不可欠です。

神権の源である主について証します。主の贖罪の苦しみと犠牲、そして復活を通して、すべての男女は不死不滅を得られる確証と、永遠の命にあずかる機会が与えられています。わたしたち一人一人が、永遠の父なる神の偉大な御業の中で自分の役割を忠実に勤勉に果たしていきましょう。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』343
2. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』340, 342
3. Joseph F. Smith, *Gospel Doctrine*, 5th ed. (1939), 182.
4. ブルース・R・マッコンキー「長老」『聖徒の道』1975年6月号, 242 参照, 強調は原文と異なる
5. ブルース・R・マッコンキー「長老」242, 強調は原文と異なる
6. 『歴代大管長の教え——ハロルド・B・リー』98
7. *The Teachings of Harold B. Lee*, ed. Clyde J. Williams (1996), 499. [訳注—「虫眼鏡」と「神権を尊んで大いなるものとする」はともに英語の magnify (大きくする) という単語が使用されている。]
8. タリン・H・オークス「家庭と教会における神権の権能」『リアホナ』2005年11月号, 24-27 参照
9. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145 参照
10. 『歴代大管長の教え——ハロルド・B・リー』102

神の力と権能による ミニスタリング

わたしたちは主の御名により、主の力と権能と愛にあふれた優しさをもって仕えます。

愛 する兄弟の皆さん、主とその聖なる業に献身してください感謝します。皆さんとともに集えることをうれしく思います。わたしたち新しい大管長会は、皆さんが祈り、支持して下さることに感謝しています。皆さんの生活と主への奉仕に感謝しています。義務に対する献身と無私の奉仕は、わたしたちの召しと同様に、皆さんの召しにおいても重要です。わたしがこの教会でこれまでの生涯の奉仕を通して学んだことは、どこで奉仕するかは問題ではないということです。主が心にかけておられるのは、どのように奉仕するかなのです。

50年以上わたしの模範であったトーマス・S・モンソン大管長への感謝をお伝えします。また、その顧問のヘンリー・B・アイリング管長とディーター・F・ワークトドルフ管長への称賛を伝えます。主と主の預言者に対する二人の奉仕を称賛します。この献身的な僕たちは新たな割り当てを受け、引き続き力強く、献身的に奉仕しています。二人を尊敬し、愛しています。

主の権能と力を備えた、主のまことの生ける教会で奉仕できることは、素晴らしい祝福です。神権の鍵を含め、神の神権の回復は、あらゆる霊的な祝福の中で最

大の祝福をふさわしい末日聖徒にもたらしめます。それらの祝福が世界中の男女や子供に注がれているのを、わたしたちは目にしています。

わたしたちは、自らの召しやエンダウメント、その他の神殿儀式に内在する力を理解している忠実な姉妹たちを見ます。彼女たちは、夫や子供、愛する人々を守り、強めるために天の力を求める方法を知っています。神の力と権能をもって恐れずに導き、教え、仕えて召しを果たす、霊的に強い女性たちです。¹ 彼女たちにどれだけ感謝していることでしょうか。

同様に、わたしたちは、神権者としての特権にふさわしい生活を送っている忠実な男性たちを見ます。彼らは愛と思いやり、忍耐をもって、主の方法で犠牲を払いながら導き、仕えています。自分たちの持つ神権の力により人々を祝福し、導き、守り、強めます。仕える相手に奇跡をもたらしつつ、自らの夫婦関係や家族を安全に守ります。悪を遠ざける、イスラエルの力強い長老たちに² 心から感謝しています。

さて、わたしが懸念していることを話してもよいでしょうか。それは、あまりにも多くの兄弟姉妹が、神権の力と権能の概念を十分に理解していないことです。彼



らは、神の力を使ってその子供たちを祝福するよりも、私利私欲を満たす方がよいと思っているかのような行動を取ります。

あまりにも多くの兄弟姉妹が、手に入られるはずの特権を理解していないのではないかと、わたしは危惧しています。³ 例えば、一部の兄弟は神権とは何か、神権のおかげで何ができるかを理解していないような行動を取ります。具体的な例を挙げましょう。

最近わたしが出席したある聖餐会で、生まれたばかりの幼子が命名と父親の祝福を受けることになっていました。若い父親は貴い幼子を腕に抱いて命名し、それから美しい祈りをささげました。ところが、その子に祝福を授けなかったのです。その愛らしい女の子は命名されただけで、祝福を授けられませんでした。その愛する長老は、祈りと神権の祝福の違いを知りませんでした。神権の権能と力により幼子を祝福できたのに、しなかったのです。何ともったいないことだろうと思いました。

ほかの例を挙げましょう。姉妹たちを初等協会や若い女性や扶助協会の指導者や教師として任命するときに、召しを果たす力を祝福として授けるのを怠る兄弟姉妹がいます。勧告と指示のみを授け

るのです。また、ふさわしい父親でありながら、妻と子供がまさに神権の祝福を必要としているときにそれを授けない人もいます。神権の力はこの地上に回復されています。にもかかわらず、あまりにも多くの兄弟姉妹が、まことの神権の祝福を受けることなく、この世のひどい試練を経験しているのです。何と悲しいことでしょう。このような悲しい出来事はなくすことができます。

兄弟の皆さん、わたしたちは神の聖なる神権を持っています。主の民を祝福する神の権能を持っています。「だれでもあなたが祝福する者をわたしは祝福し〔よう〕』と言われた主のすばらしい約束について考えてみてください。⁴ わたしたちには、イエス・キリストの御名により、御心に従って神の子供を祝福する特権があります。ステーキ会長とビショップの皆さん、皆さんが管理する定員会のすべての会員が神権の祝福の授け方を理解できるようにしてください。神の力を十分に求めるために必要な個人のふさわしさと霊的な備えも含めてです。⁵

神権を持つすべての兄弟にお勧めします。聖約を守り、断食し、祈り、聖文を研究し、神殿で礼拝し、男女を問わず神の人として信仰をもって奉仕するよう、会員を

促してください。従順と義によりイエス・キリストにさらに近づき、聖霊を伴侶とし、人生で喜びを経験できるということをすべての人が信仰をもって理解できるように、わたしたちは助けることができます。

主のまことの生ける教会の特徴は、組織として導かれて神の子供一人一人とその家族に仕えるよう常に努力が図られることです。⁶ 主の教会に属するわたしたちは主の僕として、主がなされたように、個人に対して仕え、教え、導きます。⁷ また、わたしたちは主の御名により、主の力と権能と愛にあふれた優しさをもって仕えます。

わたしは60年以上前のボストンでの経験から、1対1で仕え、教え、導く特権がもたらす影響力について学びました。当時マサチューセッツ総合病院で外科医として研修中であったわたしは、毎日働き、2日に1度は夜勤があり、2週に1度は週末も仕事がありました。妻や4人の子供、教会の活動のために割ける時間はごくわずかでした。にもかかわらず、支部会長から、ウィルバー・コックス兄弟が教会に活発に集えるように、コックス夫妻の自宅を訪問する割り当てを与えられました。ウィルバーと妻のレオノラは神殿で結び固めを受けていましたが、⁸ ウィルバーは長年教会から遠ざかっていました。



わたしは妻とともにコックス家に行きました。コックス姉妹は温かく迎えてくれましたが、⁹ コックス兄弟はぶっきらぼうに別の部屋へ行き、ドアを閉じてしまいました。

わたしはドアの前まで行き、ノックしました。少しして、かすかに「どうぞ」という声が聞こえました。わたしがドアを開けると、コックス兄弟がたかさんのアマチュア無線機の横に座っていました。その小さな部屋でコックス兄弟はたばこに火をつけました。わたしはあまり歓迎されていないようでした。

わたしは驚嘆の眼で部屋を見回し、こう言いました。「コックス兄弟、アマチュア無線のことをもっと知りたいとずっと思っていたのです。教えてもらえませんか。今夜はもう時間がありませんが、また来てもいいですか。」

コックス兄弟は少し躊躇していましたが、いいと言ってくれました。これが、すばらしい友情の始まりでした。わたしはまた彼を訪れ、彼から教わりました。彼を愛し、尊敬するようになりました。訪問を重ねるうちに、この男性のすばらしいところが表れてきました。わたしたちはとても良

い友達になりました。わたしたちの永遠の伴侶二人も同様でした。時がたち、わたしたち家族は引っ越しました。地元の指導者が引き続きコックス家族を養いました。¹⁰

最初の訪問から8年後、ポストンステーキが組織されました。¹¹ 最初のステーキ会長はだれだったでしょう。そうです。コックス兄弟です。その後、彼は伝道部会長、神殿会長としても奉仕しました。

何年後にも、わたしは十二使徒定員会会員として、ユタ州サンピート郡に新たにステーキを組織する割り当てを受けました。いつものように面接を行っていると、驚いたことに、愛する友であるコックス兄弟にまた会いました。わたしは彼を新しいステーキの祝福師に召すよう靈感を受けました。彼を聖任した後、わたしたちは抱き合って涙を流しました。部屋にいた人々は大の男二人が泣いている訳を知りませんでした。わたしたちとコックス姉妹は分かっていました。それは喜びの涙でした。わたしたちは、30年以上前のあの晩に彼らの自宅で始まった、愛と悔い改めのすばらしい旅路を静かに思い起こ

しました。

話はこれで終わりません。コックス兄弟姉妹の家族は増え、子供が3人、孫が20人、ひ孫が54人になりました。さらに、何百人もの宣教師、何千人もの神殿参入者、ウィルバー・コックスの手から祝福師の祝福を受けた何百人もの人が影響を受けました。コックス兄弟とレオノラ姉妹の影響は、引き続き世界中の多くの世代に波及しています。

ウィルバーとレオノラ・コックスのような経験は、毎週、希望を込めて言えば、毎日、この教会で起こっています。主イエス・キリストの献身的な僕は、主の力と権能をもって御業に携わっています。

兄弟の皆さん、わたしたちが開けることのできるドア、授けることのできる神権の祝福、癒すことのできる心、取り除くことのできる重荷、強めることのできる証、救うことのできる命、末日聖徒の家庭にもたらすことのできる喜びがあります。これはすべて、わたしたちに神の神権があるからです。わたしたちはこの業を行うように、「非常に深い信仰と善い行いのために、神の先見の明によって世の初めから召され、備えられていた」のです。¹²

これから皆さんに、大いなる永遠の兄弟として、わたしとともに立っていただきたいと思います。神権の職名を言いますので、立ち上がって、そのまま立っててください。執事は立ってください。教師は立ってください。祭司。ビショップ。長老。大祭司。祝福師。七十人。使徒。

では、兄弟たち、立ったまま、「立ち上がれ、おお、神の男たちよ」を3節まで一緒に歌っていただけますか。¹³ 歌いながら、主の再臨のために世を備える助けをする神の強力な軍勢として、皆さんが受けている務めについて考えてみてください。これがわたしたちの務めであり特権です。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■



末日聖徒イエス・キリスト教会の中央幹部と中央役員

大管長会



第一顧問
ダリン・H・オークス



大管長
ラッセル・M・ネルソン



第二顧問
ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会



M・ラッセル・バラード



ジェフリー・R・ホランド



ディーター・F・ウークトドルフ



トッド・A・ベドナー



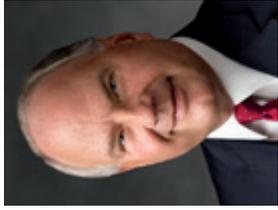
クエンティン・L・クック



D・トッド・クリストファースン



ニール・L・アンダーセン



ロナルド・A・ラズバンド



ゲアリー・E・ステイブソン



テール・G・レンランド



ゲレット・W・ゴング



ワリセス・ソアレス

七十人会長会



L・ホイットニー・クレーン



クレーグ・C・クリステンセン



リン・G・ロビンズ



フアン・A・ウセダ



パトリック・キアロン



カール・B・クック



ロバート・C・ゲイ

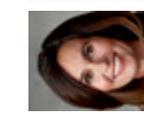
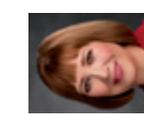
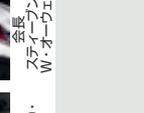
中央幹部七十人
(アルファベット順)

 マルコム・A. アイトカイテイス	 ロウレンス・E. コーブリッジ	 ポール・V. ゴードン	 イアン・S. アルチレン	 マービン・B. アーンバルト	 ステイブ・R. ハンガーター	 W. マーク・ ハセット	 デビッド・S. バウスター	 ランドール・K. ヘネット	 シエン・M. ホーエン	 マック・A. ブラッック	 クレイグ・A. カートン	 マシュー・L. カーニスター	 崔 滿煥	 キム・B. クラーク	 ウエスターフォード・ T. クラフト
 ローレンス・E. コーブリッジ	 J. デビッド・ コーンシュ	 クラウチアオ・R. M. コスタ	 イアン・S. アルチレン	 マービン・B. アーンバルト	 ステイブ・R. ハンガーター	 W. マーク・ ハセット	 デビッド・S. バウスター	 ランドール・K. ヘネット	 シエン・M. ホーエン	 マック・A. ブラッック	 クレイグ・A. カートン	 マシュー・L. カーニスター	 崔 滿煥	 キム・B. クラーク	 ウエスターフォード・ T. クラフト
 エドワード・ ガバット	 ジャック・N. クラード	 J. デビッド・ コーンシュ	 クラウチアオ・R. M. コスタ	 マービン・B. アーンバルト	 ステイブ・R. ハンガーター	 W. マーク・ ハセット	 デビッド・S. バウスター	 ランドール・K. ヘネット	 シエン・M. ホーエン	 マック・A. ブラッック	 クレイグ・A. カートン	 マシュー・L. カーニスター	 崔 滿煥	 キム・B. クラーク	 ウエスターフォード・ T. クラフト
 ジョニ・L. コッホ	 エリック・W. コビシュカ	 カリス・A. ゴドイ	 クラウチアオ・R. M. コスタ	 マービン・B. アーンバルト	 ステイブ・R. ハンガーター	 W. マーク・ ハセット	 デビッド・S. バウスター	 ランドール・K. ヘネット	 シエン・M. ホーエン	 マック・A. ブラッック	 クレイグ・A. カートン	 マシュー・L. カーニスター	 崔 滿煥	 キム・B. クラーク	 ウエスターフォード・ T. クラフト
 ジョニ・L. コッホ	 エリック・W. コビシュカ	 カリス・A. ゴドイ	 クラウチアオ・R. M. コスタ	 マービン・B. アーンバルト	 ステイブ・R. ハンガーター	 W. マーク・ ハセット	 デビッド・S. バウスター	 ランドール・K. ヘネット	 シエン・M. ホーエン	 マック・A. ブラッック	 クレイグ・A. カートン	 マシュー・L. カーニスター	 崔 滿煥	 キム・B. クラーク	 ウエスターフォード・ T. クラフト
 ジョニ・L. コッホ	 エリック・W. コビシュカ	 カリス・A. ゴドイ	 クラウチアオ・R. M. コスタ	 マービン・B. アーンバルト	 ステイブ・R. ハンガーター	 W. マーク・ ハセット	 デビッド・S. バウスター	 ランドール・K. ヘネット	 シエン・M. ホーエン	 マック・A. ブラッック	 クレイグ・A. カートン	 マシュー・L. カーニスター	 崔 滿煥	 キム・B. クラーク	 ウエスターフォード・ T. クラフト
 ジョニ・L. コッホ	 エリック・W. コビシュカ	 カリス・A. ゴドイ	 クラウチアオ・R. M. コスタ	 マービン・B. アーンバルト	 ステイブ・R. ハンガーター	 W. マーク・ ハセット	 デビッド・S. バウスター	 ランドール・K. ヘネット	 シエン・M. ホーエン	 マック・A. ブラッック	 クレイグ・A. カートン	 マシュー・L. カーニスター	 崔 滿煥	 キム・B. クラーク	 ウエスターフォード・ T. クラフト

管理ビシヨップリック

 第一顧問 ティベース	 第一顧問 サイエラ	 第二顧問 ワタル
--	---	--

中央役員

 第一顧問 アエラント	 第一顧問 クリスティーナ・ ホームス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ジョーンス	 第一顧問 ジョーンス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス
 第一顧問 アエラント	 第一顧問 クリスティーナ・ ホームス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ジョーンス	 第一顧問 ジョーンス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス	 第一顧問 ハークホス





七十人
ラリー・Y・ウィルソン長老

導き手として 聖なる御霊を受ける

イエス・キリストに信仰を持つ人に対し、何と驚くべき賜物が与えられることでしょう。その賜物は聖なる御霊です。

この復活祭の日曜日に、わたしたちは、主イエス・キリストの復活と、キリストの死への勝利に対する希望をすべての信者に与えてくれる空になった墓に思いを馳せます。わたしは、使徒パウロと同様に、神が「[キリスト]を死人の中からよみがえらせた」ように、「[神がわたしたちの]内に宿っている御霊によって、[わたしたち]の死ぬべきからだをも、生かしてくださる」ことを信じています。¹

この「生かしてくださる」は欽定訳聖書(英語)では“quicken”で、「命を与える」という意味です。ちょうどキリストがその復活の力を通して、肉体の死の後にわたしたちの体に命を戻してくださるのと同じように、キリストはわたしたちを霊の死から生かすことがおできになります。² モーセ書には、アダムがこれと同様の生かされた状態を経験したと書いてあります。「[アダムは]バプテスマを受け、神の御霊が彼に降られました。このようにして、彼は御霊によって生まれ、内なる人において生かされた者となったのです。」³

イエス・キリストに信仰を持つ人に対し、何と驚くべき賜物が与えられることでしょう。この賜物は、新約聖書で「イエス

にあるいのち」と呼ばれているものをわたしたちに与える聖なる御霊のことです。⁴ しかし、わたしたちはそのような賜物が与えられることを時々当然のこととっていないでしょうか。

兄弟姉妹の皆さん、「[わたしたちの]導き手として聖なる御霊を受け」ることは、非常に特別な権利です。⁵ そのことは以下の経験が示しています。

朝鮮戦争のとき、フランク・ブレア少尉は日本に駐留する軍の輸送船で働いていました。⁶ その船は従軍牧師を乗せるほど大きくありませんでした。そこで船長はブレア兄弟が信仰と原則を守る人で、全船員から高い尊敬を受けていたことを評価し、その船の非公式な牧師を務めるように依頼しました。

ブレア少尉はこう書いています。「わたしたちの船は巨大な台風に巻き込まれました。波の高さはおよそ14メートルありました。わたしが当直だったとき、……稼働していた3台のエンジンの内1台が故障して停止し、船の中心線部に亀裂が入ったと報告がありました。2台のエンジンが動いていましたが、そのうちの1台の出力は半減していました。わたしたちは深刻なトラブルに見舞われたのです。」

注

1. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの嘆願」『リアホナ』2015年11月号、96参照
2. ラッセル・M・ネルソン「神権の力を得るための代価」『リアホナ』2016年5月号、66-69参照。アルマ13:7-8; 教義と聖約84:17-20、35-38参照
3. 教義と聖約84:19-22; 107:18-19; ジョセフ・スミス訳創世14:30-31参照
4. 教義と聖約132:47
5. 神権の力と個人の義の関連性について、さらに詳しくラッセル・M・ネルソン「神権の力を得るための代価」66-69で述べられている。教義と聖約121:34-37、41-44も参照
6. イエス・キリストの教会がどこで、いつ設けられようとも、組織として導かれて個人と家族に仕えるよう努力するという本来の役割があることは明らかである。例として、ルカ10:1-20; 使徒6:1-6; エペソ4:11-14; モーサヤ18:9、18-19、27-29; 教義と聖約20:42、51、57を参照
7. 3ニーファイ17:9-10、20-21参照
8. ユタ州マウント神殿、1937年6月15日
9. レオノラが長年にわたり毎週日曜日にささげてきた断食と祈りが良い影響をもたらしたことは間違いない。
10. 1954年、支部会長のアイラ・テリーはウィルバーを支部日曜学校校長に召した。ウィルバーはこの召しを受け入れ、知恵の言葉に反する習慣をすべて断った。それ以来、救い主の業への奉仕に余生をささげたのであった。
11. 1962年
12. アルマ13:3
13. “Rise Up, O Men of God,” *Hymns*, no. 324.



ブレア少尉が自分の当直を終え、ベッドに入ろうとしていたとき、船長がドアをノックし、「この船のために祈ってくださいませんか」と頼みました。もちろん、ブレア少尉はそうすることに同意しました。

その時点で、ブレア少尉は単に「天のお父様、わたしたちの船を祝福し、安全をお守りください」と祈り、ベッドに戻れたかもしれません。しかし、そうする代わりに、船の安全を確保するために、*自分に*できることが分かるように、と祈りました。すると、ブレア兄弟は祈りの答えとして、ブリッジに行って船長と話をし、状況をよく把握するように聖霊から促しを受けました。船長は、船で稼働しているエンジンでどれだけ早く航行できるかを決めようとしていました。ブレア少尉はもう一度祈るために船室に戻りました。

そしてこう祈りました。「エンジンの問題に対処するために、わたしは何をしたらよいでしょうか。」

それに答えて聖霊は、船の中を巡回し、もっと情報を集めるために観察する必要がある、と彼にささやきました。彼は再び船長のところに戻り、甲板の上を巡回する許可を願い出ました。その後、腰に命綱を結んで、嵐の中に出て行きました。

船尾に立っていると、船が波の頂点に達したときに、大きなスクリューが水面から出ているのが見えました。一本のスクリューだけがフル稼働し、しかも非常に速い速度で回転していました。この状況を観察した後、ブレア少尉は再び祈りました。彼が受けたはっきりとした答えは、稼働している1台の正常なエンジンに過大

な負荷がかかっている、減速する必要がある、ということでした。そこで彼は船長のところに行ってそのことを提案をしました。船長は驚きました。船の機関士はちょうどその逆のことを提案してきたのです。すなわち、嵐から逃げ切るために正常なエンジンのスピードを上げることでした。けれども、船長はブレア少尉の提案に従うという選択をし、エンジンのスピードを落としました。夜明けには、船は静かな海で安全に航行していました。

そのほんの2時間後に、1台の正常なエンジンも故障して完全に止まってしまったのです。残った出力の半減したエンジンで、船は港までのろのろと進んで行きました。

船長はブレア少尉にこう言いました。「もしあのエンジンを減速していなかったら、嵐のただ中でそのエンジンを失ってしまったでしょう。」

あのエンジンがなければ、舵を取る方法はありませんでした。船は転覆し沈没していたはずです。船長はこの若い末日聖徒の士官に感謝し、ブレア少尉の霊的な印象に従うことが船と船員の命を救ったと信じていると言いました。

さて、この話はかなりドラマチックです。わたしたちがこのような緊迫した状況に直面することはないかもしれませんが、この話には、御霊の導きをもっと頻繁に受け取ることができるようになるにはどうしたらよいかということに関する大切な指針が含まれています。

第一に、啓示を受けるためには、わたし

たちの受信機を天の周波数に正しく合わせなければなりません。ブレア少尉は、清く忠実な生活をしていました。彼が従順でなかったなら、船の安全とそのような特別な導きを受けるために祈ったとき、祈ることに必要な霊的な確信が持てなかったことでしょう。神から導きを受けるためには、わたしたち一人一人の生活を神の戒めに合わせる努力をしなければなりません。

わたしたちがふさわしくないために、天からの信号を聞き取れないことがあります。悔い改めと従順は、導きを再びはっきりと聞き取るための方法です。旧約聖書で悔い改めという言葉は、「変化する」または「向きを変える」ことを意味します。⁷ 神から離れていると感じるとき、罪から向きを変えて救い主に顔を向ける決意さえすればよいのです。そうすることで、主があなたを待っておられ、主の腕が差し伸べられているのを見いだすでしょう。主はあなたを導こうと願っておられます。その導きを再び受けるためには、一歩踏み出して祈ることが必要なのです。⁸

第二に、ブレア少尉は、単に主が問題を解決してくださるよう願っていませんでした。彼は、解決の一助となるために自分には何ができるでしょうかと尋ねたのです。わたしたちも同じように、「主よ、解決の一助となるためにわたしは何をする必要があるでしょうか」と尋ねるとよいでしょう。祈りの中でわたしたちの問題を羅列し、主に解決していただくことを願って求める代わりに、主の助けを受けるためのもっと積極的な方法を探し求め、御霊の導きに従って行動することを決意するとよいでしょう。

ブレア少尉の話には第三の大切な教訓があります。もしブレア少尉がこれまでに御霊の導きを受けたことがなかったとしたら、そのような静かな確信を持って祈ることができたでしょうか。台風が来たときには、長い間使わなかった聖霊の賜物を取り出して、それをどう使えばよいかを見



つけ出す時間などありませんでした。この青年は、専任宣教師だったときも含め、以前に何回も使ったことのある方法に明確に従っていました。わたしたちは聖なる御霊を静かな海の導き手として受け入れる必要があります。そうすることで、最も激しい嵐の中にあっても、主の声は間違いなくわたしたちに届くのです。

「〔神が〕すべてのことを命じるのは適切ではない」ので、わたしたちが怠惰な僕にならないように、日々の導きを御霊に期待すべきではないと考える人がいるかもしれません。⁹ しかしながら、この聖句は、自分で受けるべき啓示をジョセフ・スミスが受けてくれるように頼んだ初期の数人の宣教師に与えられたものです。この前の聖句で、主は伝道地に向かう宣教師にこう言われました。「彼らに、彼ら自身とわたしの間で協議するとおりに、……この地に……来させなさい。」¹⁰

これらの宣教師たちは、彼らの旅の計画について具体的な啓示がほしいと思っていました。彼らは、個人的なことについて自分で導きを求めることをまだ学んでいませんでした。そこで主はその態度を怠惰であると呼ばれたのです。初期の教会員は、真実の預言者がいることを非常に喜ぶあまり、自分で啓示を受ける方法について学ぶことを怠る危険を冒していたのでした。霊的に自立するとは、自分自身の人生のために主の御霊を通して主の声を聞くことです。

アルマは自分の息子に「あなたのすべての行いについて主と相談しなさい」と助言しています。¹¹ わたしたちがよく「御霊によって生きる」と呼ぶこの方法で生活するのは大きな特権です。このことが、御霊の実として、愛、喜び、平安だけではなく、冷静さと確信の実感をもたらします。¹²

ブレア少尉の啓示を受ける能力が、荒れ狂う嵐から彼自身と船員仲間を救ったのでした。今日、別の種類の嵐が吹き荒れています。モルモン書にある命の木の

たとえ¹³ は、そのような世の中にあっても霊的な安全を得る方法について力強い描写がなされています。この夢は、神のみもとに戻る道を歩む教会の会員に霊的な破壊をもたらす暗黒の霧が突然起こることを示しています。¹⁴

この描写について深く考えると、その道を旅する数多くの人々がいて、ある人たちはしっかりと手で鉄の棒を握っていますが、ほかの多くの人たちは前を歩く人々の足跡に単に従っている様子がわたしの心に見えます。この後者の方法には、ほとんど何の考えも努力もありません。ほかの人が行ったり考えたりしていることを真似しているだけなのです。これは天気の良い日にはうまく行くでしょう。しかし、欺瞞の嵐と偽りの霧が前ぶれなしに発生します。このような状況において、聖霊の声に慣れ親しんでおくことは、霊的な生死を左右します。

ニーファイは次のように力強く約束しています。「だれでも神の言葉に聞き従って、それにしっかりとつかまる者は、決して滅びることがなく、また敵対する者の誘惑や火の矢も、彼らを打ち破って盲目とし、滅びに至らせることはない。」¹⁵

あなたの道の前を歩く人の足跡に従うのでは十分ではありません。わたしたちは、ほかの人が行っていたり考えていたりすることを、単に行ったり考えたりするこ

とはできません。わたしたちは、導きを受けながら生活しなければなりません。わたしたちは一人一人、自分の手で鉄の棒を握らなければならないのです。そうすることで、謙遜な確信を持って主のもとに行き、主が「手を引いて〔わたしたちを〕導き、〔わたしたちの〕祈りに答えを与えてくださることを知るので。」¹⁶ イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ローマ 8:11; ヨハネ 14:16 も参照
2. ニーファイ 2:21; アルマ 42:9 参照
3. モーセ 6:65
4. ヒラマン 8:2。2 ニーファイ 25:25 も参照
5. 教義と聖約 45:57
6. フランク・ブレアの許可により経験談を掲載。ブレア少尉は現在 89 歳で、この説教が語られたときにカンファレンスセンターに出席していた。
7. 例えばエゼキエル 14:6 で “repent” (訳注: 口語訳旧約聖書では「捨てる」) と翻訳されたヘブライ語は “shoob” (字訳) である。それは、「戻る」または「帰る」を意味する。(See James Strong, *The Exhaustive Concordance of the Bible* [1890], no. 7725.)
8. モルモン書ヤコブ 6:5; モーサヤ 16:12; アルマ 5:33; 19:36; 29:10; 3 ニーファイ 9:14 参照
9. 教義と聖約 58:26
10. 教義と聖約 58:25, 強調付加
11. アルマ 37:37, 強調付加
12. ガラテヤ 5:22 参照
13. 1 ニーファイ 8 章; 12 章; 15 章参照
14. 1 ニーファイ 8:23-24; 12:17 参照
15. 1 ニーファイ 15:24, 強調付加
16. 教義と聖約 112:10



中央扶助協会会長会第二顧問
レイナ・I・アブルト

心を合わせて

崇高な行く末にたどり着くために、わたしたちは互いを必要としています。わたしたちは、一つとならなければなりません。

地 地球上で最も驚くべき生物の一つがオオカバマダラというチョウです。夫の家族とクリスマスを過ごすためにメキシコへ旅行に行った際、何百万というオオカバマダラが冬を過ごす、チョウの保護区を訪れました。その目を見張る光景は神の創造物が神の律法に対して一致し、従順であることを表しており、わたしたちにとって模範となります。¹

オオカバマダラは道案内の達人です。

このチョウは、太陽の位置によって進むべき方角を見つけます。毎年春には、このチョウの群れはメキシコからカナダまで数千マイルも移動し、秋には、メキシコと同じ神聖なモミの木の下へ帰っていきます。² 小さな羽を一回一回羽ばたかせながら、これを毎年繰り返すのです。旅の途中、夜は木の上で一塊となって過ごし、寒さや敵から身を守ります。³

チョウの群れは万華鏡と呼ばれていま



メキシコの家に戻るオオカバマダラと同じように、わたしたちも天の家に戻る旅路にいる。

す。⁴ なんと美しい光景でしょう。万華鏡の中のチョウは一匹一匹、唯一無二の存在であり、愛ある創造主によって創造されています。弱々しく見えるこれらの生物も、生きてながらえ、旅をし、繁殖し、花から花へ移動して花粉を運び、生命を広げる力をもっています。チョウは一匹ずつ異なりますが、協力し合って世界をさらに美しく、実り豊かな場所に行っているのです。

オオカバマダラと同じように、わたしたちも天の両親と天の家で再び会うための旅路にいます。⁵ チョウと同じように、「[わたしたちの] 創造の目的を [達する]」ため、神聖な属性が与えられています。⁶ チョウと同じように心を結び合わせるならば⁷、主は「めんどりが羽の下にひなを [集める] ように」⁸ わたしたちを守り、美しい万華鏡にしてくださいませ。

少年少女、若い男性女性の皆さん、そして、兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは皆一緒にこの旅をしているのです。崇高な行く末にたどり着くために、わたしたちは互いを必要としています。わたしたちは、一つとならなければなりません。主は命じられました。「一つとなりなさい。もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない。」⁹

御父と一つであられることにおいて、イエス・キリストは究極の模範です。御二方は目的、愛、そして業において一つです。「御子の御心は御父の御心にのみ込まれ」ているのです。¹⁰

どうすれば、御父と一つであられる主の完全な模範に倣って、さらに御二方と一つとなり、互いも一つとなれるのでしょうか。

使徒行伝第1章14節に靈感あふれる模範があります。「[彼ら]はみな、婦人たち……と共に、心を合わせて、ひたすら祈をしていた。」¹¹

使徒行伝には、復活されたイエス・キリストが天に昇られた直後の弟子の行動や、弟子が自らの努力に対して享受した祝福

について書かれています。幾度か出てくる「心を合わせて」という表現には重要な意味があると思います。また、主が訪れ、人々を教え導かれたアメリカ大陸の忠実な人々の間にも同じようなことがあったことには重要な意味があります。「心を合わせて」には、同意や一致、また、それらを合わせたすべての意味が含まれます。

二つの場所で忠実な聖徒たちが一致して行ったことの中に、イエス・キリストを証し、神の言葉をともに研究し、愛を持って互いに教え、仕え合ったことがあります。¹²

主に従う者たちは、目的、愛、業において一つでした。自らと、自らが成すべきことを知り、愛をもって神と互いのために行動しました。彼らは、心を合わせて前進する美しい万華鏡の一部でした。

人々は聖霊に満たされ、奇跡が起こり、教会は発展しました。また、人々の間に争いがなく、主がすべてのことについて彼らを祝福されました。これらは彼らが受けた祝福の一部です。¹³

これほど彼らが一致していた理由は、主を直接知っていたからではないかと思えます。彼らは主の近くにおり、主の聖なる使命、主がなされた奇跡、そして主の復活の証人だったのです。主の両手と両足の傷を見て、触れました。主が約束されたメシヤであり、世の贖い主であることを確信をもって知っていました。「主があらゆる癒し、平安、永遠の進歩の源であられる」¹⁴ ことを知っていました。

わたしたちは肉体の目で救い主を見たことがないかもしれませんが。しかし、それでも、わたしたちは主が生きておられることを知ることができるのです。主にさらに近づき、聖霊を通して主の神聖な使命に対する個人的な証を得ようとするとき、自らの目的への理解が深まります。神の愛が心の中に宿り¹⁵、家族、ワード、地域というそれぞれの万華鏡の中で一つとなる決心をし、「より新しい、より高い視点を」¹⁶ 互いに助け合うようになります。



神の子供たちが御霊に導かれて、困っている人たちに手を差し伸べようと協力するとき、奇跡が起こります。

大災害が襲いかかる度に、人々の間の隣人愛についての話を多く耳にします。例えば、去年ヒューストンが大規模な洪水に見舞われたとき、自分自身にも困難があることを忘れて救助に向った人々がいました。ある長老定員会の会長が、地域に助けを要請すると、あっという間に77艘^{そう}からなる船団が組織されました。救助隊は被災地を回ってすべての家族を教会の集会所へと運びました。被災した家族はそこに保護され、必要な助けを十分に受けました。教会員も教会員でない人も、力を合わせて一つの目的のために働きました。

チリのサンティアゴでは、扶助協会の会長が、地域に住む、ハイチからの移住者を助けたいと思っていました。神権指導者と相談した結果、会長と指導者たちにある考えが浮かびました。それは、移住者たちが町に溶け込めるよう、スペイン語のクラスを設けるといふものです。毎週土曜日の朝、宣教師たちが学ぶ意欲いっばいの生徒と一緒に集います。その建物に漂う、様々な背景を持った人々が心を合わせて奉仕する一致した雰囲気は靈感あふれる模範です。

メキシコでは、2度にわたる大地震の生

存者を助けようと、数百人もの会員が何時間もかけて現地に行きました。道具や機械とともに、隣人への愛も携えて行きました。ボランティアたちが教会の集会所の一つに集まって指示を待っているとき、このような「キリストの純粋な愛」を目にしたイクスウアタンの市長は泣き崩れました。¹⁷

現在、わたしたちには主によって毎月の神権定員会と扶助協会での評議の機会が与えられています。そのため、わたしたちは皆、ワードや支部という万華鏡の中でさらに活発な参加者となり、必要とされる存在になれます。

一人一人の道は違います。でも、わたしたちは一緒に歩んでいます。これまでどこで、何をしてきたかではなく、これから一致してどこへ向かい、どのような人となるかがわたしたちの道なのです。聖霊に導かれながらともに評議するとき、今いる場所と、行くべき場所を知ることができます。聖霊は、肉体の目には見えないビジョンを与えてくださいます。「啓示はわたしたちの間にあふれて」おり¹⁸、啓示を集めればさらに多くを目にすることができます。

一致して働く目的は、主の御心を求め、実行することであるべきです。そして、その動機は、神と隣人への愛でなければなりません。¹⁹ また、一番大きな望みは、救い主のもとへ栄光を持って帰る道を備える



ことができるよう、「熱心に働く」ことでなければなりません。²⁰ それを可能にするのは、ただ一つ、わたしたちが「心を合わせる」ことです。

オオカバマダラのように、わたしたちも目的を持ってともに旅を続けましょう。一人一人がそれぞれの特質をもって貢献しながら、ここをもっと美しく豊かな世界にしましょう。小さくとも一歩ずつ、神の戒めと調和しながら歩みましょう。

わたしたちが主の御名によって集まるとき、主はその中にいてくださる²¹ と、主イエス・キリストは約束してくださっています。主は生きておられ、今日のように美しい春の朝に復活されたことを証します。主はあらゆる統治者の上に立つ統治者であられ、「もろもろの王の王、もろもろの主の主」であられます。²²

わたしたちが聖霊によって導かれるとき、御父と御子と一つとなることができることを、イエス・キリストの御名により、へりくだりお祈りします。アーメン。■

注

1. アブラハム 3:26; 4:7, 9-12, 15, 18, 21, 24-25 参照
2. オオカバマダラに関して、カナダまで北上する渡りには三世代かかるという興味深い事実がある。しかし、メキシコへ南下する渡りは「超世代」が全行程を行い、そこで冬を越したあと、初めての北への渡りを始める。(See "Flight of the Butterflies" [video, 2012]; "'Flight': A Few Million Little Creatures That Could," WBUR News, Sept. 28, 2012, wbur.org.)

3. See "Why Do Monarchs Form Overnight Roosts during Fall Migration?" learner.org/jnorth/tm/monarch/sl/17/text.html.
4. See "What Is a Group of Butterflies Called?" amazingbutterflies.com/frequentlyaskedquestions.htm; see also "kaleidoscope," merriam-webster.com. Kaleidoscope (英語で「万華鏡」の意味)は、ギリシャ語の kalos (「美しい」)と eidos (「形」)からきている。
5. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145 参照
6. 教義と聖約 88:19. 教義と聖約 88:25 も参照
7. モーサヤ 18:21 参照
8. 3 ニーフアイ 10:4
9. 教義と聖約 38:27
10. モーサヤ 15:7
11. 使徒 1:14, 強調付加
12. エルサレムで聖徒たちが行ったことの例：一人の新しい使徒と評判のよい7人を選び、彼らを助けた(使徒 1:26; 6:3-5 参照)；五旬節の日が集まった(使徒 2:1 参照)；イエス・キリストを証した(使徒 2:22-36; 3:13-26; 4:10, 33; 5:42 参照)；人々に悔い改めを呼びかけ、バプテスマを施した(使徒 2:38-41 参照)；信徒の交わりを続け、パンをさき、祈った(使徒 2:46 参照)；一緒にいて、いっさいの物を共有した(使徒 2:44-46; 4:34-35 参照)；宮もうでをなした(使徒 2:46 参照)；よろこびとまごころをもって食事をした(使徒 2:42 参照)；神をさんびし、すべての人に好意を持たれた(使徒 2:47 参照)；信仰を受け入れた(使徒 6:7 参照)；「もっぱら祈と御言のご用に当」たった(使徒 6:4)。アメリカ大陸で聖徒たちが行ったことの例：キリストの福音を宣べ伝えた(3 ニーフアイ 28:23 参照)；キリストの教会を設立した(4 ニーフアイ 1:1 参照)；人々にバプテスマを施した(4 ニーフアイ 1:1 参照)；皆、互いに公正に振る舞った(4 ニーフアイ 1:2 参照)；すべてのものを共有した(4 ニーフアイ 1:3 参照)；町を築いた(4 ニーフアイ 1:7-9 参照)；めとった(4 ニーフアイ 1:11 参照)；主から受けた戒めに従って歩んだ(4 ニーフアイ 1:12 参照)；断食と祈りを続けた(4 ニーフアイ 1:12 参照)；祈りをささげ、主の言葉を聞くためにしばしば集まった(4 ニーフアイ 1:12 参照)
13. エルサレムで聖徒たちが受けた祝福の例：聖霊に満たされた(使徒 2:4:4:31 参照)；異言や預言の賜物を受けて、神の大きな働きを述べた(使徒 2:4-18 参照)；使徒たちによって、多くの奇跡としるしが行われた(使徒 2:43 参照)；奇跡が起きた(使徒 3:1-10; 5:18-19; 6:8, 15 参照)；多くの人々が教会に加わった(使徒 2:47; 5:14 参照)。アメリカ大陸で聖徒たちが受けた祝福の例：人々が主に帰依した(3 ニーフアイ 28:23; 4 ニーフアイ 1:2 参照)；その時代の人々が祝福を受けた(3 ニーフアイ 28:23 参照)；人々の間に争いも論争もなかった(4 ニーフアイ 1:2, 13, 15, 18 参照)；物持ちも貧しい者もなかった(4 ニーフアイ 1:3 参照)；「皆自由となり、天の賜物にあずかる者となった」(4 ニーフアイ 1:3)；地は平和であった(4 ニーフアイ 1:4 参照)；大きな奇跡が起こった(4 ニーフアイ 1:5, 13 参照)；主は民を非常に栄えさせられた(4 ニーフアイ 1:7, 18 参照)；人々は、力をつけ、急速に増え、非常に麗しくて喜ばしい民になった(4 ニーフアイ 1:10 参照)；人々は、主が彼らに立てられた多くの約束のとおり主によって祝福された(4 ニーフアイ 1:11 参照)；「民の心の中に宿っていた神の愛のために、地の面にはまったく争いがなかった」(4 ニーフアイ 1:15)；「ねたみや紛争、騒動、みだらな行い、偽り、殺人もなく、どのような好色もなく、神の手によって造られたすべての人の中で、彼ら以上に幸せな民は確かにあり得なかった」(4 ニーフアイ 1:16)；「強盗も人殺しもおらず、レーマン人とか何々人とか言われる者もなく、彼らは一つであり、キリストの子であり、神の王国を受け継ぐ者であった」(4 ニーフアイ 1:17)；主は人々が行うすべてのことについて彼らを祝福された(4 ニーフアイ 1:18 参照)
14. ジーン・B・ビンガム「あなたがたの喜びが満ちあふれるためである」『リアホナ』2017年11月号, 85
15. 4 ニーフアイ 1:15 参照
16. ジェフリー・R・ホランド「教会の使者」『リアホナ』2016年11月号, 62
17. モロナイ 7:47
18. Neil L. Andersen, in "Auxiliary Panels Use New Training Library," *Ensign or Liahona*, Apr. 2011, 76.
19. マタイ 22:37-40 参照
20. モルモン書ヤコブ 5:61
21. マタイ 18:20 参照
22. 1 テモテ 6:15



七十人
マッシモ・デ・フェオ長老

純粹な愛 —— イエス・キリストの 眞の弟子すべてに 見られる眞のしるし

イエス・キリストの福音は、わたしたちに対する御父と救い主の愛、そして御二方に対するわたしたちの愛と互いへの愛が中心となっています。

わ たしたちはトーマス・S・モンソン大管長を愛し、彼がいないことを寂しく思います。また、ラッセル・M・ネルソン大管長を愛し、支持しています。ネルソン大管長はわたしにとって特別な人です。

わたしが若い父親だったとき、当時5歳だった息子は、ある日学校から帰って来ると、母親にこう尋ねました。「パパはどんな仕事をしているの?」それから息子は、新しいクラスメートとそれぞれの父親の仕事について言い合いになったことを教えてくれました。一人の子は、父親は警察署長だと言い、別の子は、父親が大きな会社の偉い人だと誇らしく言いました。

そこで父親のことを聞かれたわたしの息子は、「ぼくのお父さんはオフィスのコンピューターで仕事をしているよ」と答えました。その答えに新しいクラスメートがあ

まり反応していなかったことに気づいた息子は、こう付け足しました。「それに、ぼ

くのお父様は宇宙の偉い人なんだよ。」

恐らくそこで、その会話は終わってしまったのでしょう。

わたしは妻に、「そろそろ息子に、だれがほんとうにいちばん重要な御方なのか、もっと救いの計画について詳しく教える時だね」と言いました。

子供たちに救いの計画について教えると、子供たちはそれが愛の計画だと知り、天の御父と救い主に対する愛が増しました。イエス・キリストの福音は、わたしたちに対する御父と救い主の愛、そして御二方に対するわたしたちの愛と互いへの愛が中心となっています。

ジェフリー・R・ホランド長老はこう言いました。「永遠にわたるいちばん大切な第一の戒めは、わたしたちの心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして神を愛することです。これが、いちばん大切な第一の戒めです。しかし、永遠にわたるいちばん大切な第一の真理は、神が御自分の心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くしてわたしたちを愛しておられるということです。その愛は永遠にわたる土台であり、またわたしたちの日々の生活の土台でなければなりません。」¹





わたしたちの日々の生活の土台である純粋な愛は、イエス・キリストのすべての真の弟子に求められています。

預言者モルモンはこう教えています。「したがって、わたしの愛する同胞よ、あなたがたは、御父が御子イエス・キリストに真に従う者すべてに授けられたこの愛で満たされるように、また神の子となれるように、熱意を込めて御父に祈りなさい。」²

愛は、確かにイエス・キリストの真の弟子すべてに見られる真のしるしです。

真の弟子は喜んで奉仕します。彼らは、奉仕が真の愛の表れであり、バプテスマのときに交わした聖約であると知っています。³ 教会の召しや、地域社会での役割が何であろうとも、彼らは主と隣人を愛し仕えたいという望みが増していると感じています。

真の弟子は喜んで赦します。彼らは、救い主の贖罪がわたしたち一人一人のすべての罪と過ちに及ぶことを知っています。主が「すべての代価」を払われたことを知っています。罪や過ち、悪行に関連するそのほかの霊的な費用や手数料、追加料金や税も、すべて含まれているのです。真の弟子は、人を赦すのも、人に赦しを請うのもすぐに行います。

愛する兄弟姉妹の皆さん、もし赦す力を見いだすのが難しいと感じているのなら、相手が何をしたのかを考えるのではなく、救い主があなたに何をしてくださったのかを考えてください。そうすれば、主の贖罪からもたらされる贖いの祝福によって平安を見いだすことでしょう。

真の弟子は心に平安をもって喜んで主に従います。彼らは、主を愛しているので謙遜で従順です。主の御心、つまり主が何をされるのかだけでなく、主がいつ、どのように行われるのかも完全に受け入れる

信仰を持っています。真の弟子は、真の祝福とは必ずしも自分が望んでいるのではなく、主が望んでおられることだと知っています。

真の弟子は、この世以上に主を愛し、確固とした揺るぎない信仰を持っています。移りゆく混沌とする世にあって、強く、堅固であり続けます。御霊と預言者の声に喜んで耳を傾け、この世の声には惑わされません。喜んで「聖なる場所に立ち」⁴、今立っている場所を聖い場所にしようとします。どこに行こうとも、ほかの人の心に主の愛と平安をもたらします。喜んで主の戒めに従います。それは主を愛しているからです。喜んで聖約を守り大切にすることで、心が新たにされ、自らの性質が変えられます。

純粋な愛は、イエス・キリストの真の弟子すべてに見られる真のしるしです。

わたしは母から純粋な愛について学びました。母は教会の会員ではありませんでした。

何年も前のある日、わたしはがんで苦しんでいた母を訪ねました。母の命が短いことは分かっていたのですが、母の苦しむ様子を見たわたしは心配しました。わたしは何も言いませんでしたが、わたしのことをよく知っている母は、「何か心配事があるみたいね」と言いました。

そして驚いたことに、弱々しい声でこう言いました。「祈り方を教えてくれるかしら。あなたのために祈りたいの。『天のお父様』と言って始めるのは知っているけれど、その後は何と言えがいいの?」

わたしが母のベッドの傍らにひざまずき、母がわたしのために祈ってくれたとき、今までに感じたことのない愛を感じました。それは飾らない、真の、純粋な愛でした。母は救いの計画については知りませんで

したが、心の中に独自の愛の計画、息子に対する母親の愛の計画を持っていました。痛みを苦しんでいて、祈る力もないほどの中で祈り、かろうじて声が聞こえるくらいであっても、確実に母の愛を感じました。

「それほど痛みを苦しんでいる人が、どうしてだれかのために祈れるのだろうか。祈りが必要なのは本人なのに」と、わたしは思ったことを覚えています。

そしてわたしの頭にはっきりとした答えが来ました。それは純粋な愛です。母はわたしのことをとても愛していたので、自分のことを忘れていました。人生の窮地にあっても、自分よりもわたしのことを愛していたのです。

さて、愛する兄弟姉妹の皆さん、これこそまさに救い主がなされたことではないでしょうか。もちろん、永遠で、より幅広い観点でのことです。主は、あの晩ゲツセマネの園で、わたしたちには想像も理解もできない方法で激しい苦痛を経験されました。助けが必要だったのは主御自身でした。にもかかわらず、最終的には、自らを捨て、すべての代価を支払われるまでわたしたちのために祈られたのです。なぜそのようなことがおできになったのでしょうか。それは、イエスを遣わされた御父と、わたしたちに対する純粋な愛のためです。御自身のことよりも御父とわたしたちを愛されたのです。

主は、御自分がなさらなかったことのために代価を払われました。主は、御自分が犯されなかった罪のために代価を払われました。なぜでしょうか。純粋な愛のためです。主がすべての代価を支払われたので、わたしたちが悔い改めるなら、その代価で払われた祝福を、主はわたしたちのために与えることがおできになります。どうしてそのようにされたのでしょうか。繰り返しますが、常に純粋な愛のためでした。

純粋な愛は、イエス・キリストの真の弟子すべてに見られる真のしるしです。



七十人
クラウディオ・D・シビック長老

トーマス・S・モンソン大管長は言いました。「わたしたちが今から、まさに今日から、家族であろうと友人であろうと、あるいは単なる知り合いやまったく知らない人であろうと、神のすべての子供たちに愛を示し始めますように。毎朝起きるときに、どのようなことが起ころうとも愛と優しさをもって応じると決意しましょう。」⁵

兄弟姉妹の皆さん、イエス・キリストの福音は、愛の福音です。最も偉大な戒めは、愛に関連しています。わたしにとって、愛こそがすべてです。わたしたちのために御子を犠牲にされた御父の愛。わたしたちのためにすべてを犠牲にされた救い主の愛。子供のためにすべてを与える母親や父親の愛。ほかの人にはほとんど気づかれずに、しかし主はよく御存じの、ひっそりと奉仕する人々の愛。常に、そしてすべてを赦す人々の愛。受けるよりも多くを与える人の愛です。

わたしは天の御父を愛しています。救い主を愛しています。福音を愛しています。この教会を愛しています。家族を愛しています。このすばらしい人生を愛しています。わたしにとって、愛こそがすべてです。

救い主の復活を思い出す今日この日が、わたしたち一人一人の霊的に生まれ変わる日となりますように。今日この日が、「わたしたちの日々の生活の土台」である愛に満たされる日々の始まりとなりますように。

わたしたちの心がキリストの純粋な愛、すなわち、イエス・キリストの真の弟子すべてに見られる真のしるしで満たされますように。イエス・キリストの御名により祈ります、アーメン。■

注

1. ジェフリー・R・ホランド「あす、主があなたがたのうちに不思議を行われるからである」『リアホナ』2016年5月号, 126
2. モロナイ 7:48
3. モーサヤ 18:10 参照
4. 教義と聖約 45:32
5. トーマス・S・モンソン「愛——福音の真髄」『リアホナ』2014年5月号, 94

最後まで堪え忍ぶ者は救われる

自分が信じてきたことや知っていることに忠実になりましょう。

愛 する兄弟姉妹の皆さん、この機会にわたしの思いを伝えられることにとても感謝しています。

何年前か前、妻とわたしはソルトレーク・シティの教会歴史博物館で行われた子供向けの体験型展示会の開催式に出席しました。式の最後に、トーマス・S・モンソン大管長がわたしたちに歩み寄って握手をし、「堪え忍ぶならば勝利を得ることができます」と言いました。それは深遠な教えであり、それが真実だということは、もちろん、わたしたち皆が認めること

でしょう。

イエス・キリストは「最後まで耐え忍ぶ者は救われる」と約束されました。¹

堪え忍ぶとは「誘惑や反対や逆境に負けることなく、神の戒めに忠実であろうという決意を固く守り続ける」という意味です。²

力強い霊的な経験をし、忠実に奉仕をしていた人でさえ、最後まで堪え忍ばなければ道を外れ、活発でなくなってしまう。「自分はそうならない」という言葉を、わたしたちが常に自分の思いと心に強く刻んでおけるよう願っています。



イエス・キリストがカペナウムで教えておられたとき、「多くの弟子たちは去って行って、もはやイエスと行動を共に」しませんでした。

「そこでイエスは十二弟子に言われ〔ました。〕『あなたがたも去ろうとするのか。』」³

イエス・キリストは今日、御自分と神聖な聖約を交わしたわたしたち全員に「あなたがたも去ろうとするのか」と問いかけておられると、わたしは思います。

永遠がもたらすものについて思いを深く巡らせながら、わたしたちが皆シモン・ペテロのように答えられることを願います。「主よ、わたしたちは、だれのところに行きましょう。永遠の命の言をもっているのはあなたです。」⁴

自分が信じてきたことや知っていることに忠実になりましょう。正しいと分かっていることに従って生きてこなかったとしたら、変わりましょう。罪に固執し、悔い改めない罪人は、汚れの中へ深く沈み込んでいき、その結果、サタンが彼らを自分のものと主張するようになり、悔い改め、赦され、あらゆる永遠の祝福を受ける機会を大きな危険にさらすことになります。

わたしはこれまで、教会に活発に集わなくなり、この地上での旅の目的に対する正しいビジョンを失った人の言い訳をたくさん聞きました。彼らに、よく考え、戻って来るよう勧めます。主イエス・キリストの御前ではだれも言い訳ができないからです。

わたしたちはバプテスマを受けるときに聖約を交わしました。人とではなく救い主とです。わたしたちは「最後までイエス・キリストに仕える決心をして……イエス・キリストの名を受けること」に同意したのです。⁵

聖餐会への出席は、わたしたちの主仕える決意や霊的な屈強さ、イエス・キリストを信じる信仰の成長の度合いを計る重要な方法の一つです。

聖餐を取ることは、安息日に行く最も大切なことです。主は御自分の死の直前に、使徒たちにこの儀式について説明されました。そしてアメリカ大陸でもそうされました。わたしたちがこの儀式に参加するならば、それはわたしたちがいつも主を覚えていることを御父に証するものとなり、それに応じて、主は御自分の御霊がわたしたちとともにあることを約束してくださいます。⁶

息子アルマの、自分の息子シブロンへの教えの中には、わたしたちが聖約に忠実であり続ける助けとなる賢明な勧告と警告が含まれています。

「高慢にならないようにしなさい。自分の知恵や優れた力を誇らないようにしなさい。

大胆でありなさい。しかし、尊大であってはならない。また、激情をすべて制し、愛で満たされるようにしなさい。怠惰にならないようにしなさい。」⁷

何年前かに旅行に出かけていたとき、カヤックに初挑戦してみたいと思いました。カヤックを借り、大いに意気込んで海に向き出発しました。

数分後、カヤックが波でひっくり返りま

した。必死に片手でパドルを、そしてもう片方の手でカヤックをつかみ、元の状態に戻ることができました。

再びカヤックを漕ごうとしましたが、たった数分後に、またカヤックがひっくり返りました。わたしは意地になって何度も立ち直ろうとしましたが無駄でした。すると、カヤックの経験者が、外板にひびが入ってカヤックの中が水でいっぱいになっているはずだと教えてくれました。そのせいで不安定になってコントロールできなくなっていたのです。わたしはカヤックを引きずって岸にあげ、栓を抜くと、案の定、水が大量に出てきました。

時々わたしたちは、カヤックの水漏れのように、霊的な進歩を妨げる罪を抱えながら人生を歩むときがあるのではないかと思います。

罪が人生にもたらす不均衡のせいでひっくり返り、そこから立ち直り続けたとしても、罪に固執するならば、わたしたちは主と交わした聖約を忘れてしまいます。

カヤックのひびのように、人生におけるひびにも対処が必要です。ある罪はほかの罪より悔い改めに多くの努力を必要とします。





そこでわたしたちはこう自問すべきです。「主と主の御業に対するわたしたちの態度はどうであろうか。わたしたちはイエス・キリストを否定したペテロと同じ状態にいるだろうか。あるいは、救い主から『大宣教命令』を与えられたときのペテロの態度と決意の域にまで達しているだろうか。」⁸

わたしたちはすべての戒めに従うよう努力し、守るのが最も難しい戒めに細心の注意を払うべきです。主はわたしたちのそばにいて、必要なときや弱っているときに助けてくださり、わたしたちが心からの望みを示して、それに応じて行動するとき、主は「弱さを強さに変えて」くださいます。⁹

従順さは罪に打ち勝つ強さを与えてくれます。また、信仰の試しを受けるときには、往々にして結果が分からない状態で従うことが求められることを理解しなければなりません。

最後まで堪え忍ぶための秘訣を提案したいと思います。

1. 毎日、祈り、聖文を読む。
2. 毎週、打ち砕かれた心と悔いる霊をもって聖餐を取る。

3. 什分の一と毎月の断食献金を納める。
4. 2年ごとに、青少年の場合は毎年、神殿推薦状を更新する。
5. 生涯を通じて、主の業において奉仕する。

福音の偉大な真理がわたしたちの思いに安定をもたらし、人生という海を安全に旅する妨げとなるようなひびがない状態をわたしたちが保てるよう願っています。

主の方法で成功するには代価が必要であり、それを得る唯一の方法はその代価を払うことです。

救い主が最後まで堪え忍び、偉大な贖いの犠牲を全うしてくださったことに心から感謝しています。

主はわたしたちの罪や苦痛、落胆、苦悩、病气、恐怖のために苦しみました。だからこそ、わたしたちを助ける方法や鼓舞する方法、慰める方法、強める方法を御存じです。それは、わたしたちが堪え忍び、打ち負かされなかった者のために取っておかれている冠を得られるようにするためです。

人にはそれぞれ違った人生があります。だれにでも試練の時や幸せな時、決断の時、障害を乗り越える時、チャンスを生か

す時があります。

どのような状況にいたとしても、天の御父がいつもこのように言っておられることを証します。「わたしはあなたを愛し、支持し、あなたとともにいます。諦めないでください。悔い改め、わたしが示した道を堪え忍んで歩いてください。そうするならば、天の家でまた会うことができると約束します。」イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. マタイ 24:13
2. 『聖句ガイド』「堪え忍ぶ」の項。 scriptures.lds.org
3. ヨハネ 6:66 - 67
4. ヨハネ 6:68
5. 教義と聖約 20:37
6. 3 ニーファイ 18:7 参照
7. アルマ 38:11 - 12
8. マルコ 16:15 参照
9. エテル 12:27



大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長

御子の御霊を 受けられるように

皆さんに惜しみなく送られる御霊の声を聞くことができるよう、心から祈ります。

兄 弟姉妹の皆さん、復活祭の時季、主の安息日に、主の教会の総大会で皆さんに向けてお話しする機会に感謝しています。天の御父が、愛する御子という賜物をお与えくださり、主が自ら進んで地上に来られ、わたしたちの贖い主となってくださったことに感謝しています。主がわたしたちの罪を贖い、復活されたことを知っていることに感謝します。主の贖罪のおかげで、いつか自分

が復活して、愛に満ちた家族とともに永遠に生きられるということを、わたしは祝福されて日々確信しています。

だれもがそれらを知ることができる**唯一の方法**を通して、わたしも知っています。聖霊が1度のみならず何度も、わたしの思いと心に真実を告げてくださったのです。わたしは、絶えることのないその慰めを、必要としてきました。わたしたちは皆、悲劇を経験し、御霊からの確信を再度必要とします。ある日、父と病院にいるとき、その必要を感じました。母が何度か浅い呼吸をした後、息を引き取るのを見たときでした。痛みから解放された母は、ほほ笑んでいました。しばらく沈黙が続いた後、父が最初に口を開きました。「一人のかわいらしい女の子が家に帰ったんだね。」

父はそうささやきました。平安を感じている様子でした。自分で真実だと知っていることを語っていました。父は静かに母の持ち物をまとめ始めました。病院の廊下に出て、何日も母に尽くしてくれた看護師や医師一人一人に御礼を言いました。

そのとき、父は聖霊を伴侶としていたので、その日その様に感じ、知り、行動することができたのでした。父は多くの人と同様、「御子の御霊を受けられるように」

という約束を受けました(教義と聖約 20:79)。

今日わたしは、聖霊を受けるための皆さんの望みと能力が高められるようにと願っています。聖霊は神会の第三の御方であることを、思い起こしてください。御父と御子は、復活された御方です。聖霊は霊の御方です。(教義と聖約 130:22 参照)。聖霊を自分の心と思いに受け入れ、喜んで迎えるかどうかは、皆さんの選択にかかっています。

その天からの祝福を受けられる条件は、毎週耳にする言葉で明らかにされていますが、その言葉がいつも心や思いに深く染み入っているわけではないかもしれません。御霊を伴侶とするには、救い主を「いつも……覚え」その「戒めを守る」必要があります。(教義と聖約 20:77)

一年のこの時季に、わたしたちは救い主の犠牲と、主が墓からよみがえり、復活されたことを思い起こします。多くの皆さんが、その情景を思い描いたことがあるでしょう。わたしと妻はかつて、エルサレムの墓の外に立っていました。多くの人が、その墓は、十字架におかかりになった救い主が復活され、生ける神となられた場所であると信じていました。

ガイドの男性がうやうやしい様子で手を動かし、「空になった墓をご覧ください」と言いました。

わたしたちは前かがみになり、中に入りました。壁に石のベンチがあるのを見ました。でも、わたしの思いには、別の光景が思い浮かんでいました。その日見たのと同じくらい現実的な光景でした。使徒たちが去り、マリヤ一人が残された光景です。まるでその場にいるかのように、御霊がその光景を見せ、思いの中で声を聞かせてくださいました。

「しかし、マリヤは墓の外に立って泣いていた。そして泣きながら、身をかがめて墓の中をのぞくと、

白い衣を着たふたりの御使が、イエス



の死体のおかれていた場所に、ひとはりの頭の方に、ひとはりの足の方に、すわっているのを見た。

すると、彼らはマリヤに、『女よ、なぜ泣いているのか』と言った。マリヤは彼らに言った、『だれかが、わたしの主を取り去りました。そして、どこに置いたのか、わからないのです。』

そう言って、うしろをふり向くと、そこにイエスが立っておられるのを見た。しかし、それがイエスであることに気がつかなかった。

イエスは女に言われた、『女よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。』マリヤは、その人が園の番人だと思って言った、『もしあなたが、あのかたを移したのであれば、どこへ置いたのか、どうぞ、おっしゃって下さい。わたしがそのかたを引き取ります。』

イエスは彼女に『マリヤよ』と言われた。マリヤはふり返って、イエスにむかってヘブル語で『ラボニ』と言った。それは、先生という意味である。

イエスは彼女に言われた、『わたしにさわってはいけない。わたしは、まだ父のみもとに上っていないのだから。ただ、わたしの兄弟たちの所に行き、「わたしは、わたしの父またあなたがたの父であって、わたしの神またあなたがたの神であられるかたのみもとへ上って行く」と、彼らに伝えなさい。』(ヨハネ 20:11-17)

マリアが墓で感じたこと、また、ほかの二人の弟子がエマオへの道で復活されたイエスとともに歩いたときに感じたことを、わたし自身も感じられるように、と祈ったことがあります。二人はイエスのことを単なるエルサレムへの訪問者だと考えていました。

「そこで、しいて引き止めて言った、『わたしたちと一緒に泊まり下さい。もう夕暮になっており、日もはや傾いています。』イエスは、彼らと共に泊まるために、家にはいられた。



一緒に食卓につかれたとき、パンを取り、祝福してさき、彼らに渡しておられるうちに、

彼らの目が開けて、それがイエスであることがわかった。すると、み姿が見えなくなった。

彼らは互に言った、『道々お話しになったとき、また聖書を説き明してくださいなとき、お互の心が内に燃えたではないか。』(ルカ 24:29-32)

これらのうちの幾つかの言葉は、わたしが70年以上前に出席した聖餐会でも繰り返されていました。当時、聖餐会は夜に開かれていました。外は真っ暗でした。集った人々はこの聞き慣れた賛美歌を歌いました。わたしはこの歌を何度も耳にしましたが、ある晩に感じたことは、最も心に永く残る思い出となっています。救い主をより近くに感じました。その歌詞を読めば、わたしたち全員がそう感じるでしょう。

主よ、われと共に
とどまりたまえ
夜は近づきて、
闇迫りぬ
わが心は主を
求めまつ

主よ、われと共に
とどまりたまえ
みそばにあるとき、
心は燃ゆ
み言葉は胸に
浸みわりぬ

おお、日は暮れゆくを
救い主よ
おお、とどまりたまえ
われのもとに¹

何よりも貴い思い出は、聖霊がわたしたちの心に触れ、続けて真理を確信させてくださった思い出です。見たことや、耳で聞いたり読んだりした言葉を思い出すことよりも貴いのは、御霊の静かな声を聞いたときに感じた気持ちを思い出すことです。まれにですが、エマオに旅した者たちが心が燃えるのを感じたのとまったく同じ気持ちを感じたことがあります。穏やかながらも間違いない感じ方です。より頻繁に感じるのは、光や静かな確信です。

その賜物を願う求めるためのほんとうの方法を与えられているわたしたちは、聖霊が伴侶となってくださるという、かけがえのない約束を頂いています。主の権能を持つ僕がわたしたちの頭に手を置き、

「聖霊を受けなさい」と言います。その瞬間、皆さんもわたしも、聖霊が送られるという確信を持っています。しかし、わたしたちが果たすべき義務は、生涯、御霊の導きや教えを受けられるように心を開くという選択をすることです。

預言者ジョセフ・スミスは、指針を与えてくれます。彼はどの道を進むべきかを知るには、自分は知恵に不足しているという明確な判断をもって教導の業を始め、続けていきました。彼は神の前にへりくだることを選びました。

次に、ジョセフは神に尋ねることを選びました。神がこたえてくださるという信仰をもって祈りました。少年ジョセフに答えが与えられました。神が御自分の教会をどのように設立しようとされているかを知る必要があったとき、そのメッセージは与えられました。彼の生涯を通じて、聖霊は彼を慰め、導かれました。

ジョセフは困難なときも、靈感に従いました。例えば、十二使徒を最も必要としていたときに、彼らをイギリスに召すようにという指示を受け、それに従いました。

ジョセフは自分が投獄され、聖徒たちがひどい仕打ちを受けているとき、御霊からの注意と慰めを受け入れました。身の危険にさらされると分かっているときでさえ、導きに従ってカーセージへと向かいました。

預言者ジョセフ・スミスはわたしたちに、どのように聖霊を通して、継続した霊的な導きと慰めを受けるべきかの模範を示しました。

第1の選びは、神の前にへりくだることでした。

第2に、主イエス・キリストに信仰をもって祈りました。

第3に、示された通りに従いました。従順とは、急いで行動することかもしれませんが、備えることかもしれません。さらなる靈感を、忍耐して待つことかもしれません。

第4は、人々の必要や心の状態と、ど



のように主の代わりに彼らを助けられるかを知るために祈ることです。投獄されていたジョセフは、苦難のさなかにいた聖徒たちのために祈りました。わたしは、神の預言者たちが祈り、靈感を求め、導きを受け、それに従って行動するのを間近で見る機会にあずかってきました。

愛し、仕える人々について度々祈りをささげる姿を見てきました。人々への関心が、心を開き、靈感を受ける源になっているようです。それは、皆さんが仕えるときにも当てはまります。

靈感を受けることによって、主のために人々に仕えることができます。わたしと同様、皆さんもそれを目にしてきたことでしょう。妻が自身の非常に大きな試練に苦しんでいた時期に、わたしはビショップからこう言われたことがあります。「ワードのだれかが助けが必要だと聞いて行ってみると、必ずあなたの奥さんが先に来ているんです。そんなことがどうやってできるんですか。」

彼女は、主の王国における偉大な教導者の一人です。偉大な教導者は二つのことをしているようです。まず、聖霊をほとんど常に伴侶とする資格を得ています。そして、キリストの純粋な愛である慈愛の賜物を受ける資格も得ています。主を愛するがゆえに人に仕えるときに用いることで、この二つの賜物はさらに培われてきました。

奉仕する中で、祈りと靈感と主の愛はどのようにともに働くかについて、次の言葉に完全に示されています。

「何事でもわたしの名によって願うなら

ば、わたしはそれをかなえてあげよう。

もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。

わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。

それは真理の御霊である。この世はそれを見ようともせず、知ろうともしないので、それを受けることができない。あなたがたはそれを知っている。なぜなら、それはあなたがたと共におり、またあなたがたのうちにいるからである。

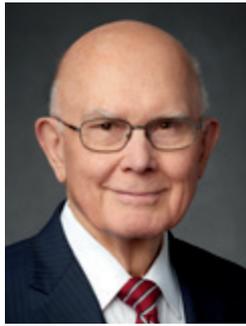
わたしはあなたがたを捨てて孤児とはしない。あなたがたのところに戻って来る。

もうしばらくしたら、世はもはやわたしを見なくなるだろう。しかし、あなたがたはわたしを見る。わたしが生きるので、あなたがたも生きるからである。

その日には、わたしはわたしの父におり、あなたがたはわたしにおり、また、わたしがあなたがたにおることが、わかるであろう。

わたしのいましめを心にいだいてこれを守る者は、わたしを愛する者である。わたしを愛する者は、わたしの父に愛されるであろう。わたしもその人を愛し、その人にわたし自身をあらわすであろう。」(ヨハネ 14:14-21)

御父はこの瞬間も、皆さんや、皆さんの気持ち、また皆さんの周囲の人々の霊的、物質的な必要を完全に御存じであることを心から、個人的に証します。御父と御子が、聖霊の賜物を持つ人、その祝福を願い求める人、それを受けるにふさわしくありたいと望む人に、聖霊を送ってくだ



大管長会第一顧問
ダリン・H・オークス管長

さっていることを証します。御父も、御子も、聖霊も、わたしたちの生活に無理やりに入ってくることはなさいません。わたしたちには選ぶ自由があるのです。主はすべての人にこう言われました。

「見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう。」

勝利を得る者には、わたしと共にわたしの座につかせよう。それはちょうど、わたしが勝利を得てわたしの父と共にその御座についたのと同様である。

耳のある者は、御霊が……言うことを聞くがよい。」(黙示 3:20 - 22)

皆さんに惜しみなく送られる御霊の声を聞くことができるよう、心から祈ります。皆さんが常に心を開き、御霊を受けられるように祈ります。誠心誠意、イエス・キリストに信仰をもって、靈感を求めて尋ね求めるなら、主の方法で主の時に与えられるでしょう。神は少年ジョセフ・スミスにそうされました。そして今日も、わたしたちの生ける預言者、ラッセル・M・ネルソン大管長にも同じようにされます。神のために、その子供たちに仕えるために、神はあなたを彼らの歩む道に置かれました。自分の目で見ただけによらず、さらに力強く御霊が心にささやいてくださったことによって、わたしはそれを知っています。

御父と御子が世界中のすべての神の子供たちや霊界にいる神の子供たちに対して抱いておられる愛を、わたしはこれまでずっと感じてきました。聖霊の慰めと導きを感じてきました。皆さんが、御霊を常に自分の伴侶とする喜びを味わえるように祈ります。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注
1. 「主よ、われと共に」『賛美歌』94番

小さな、簡単なこと

小さく思えることを積み重ね、時を経ることで、大いなることが成し遂げられるということを、わたしたちは思い起こす必要があります。

I.

愛 する兄弟姉妹の皆さん、皆さんと同様、メッセージや音楽、そしてこの時間とともに感じた気持ちに、わたしも深く感動し、教化され、靈感を受けました。主の御手に使われる者として、この時間をともにする効果を強めてくれた兄弟姉妹に対して、わたしは聴衆を代表して、感謝をお伝えします。

復活祭の日曜日に、皆さんに向けてお話しできることに感謝します。今日わたしたちは、ほかのキリスト教徒の皆さんとともに、主イエス・キリストの復活を祝います。イエス・キリストが文字どおり復活されたことは、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員にとって、信仰の柱です。

わたしたちは聖書やモルモン書に記された、イエス・キリストの文字どおりの復活に関する記録を信じているので、この地上に生を受けたすべての人もまた同様に復活するという聖典の数々の教えも信じています。復活はわたしたちに、使徒ペテロが語った「生ける望み」(1ペテロ1:3)を与えてくれます。この生ける望みは、死がわたしたちの存在の終わりではなく、天の御父がその子供たちの救いのためにお立てになった憐れみの計画における、必要なステップに過ぎないという確信です。その計画の中で、人は死すべき状態から不死不滅の状態に移行します。その

移行の中心となるのは、死という日没と、主であり救い主であられる御方の復活によって可能になった栄えある朝であり、わたしたちはその復活を、この復活祭の日曜日に祝います。

II.

エライザ・R・スノーが書いたすばらしい賛美歌にはこうあります。

救いの計画
いかに尊し
憐れみと愛の
神の恵み¹

この神の計画を推し進めるために、わたしたちはこの総大会も含めて集会に集い、互いに教え、励まし合います。

今朝わたしは、モルモン書の中でアルマが息子ヒラマンに教えた「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられる」ことについて話すべきだと感じました。(アルマ 37:6)

わたしたちはイエス・キリストの福音の中の小さな、簡単なことを数多く教えられています。小さく思えることを積み重ね、時を経ることで、大いなることが成し遂げられるということを、わたしたちは思い起こす必要があります。このテーマについては、教会幹部や尊敬すべき教師たちが

数々の説教を残していますが、このテーマは非常に重要なので、もう一度話したいと感じています。

散歩のときにあるものを見かけて、小さくて簡単なことの持つ力を思い出しました。これがそのとき撮った写真です。分厚く、強固なコンクリートの歩道にひびが入っています。大きく、突き動かす強力な力が働いたためでしょうか。そうではありません。歩道の脇の木から伸びた1本の根が、ゆっくりと少しずつ成長したためです。これは別の道路で見た、同じような例です。

重いコンクリートの歩道にひびを入れ



た、突き動かす力は、1日、あるいは1か月単位で見たら、ごくわずかで測れないほどですが、時間をかけて与えた影響は、信じられないほど強力なものでした。

聖典の中で、あるいは生ける預言者によって教えられている、小さな、簡単な事柄が長年かけて引き起こす強力な影響についても同じことが言えます。日々の生活に取り入れるように教えられている聖文研究について考えてみてください。あるいは、忠実な末日聖徒が習慣としている個人の祈りや、家族がともにひざまずいてさ

さげる祈りはどうでしょうか。青少年のためのセミナーや、ヤングアダルトのためのインスティテュートクラスに参加することについて考えてみましょう。これらの習慣は小さくて簡単に思えますが、時を経て、力強い霊的な高まりと成長につながります。これらの小さな、簡単なことの一つ一つにより、聖霊を伴侶とすることができるので、このような結果が生じるのです。アイリング管長が説明したように、聖霊は証をする者として、光を与え、真理に導いてくださいます。

霊的な高まりと成長のもう一つの源となるのは、ささいに思える小さな罪であって



も、悔い改めを続けることです。靈感を受けて自分自身を評価することにより、足りない点や、改善できる点を知ることができます。このような悔い改めを、毎週聖餐を受ける前に行うとよいでしょう。この悔い改めを行う中で考慮すべき事柄が、賛美歌の「今日われ善きことせしか」の中に示されています。

今日われ善きことせしか
人を助けしか
悲しきをも慰めしか

かくせずば悪し
人の重荷軽くして
わが手貸したるか
病みて疲れし者助け
そこにわれおりしか²

これらは確かに小さなことですが、アルマが息子ヒラマンに教えたことを示す良い例であることも確かです。「主なる神は偉大な永遠の目的を達するために、様々な手段によって事を行われる。また、ごく小さな手段によって、主は……多くの人を救われる。」(アルマ 37:7)

ブリガムヤング大学ハワイ校のステイブン・C・ホイールライト学長は、大学の聴衆に向けて、アルマの教えについて次のように語りました。「アルマは息子に、主が従われる規範を教えました。それは、わたしたちが主への信仰を行使し、小さな簡単なことにおいて主の勧告に従うとき、主は日々の小さな奇跡をお与えくださり、また時を経て、驚嘆すべき業を示してくださいということです。」³

ハワード・W・ハンター大管長は次のように教えています。「世の人たちが偉大だとする行いと比較してみても、わたしたちが行っている平凡な務めこそ、ほかの人の生活に最も良い影響を与えることが多いのです。」⁴

これと同じ原則について、インディアナ州の前議員であるダン・コーツ氏が説得力に満ちた、この世的な言葉でこのように述べています。「人生、あるいは国家を変え得るような、深遠な決断ができるように備える唯一の方法は、半分無意識に行っているものの、自分がどういう人かを定義付けるような決断、一見ささいに思えるような何百、何千という決断を自分でしていくことなのです。」⁵

これらの「ささいに思える」個人的な決断には、時間の使い方、テレビやインターネットで見る内容、読む物、職場や家庭で自分の身の周りに置く美術品や音

楽、求める娯楽、正直であり、誠実であるという決意をどのように実践するかなどが含まれます。小さくて簡単に思える別の事柄といえば、人付き合いにおいて親切で、明るくあることです。

このような小さくて簡単な好ましい事柄は、絶えず続けていかなければ、わたしたちを偉大な事柄に導いてはくれません。ブリガム・ヤング大管長はこのように語ったと言われています。「わたしたちの生活は、小さくて簡単な状況からできており、それらが積み重なって大きなことにつながり、男性や女性の人生を創り上げるのです」⁶

わたしたちはメディアの影響や文化の退廃にさらされており、それらはわたしたちが拒絶し続けられない限り、わたしたちを下へ下へと流そうとします。永遠の目標に向かって上流に進むためには、常にこぎ続けなければなりません。ともに舟をこぐ乗組員のように、わたしたちが仲間と一緒にこぐなら、助けになります。さらに言えば、もしもこぐのをやめてしまえば、世の潮流は非常に激しいので、望まない所まで流されてしまいます。絶えず前進しようと努力しなければ、必ずそうになってしまうのです。

小さく思える出来事が偉大な結果を招くことについて述べた後、ニーファイはこのように書いています。「このようにして、主は小さな手段によって大いなることを成し遂げられることが分かるのである。」(1ニーファイ 16:29) これについて、印象深い例が旧約聖書に記されています。イスラエルの民が毒蛇によって病気になったことが書かれています。多くの人が毒蛇にかまれて死にました(民数 21:6 参照)。救いを求めてモーセが祈ると、「青銅で一つのへびを造り、それをさおの上に掛けて置〔く〕」ように靈感を受けました。そして「すべてへびにかまれた者はその青銅のへびを仰いで見て生き」ました(9節)。そのように小さなことから、そのような奇跡が起きたのです! しか



し、ニーファイが主に背く人々にこの例を話して聞かせたように、癒されるために簡単な方法を主が用意してくださっても、「その方法が単純であったため、すなわち容易であったために、死んだ人が大勢いました。」(1ニーファイ 17:41)。

この例とこの教えは、方法が単純で、命じられた事柄が容易であったとしても、義にかなった望みを達成することが取るに足りないという意味ではないことを思い起こさせてくれます。

同様に、たとえ小さくても、不従順な行いをしたり、義にかなった行動を取らなかったりすることで、避けるよう警告されている結果に近づいてしまうこともあり得

ます。知恵の言葉は、その一つの例です。1本のタバコや1杯のアルコール、1度の麻薬が体に及ぼす影響を測ることはできません。しかし、時がたつにつれ、その影響は強大になり、後戻りできなくなるかもしれない。木の根が少しずつ伸びてきて歩道にひびを入れたことを思い出してください。確かなことは、体に害を及ぼす麻薬や、思いを墮落させるボルノグラフィーのように、依存を引き起こすものを取り入れることによって起こる結果は、避けられるということです。そのためには、決して、1度たりとも試してみないことです。

何年も前に、M・ラッセル・バラード会長は総大会で「ごく小さいことが、人の



救いにどれほど否定的で破滅的な作用を及ぼすか」について話しました。バラード長老はこう説いています。「ちょうど弱い繊維が集まって糸になり、さらにひものようになって最後に太い綱となるように、小さなことも積み重なれば、容易に元へは戻せなくなってしまうのです。霊性を伸ばすには、小さな、簡単なことの持つ力を絶えず心に留める必要があります。同時に、小さな、簡単なことを用いてサタンがわたしたちを絶望と悲惨に陥れようとしていることを、常に忘れてはなりません。」⁷

ホイールライト学長は、ブリガム・ヤング大学ハワイ校の聴衆にも同じような注意を与えました。「小さな、簡単なことを怠るとき、信仰は揺らぎ、奇跡は止みます。主と主の王国に近づく歩みは、最初はとどめられ、やがて、神の王国を求めることよりもこの世的なことを求め、この世的な野心を満たすことが優先されるときに破綻し始めます。」⁸

わたしたちの霊の成長に破滅的な影響を与える負の連鎖から守るために、小さな簡単なことの霊的な規範に従う必要があります。デビッド・A・ベドナー長老は、ブリガム・ヤング大学の女性のための集会でこの原則について次のように語りました。必要とされないかもしれない場所に大量の水を流したり、まいたりすることと

対比して、「非常にゆっくりなペースで、水を土に落としていく技術から、わたしたちはこの霊的な規範の性質と重要性について多くを学ぶことができます。」

そして、こう説明しました。「一貫したペースで滴る水は、土の奥底まで沁み込み、土を非常によく湿らせるため、植物はよく成長することができます。同じように、皆さんもわたしも集中して、滴り落ちる霊的な養いを、絶えず、頻繁に受けるならば、福音は心に深く根を下ろしてしっかり固定され、基礎を据えられ、たとえようもなくおいしい実をつけることができます。」

ベドナー長老は続けてこう言いました。「小さな、簡単なことによって偉大なことが成し遂げられるという霊的な規範は、堅固で、確固たるものを生み、忠誠心を深め、主イエス・キリストとその福音に対してさらに完全な改宗をもたらします。」⁹

預言者ジョセフ・スミスは教義と聖約に書かれている次の原則を教えました。「だれにも、これらのことをささいなことと思わせてはならない。聖徒たちに関して将来起こる多くのことは、これらのことにかかっているからである。」(教義と聖約 123 : 15)

ミズーリ州で初めて教会を組織しようとしたことについて主は「すべてのことは時

節にかなって起こる」(教義と聖約 64 : 32) と述べて、忍耐するように勧告された後、この偉大な教えをお授けになりました。「それゆえ、善を行うことに疲れ果ててはならない。あなたがたは一つの大きな業の基を据えつつあるからである。そして、小さなことから大いなることが生じるのである。」(教義と聖約 64 : 33)

わたしたちが皆、「聖約の道」を前進するようにというラッセル・M・ネルソン大管長の勧告に従いたいと願っていると、わたしは信じます。¹⁰ それを行う決意は、イエス・キリストの福音と主の教会の指導者が教える「小さなこと」に絶えず従うことによって強められます。わたしは主を証し、主の聖約の道を歩み続けようとするすべての人に主の祝福を願い求めます。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 「高きに満ちたる」『賛美歌』112 番
2. 「今日われ善きことせしか」『賛美歌』137 番
3. Steven C. Wheelwright, "The Power of Small and Simple Things" (Brigham Young University-Hawaii devotional, Aug. 31, 2007), 2, devotional.byuh.edu.
4. 『歴代大管長の教え——ハワード・W・ハンター』149
5. Dan Coats, "America's Youth: A Crisis of Character," *Imprimis*, vol. 20, no. 9 (Sept. 1991), 4; see also Elder Wilford Andersen in his column in the *Mesa Tribune*, May 1996.
6. Brigham Young, discourse in Ogden Tabernacle, July 19, 1877, as reported in "Discourse," *Deseret News*, Oct. 17, 1877, 578.
7. M・ラッセル・バラード, 「『小さくてやさしい事から……』」『聖徒の道』1990年7月号, 7-8 参照
8. Steven C. Wheelwright, "The Power of Small and Simple Things," 3
9. David A. Bednar, "By Small and Simple Things Are Great Things Brought to Pass" (Brigham Young University Women's Conference, Apr. 29, 2011), womensconference.byu.edu.
10. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018年4月号, 7



ラッセル・M・ネルソン大管長

教会のための啓示、 わたしたちの 人生のための啓示

導き、指示し、慰める、変わることはない聖霊の影響力がなければ、
これから先、霊的に生き残ることはできなくなるでしょう。

この総大会の日曜日に皆さんとともに復活祭を祝えるのは何と栄えある特権でしょう。この地上で起こった最も重要な出来事を記念するために、地上に生を受けた中で最も偉大な御方を礼拝することほど、ふさわしいことはありません。わたしたちは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、ゲツセマネの園で無限の贖罪の業を始められた御方を礼拝します。主はわたしたち一人一人の罪と弱さのために、「あらゆる毛穴から血を流〔す〕」¹ほどの苦しみを進んでお受けになりました。主はカルバリの十字架につけられ²、3日目によみがえり、天の御父の子供の中で最初に復活した者となりました。わたしは主を愛しています。そして主が生きておられることを証します。この主の教会を導いておられるのは主御自身です。

贖い主の無限の贖罪がなければ、天の御父のみもとに帰る望みを持てる人は一人もいないでしょう。救い主の復活がなければ、死をもって終わります。救い主の贖罪のおかげで、すべての人に対して永遠

の命への可能性が開かれ、不死不滅が現実のものになったのです。

2018年1月2日の夜遅く、トーマス・S・モンソン大管長が幕のかなたに旅立ったという電話を受けて目覚めたとき、主のたぐいえない使命と、御自身に従う者に主がお与えになる平安のおかげで、妻のウェンディーとわたしは慰めを得ました。

わたしたちはモンソン大管長がいなくて実に寂しい思いをしています。大管長の生涯と業績をたたえます。霊の巨人であるモンソン大管長は、彼を知るすべての人と、彼が愛した教会に、色あせることのない印象を残しました。

2018年1月14日日曜日に、ソルトレーク神殿の階上の部屋で、主によって定められた簡潔ながらも神聖な方式で、大管長会が再組織されました。その後、昨日午前中の聖会で、全世界の教会員が手を挙げて、使徒たちによって先になされた決断を正式に確認しました。支えてくださるという皆さんの支持にへりくだり感謝いたします。

また、これまでこの職にあった方々に感謝します。わたしは34年にわたって

十二使徒定員会で奉仕し、これまでの16人の大管長のうち10人を直接知るという特権にあずかり、その一人一人から多くのことを学びました。

先祖からも大きな恩を受けています。わたしの曾祖父母は8人全員がヨーロッパで改宗し、信念の固いその一人一人がシオンに来るためにすべてを犠牲にしました。しかし、それに続く世代の中で、すべての先祖が同じように忠実であったわけではありません。その結果、わたしは、福音を中心とした家庭では育ちませんでした。

わたしは両親をこよなく愛していました。二人はわたしにとってかけがえのない人で、非常に大切な教訓を与えてくれました。二人がわたしたちきょうだいのために築いてくれた幸せな家庭生活については、いくら感謝しても足りません。しかし、幼いながらも、わたしは何か欠けていると知っていました。ある日、路面電車で飛び乗ると、この教会に関する本を探しに、LDSブックストアに行きました。わたしは福音について学ぶのが大好きでした。

知恵の言葉を理解するにつれて、両親に





もその律法に従ってほしいと思うようになりました。まだ幼かったある日のこと、わたしは自宅の地下室に行き、お酒の瓶を1本残らずコンクリートの床に投げつけて割ってしまいました。罰を受けるだろうと思いましたが、父は何も言いませんでした。

わたしは成長し、天の御父の計画の大きさが分かり始めると、よく次のような独り言を言いました。「もうクリスマスプレゼントは要らない。ただ両親に結び固められたい。」その切なる願いは、両親が80歳を超えるまでかないませんでした。でも実現しました。その日感じた喜びを十分に表現することはできません。³ 両親が互いに結び固められ、わたしが二人に結び固められた喜びを、わたしは毎日感じています。

1945年、医科大学に通っていたとき、ソルトレーク神殿でダンツェル・ホワイトと結婚しました。素晴らしい9人の娘とかけがえのない一人息子に恵まれました。今、家族はますます増え、人生最大の喜びの一つとなっています。

2005年、結婚して60年近くが過ぎた後、愛するダンツェルが思いがけず神のみもとに召されました。しばらくの間、わたしは悲しみの淵に沈みましたが、復活祭のメッセージと復活の約束が支えてくれました。

その後、主はウェンディー・ワトソンを

わたしの傍らに連れて来てくださり、わたしたちは2006年4月6日、ソルトレーク神殿で結び固められました。ウェンディーを心から愛しています。卓越した女性であり、わたしや家族、そして教会全体にとって大きな祝福となっています。

これら一つ一つの祝福がもたらされたのは、聖霊の促しを求め、それに聞き従った結果です。ロレンゾ・スノー大管長はこう言いました。「これは、すべての末日聖徒にとってこの上ない特権です。日々の暮らしの中で御霊の現れを受けること〔は〕わたしたちの権利〔です。〕」⁴

教会の大管長という新しい召しを受けて以来、御霊が繰り返し心に刻みつけてくださったことの一つは、主が御自分の思いと御心をいかに喜んで明らかにしたいと願っておられるかということです。啓示を受けるという特権は、神が御自分の子供たちにお与えになる最も偉大な賜物の一つです。

わたしたちのあらゆる義になかった求めにおいて、主は聖霊の示しを通して助けてくださいます。手術室で横たわる患者の傍らに立ち、前例のない処置をどう行うべきか確信がなかったとき、聖霊がその方法をわたしの心に図解してくださるという経験をしたことを覚えています。⁵

ウェンディーにプロポーズしたとき、足

もとを固めるために、「わたしは啓示が何か知っているし、受け方も分かっているよ」と言いました。素晴らしいことに、また実に彼女らしいことだと分かってきましたが、ウェンディーはすでに自分で啓示を求めて受けていたので、「はい」と言う勇気を得ていました。

十二使徒定員会会員として、わたしは日々啓示を求めて祈り、主が心と思いに語りかけてくださる度に主に感謝しました。

それがどれほどの奇跡かを想像してみてください。教会の召しは何であれ、わたしたちは天の御父に祈り、導きと指示を受けることができます。危険や心を迷わせるものに対する警告を受けることができ、自分の力だけでは成し得なかったことを達成できるようになるのです。実際に聖霊を受けて、主の促しを見分け理解するようになると、大きなことについても小さなことについても導かれます。

先だってわたしは二人の顧問を選ぶという圧倒されるような課題に直面し、愛し尊敬する12人の中からどうやって二人だけを選べるだろうかと思いました。

良い靈感は良い情報に基づくことと知っているの、祈りを込めて一人一人の使徒と個別に話をしました。⁶ その後、一人で神殿の個室にこもり、主の御心を求めました。主がわたしに、大管長会顧問として、

ダリン・H・オークス管長とヘンリー・B・アイリング管長を選ぶように指示して下さったことを証します。

同様に、主の使徒として聖任されるよう、ゲレット・W・ゴング長老とウリセス・ソアレス長老の召しを、主が靈感によって示して下さったことを証します。わたしは、そしてわたしたちは、お二人をこの特有の奉仕に携わる兄弟の輪に歓迎いたします。

大管長会と十二使徒定員会から成る評議会として話し合うとき、その部屋は啓示の部屋となります。明らかに御霊がそこにあります。複雑な問題に取り組みながら、一人一人の使徒が自分の考えと見解を自由に述べる中で、心躍るプロセスが繰り返されます。最初の見解は異なっても、互いに対する愛は一貫しています。一致することで、教会に対する主の御心を識別することができます。

わたしたちの集会では、採決は決して多数決では行われません。よく祈りながら互いの言葉に耳を傾け、一つになるまで話し合います。そして完全な調和に達するとき、背筋がぞくぞくするような、わた

したちを一つにする聖霊の影響力を感じます。預言者ジョセフ・スミスが「気持ち一つにすることによって神の力を得るのです」⁷と教えたとおりのことを経験します。大管長会と十二使徒定員会の会員で、主の教会に関する決断を自分の最善の判断だけで下す者は一人もいません。

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちはどうしたら、主が必要としておられるような人物、キリストのように仕える者となれるでしょうか。わたしたちを当惑させる疑問への答えを、どうすれば見いだせるでしょうか。聖なる森でのジョセフ・スミスの並外れた経験から学べることは、天は開かれており、神は御自分の子供たちに語りかけてくださるということです。

預言者ジョセフ・スミスは規範を示してくれました。わたしたちはその規範に倣って疑問を解消することができます。知恵に不足しているなら神に願い求めることができるというヤコブの約束⁸に心を引かれた少年ジョセフは、疑問を天の御父に直接尋ねました。ジョセフは個人の啓示を求めました。そして求めたことで、この最後の神権時代が開かれました。

同様に、皆さんが求めることで、何が開かれるでしょうか。皆さんはどんな知恵に不足していますか。どんなことを知り、理解することが、差し迫って必要であると感じていますか。預言者ジョセフの模範に従ってください。繰り返し行くことのできる静かな場所を見つけてください。神の御前にへりくだってください。天の御父に心を注ぎ出してください。御父に頼って答えと慰めを求めてください。

心配事や恐れ、弱さについて、イエス・キリストの御名によって祈ってください。そうです、心の切なる思いについて祈ってください。その後で耳を傾けてください。心に浮かんだ考えを書き留めてください。感じたことを記録し、それに従って、促しを受けたとおりに行動してください。来る日も来る日も、年月を重ねて、このプロセ

スを繰り返すときに、「啓示の原則が身に付いて」⁹ くるでしょう。

神はほんとうに皆さんに語りかけたいと思っておられるでしょうか。そのとおりです。「全能者が末日聖徒の頭に天から知識を注ぐのを人が妨げようとするのは、人がそのか弱い腕を伸べて、定められた水路を流れるミズーリ川をとどめようとするようなもの」です。¹⁰

何が真実かと迷う必要はありません。¹¹間違いなく信頼できるのはだれかと迷う必要もありません。個人の啓示を通して、モルモン書が神の御言葉であること、ジョセフ・スミスが預言者であること、この教会が主の教会であることについて、自分自身の証を得ることができます。だれが何を言い、何をするとしても、皆さんの心と思いに何が真実かを告げた証を取り去ることは、だれにもできません。

個人の啓示を受ける皆さんの現在の霊的な能力をさらに伸ばすように、強くお勧めします。なぜなら、主はこう約束しておられるからです。「あなたは求めれば、啓示の上に啓示を、知識の上に知識を受けて、数々の奥義と平和をもたらす事柄、すなわち喜びをもたらす永遠の命をもたらすものを知ることができるようになるであろう。」¹²

天の御父が皆さんに知ってほしいと望んでおられることは、はるかにたくさんあるのです。ニール・A・マックスウェル長老はこのように教えました。「見る目と聞く耳を持つ人に、御父と御子が宇宙の奥義を明かしておられることは明白です。」¹³

天を開くために何よりも強力な組み合わせは、清さを増すこと、完全に従順であること、熱心に求めること、モルモン書に記されたキリストの御言葉を日々味わうこと¹⁴、そして神殿・家族歴史活動に一定の時間を割くことです。

確かに、天が閉じていると感じるときもあるでしょう。しかし、わたしは約束します。皆さんが引き続き従順であり、主が授



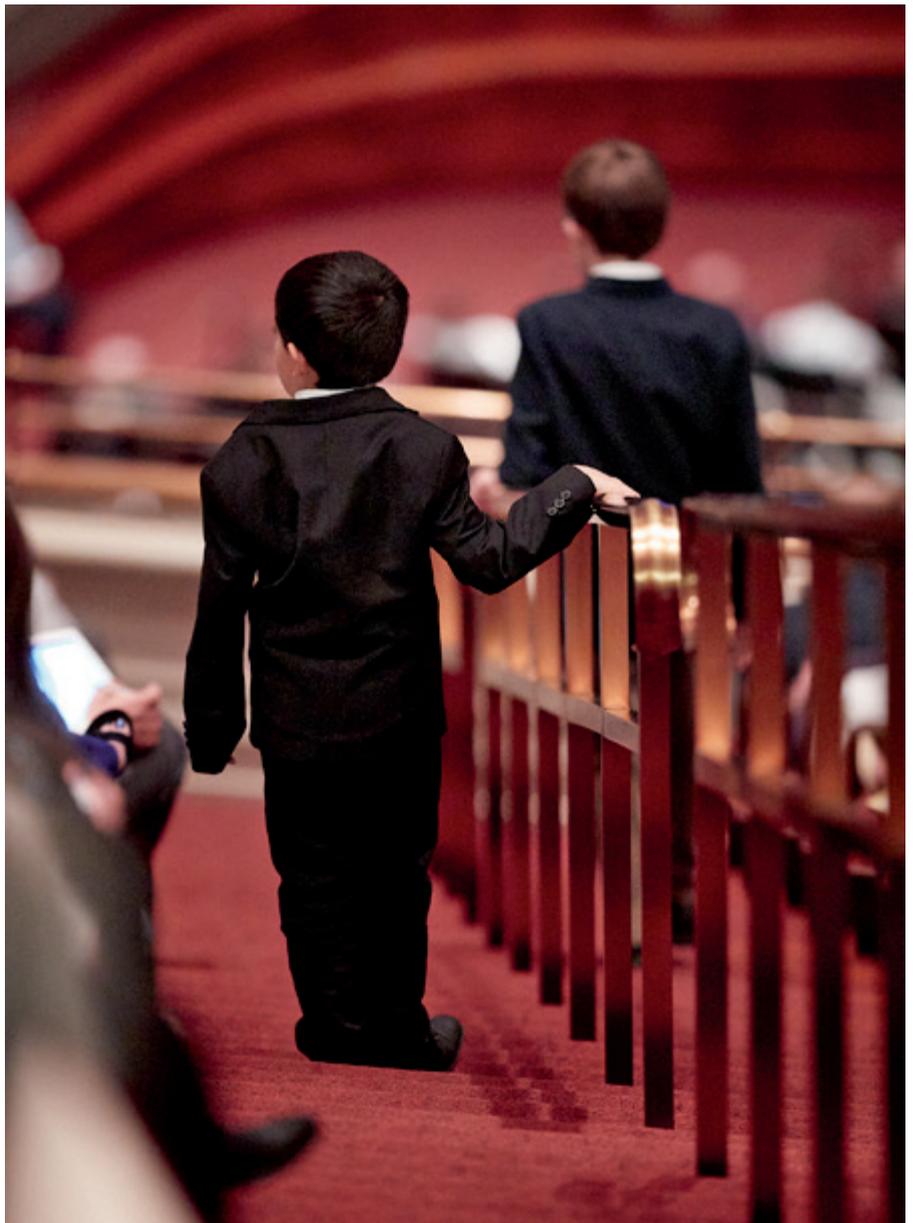
けてくださるすべての祝福に感謝を表し、主がよしとされる時を忍耐をもって尊ぶときに、皆さんの求める知識と理解を与えられるでしょう。主が皆さんのために用意しておられるすべての祝福が、奇跡でさえも、やがてもたらされるでしょう。個人の啓示によって皆さんにそれが起こります。

わたしは将来を楽観的に見えています。将来はチャンスに満ちていて、わたしたち一人一人が進歩し、貢献し、地の四隅に福音を携えて行く機会が豊かにあるでしょう。しかし、これから訪れる時代に甘い考えを持っているわけではありません。わたしたちは複雑で争いの激化する世に住んでいます。ソーシャルメディアに常にさらされ、24時間やむことのないニュースの嵐が容赦なく襲いかかります。真理を攻撃する無数の声や人の哲学をふるいにかけていたいと思うなら、啓示を受けられるようにならなければなりません。

救い主、贖い主イエス・キリストは、今から再びおいでになる時までの間に、最も力強い業を幾つかなされるでしょう。わたしたちは、父なる神と御子イエス・キリストが尊厳と栄光のうちにこの教会を管理されることを示す奇跡的なしるしを見るでしょう。しかし、導き、指示し、慰める、変わることのない聖霊の影響力がなければ、これから先、霊的に生き残ることはできなくなるでしょう。

愛する兄弟姉妹の皆さん、啓示を受ける霊的な能力を伸ばすように、切にお願いします。この復活祭の日曜日が、皆さんの人生を動かす決定的な時となりますように。聖霊の賜物を享受するために、そしてもっと頻繁に、もっとはっきりと御霊の声を聞くために求められる霊的な業を行うことを選んでください。

この復活祭の安息日に、モロナイと声を合わせ、「キリストのもとに来て、あらゆる善い賜物を得るように」¹⁵ 皆さんに勧めます。まず、聖霊の賜物から始めてください。この賜物は皆さんの人生を変えるこ



とができますし、実際に変えるでしょう。

わたしたちはイエス・キリストに従う者です。聖霊が皆さんに常に証される最も重要な真理は、イエスが生ける神の御子キリストであられるということです。イエスは生きておられます。主は御父に対するわたしたちの弁護者であり、模範であり、贖い主です。この復活祭の日曜日に、わたしたちは主の贖いの犠牲と、文字どおりの復活と、神聖な使命を記念します。

この教会は、預言者ジョセフ・スミスを通して回復された、主の教会です。このことを証し、皆さん一人一人への愛をお伝えします。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 19 : 18
2. ルカ 23 : 33 参照
3. アルマ 26 : 16 参照
4. 『歴代大管長の教え——ロレンツ・スノー』 66
5. ラッセル・M・ネルソン「祈りがもたらす穏やかな力」『リアホナ』2003年5月号、8参照
6. 3ニーファイ 28 : 1 参照
7. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』 394
8. ヤコブの手紙 1 : 5 参照
9. 『教え——ジョセフ・スミス』 132
10. 教義と聖約 121 : 33
11. モロナイ 10 : 5 参照
12. 教義と聖約 42 : 61
13. Neal A. Maxwell, "Meek and Lowly" (Brigham Young University devotional, Oct. 21, 1986), 9, speeches.byu.edu.
14. 2ニーファイ 32 : 3 参照
15. モロナイ 10 : 30



十二使徒定員会
ゲレット・W・ゴング長老

主はよみがえりぬ

今日は復活祭の日曜日です。敬虔かつ厳かに、生けるキリストについて証します。キリストは亡くなり、葬られ、3日目に再びよみがえられました。

愛する兄弟、姉妹の皆さん、息子たちが幼かったころ、彼らを寝かしつけるために、ビーグル犬の子犬の話をし、「主はよみがえりぬ、アレルヤ」¹などの賛美歌を子守歌代わりにハミングしたものです。時には、ふざけて歌詞を変え、「そろそろ寝ようよ、アレルヤ」と歌うこともありました。息子たちはたいていすぐに眠りに就きました。少なくとも、眠ったとわたしが思えば歌うのをやめられると分かっていたのでしよう。

愛する妻スーザンの隣にいるわたしの手をラッセル・M・ネルソン大管長が優しく取り、主からの神聖な召しを告げたときから感じている圧倒されるような思いは、とても言葉では、少なくともわたしの言葉では言い表せません。わたしは呼吸すら忘れ、この数日間、何度も涙を流しました。

この復活祭に、わたしは喜びをもって「アレルヤ」と歌います。復活された救い主の、贖いをもたらす愛の歌²は、聖約とイエス・キリストの贖罪の織り成すハーモニーをほめたたえます。聖約は、わたしたちを神と互いに結びつけ、主の贖罪は、生まれながらの人を捨てて聖なる御霊の勧めに従うよう助けてくれます。³

聖約と救い主の贖罪はともに働いて、人に能力と気高さを与えます。ともに、福音にとどまり、罪を捨てるよう助けてくれ

ます。そしてともに、わたしたちをより良い者にし、守り、聖め、贖ってくれます。

預言者ジョセフ・スミスはこう述べています。「わたしたちが語っていること、すなわち地上で記録し、すなわちつなぎ、かつ天でもつなぎ力があるということは、ある人々には、非常に大胆な教義であると思われるかもしれません。しかしながら、世のあらゆる時代において、主がある人に、あるいはある人々の集団に、実際の啓示によって神権の施しを授けられたときはいつでも、この力が常に授けられてきた

のです。』⁴

今日も同様です。ほかでは得られない神聖な聖約と儀式が、43か国にある159の主の聖なる宮で受けられます。約束された祝福は、回復された神権の鍵と教義、権能を通して、わたしたちの世代に、また、この世と永遠にわたってもたらされます。それらの祝福は、わたしたちの信仰や従順、主の聖なる御霊の約束を映し出すものです。

世界規模のこの教会に属するあらゆる国民、部族、国語の民である皆さんの一步一步に込められた、篤い信仰と希望、慈愛に感謝します。回復された福音の証と経験に満ちみちた人々の輪に加わってください、感謝します。

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは、互いに結ばれた存在です。どのようなことについても、どのような所においても⁵「愛し合って結ばれた心を持つ」⁶ことができます。わたしたちがどこにしようと、どんな状況であろうと、主イエス・キリストはわたしたち一人一人を招いておられます。ですからどうぞ「きてごらん下さい。」⁷と申し上げます。

今日わたしは、救い主と、愛するスーザ





十二使徒定員会
ウリセス・ソアレス長老

ンと家族、そして幹部の兄弟たちと、愛する兄弟姉妹の皆さん一人一人に「全精力を傾け」⁸て、能力の限りを尽くすことを、へりくだり、誓います。

すべてふさわしいもの、そして永遠なるものは、実在する永遠の父なる神と御子イエス・キリスト、そして主の贖いを中心としており、聖霊がそれを証してください。⁹今日は復活祭の日曜日です。敬虔かつ厳かに、生けるキリストについて証します。キリストは「亡くなり、葬られ、3日目に再びよみがえって、天にのぼられ」¹⁰しました。キリストはアルパでありオメガであり¹¹、初めからわたしたちとともにおられ、終わりまでわたしたちとともにおられます。

預言者ジョセフ・スミスから、喜びをもって支持する愛するラッセル・M・ネルソン大管長に至る、末日の預言者について証します。初等協会の子供たちが歌っているように、「従おう預言者に、預言者は主の道を知っている」のです。¹²また、イエス・キリストについてのもう一つの証であるモルモン書をはじめとする聖典に預言されているように、「主の王国」は「メシヤの再臨に先立って地上に再び設立された」¹³ことを証します。イエス・キリストの聖く神聖な御名により、アーメン。■

注

1. 「主はよみがえりぬ(アレルヤ)」[賛美歌] 115番
2. アルマ5:26 参照
3. モーサヤ3:19 参照
4. 教義と聖約128:9
5. モーサヤ18:9 参照
6. モーサヤ18:21
7. ヨハネ1:39
8. 1ニーファイ15:25 参照
9. 「あなたがたは、御父と御子について証をされる聖霊を受けている。こうして、その方法によって入るならば受ける主が約束された、その約束が果たされたのである。」(2ニーファイ31:18)
10. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』49-50
11. 教義と聖約19:1 参照
12. 「預言者にしたがおう」(『子供の歌集』58-59)
13. モルモン書序文

預言者は聖なる御霊の力によって語る

預言者がいることは、神がその子供たちを愛しておられることのしるしです。預言者は、神とイエス・キリストの約束を知らせ、御二方がどのような御方なのかを教えてください。

世 界中の愛する兄弟姉妹の皆さん、昨日皆さんが挙手によって支持してくださったことを、心の底から感謝します。モーセのように自分のことを^{ほくどつ}朴訥で口が重いと感じていますが、主がモーセに語られた次の御言葉に慰めを見いだしています。

「だれが人に口を授けたのか。話せず、聞えず、また、見え、見えなくする者はだれか。主なるわたしではないか。

それゆえ行きなさい。わたしはあなた

の口と共にあって、あなたの言うべきことを教えるであろう。」(出エジプト4:11-12。10節も参照)

わたしはまた、愛する妻の愛と支えがあることにも、慰めを感じます。妻はわたしと家族にとって善と愛の模範であり、全面的に主に献身することの模範です。妻を心底愛していますし、妻がわたしと家族に良い影響を与えてきてくれたことに感謝しています。

兄弟姉妹の皆さん、ラッセル・M・ネル



ソン大管長が地上における神の預言者であることを証します。ネルソン大管長ほど優しく愛の深い人に会ったことがありません。わたしはこの神聖な召しを果たすに十分な力が自分にないことを痛感しましたが、この責任を伝えるネルソン大管長の言葉を聞き、その優しいまなざしを見て、救い主の愛に包まれるのを感じました。ネルソン大管長、ありがとうございます。わたしはあなたを支持し、愛しています。

主の御心を知ろうと努め、御心に従おうと努力している預言者、聖見者、啓示者が、わたしたちの生きているこの時代に地上にいることは、素晴らしい祝福です。人生で困難があっても、自分がこの世で一人でないことが分かると、心が安らぎます。預言者がいることは、神がその子供たちを愛しておられることのしるしです。預言者は、主の民に神とイエス・キリストの約束を知らせ、御二方がどのような御方なのかを教えてください。わたしは個人的な経験からこれを知りました。

18年前、妻とわたしは、当時大管長会第二顧問だったジェームズ・E・ファウスト管長から電話を受けました。伝道部長とその伴侶としてポルトガルで奉仕するよう召されたのです。伝道部での務めに就くまで6週間しかないと言われました。準備も力量も不十分ではありましたが、わたしたちはその召しを引き受けました。そのときいちばん気がかりだったのは、ポルトガルで奉仕するために必要なビザの取得でした。過去の経験から、取得の手続きには6か月から8か月かかることが分かっていたからです。

そこで、ファウスト管長は、主が奇跡を起こされてビザの問題がもっと早く解決することを信じる信仰がありますか、と尋ねました。わたしたちは何のためらいもなく「はい」と答え、直ちに手続きに取りかかりました。ビザに必要な書類を用意し、3人の幼い子供たちを連れて、できるかぎり早く領事館に行くと、そこでは、とても

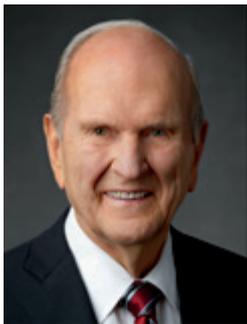


感じの良い女性が対応してくれました。書類に目を通してポルトガルで何をすればいいのか分かってくると、女性はわたしたちの方を向いて、こう質問してきました。「ほんとうに我が国の国民のためになることをなさるおつもりなのですか。」わたしたちは「そうです」ときっぱりと答えると、イエス・キリストの代理となって、主と、この世における主の神聖な使命について証するのです、と説明しました。4週間後に再び領事館に行くと、ビザを受け取りました。そして主の預言者から依頼されたとおり、6週間以内に伝道地に到着したのです。

兄弟姉妹の皆さん、預言者は聖なる御霊の力によって語るということを、わたしは心の底から証します。預言者はキリストと、キリストが地上で果たされた神聖な使命について証してくれます。主の思いと御心を伝える人々であり、主を代表し、神と御子イエス・キリストのみもとに帰るため

に何をしなければならないかを教えるために召されています。信仰を働かせて彼らの教えに従うならば、祝福されます。彼らの教えに従うならば、幸せになり、煩悩が少なくなり、困難や問題に耐えるのが容易になります。また、霊的なよろいでも身を固めて、今の時代の敵の攻撃から自分を守ることができるようになります。

この復活祭の日に際して、イエス・キリストはよみがえり、生きておられ、地上にある主の教会を主の預言者、聖見者、啓示者を通して導いておられることを、厳粛に証します。主が世の救い主、贖い主であられ、主を通してわたしたちが救われて、愛する神の御前に昇栄できることを証します。わたしは主を愛し、あがめています。主に従い、主の御心を行い、さらに主のような者になりたいと思っています。これらのことを、イエス・キリストの聖なる御名によってへりくだり申し上げます、アーメン。■



ラッセル・M・ネルソン大管長

ミニスタリング

人々を心にかけて、仕えるに当たって、より新しく、より神聖な方法を導入します。

ゴング長老、ソアレス長老、心からの信仰を示してくださり、ありがとうございます。わたしたちは、御二人と御二人の愛する伴侶の姉妹たちに感謝しています。

愛する兄弟姉妹、わたしたちは絶えず主の導きを求め、会員の皆さんが神の戒めを守るのをどう助けられるか知ろうと努めています。とりわけ、神を愛し、隣人を愛するという二つの偉大な戒めに関して

です。¹

教会員の霊的および物質的な必要を満たすよう救い主の方法によって仕えるより良い方法を、何か月も探してきました。

わたしたちは、これまで慣れ親しんだホームティーチングおよび家庭訪問を廃止することを決定しました。その代わりに、人々を心にかけて、仕えるに当たって、より新しく、より神聖な方法を導入します。この取り組みを、簡潔に「ミニスタリング」と

呼ぶことにします。

効果的なミニスタリングの取り組みは、姉妹たちの生来の賜物と、神権の比類ない力を通して可能となります。わたしたちは皆、敵対する者の狡猾な策略に対して、そのような守りを得る必要があります。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老、また中央扶助協会会長のジン・B・ビンガム姉妹がこれから話します。世界中の教会員に仕え、彼らを見守るに当たって、割り当てを受けた神権者の兄弟たちと扶助協会の姉妹たち、また若い女性の姉妹たちが、今後どのように役目を果たせばよいのかを説明してくれます。

大管長会と十二使徒会は、これから二人が語るメッセージを、一致をもって支持します。感謝と祈りを込めて、わたしたちは教会歴史におけるこの新たな幕を開きます。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注
1. ルカ 10:27 参照





十二使徒定員会
ジェフリー・R・ホランド長老

「彼らとともにいて 彼らを強める」

今日わたしたちが願うのは、すべての男女が、心から互いを思いやるという決意をさらに深めてこの総大会を後にすることです。

ラルフ・ウォルドー・エマーソンの言葉を言い換えるとこうなります。「啓示が連続して訪れるのを感じる時以上に、人生で記憶に残る瞬間はない。」¹ ネルソン大管長、この週末にあった啓示の「連続」にわたしは圧倒されそうです。中には心臓が弱い人もいます。それでも、大管長なら適切に処置してくださることでしょう。なんとすばらしい預言者に恵まれていることでしょう。

ネルソン大管長から聞いた昨夜と今朝のすばらしい証と宣言に加えて、わたしも自身の証を述べます。これらの発表は、教会をその初めから導いてきた啓示の一例です。主が時にかなって御業を速めておられることを示す、もう一つの証拠なのです。²

詳細についてもっと知りたいと思っている方々には、この総大会の部会終了後に、一連の通達がなされることをお伝えします。必ずしもこの順番どおりになされるとは限りませんが、まず教会のすべての会員の登録されている電子メールに大管長会からの手紙が送られます。また、7ページにわたる質疑応答の資料がすべての神権指導者と補助組織指導者に送られます。最後に、その内容がすぐに ministering

lds.org に載せられます。「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば見いだすであろう。」³

ラッセル・M・ネルソン大管長からわたしとジーン・B・ビンガム姉妹が受けたすばらしい割り当てについてお話しします。兄弟姉妹の皆さん、定員会と補助組織の業

が成熟すると、結果としてわたしたちも個人的に成熟していくはずで。個々が機械的に感情なく機能を果たす状況から抜け出て、救い主が地上での務めの最後に示された弟子の務めを、心を注いで果たすようになってきているのです。主は、まだ理解が追いつかずいくらか困惑している弟子たちの小さな群れを去る準備として、彼らが行うべき管理運営上の手順を幾つも挙げ連ねたり、3枚複写の報告書をどっさり手渡ししたりはなさいませんでした。そうではなく、彼らが行うべきことを、一つにまとめて、こう語られました。「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう。」⁴

わたしたちを福音の理想に近づかせる努力の一環として、この新たに発表された、神権組織と扶助協会のミニスタリングに関する概念には、以下の要素が組み込まれています。そのうちの幾つかは、す





に扶助協会が実施してすばらしい成果を上げています。⁵

- わたしたちは今後、「ホームティーチング」や「家庭訪問」という言葉を使いません。一つには、ミニスタリングの働きの多くが家庭以外の場で行われることになるからであり、必要な場合には確かにメッセージを伝えられるものの、その働きかけは、準備したレッスンを教えたかどうかで定義されるわけではないからです。ミニスタリングの働きかけのおもな目的が、アルマの時代の民に言われたように「民を見守り、義にかかわることをもって彼らを養[う]」ということになるのです。⁶
- わたしたちは引き続き、できるかぎり家庭を訪問しますが、人数や距離、安全上その他に関する地元の難しい状況によっては、すべての家庭を毎月訪問できないこともあるでしょう。大管長会が何年も前に勧告したように、最善を尽くしてください。⁷ 実際に訪問する予定がどのような形で入っていても、それに加えて電話や手書きのメモ、携帯メールや電子メール、ビデオチャットなどを用いたり、教会の集会で話したり、奉仕活動や社交活動と一緒に参加したり、絶えず広がり続けるソーシャルメディアの世界が生み出す豊かな可能性を活用することができるのです。しかし、このように交流の幅が広がっても、最近車のバンパーのステッカーで見かけたような残念な主張は認められないということは、強調しておくべきでしょう。こんな言い分です。「わたしがクラクションを鳴ら

したら、あなたはホームティーチングを受けたこととなります。」兄弟の皆さん、どうか分かってください。(姉妹の皆さんは後ろめたさを感じることは決してないでしょう。わたしは教会の兄弟たちに話しているのです。) この変更は思いやりと関心を示す機会を増し加えるものであって、減らすものではありません。

- この、より福音に基づいたミニスタリングという新しい概念を耳にして、報告書に何がカウントされるのかと皆さんが心配し始めているのが感じられます。どうか、気を楽しんでください。報告書はないからです。少なくとも、「かろうじてできました」というような月末の報告書はありません。この点でも、わたしたちは成熟しようとしています。唯一報告するのは、ワードにおいて四半期中に、指導者からミニスタリングの同僚と一緒に受ける面接の件数だけです。簡単なように聞こえるかもしれませんが、それらの面接はとても重要です。その報告なしに、ビショップは会員の物質的、霊的な必要に関する必要な情報を受けることができません。このことに留意してください。ミニスタリングブラザーはビショップと長老定員会会長会を代表していて、彼らの代わりになるわけではありません。ビショップと長老定員会の会長の鍵は、ミニスタリングの取り組み以上の働きを持っています。
- この報告書は過去にわたしたちが提出していた報告書とは異なるので、次のことを強調させていただきます。すなわち、教会本部にいるわたしたちが知り、

心にかける必要があるのは、働きかけた方法や場所、時間ではなく、皆さんが担当する会員に働きかけ、考えられるすべての方法で彼らを祝福したかどうかということなのです。

兄弟姉妹の皆さん、伴侶を亡くした者や孤児、既婚者と独身者、気丈な者と取り乱した者、悩める者と頑強な者、幸せな者と悲しむ者、すなわち、すべての者を一人一人助ける機会がここに 있습니다。これは、「神の前に清く汚れのない信心」⁸を示し、「重荷が軽くなるように、互いに重荷を負い合う」⁹という、教会全体として天から与えられた機会です。なぜなら、わたしたちは皆、友情のぬくもりを感じる必要があります、確固とした信仰を表明する言葉を耳にする必要があるからです。しかしながら、皆さんに警告いたしますが、これをネルソン大管長が先ほど語ったように、大胆で、より新しく、より神聖な方法で互いを見守るようという招きとして見るのではないかぎり、名称が新しくなり、柔軟な措置が新たに設けられ、報告書の数が減ることは、わたしたちの奉仕にみじんの違いももたらさないでしょう。愛の律法をより広く実践して生活できるように霊的な視点を高めると、そのような愛をもって長年奉仕してきた人々を賛美するようになります。兄弟姉妹と「ともにいて彼らを強める」¹⁰という主の戒めをさらに多くの人が理解できるように、そのような献身的な奉仕の最近の例を挙げましょう。

今年の1月14日、日曜日の午後5時過ぎのことです。若い友人のブレット・ハンブリンとクリスティン夫人は、アリゾナ州テンピの自宅で談話していました。ブレットはビショップリックでの一日の奉仕が終わり、クリスティンは5人の子供の目まぐるしい世話が一段落したところでした。

すると、突然クリスティンが意識を失ったのです。昨年、乳がんから無事に生還したはずでした。通報を受けて到着した救急隊員が、必死で救命措置を施してい

ます。ブレットはお願いするようにして祈った後、2本の電話を入れました。1本は母に、子供の面倒を見てくれるよう頼む電話でした。そして、もう1本は、ホームティーチャーのエドウィン・ポッターへの電話です。後者の電話のやり取りの全貌は、こうでした。

電話の発信者表示を見てだれか分かったエドウィンは、言いました。「やあ、ブレット、どうしたんだい。」

ブレットは叫ぶような声で答えました。「すぐに来てくれ!」

何分もしないうちに、エドウィンはブレットのもとに駆けつけ、子供たちの世話をし、彼の妻を乗せた救急車の後を、ハンプリング兄弟を乗せて車を走らせていました。そうして、クリスティンが目を閉じてから40分とたたないうちに、医師がその死亡を宣告したのです。

ブレットがすすり泣くと、エドウィンは長い、長い間、ブレットを抱き締め、ともに泣きました。そして、嘆き悲しむ集まった家族のもとにブレットを残して、エドウィンはビショップの家に車を走らせ、事の次第を伝えました。素晴らしいビショップは直ちに病院に駆けつけ、エドウィンはハンプリング家に行きました。そこでエドウィンは、同じく駆けつけていた妻のシャーロットとともに、母親を亡くした12歳から3歳までのハンプリング家の5人の子供たちと一緒に遊び、夕食を食べさせ、即興で音楽の発表会を催し、寝かしつけました。

ブレットは後に、わたしにこう言いました。「驚くべきは、電話したらエドウィンが来てくれたことではないんです。緊急時に喜んで助けてくれる人はいつでもいますから。そうではなく、この話の驚くべきところは、彼のことが頭に浮かんだことです。ほかにも人はたくさんいました。クリスティンには、5キロ圏内に暮らすきょうだい二人います。とても素晴らしいビショップもいます。でも、エドウィンとは、助けが必要になったら本能的に電話する

ような関係があったのです。教会では、愛し、奉仕し、わたしたちが神に近づけるよう助けてくれるような関係を兄弟姉妹との間に築いていくという¹¹、第二の戒めをよりよく実践する方法が確立されています。」

この経験について、エドウィン・ポッターはこう語っています。「ホランド長老、まったく皮肉なことに、ブレットが我が家のホームティーチャーだった期間の方が、わたしがブレット家のホームティーチャーだった期間よりも長いのです。その間ブレットは、割り当てとしてではなく、友人として訪問してくれました。すばらしい模範で、精神的に自ら進んで仕える神権者としての究極の姿でした。妻も、息子たちもわたしも、彼のことを、月末にメッセージを伝えるよう義務づけられた人とは見ておらず、通りを歩いてそこの角を曲がった所に住む友人であり、自分たちを祝福するためには何でもしてくれる人、と思っていました。ブレットからの借りをほんの少しでも返せて、うれしく思います。」¹²

兄弟姉妹の皆さん、わたしは皆さんとともに、すべてのブロックティーチャー〔訳注—1850年代から20世紀初頭にかけ



て使われたホームティーチャーの呼び方)とワードティーチャー〔訳注—1964年まで使われていたホームティーチャーの呼び方〕、ホームティーチャーと訪問教師を褒めたたえます。彼らは歴史を通じて、このように愛し、奉仕してきた人々です。今日わたしたちが願うのは、すべての男女、そして、かつての若い男女が、ただキリストの純粋な愛のゆえに、心から互いを思いやるという決意をさらに深めてこの総大会を後にすることです。自分の限界や力不足を感じている中であって、——そしてわたしたちはだれもが問題を抱えています——主と肩を並べて主のぶどう園¹³で働き、人々の祈りにこたえ、彼らに慰めを与え、その涙をぬぐい、弱っているひざを強める¹⁴という、神の圧倒されるほどの働きを助けるという断固とした覚悟で、奉仕を行うことができますように。それを行うなら、わたしたちは、すべての人がなるべき、キリストの憐れみ深い弟子へと一歩近づくのです。この復活祭の安息日に、主がわたしたちを愛されたように、わたしたちも愛し合うことができますように¹⁵、イエス・キリストの御名により祈ります、アーメン。■

注

1. See Ralph Waldo Emerson, *The Conduct of Life* (1860), 268.
2. 教義と聖約 88:73 参照
3. ルカ 11:9
4. ヨハネ 13:34-35
5. 「連絡を取り続ける——いつでも、どこにいても、どんな方法でも」『リアホナ』2018年1月号, 7参照
6. モーサヤ 23:18. 教義と聖約 20:53も参照
7. 「会員を見守り、強める」大管長会の手紙, 2001年12月10日付参照
8. ヤコブの手紙 1:27
9. モーサヤ 18:8-9
10. 教義と聖約 20:53
11. ブレット・ハンプリング, 2018年2月付の個人的な書簡
12. エドウィン・ポッター, 2018年2月付の個人的な書簡
13. モルモン書ヤコブ 5:70-72 参照。
14. 教義と聖約 81:5 参照
15. ヨハネ 15:12 参照



中央扶助協会会長
ジーン・B・ビンガム

ミニスタリング—— 救い主のように

永遠の兄弟姉妹に愛の心で仕えることにより、神への感謝と愛を示すことができますように。

神から絶えず啓示を受けられる時代に生きることは、すばらしい祝福です。預言されていたこの時代の出来事を通して、訪れつつある「万物更新」¹を待ち望み、それを受け入れるときに、救い主の再臨に備えることができます。²

愛をもって互いに仕える、すなわちミニスタリングを行うことを通して、主のようになろうと努めること以上に、主にお会いする用意をするうえで良い方法はありません。イエス・キリストはこの神権時代の始め、弟子たちにこう教えられました。「あなたはわたしを愛するならば、わたしに仕え……るべきである。」³ 人々への奉仕は、自分が弟子であること、また神と御子イエス・キリストへの感謝と愛を示すものです。

隣人への奉仕と「見なされる」ために、立派で大それたことをしなければならないと、わたしたちは時に考えますが、ささやかな奉仕の行いこそ、人々だけでなく、自分にも大きな影響をもたらす可能性を秘めているのです。救い主は何をされたのでしょうか。この美しい復活祭の日曜の朝に祝う、贖罪と復活という至高の賜物を通して、「これまでに地上に生を受けた

人々およびこれから生を受けるすべての人々に対して、この御方以上に深遠な影響を及ぼしてきた人物は存在しません。」⁴ 一方で、主はほほえみかけ、ともに話し、歩み、耳を傾け、時間を割き、励まし、教え、食物を与え、赦されました。家族や友人、隣人にも見知らぬ人にも同様に仕え、福音の豊かな祝福を享受するよう、知人や愛する人々を招かれました。そういった「ささやかな」奉仕と愛の行いは、今日ミニスタリングを行う際の手本となります。

ミニスタリングに取り組むうえで、救い主の代理人となる特権にあずかるとき、こう自問してください。「この人、あるいはこの家族に福音の光を分かち合うには、どうすればよいだろうか。御霊はわたしに何を行うよう促しているだろうか。」

ミニスタリングを行う方法は、実に様々です。では、ミニスタリングとはどのようなものなのでしょうか。

祈りをもって割り当てについて評議する長老定員会会長と扶助協会会長は、ミニスタリングをしています。ミニスタリングブラザー、ミニスタリングシスターに割り当てをする際、指導者は単に紙切れを配るのではなく、個人や家族について直接評議することができます。一緒に散歩をしたり、ゲームナイトに行ったり、その人に奉仕をしたり、あるいは一緒に奉仕を行ったりすることもできます。個人的な訪問や電話、チャットや携帯メールでのやり取りも当てはまるでしょう。誕生日カードを届けたり、サッカーの試合を応援しに行ったり、相手のためになるような聖句や総大会説教の言葉を分かち合うこともそうです。福音に関する疑問について話し合うことや、証をして、だれかの疑問を晴らし、平安をもたらすこと、だれかの生活



の一部となったり、心にかけてたりすることもそうです。人々の必要や強みについて、慎重かつ適切に話し合うミニスタリング面接も、その一つです。より大きな必要に対処するために計画するワード評議会もそうです。

こういったミニスタリングを通して、ある姉妹は強められました。夫の大学院進学に伴い、実家から遠く離れた場所へ引越した姉妹です。電話も使えず、世話が必要な赤ちゃんを抱えていた彼女は、転居先で途方に暮れ、孤独を感じていました。すると、事前の連絡なしに突然、ある扶助協会の姉妹が赤ちゃん用の小さな靴を持って自宅を訪れました。彼女はこの親子を車に乗せ、スーパーに連れて行きました。「彼女は命綱でした。」その姉妹は感謝の思いで、こう報告しています。

真のミニスタリングの例をもう一つ紹介します。アフリカの年輩の姉妹は、長年教会に出席していない姉妹を探そう割り当てを受けました。その姉妹の家に行ってみると、彼女は暴力と盗難に遭い、食べ物にも事欠き、日曜日の集會にふさわしい衣服を持っていませんでした。彼女に仕える割り当てを受けていたこの姉妹は、聞く耳と自家製の野菜、聖典と友情を届けました。「行方知れず」だった彼女は間もなくして教会に戻り、現在は召しを受けています。愛され、大切にされていることを知っているからです。

このような扶助協会の取り組みと、再編成された長老定員会が合わせられるとき、一致がもたらされ、驚くべき実を結ぶでしょう。ミニスタリングは組織的な取り組みとなり、「各会員の家を訪れ」「常に教会員を見守り、彼らとともにいて彼らを強める」⁵ という神権の務めを果たし、永遠の命の祝福に備えるために助け合うという扶助協会の目的をも達成します。⁶ 長老定員会会長と扶助協会会長は、ビショップの指示の下で協力しつつ、個人と家族を見守り、世話をするための最善の



方法を求めるに当たり、靈感を受けられるのです。

例を紹介しましょう。ある母親が、がんに侵されました。治療を始めるやいなや、扶助協会の姉妹たちは働きを開始しました。食事や通院時の送迎などを支援するために、最善の方法を計画したのです。彼女たちは定期的にその母親を訪問し、楽しい時間を届けました。同時に、メルキゼデク神権定員会も速やかに動きました。病気の姉妹の世話を容易なものとするため、寝室とトイレのリフォームに力を貸しました。若い男性も協力して、この大切な取り組みに加わりました。若い女性も協力しました。毎日きちんと犬を散歩させられるよう、喜んで調整を行いました。時がたっても、このワードは必要に応じて修正を加えながら、奉仕を続けました。それは明らかに、愛の働きでした。各会員が自らをささげ、一致しながらそれぞれの方法で思いやりを示し、病気に苦しむ姉妹だけでなく、家族の一人一人にも祝福をもたらしたのです。

その姉妹は闘病の末、ついにがんで亡くなり、埋葬されました。ワードは安堵し、自分たちの働きに満足し、助けの手を緩めたでしょうか。いいえ。若い女性は、続けて毎日犬を散歩に連れて行き、神権定員会は父親と家族に仕え、扶助協会の姉妹たちは愛の手を差し伸べ、この家族を力づけ、必要を満たし続けました。兄弟姉妹、これがミニスタリング、すなわち救い主のように愛するということです。

靈感あふれる発表のもたらすもう一つ

の祝福は、14歳から18歳の若い女性に、扶助協会の姉妹の同僚として、ミニスタリングに携わる機会が与えられることです。これは、同年齢の若い男性がメルキゼデク神権者の同僚としてミニスタリングを行うのと同様です。青少年は、救いの業において成人たちとともに仕えるとき、それぞれが持つ特別な賜物を分かち合い、霊的に成長することができます。青少年とともにミニスタリングを行うことにより、携わる会員の人数が増え、扶助協会と長老定員会はさらに多くの人に手を差し伸べられるようになります。

わたしの知るすばらしい若い女性について考えると、彼女たちと一緒に仕える、あるいは彼女たちのミニスタリングを受ける扶助協会の姉妹たちが、これから若い女性の熱意や才能、霊的な感受性から祝福を受ける特権にあずかることをうれしく思います。また、若い女性が扶助協会の姉妹たちから助言や教え、力を受ける機会があることにも喜びを感じます。神の王国の建設に携わるこの機会は、若い女性にとって大きな益となり、彼女たちが教会や地域社会の指導者として、また家族に貢献するパートナーとしての役割を果たすうえで、よりよく備えられるでしょう。ボニー・L・オスカーソン姉妹が昨日述べたように、若い女性は「役に立ちたいと願っています。自分たちが救いの業において大切な、かけがえのない存在であることを知る必要があります。」⁷

実際、若い女性はすでに、割り当てや注目を受けることなく、人々にミニスタリング



を行っています。ある知り合いの家族は、知人のいない、遠く離れた場所に引っ越しました。1週間もたたないうちに、新しいワードの14歳の少女がクッキーを持って玄関に現れ、彼らを歓迎しました。ほほえみながら後ろに立っていた母親は、人に仕えたいという娘の望みを支援するために、運転手を買って出ました。

また、ある別の母親は、16歳の娘がいつもの時刻に帰宅しないので心配していました。ようやく娘が家に着くと、母親はいらだちながら、どこにいたのかと問い詰めました。16歳の娘は、近所に住む、夫に先立たれた女性に花を届けたのだと、決まり悪そうに答えました。高齢のその姉妹の寂しげな様子に気づき、彼女を訪問するよう促しを感じたのです。母親の心からの同意を得て、若い女性は続けてその高齢の女性を訪問しました。二人は仲良くなり、その温かい交わりは何年も続きました。

彼女たちをはじめ、大勢の若い女性は、人々の必要に気づき、それを満たすために働いています。若い女性には、世話をし、分かち合いたいという生まれながらの望みがあり、成人の姉妹とともにミニスタリングを行うときに、それを適切に活用するこ

とができるでしょう。

自分の年齢にかかわらず、最も効果的に仕える方法について考える際、わたしたちは「この人に何が必要だろうか」と考えます。この問いと、仕えたいという心からの望みがあれば、御霊に導かれて、人々を高め、強めることができるでしょう。これまで、ささやかな行いにより祝福を受けた兄弟姉妹の話を数え切れないほど耳にしてきました。教会への歓迎の気持ちを示すさりげない振る舞いや、心のこもったメール、試練のさなかに受けた訪問、活動への誘い、困難な状況にあって受けた助けの申し出などの話です。ひとり親や新会員、あまり活発でない会員、伴侶に先立たれた人、悩める青少年などは、ミニスタリングブラザーおよびミニスタリングシスターの関心と助けを特に必要としています。長老定員会会長会と扶助協会会長会が調整を図ることにより、適切な割り当てを行うことができます。

要するに、真のミニスタリングとは、愛を動機として、一人一人に対して行われるものです。心からミニスタリングを行うことの重要性和利点、すばらしさは、人の人生を変えられるということです。心を開き、進んで人を愛し、かかわり、励まし、慰める

ときに、ミニスタリングの影響力は圧倒的なものとなります。愛を動機とするなら、奇跡が起こり、「行方知れず」だった兄弟姉妹がイエス・キリストの福音のすべてを受け入れられるよう助ける方法を見いだすでしょう。

救い主は、行うべき事柄だけでなく、それを行う動機についても、わたしたちの模範でられます。⁸「地上における主の生涯は、目標をもう少し高く持ち、自分の問題を忘れ、人々に手を差し伸べるようにというわたしたちへの招きです。」⁹ 兄弟姉妹に仕える機会を心から受け入れるなら、わたしたちは祝福を受けてさらに霊的に精錬され、神の御心と調和し、主のみもとへ戻れるよう一人一人を助けるための主の計画について理解できるようになります。主の祝福を認識し、その祝福を人々にも分かち合いたいという望みがさらに増し、心と声とともにこう歌うでしょう。

兄弟愛して
主にならい行き
光と力を
天より受けん
われ主に仕えて
従い行かん¹⁰

永遠の兄弟姉妹に愛の心で仕えることにより、神への感謝と愛を示すことができますように。¹¹ それにより、救い主が御姿を現されてから100年の間、古代アメリカの民が享受したような一致の精神を感じられることでしょう。

「そして、民の心の中に宿っていた神の愛のために、……まったく争いがなかった。

……ねたみや紛争……もなく、神の手によって造られたすべての人の中で、彼ら以上に幸せな民は確かにあり得なかった。」¹²

啓示によるこれらの変更が、神からの靈感を受けたものであることを、喜びをもって証します。進んでこれらの変更を受け入れるなら、御子イエス・キリストにまみえ

る再臨の時に向けて、さらによく備えることができるでしょう。わたしたちはさらにシオンの民のようになり、弟子としての道を歩む中で手を差し伸べた人々とともに、この上ない喜びを感じることでしょ。わたしたちがそれを実行できますように。イエス・キリストの御名により、心からへりくだり祈ります、アーメン。■

注

1. 使徒 3:19 - 21 参照
2. ロバート・D・ヘイルズ「回復と再臨の備え——『わたしの手はあなたのうえにある』」『リアホナ』2005年11月号参照
3. 教義と聖約 42:29
4. 「生けるキリスト——使徒たちの証」『リアホナ』2017年5月号、内表紙
5. 教義と聖約 20:47, 53
6. 『手引き 第2部——教会の管理運営』9.1.1 参照
7. ボニー・L・オスカーソン「業に励む若い女性たち」『リアホナ』2018年5月号
8. エペソ 5:2 参照
9. Russell T. Osguthorpe, "What If Love Were Our Only Motive?" (Brigham Young University devotional, Mar. 8, 2011), 7, speeches.byu.edu.
10. 「われ主を愛して」『賛美歌』134番
11. モーサヤ 2:17 参照
12. 4 ニーファイ 1:15 - 16



十二使徒定員会
ディーター・F・ウークトドルフ長老

「見よ、この人だ」

真にこの御方を見る方法を見いだす人は、人生の最も大きな喜びに通じる道、最もつらい苦しみに対する慰めをも見いだすことでしょう。

愛する兄弟姉妹、友人の皆さん、このすばらしい総大会の週末を皆さんとともに過ごせることに感謝します。ハリエットとわたしは、ゴング長老とソアレス長老、および今大会で重要な新しい召しを受けた多くの方々に歓迎できることを、皆さんとともに喜んでます。大切な友人であるトーマス・S・モンソン大管長がしのばれますが、わたしは預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長とその高潔な顧問を愛し、支持し、支えます。



また再び、愛する十二使徒定員会の兄弟たちとともに、より密接に働けることを感謝し、光栄に思います。

何にも増して、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であることについて、深くへりくだり、喜びに満たされています。多くの男性や女性、そして子供たちが、それぞれの役割や召しに応じて、進んで自分の立っている場所で最善を尽くし、心から神とその子供たちに仕え、神の王国を築こうとしています。

今日は聖なる日です。わたしたちは復活祭の日曜日に、救い主が死の縄目を断ち¹、墓に勝利された、栄えある朝を記念します。

歴史上、最も偉大な日

最近わたしはインターネットで、「歴史の流れを最も大きく変えたのは、何の日でしたか」という質問を投げかけました。

返ってきた答えは、驚くような見知らぬものから、示唆に富んだ、考えを促すものまで様々でした。中には、有史以前に小惑星がユカタン半島に落ちた日や、1440年にヨハネス・グーテンベルクが印刷機を完成させた日、そしてもちろん、1903年にライト兄弟が、人が空を飛べることを世界に証明した日などが含まれていました。

皆さんなら、同じ質問にどう答えますか？



わたしにとって、その答えは明白です。

歴史上最も重要な日を見いだすには、約2千年前の夜にさかのぼる必要があります。その日、ゲツセマネの園で、イエス・キリストはひざまずいて熱烈な祈りをささげ、わたしたちの罪の贖いの代価として御自身をささげられたのです。この無限にして偉大な犠牲のさなか、神であるイエス・キリストは、肉体と霊の双方において比類ない苦しみを味わい、あらゆる毛穴から血を流されました。その完全な愛のゆえに、わたしたちがすべてを受けられるように、すべてをお与えになったのです。主の超人的な犠牲は理解の域を超えており、ただあらゆる心と思いを尽くして感じるしかありませんが、全人類が主の聖なる賜物に対して感謝すべきことを思い起こさせてくれます。

その晩遅くに、イエスは宗教や政治的な権威ある人々の前に連れて行かれ、あざけられ、打たれ、不名誉な死罪の判決を受けました。主は苦悩のうちに十字架につけられ、ついには「すべてが終わった」と言われました。² 息絶えた主の体は、借り物の墓に置かれました。そして、3日目の朝、全能の神の御子であるイエス・キリストは、輝きと光、威厳に満ちた、栄えある復活した御方として、墓から御姿を現されたのです。

確かに、人類の歴史を通じて、国家や人々の行く末に深遠な影響をもたらす出

来事は数多くありました。しかし、それらをすべて合わせたとしても、最初の復活祭の朝に起こった出来事の重要性には比べようがありません。

無限の犠牲とイエス・キリストの復活が歴史上最も重要なのは、なぜでしょう。世界大戦、大災害、人々の生活を変える科学的発見よりも大いなる影響を及ぼすのは、なぜなのでしょう。

イエス・キリストのおかげで、わたしたちは再び生きることができる

その答えは、だれもが直面する、二つの大きな、乗り越えられない困難の中にあります。

第1に、人は皆、死にます。どれほど若く、美しく、健康で、気を使っても、皆さんの体はいつの日か息絶えます。友人や家族は嘆き悲しむでしょう。それでも、彼らはあなたを引き戻すことができません。

しかし、イエス・キリストのおかげで、皆さんの死は一時的なものとなるのです。皆さんの霊は、いつか皆さんの肉体と再び一つになります。この復活した肉体が死ぬことはなく、³ 皆さんは痛みや肉体の苦しみから解放されて⁴ 永遠に生きるのです。

イエス・キリストが御自分の命を捨て、再び取り戻されたおかげで、このことが起きるのです。

イエスは、御自分を信じるすべての人のためにこれをなされました。

御自分を信じないすべての人のためにこれをなされました。

御自分の名をあざけり、ののしり、のろう人々のためにさえ、これをなされたのです。⁵

イエス・キリストのおかげで、わたしたちは神とともに生きることができる

第2に、わたしたちは皆罪を犯します。罪があると、永遠に神から引き離されます。なぜなら「清くない者は、決して父の王国に入ることができない」からです。⁶

その結果、染みのない子羊であられるイエス・キリストが、わたしたちの罪の代価として御自分の命をささげられるまでは、すべての男性、女性、子供が、主の御前から追い出されていました。正義に対する負債のないイエスだけが、すべての人の負債を支払い、正義の要求を満たすことができになったのです。皆さんやわたしも、そのうちの一人です。

イエス・キリストはわたしたちの罪の代価を支払っていただきました。

すべてです。

歴史上最も重要なその日に、キリスト・イエスは死の門を開き、わたしたちが永遠の命という聖なる場所に入るのを妨げていた障害を取り除いていただきました。わたしたちの主、救い主のおかげで、皆さんもわたしも、最も貴い賜物を与えられています。過去にどんなことがあろうと、わたしたちは悔い改めることができ、天の御父の忠実な子供たちに囲まれながら、日の栄えの光と栄光へと続く道を歩むことができますのです。

わたしたちが喜ぶ理由

これが、復活祭の日曜日を祝う理由です。命を祝うのです！

イエス・キリストのおかげで、わたしたちは死の悲しみから立ち上がり、愛する人を抱き締め、圧倒されるような喜びとあふれる感謝に涙を流します。イエス・キリストのおかげで、永遠に生きる者として、

世々限りなく存在するのです。

イエス・キリストのおかげで、わたしたちの罪は消されるだけでなく、忘れ去られます。

わたしたちは清められ、高く上げられます。

聖なる者となるのです。

愛する救い主のおかげで、わたしたちは湧き上がる永遠の命に至る水を永遠に飲むことができます。⁷ 永遠の王の住まいにおいて、想像を超える栄光と完全な幸福に包まれながら、永遠に住むことができますのです。

わたしたちはこの御方を見ているだろうか

これらすべての事柄にかかわらず、今日の世の中であって、イエス・キリストが与えてくださった貴い賜物に気づいていない、あるいは信じない人は大勢います。イエス・キリストについて耳にしたことがあり、歴史上の人物としては知っているかもしれませんが、主の真実の姿は見えていません。



これについて考えるとき、救い主が、亡くなられるほんの数時間前に、ローマのユダヤ総督であったピラトの前に立っておられたことを思い出します。

ピラトは限られたこの世的な見方で、イエスを見ていました。ピラトにはなすべき仕事がありました。ローマのために税を徴取することと、平和に統治することの二つがおもな務めです。ユダヤのサンヒドリン〔訳注：行政と宗教の両面における、ユダヤの最高議会、最高法廷〕が、この二つを妨げているとして、ある男を彼の前に連れてきました。⁸

囚人を喚問した後、ピラトはこう言いました。「わたしには、この人になんの罪も見いだせない。」⁹ しかし、イエスを訴えた者たちをなだめる必要を感じたピラトは、過越の際に一人の囚人を許すという地域のしきたりを用いることにしました。人々は、悪名高き強盗であり殺人者であるバラバではなく、イエスを釈放させるべきではなかったでしょうか。¹⁰

しかし、騒ぎ立てる暴徒はバラバを釈

放し、イエスを十字架につけるようピラトに要求しました。

「なぜなのか。」ピラトは尋ねました。「あの人は、いったい、どんな悪事をしたのか。」

ところが民衆はいっそう激しく叫んで言いました。「十字架につけよ。」¹¹

最終的に暴徒を満足させようとしたピラトは、イエスを鞭で打つように命じました。¹² 彼らはイエスを鞭で打ち、血にまみれた傷だらけの状態にしたうえで、あざけり、いばらの冠をかぶらせ、紫の上着を着せました。¹³

ピラトは、これによって血を求める群衆が満足し、イエスを哀れに思うだろうと考えたかもしれませんが。ピラトはこう述べました。「見よ、わたしはこの人をあなたがたの前に引き出すが、それはこの人になんの罪も見いだせないことを、あなたがたに知ってもらうためである。……見よ、この人だ。」¹⁴

神の御子は実際に、エルサレムの民衆の前に肉体をもってお立ちになりました。

彼らはイエスを目にしましたが、真の意味では見ていませんでした。

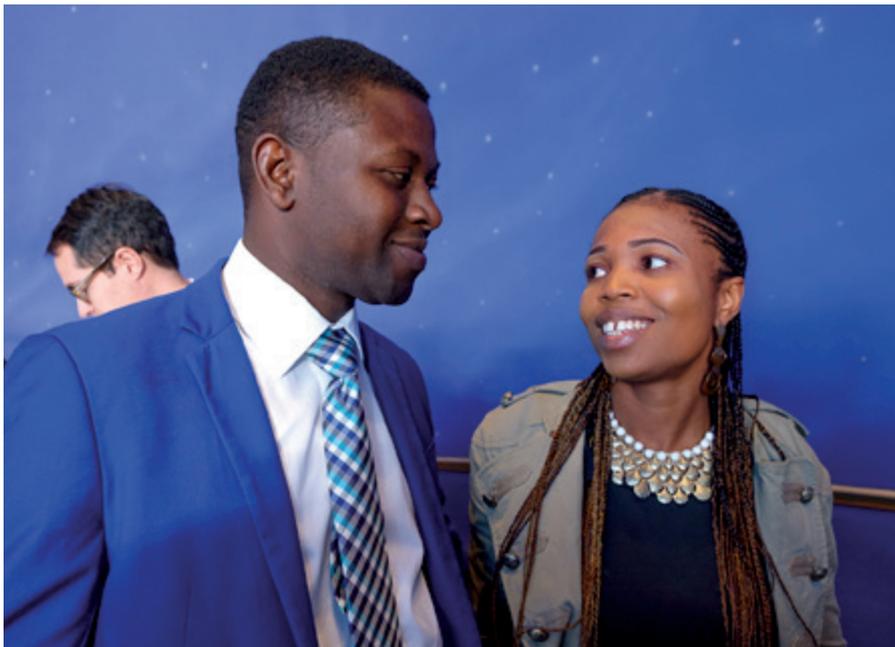
見る目を持っていなかったのです。¹⁵

抽象的な意味で、わたしたちもこの御方を見るように招かれています。世において、この御方に対する意見は様々です。古代と現代の預言者は、この御方が神の御子であることを証しています。わたしもこのことを証します。大切なのは、わたしたち一人一人が、自分自身で知ることです。皆さんは、イエス・キリストの生涯と教導の業について思い巡らすとき、何が見えますか。

真にこの御方を見る方法を見いだす人は、人生の最も大きな喜びに通じる道、最もつらい苦しみに対する慰めをも見いだすことでしょう。

悲しみに取り巻かれるとき、この御方を見てください。

迷い、忘れ去られたと感じるとき、この



御方を見てください。

見捨てられ、傷つけられ、打ちひしがれ、絶望し、疑いの心を持つとき、この御方を見てください。

主は皆さんを慰めてくださいます。

主は皆さんを癒し、皆さんの旅路に意味を与えてくださいます。主は豊かに御霊を注ぎ、大きな喜びで皆さんの心を満たしてくださいませ。¹⁶

主は「弱った者には力を与え、勢いのない者には強さを増し加え」てくださるのです。¹⁷

真にこの御方を見ると、わたしたちは主に学び、主に沿った生活を送ろうとします。悔い改め、性質を改善し、日々一歩ずつ、主に近づこうと努力します。主を信頼します。主の戒めを守り、神聖な聖約に従って生活することによって、主に愛を示します。

言い換えれば、わたしたちは主の弟子となるのです。

主の精錬する光は、わたしたちの魂を完全に満たします。主の恵みはわたしたちを高めてくれます。わたしたちの重荷は軽くなり、平安は深められます。真にこの御方を見るなら、祝福された将来が約束されています。この世の旅路の曲がりくねった道やでこぼこ道を歩む中で、勇気づけられ、高められるという約束を、わたしたちは受けているのです。人生を振り返るとき、御心になんて、点と点がつながっていることに気づくでしょう。¹⁸

皆さんが主の犠牲を受け入れ、主の弟子となり、ついには地上での旅の最期を迎えるとき、この世で皆さんが堪え忍んだ悲しみはどうなるでしょう。

すべて、なくなるのです。

皆さんが経験した落胆、裏切り、迫害はどうでしょう。

なくなります。

抱いてきた苦しみ、心痛、自責の念、恥、苦悩はどうでしょう。

なくなります。

忘れ去られるのです。

何の不思議があるでしょう。「わたしたちはキリストのことを話し、キリストのことを喜び、キリストのことを説教し、キリストのことを預言し、……どこに罪の赦しを求めればよいかを、わたしたちの子孫に知らせる」のです。¹⁹

真にこの御方を見るために、心のすべてをかけて努力するのに、何の差し支えがあるでしょう。

愛する兄弟姉妹の皆さん、人類史上最も重要な日は、神の生ける御子であるイエス・キリストが、神のすべての子供たちのために死と罪に打ち勝たれた日です。皆さんとわたしの人生で最も重要な日は、「この御方を見る」ことを学んだ日であり、主の真実の姿を目にする日であり、心と心のすべてを込めて主の贖いの力を受ける日であり、熱意と強さを新たにして、主に従うと決意する日です。そのような日が、生涯を通して何度も何度も訪れますように。

わたしたちが「この御方を見る」なら、この地上と来るべき世での永遠の生涯にあって、意味や喜び、平安を見いだすという証と祝福を残します。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. モーサヤ 15:23 参照
2. ヨハネ 19:30
3. アルマ 11:45 参照
4. 黙示 21:4 参照
5. 1コリント 15:21-23 参照
6. 3ニーファイ 27:19
7. ヨハネ 4:14 参照
8. ルカ 23:2 参照
9. ヨハネ 18:38。イエスを裁くことを避けたピラトは、判決をアンティバスのヘロデに委ねようとした。もしバプテスマのヨハネを殺すように命じたヘロデ（マタイ 14:6-11 参照）が、イエスを罪に定めていたら、ピラトは平和を保つために、それに承認の印を押し、単に地方の事件で終わらせていたことだろう。しかし、イエスはヘロデに一言もお答えにならなかった（ルカ 23:6-12 参照）。そしてヘロデは再びイエスをピラトの元に送り返した。
10. マルコ 15:6-7、ヨハネ 18:39-40 参照。ある新約聖書の学者はこう書いている。「超越の際、ローマ総督がユダヤ人の民衆に対して、死罪を求刑された悪名高い罪人の幾人かを許すことがしきたりになっていったようである。」（Alfred Edersheim, *The Life and Times of Jesus the Messiah* [1899], 2:576）「バラバ」という名前は、「神の息子」を意味する。エルサレムの民衆に、この二人のうちから選ばせよという皮肉は興味深い。
11. マルコ 15:11-14 参照
12. この鞭うちがあまりにひどかったため、「中間の死」と呼ばれた（Edersheim, *Jesus the Messiah*, 2:577）
13. ヨハネ 19:1-3 参照
14. ヨハネ 19:4-5
15. これより前に、イエスは人々の様子を見て、こう語られた。「この民の心は鈍くなり、その耳は聞えにくく、その目は閉じている。それは、彼らが目で見ず、耳で聞かず、心で悟らず、悔い改めていやされることがないためである。」そして、思いやりに満ちた様子で弟子たちに言われた。「しかし、あなたがたの目は見ており、耳は聞いているから、さいわいである」（マタイ 13:15-16）。わたしたちは心をかたくなにするだろうか。それとも、目と心を開いて、真にこの御方を見ようとするだろうか。
16. モーサヤ 4:20 参照
17. イザヤ 40:29
18. ディーター・F・ワークトドルフ「死すべき世の旅」（ヤングアダルト対象のワールドワイド・ディボーションナル）2018年1月14日、broadcasts.lds.org
19. 2ニーファイ 25:26



管理ビショップ
ジェラルド・コセー ビショップ

すべては人のために

教会では、主の弟子たち、すなわち主を愛し、主に従い、主の名を受けた皆さんこそが、すべてなのです。

壮 大なフランス・パリ神殿の建設準備中に、わたしは決して忘れることのできない経験をしました。2010年に神殿用地が見つかったとき、市長は教会についてさらに知るために、わたしたちとの面会を求めてきました。この面会は、建築許可を得るうえで重要なステップでした。わたしたちは慎重にプレゼンテーションを準備し、その中に末日聖徒の神殿の印象的な写真を数点入れました。わたしが心から願っていたのは、神殿の建築面の美しさに市長が納得し、教会のプロジェクトを支持してくれることでした。

驚いたことに、市長はプレゼンテーションを検討するよりも、わたしたちの属する教会がどのようなものであるかを知るために、市長と彼のチームによる独自の調査を実施したいと言いました。翌月、わたしたちは再び呼ばれ、偶然にも宗教史の教授を務めていた市議会議員から、報告を聞きました。彼女はこう言いました。「何にも増して、わたしたちは、皆さんの教会の会員がどのような人々なのかを理解したいと思いました。まず、皆さんの教会の聖餐会に出席し、礼拝堂の後ろに座って、集まった人々の様子と行動を慎重に観察しました。それから、皆さんの隣人、つまりステーキセンターの周囲に住んでいる人々に会って、モルモンがどのような人々なのかを尋ねました。」

「それで、結論はどうでしたか。」わたしが少し不安げに尋ねると、彼女は答えました。「分かったことは、末日聖徒イエス・キリスト教会が、わたしたちの知り得るほかのどの教会よりも、イエス・キリストの最初の教会に近いものだという事です。」わたしは反対の声を挙げそうになりました。「そうではありません！ 最も似通った教会ではなく、まさしくイエス・キリストの教会、すなわち、同一の教会、まことの教会なのです」と。それでも、自



分を抑え、代わりに心の中で感謝の祈りをささげました。それから市長は、この調査結果に基づき、彼らの地域社会に神殿を建設することに対して、市長と彼のチームは一切異議を唱えないと告げました。

今日、あの驚くべき経験について考えると、わたしは市長の知恵と識別の力に感謝の思いが湧きます。教会を理解するための鍵は、建物の外観やよく確立された組織について調べるのではなく、イエス・キリストの模範に従おうと日々努力している、何百万という忠実な会員について知ることであると、市長は分かっていたのです。

教会の定義は、モルモン書の次の言葉に基づくと言ってもよいでしょう。「そして、イエスの名によってバプテスマを受けた人々は、キリストの教会と呼ばれた。」¹

言い換えれば、教会では人がすべてなのです。主の弟子たち、すなわち主を愛し、主に従い、聖約により主の名を受けた皆さんこそが、すべてなのです。

ラッセル・M・ネルソン大管長はかつて、教会をすてきな自動車にたとえました。だれでも、自分の車がきれいで輝いているのを好むでしょう。しかし、車の目的は魅力的な機械として人目を引くことではなく、乗車している人を運ぶことなのです。² 同様に、わたしたち教会員は、清潔で手入れの行き届いた美しい礼拝の場があることに感謝するとともに、十分に機能するプログラムがあることを喜んでいきます。しかし、それらは支援目的の仕組みにすぎません。わたしたちの唯一の目的は、キリストのもとに来よう神のすべての息子、娘を招き、聖約の道を歩めるように彼らを導くことです。それ以上に大切なものはありません。わたしたちの働きは、人と聖約こそがすべてなのです。

回復された教会に対して啓示によって与えられた名称に、個々の福音の聖約の中で最も大切な二つの要素が含まれているのは、すばらしいことだと思いませんか。

第一に、イエス・キリストの御名です。主がその頭であられ、主の神聖な贖罪と聖約が、救いと昇栄に至る唯一の道なのです。第二に、わたしたちを表す名前、聖徒です。言い換えれば、主の証人、主の弟子ということです。

フランスでステーキ会長を務めていたとき、わたしは人に焦点を当てることの大切さを学びました。召されたばかりのころ、ステーキのために、非常に野心的な目標を幾つか考えました。新しいワードの創設や新たな集会所の建設、地域に神殿を建設することまで含めました。6年後に解任された際、目標はどれも達成されていませんでした。完全なる失敗だと感じることもできましたが、この6年の間に、わたしの目標はまったく違ったものになっていたのです。

解任される日に壇上に座ったとき、わたしは深い感謝と達成感に圧倒される思いでした。出席した数百人の会員の顔を見渡すと、一人一人とともにした霊的な経験を思い起こすことができました。

バプテスマの水に入った兄弟姉妹、神殿の神聖な儀式を受けるための最初の推薦状にわたしがサインした人々、専任宣教師としてわたしが任命あるいは解任した若人や夫婦がいました。また、人生の試練や逆境のさなかにわたしが仕えた多くの人々がいました。その一人一人に、深い兄弟愛を感じました。彼らに仕えるときに純粋な喜びを味わい、彼らが救い主への忠誠と信仰を増し加えていくのをうれしく思いました。

M・ラッセル・バラード会長はこう教えています。「教会の責任の最も重要なことは、報告するための統計やミーティングではなく、救い主がなさったように一人一人を教え導くことです。一人一人が高められ、力づけられ、最終的に変わることができたかどうかということです。」³

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは福音に活発でしょうか、それとも教会に忙しいだけでしょうか。鍵となるのは、すべてにおいて救い主の模範に従うことです。そうするならば、割り当ての達成やプ

ログラムの実施よりも、個人の救いに自然に焦点を当てるようになるでしょう。

もし救い主が、来週の日曜日に皆さんのワードや支部を訪問されたらどうなるか、考えたことがありますか。主は何をされるのでしょうか。視覚資料が十分であるかどうか、あるいは教室の椅子がきちんと並んでいるかどうか、心配されるのでしょうか。それとも、御自分が愛し、教え、祝福できる人に目を向けられるのでしょうか。恐らく主は、歓迎すべき新会員や友人、慰めを必要とする病気の兄弟姉妹、励ましが必要な、揺れ動く若人を見いだされることでしょう。

イエスはどのクラスを訪問されるのでしょうか。最初に初等協会の子供たちを訪れたとしても、驚くには当たりません。主はひざまずき、目と目を合わせて語られることでしょう。子供たちに愛を示し、物語を話し、子供たちの絵を褒め、天の御父について証されるでしょう。主の態度はシンプルかつ心からのものであり、そこに見せかけはありません。わたしたちも、同じようにできるのでしょうか。

わたしは皆さんに約束します。主が望まれることを行おうと努めるなら、自分が手を差し伸べ、祝福できる人を見つけることが、何よりも大切になるでしょう。教会では、個人を教え、彼らの心に触れることに、心を注ぐでしょう。皆さんの関心は、完全な活動を計画するよりも、霊的な経験を育むことに、また自分が達成した訪問件数をチェックするよりも、同胞である会員に仕えることに向かうでしょう。自分ではなく、わたしたちが兄弟姉妹と呼ぶ人々を大切にすることです。

わたしたちは、教会に行くと言うことがあります。しかし、教会は建物や特定の場所以上のものです。世界の最も人里離れた場所にある最も質素な住居でも、ソルトレーク・シティーの教会本部と同じように、教会は実在し、活動しています。主御自身は、こう語られました。「ふたりま



たは三人が、わたしの名によって集まっている所には、わたしもその中にいるのである。」⁴

わたしたちは職場や学校、休暇のためにどこへ行こうとも、また家庭においては特に、教会を携えています。わたしたちの存在そのものと影響力が、どこであれ自分のいる所を聖なる場にしてくれるのです。

わたしは、ある教会員でない友人との会話を覚えています。彼は、教会のふさわしい男性がだれでも神権を受けられることを知って驚き、こう尋ねました。「それで、きみのワードには何人の神権者がいるんだい。」

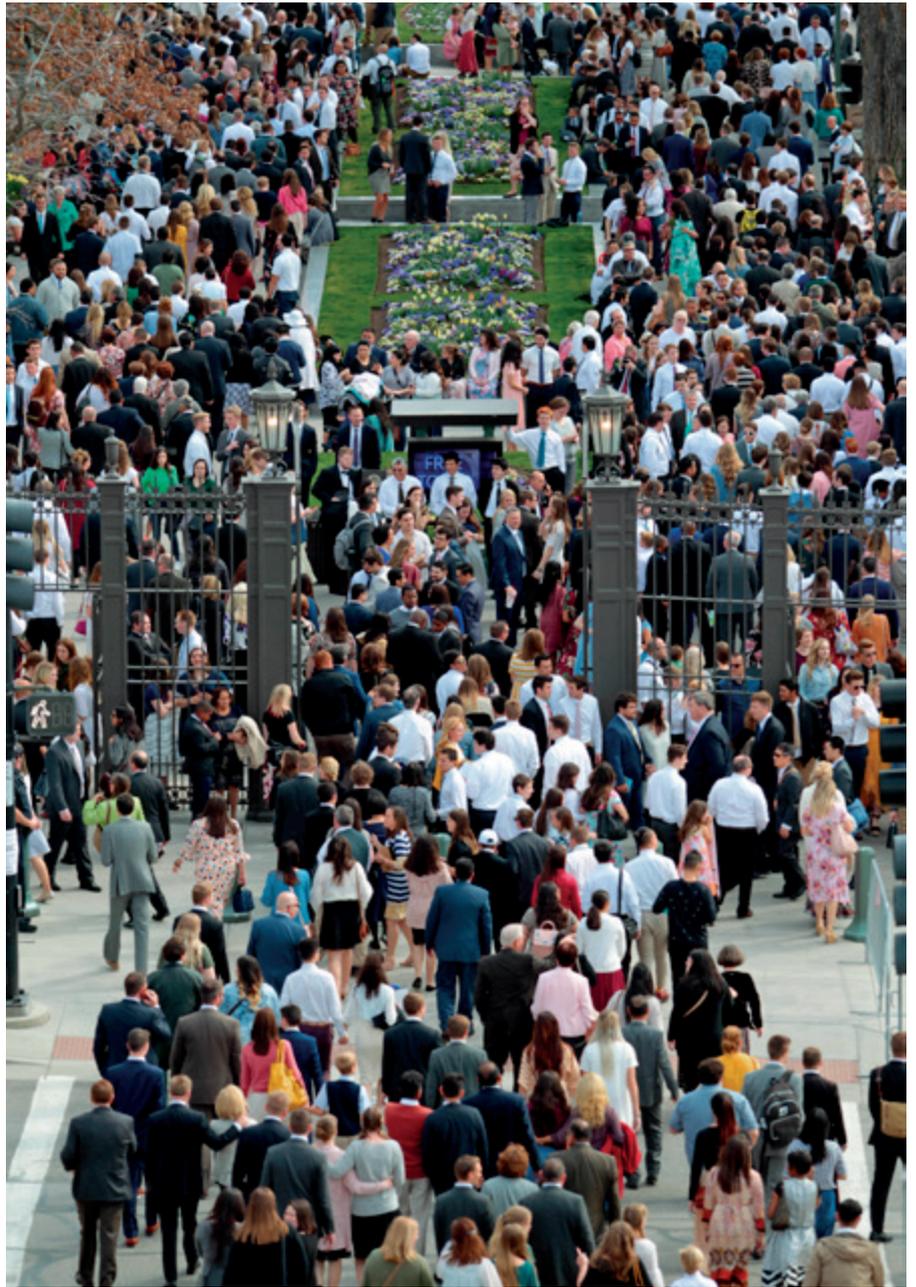
わたしは「30人から40人かな」と答えました。

彼は困惑した表情で続けました。「多くの通っている教会では、司祭が一人だけだよ。なぜ日曜の朝にそれほど多くの司祭が必要なのかな。」

彼の質問に興味を持ったわたしは、靈感を受けてこう答えました。「きみの言うとおり、日曜日の教会には、それほど多くの神権者が必要だとは思わないよ。でも、それぞれの家庭に神権者が確かに必要なんだ。家庭に神権者がいない場合、ほかの神権者がその家族を見守り、助けるために召されるんだよ。」

わたしたちの教会は、日曜日だけの教会ではありません。わたしたちの礼拝は、どこで何をしようと、一週間毎日続きます。とりわけ家庭は、「信仰を实践する最も重要な聖所」です。⁵ ほとんどの場合、祈り、祝福し、神の御言葉を研究し、教え、純粋な愛をもって奉仕するのは、家庭の中なのです。わたしは自分の経験から証します。家庭は公の礼拝場所と同じように、時にはそれ以上に、御霊が豊かに宿り得る神聖な場所です。

この教会はイエス・キリストの教会であることを証します。その強さと活力の源は、数百万人に及ぶ主の弟子たちの、日々の行動にあります。彼らは人々に仕えるこ



とにより、主の最高の模範に従おうと日々努力しているのです。キリストは生きて、この教会を導いておられます。ラッセル・M・ネルソン大管長は、この時代にわたしたちを教え導くために主が選ばれた預言者です。これらのことをイエス・キリストの御名により証します。アーメン。■

注

1. 3 ニーファイ 26 : 21
2. See Russell M. Nelson (general conference leadership meeting, Apr. 2012)
3. M・ラッセル・バラード「おお、賢くありなさい」『リアホナ』2006年11月号, 20
4. マタイ 18 : 20

5. Russell M. Nelson, "The Doctrinal Importance of Marriage and Children" (worldwide leadership training meeting, Feb. 2012), broadcasts.lds.org.



十二使徒定員会
クエンティン・L・クック長老

神にお会いする用意

義と一致、平等に基づいて神から託された責任を果たすことにより、神にお会いする用意をすることができます。

ライザ・R・スノーは、(自身も出席した)カートランド神殿の奉献式について、こう語っています。「あの奉献式について、語ることはできるかもしれませんが、人間の言葉では、あの忘れられない日に起きた天の現れを描写することはできません。ある人々に天使たちが現れ、出席していたすべての人が神の臨在を実感し、それぞれの心が言いようのない、栄光に満ちた喜びで満たされました。」¹

カートランド神殿でもたらされた天の現れは、回復されたイエス・キリストの教会が存在する目的の土台となりました。すなわち、天の御父の子供たちに救いと昇栄をもたらすことです。² わたしたちが神にお会いする用意をするとき、カートランド神殿で回復された神聖な鍵について振り返ることで、自分が神からどのような責任を委ねられているかを知ることができます。

預言者ジョセフ・スミスは奉献の祈りの中で、へりくだり、主にこう嘆願しています。「あなたがわたしたちに建てるようにお命じになった……この宮を受け入れてくださいますように。」³

その1週間後の復活祭の日曜日、主は壮大な示現の中に現れ、神殿を受け入れてくださいました。これは1836年4月3日の出来事であり、今日の復活祭の日曜日からほぼ182年前に当たります。そ

の日は同時に過越の時期でもありました。復活祭と過越が重なるという、実に珍しい時だったのです。示現が閉じると、古代の3人の預言者、すなわちモーセ、エライアス、エリヤが現れ、鍵を託しました。これらの鍵は、この神権時代に回復された主の教会の目的を成就するうえで不可欠のものでした。その目的については、簡潔ながらも雄弁に、イスラエルを集合させ、家族として結び固め、世の人々を主の

再臨に備えさせることであると断言されています。⁴

エリヤとモーセの双方が現れたのは、「『時の終わり』にモーセとエリヤがともに訪れるというユダヤ教の教えに類似しています。」⁵ わたしたちの教義では、この現れによって、「時満ちる神権時代である終わりの時のために最後に与えられ」ることになっていた鍵が回復され、それによって、基盤となる回復が成し遂げられたのです。⁶

カートランド神殿は、場所の面でも規模の面でも、どちらかと言えば、人目を引くほどのものではありませんでした。しかし、人類にとって実に大きな意味があったことを考えると、この神殿は永遠にわたる影響力をもたらすものでした。古代の預言者たちは、イエス・キリストの福音の永遠にわたる救いの儀式を可能なものとするために、神権の鍵を回復しました。これによって、忠実な会員たちに大いなる喜びがもたらされたのです。

これらの鍵によって、神から託された責任を果たすために「高い所から力」⁷ が授



けられ、当時も今も、それが教会の第一の目的となっています。⁸ あのすばらしい復活祭の日、カートランド神殿において3つの鍵が回復されました。

第1に、モーセが現れ、地の四方からのイスラエルの集合の鍵を託しました。これは伝道活動を指します。⁹

第2に、エライアスが現れ、アブラハムの福音の時代の鍵を託しました。これには、アブラハムの聖約の回復も含まれています。¹⁰ ラッセル・M・ネルソン大管長は、聖約の鍵の目的は、会員を神の王国に備えさせることにありと教え、こう述べました。わたしたちは「自分が何者であり、神から何を期待されているかを知〔ています〕。』¹¹

第3に、エリヤが現れ、この神権時代における結び固めの力の鍵を受けました。これは、家族歴史活動、また生者と死者の救いをもたらす神殿の儀式のことでです。¹²

大管長会と十二使徒定員会の指示の下、教会本部には3つの管理評議会が存在し、カートランド神殿で回復された鍵に基づいて、神から託された3つの分野の責任を監督しています。この3つは、宣教師管理評議会、神権・家族管理評議会、そして神殿・家族歴史管理評議会です。

神から託されたこれらの責任を果たすことに関して、わたしたちは今日、どのような状態にあるでしょうか

第1に、モーセの託したイスラエルの集合の鍵の回復について申し上げれば、現在およそ7万人の宣教師が、世界中に出ていき、選民を集めるために主の福音を宣べ伝えています。これは、ニーファイが異邦人の中にもイスラエルの家にも予見した、大いなる驚くべき業の成就の始まりです。ニーファイはわたしたちの時代を先見し、神の聖徒たちは地の全面に広がるが、その数は悪事のために少ないと言っています。しかし、その聖徒たちが「義と神の力をもって、大いなる栄光のうちに武装



して」いる様子を目にしています。¹³ 回復された教会の短い歴史を振り返ると、宣教師の働きは最も目を見張るものだったことが分かります。わたしたちは、ニーファイの示現が成就する様を目の当たりにしています。人数は比較的少ないかもしれませんが、わたしたちはこれからも努力を続け、救い主のメッセージにこたえる人々を探し続けるのです。

第2に、エライアスが現れ、アブラハムの福音の神権時代を委ね、わたしたちと子孫によって、後の時代のすべての者が祝福を受けるであろうと宣言しました。この大会においても、聖徒をととのえて神の王国に備えさせるという業を推し進めるために、重要な導きが与えられました。¹⁴ 長老と大祭司の定員会に関する神権部会での発表は、神権の真の力と権能を解き放つことでしょう。ホームティーチングと家庭訪問は、今大会で雄弁に説かれたように、今後、「ミニスタリング」となります。これは末日聖徒に神に会う用意をさせるものとなるでしょう。

第3に、エリヤはこの神権時代の結び固めの鍵を託しました。この時代に生を受けているわたしたちにとって、神殿の数と家族歴史活動の勢いは、驚くべきほどに増えています。「主の来臨の時に、全地はことごとく荒廃する」という状態を避けるべく、救い主の再臨の時まで、この速度を維持し、進めていきます。¹⁵

家族歴史活動は、天の恵みである科学技術のおかげで、ここ数年、劇的に押し進められてきました。ジェーンおばさんか、

だれか熱心な親戚がやってくれるだろうと思い込み、神から託されたこの責任に無頓着でいることは、賢明とは言えません。ここで、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の率直な言葉を紹介しましょう。「この大いなる務めを免除される人はだれもいません。使徒であろうと、限りなく謙遜な長老〔あるいは姉妹〕であろうと、この義務を果たすよう求められています。場所や名声、教会における奉仕の期間にかかわらず、死者の救いを無視してよいということにはならないのです。」¹⁶

今や、わたしたちは世界中に神殿を有し、神殿から遠く離れているために支援を必要としている人々を助ける目的で、参入支援基金を設けています。

個人として、わたしたちは、伝道活動、神殿・家族歴史活動、そして神とお会いする用意という各分野において、自分の努力の度合を評価する必要があります。

義、一致、主の前に平等であること——神から託された責任を果たすための土台

義に関して言えば、この世の生涯は神にお会いする用意をする時期です。¹⁷ モルモン書には、個人や民が神の戒めを守らなくなった時に生じる痛ましい結果の事例が数多く書かれています。¹⁸

わたしが生きてきた間にも、世俗の問題や関心事は、取るに足りないささいなものを求めることから、重大な不道徳行為まで、一つの極端から別の極端へと揺れ動いてきました。合意を伴わない不道徳な行為が公にされ、非難を浴びていますが、

それはそれで望ましいことです。¹⁹ そうした合意を伴わない不道徳な行為は、神の律法と社会の規範に反しています。神の計画を理解している人々は、合意に基づく不道徳な行為にも反対する必要があります。それは罪でもあるからです。世界に向けた家族の宣言では、次のように警告しています。「貞節の律法を犯す人々、伴侶や子供〔あるいは、さらに言えばそのほかの人々〕を虐待する人々……は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。」²⁰

周囲を見回してみると、どこを見ても、邪悪と依存症で荒れずさんでいます。個人として、救い主の最後の裁きにほんとうに関心を持つのなら、わたしたちは悔い改めを求める必要があります。多くの人々がもはや神に報告する義務を感じなくなったり、導きを求めて聖文や預言者に心を向けなくなっている状態を、わたしは懸念しています。もしわたしたちが、一つの社会として、罪の結果について深く考えるようになれば、ポルノグラフィや、女性を物扱いすることに対する大規模な公の反対運動が起こることでしょう。²¹ モルモン書においてアルマが息子のコリアントンに言ったように、「悪事は決して幸福を生じたことがない」のです。²²

一致に関して言えば、救い主は「もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない」と言われました。²³ わたしたちは、争いの心は悪魔から来るものであることを知っています。²⁴

現在では、聖典で言われている一致の原則が大きく損なわれ、多くの人々が個別主義を重んじるようになってきました。²⁵ 多くの場合、地位や性別、人種、収入が基準となるものです。多くの国々では、どのような生活を送るかについて、人々は大いに分裂しています。主の教会では、わたしたちが従い教える唯一の文化は、イエス・キリストの福音の文化です。わたしたちが求める一致というのは、救い主やその教え



と一つになることです。²⁶

教会の第一の目的に目を向けると、それはすべて主の前に平等であること²⁷、またイエス・キリストの福音の文化に従うことが土台となっています。伝道活動に関して言えば、バプテスマを受けるための重要な資格とは、神の前にへりくだり、打ち砕かれた心と悔いる霊とをもって進み出ることです。²⁸ 教育、収入、人種あるいは国籍といった面が考慮されることはありません。

それに加えて、宣教師たちは召された場所で謙遜に奉仕します。宣教師たちは、地位や将来の職業に向けた準備など、世俗の基準に基づいて奉仕をしようなどとは、いささかも考えていません。ただ、心と、勢力と、思いと、力を尽くして、割り当てられた場で仕えるのです。宣教師は同僚を選ぶこともしません。キリストのような特質を伸ばそうと熱心に努めますが、²⁹ これはイエス・キリストの文化の真髄でもあります。

聖典では、わたしたちの最も大切な関係について、次のように教えています。救い主は、第一の戒めは「主なるあなたの神を愛」することであり、第二の戒めは、「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛」することであると教えられました。³⁰

救い主はさらに、あらゆる人が自分の隣り人であることを明らかにされました。³¹ モルモン書は、何々人、何々族、何々層といったものが存在してはならないことを明確に教えています。³² わたしたちは神の前で一つとなり、平等でなければならぬのです。

神聖な儀式や神から託された責任は、

この前提のうえに成り立っています。神殿における皆さん自身の経験が、わたしの経験と似たようなものであることを願っています。わたしがサンフランシスコで日常の世界を離れ、オークランド神殿に到着すると、愛と平安からもたらされる圧倒的な感情を経験しました。それは、自分が神やその目的に近づいているという実感から生まれるものでした。わたしの一番の目的は救いの儀式を受けることでしたが、そうした美しい感情をもたらす大きな源は、神殿の中に広がる平等と一致の精神だったのです。人は皆、白い衣を身にまっています。そこには収入や階級、学歴の差はみじんもありません。わたしたちは皆、神の前にへりくだる兄弟姉妹なのです。

神聖な結び固めの部屋では、永遠の結婚の儀式はだれにとっても同じです。わたしは、最も質素な家の出の夫婦も、最も富んだ家の出の夫婦も、まったく同じ経験をするという点を、いたく気に入っています。彼らは同じ型のローブを身にまとい、同じ聖壇に向かい、同じ聖約を交わします。また、同じ永遠の神権の祝福も受けます。こうしたことは、主の聖なる宮として、聖徒たちの納めた什分の一によって建てられた、美しい神殿の中で行われるのです。

義と一致、主の前に平等であることに基づいて神から託された責任を果たすことにより、この世において個人の幸福と平安がもたらされ、来るべき世において永遠の命にあずかる備えができます。³³ こうしてわたしたちは、神にお会いする用意をするのです。³⁴

わたしたちは、皆さん一人一人が、現在どのような状況に置かれているにかかわらず、ビショップとよく話し合い、神殿推薦状にふさわしい者となるよう、願っています。³⁵

神殿に参入する備えをしている教会員の数が増加していることに、わたしたちは感謝しています。ここ何年にもわたって、神殿推薦状を持つふさわしい成人の数が、著しい増加傾向にあります。ふさわし

い青少年のための限定推薦状の発行数も、過去2年間、劇的に増えています。核となる忠実な教会員が、かつてないほど強くなっているのは明らかです。

最後に、神から託された教会の使命を管理している教会の指導者たちが、神から助けを受けていることを断言します。こうした導きは、御霊から、また時には救い主から直接もたらされることもあります。どちらの霊的な導きも与えられるのです。わたしは、これまでそうした助けを受けてきたことに感謝しています。ところが導きは、主の時にかなって、教えに教え、訓戒に訓戒を加えて与えられます。³⁶「全能の主がわたしたちに訓練を施そうと思われる時に」与えられるのです。³⁷ 教会全体に関する導きもたらされるのは、主の預言者に対してだけです。

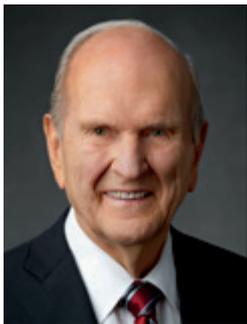
わたしたちは皆、この大会を通じて、ラッセル・M・ネルソン大管長を預言者として、また末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長として支持する特権に浴しました。十二使徒たちは、ネルソン会長の頭

に手を置き、ダリン・H・オークス長老が代表して、ネルソン会長を教会の大管長として聖任し任命した時に、定員会としても個人としても、実に意義深い霊的経験をしました。わたしは、ネルソン大管長が予任されていて、これまでの全生涯において、わたしたちの時代の主の預言者となるべく備えられた方であることを証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. Eliza R. Snow, in Janiece Johnson and Jennifer Reeder, *The Witness of Women: Firsthand Experiences and Testimonies from the Restoration* (2016), 124; see also Eliza R. Snow, in Edward Tullidge, *The Women of Mormondom* (1877), 65
2. 『手引き 第2部——教会の管理運営』2.2 参照
3. 教義と聖約 109 : 4
4. See Russell M. Nelson, “Epistles of the Lord” (address given at the seminar for new mission presidents, June 25, 2015), 1–2
5. Stephen D. Ricks, “The Appearance of Elijah and Moses in the Kirtland Temple and the Jewish Passover,” *BYU Studies*, vol. 23, no. 4 (Fall 1983), 485
6. 教義と聖約 112 : 30
7. 教義と聖約 38 : 38. 教義と聖約 43 : 16, 84 : 20–21 も参照
8. 『手引き 第2部』2.2 参照。第4の責任である貧しい人や助けの必要な人の世話をすることには、回復された鍵を必要としない。しかし、これは神から靈感を受けた教会組織に全面的にかかる責任である。
9. 宣教師管理評議会が、神から託されたこの責任を監督する。教義と聖約 110 : 11 参照
10. 神権・家族管理評議会が、神から託されたこの責任を監督する。教義と聖約 110 : 12 参照
11. ラッセル・M・ネルソン「聖約」『リアホナ』2011年11月号, 88
12. 神殿・家族歴史管理評議会が、神から託されたこの責任を監督する。教義と聖約 110 : 13–16 参照
13. 1ニーファイ 14 : 14. 1ニーファイ 14 : 5, 7, 12 も参照
14. モーサヤ 18 : 9; アルマ 6 : 1, 32 : 37 参照。ジェフリー・R・ホランド「教会の使者」『リアホナ』2016年11月号, 61, 67 も参照
15. 教義と聖約 2 : 3
16. Joseph Fielding Smith, *Doctrines of Salvation*, comp. Bruce R. McConkie (1955), 2 : 148–49
17. アルマ 34 : 32 参照
18. モルモン書の中で繰り返し示されているテーマは、もし民が戒めを守るならその地で栄え、もし民が戒めを守らなければ、主の御前から断たれるということである。そのほか2ニーファイ 1 : 9 : 4 : 4; アルマ 9 : 13 参照
19. こうした事態が #MeToo 運動の中で起きている。
20. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145
21. See Ross Douthat, “Let’s Ban Porn,” *New York Times*, Feb. 11, 2018, SR11
22. アルマ 41 : 10
23. 教義と聖約 38 : 27
24. 3ニーファイ 11 : 29 参照
25. See David Brooks, “The Retreat to Tribalism,” *New York Times*, Jan. 2, 2018, A15
26. ヨハネ 17 : 21–22 参照
27. 2ニーファイ 26 : 33 参照：「すべての人が神にとって等しい存在なのである」という中には、「黒人も白人も、束縛された者も自由な者も、男も女も」含まれる。
28. 教義と聖約 20 : 37 参照
29. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』6章参照
30. マタイ 22 : 36–39 参照
31. ルカ 10 : 29–37 参照
32. 4ニーファイ 1 : 17 参照
33. 教義と聖約 59 : 23 参照
34. アルマ 34 : 32 参照
35. 神殿推薦状面接の際の質問は、自分がどの程度福音に従った生活をしているかをはかるうえで良い指標である。
36. 2ニーファイ 28 : 30; 教義と聖約 98 : 12; 128 : 21 参照
37. Neal A. Maxwell, *All These Things Shall Give Thee Experience* (2007), 31





ラッセル・M・ネルソン大管長

神のみ業に進みて

皆さんがこの2日間で感じたことを心に留め、熟考するなら、従おうとする望みが強められるでしょう。

愛する兄弟姉妹の皆さん、この歴史的な大会を閉じるに当たり、わたしも皆さんとともに、導きと靈感あふれる力を与えてくださった主に感謝します。美しい音楽に心が高められました。メッセージはわたしたちを啓発しただけでなく、人生を変えるものでした。聖会において、わたしたちは新しい大

管長会を支持しました。二人のすばらしい男性が十二使徒定員会に召されました。そして、8人の新しい中央幹部七十人が召されました。

わたしたちが愛唱する次の賛美歌が、わたしたちの新たな決意、課題、そして、前進する責任を要約しています。

神のみ業に進みて
世を終わるとき報^{つらき}いを得ん
正義に真理の剣
振るいて起たん

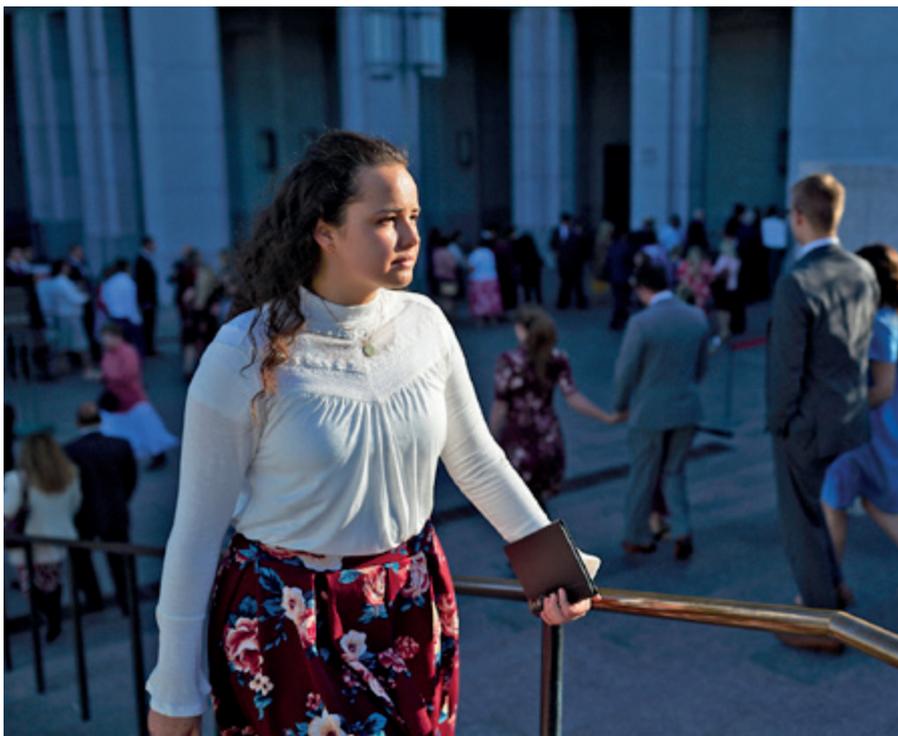
敵恐れず進まん
主はわが味方なり
悪の言葉を聞かず
主に従いて行かん。¹

これからの6か月間、ぜひ、この大会のメッセージを頻繁に、しかも繰り返し、研究してください。家庭の夕べの中で、そして、福音を教えるときに、また、家族や友人との会話で、さらには、教会員でない人との話し合いの中で、これらのメッセージを取り入れる方法を注意深く探してください。この大会で教えられた真理を愛をもって伝えるとき、多くの善良な人たちがそれにこたえてくれるでしょう。皆さんがこの2日間で感じたことを心に留め、深く考えれば、従おうとする望みが強められるでしょう。

今大会は、ミニスタリングという新しい時代の幕開けを特徴付けるものとなりました。主は、わたしたちが互いに心かける方法について重要な変更を示されました。姉妹たちと兄弟たちは、老若を問わず、新しい、さらに神聖な方法で互いに奉仕するようになります。長老定員会は強められて、世界中の男女、子供たちの生活をさらに祝福するようになるでしょう。扶助協会の姉妹たちはその独特で愛に満ちた方法で奉仕を続け、適切な割り当てを受けた若い姉妹たちに扶助協会の姉妹たちの輪に加わる様々な機会を提供していくことでしょう。

わたしたちが世に伝えるメッセージは簡潔で心からのものです。幕の両側にいるすべての神の子供たちに、救い主のもとに来て、聖なる神殿の祝福を受け、永続する喜びを得、永遠の命を受けるふさわしさを身につけるようお勧めします。²

最終的な昇栄には、わたしたちが交わ



す聖約と、主の宮で受ける儀式に対する、わたしたちの現在の完全な忠実さが求められます。現時点で、わたしたちには儀式が執行できる神殿が159あり、さらに幾つもの神殿が建設中です。わたしたちは、増加し続ける教会の会員たちに神殿がいっそう近いものとなるようにしたいと思っています。そこで、わたしたちはさらに7つの神殿を建設する計画を喜んで発表いたします。それらの神殿は、以下の場所に建てられます。アルゼンチンのサルタ、インドのバンガロール、ニカラグアのマナグア、フィリピンのカガヤンデオロ、ユタ州のレイトン、バージニア州のリッチモンド、そして、ロシアの未定ながら主要都市の一つです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、これらの神殿の建設は皆さんの人生を変えることはないかもしれませんが、神殿で過ごす皆さんの時間は確かに人生を変えてくれます。そのことを念頭に置いてもっと多くの時間を神殿で過ごすために、何を脇に置くべきかが分かるよう、皆さんを祝福します。さらにすばらしい調和と愛が皆さんの家庭にもたらされるように、また、永遠の家族関係を大切にしたいという望みが深まるように祝福します。主イエス・キリストへの信仰が増すように、そして、主の真の弟子として主に従う力が増すよう祝福します。

今わたしがしているように、わたしたちが全能の神の業に携わっていることを、皆さんが大胆に証できるよう祝福します。イエスはキリストであられます。これは、主が、主の油注がれた僕たちを通して導いておられる主の教会です。このことを証し、皆さん一人一人への愛をお伝えします。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. 「神のみ業に進みて」『賛美歌』149番
2. 教義と聖約14:7では「神のあらゆる賜物の中で最も大いなるもの」と定義されている。

2017年度統計報告

教 会員に情報を提供するために、大管長会は2017年12月31日現在の教会の発展と現状に関する統計を次のように発表しました。

教会のユニット数

ステーク	3,341
伝道部	421
地方部	553
ワードおよび支部	30,506

教会員数

会員総数	1,611万8,169
新たな記録上の子供	10万6,771
バプテスマを受けた改宗者	23万3,729

宣教師

専任宣教師	67,049
教会奉仕宣教師	36,172

神殿

2017年度に奉獻された神殿 (フランス・パリ神殿、アリゾナ州トゥーソン神殿、アイダホ州メリディアン神殿、ユタ州シダーシティ神殿)	4
2017年度に再奉獻された神殿 (アイダホ州アイダホフォールズ神殿)	1
年度末時点で儀式が執行されている神殿	159

大会で話された実話や物語の索引

総大会で話された経験談を幾つか選びました。数字は説教の最初のページです。

話者	実話や物語
レイナ・I・アブラト	(78) チリ, ペルー, メキシコ, 合衆国の末日聖徒は, 災害後に支援を提供する。
ニール・L・アンダーセン	(24) キャシー・アンダーセンは, ラッセル・M・ネルソン大管長の過去の総大会の話を読み, ネルソン大管長が預言者の役割を担っているというさらなる確信を求めて祈る。
M・ラッセル・バラード	(9) M・ラッセル・バラードは, エルサレムで小さなからし種を見て, 信仰に関する救い主の教えを思い出す。
デビッド・A・ベドナー	(30) ラッセル・M・ネルソンとヘンリー・B・アイリングは, モルモン書を読んでその真理を取り入れるようにというトーマス・S・モンソン大管長の勧めに従う。
ジーン・B・ビンガム	(104) ある扶助協会の姉妹は, 「途方に暮れ, 孤独な」若い母親に仕える。あるアフリカの姉妹は, 暴力を受け, 盗難に遭った姉妹に仕える。あるワードの会員たちは, がんとう闘う姉妹の世話をする。ある若い女性たちは, 隣人の必要を満たすために働く。
ジェラルド・コセー	(111) フランス・パリ神殿の建設が承認される前, 地元の市議会議員が聖餐会を訪れる。ステーキ会長として, ジェラルド・コセーは, 救い主に対するステーキの会員たちの忠実さと信仰が増していることを喜び, ジェラルド・コセーは, それぞれの家庭に神権者が必要だと友人に語る。
D・トッド・クリストファーソン	(55) ある長老定員会は, インフルエンザで家族を数人亡くした農夫の作物を収穫する。
クエンティン・L・クック	(114) カートランド神殿の奉獻式での天の現れにより, 会員は喜びに満たされる。クエンティン・L・クックは, カリフォルニア州オークランド神殿で愛と平安を感じる。
マッシュモ・デ・フェオ	(81) マッシュモ・デ・フェオの息子は, 父親が「宇宙の偉い人」だと友人に話す。死を目の前にしていたマッシュモ・デ・フェオの母は, 自分よりも彼を愛していることを示す。
デビン・G・デュラント	(42) 家庭の夕べのゲームは, 幼いデビン・G・デュラントの自信を築く。デュラント家族は, 神殿の外で写真を撮影する。
ラリー・J・エコー・ホーク	(15) エコー・ホーク家族は, 酒気帯び運転によりラリー・J・エコー・ホークの弟と義理の妹を死に追いやった運転主の両親を慰める。
ヘンリー・B・アイリング	(61) ヘンリー・B・アイリングの曾祖父父母は, 平原を横断しているときに恋に落ちる。ある若い男性は, 神権者が主に奉仕をすることにより成し遂げられることを理解する。ある豊感あふれるホームティーチャーは, 心底助けが必要な家族に仕える。 (86) ヘンリー・B・アイリングの母が亡くなった後, 父は聖霊から慰めを受ける。
テラー・G・ゴドイ	(34) 友人の息子の死をきっかけに, テラー・G・ゴドイは人生の「あともう一日」を賢明に使うようになる。神殿参入のために犠牲を払ったペルー人の姉妹は, 聖約を真剣に受け止める。歯学の勉強のために母に犠牲を払ってもらったテラー・G・ゴドイは, 最良の学生になると思う。
ゲレット・W・ゴング	(97) ゲレット・W・ゴングは, 息子たちを寝かしつけるために, 物語を話し, 歌を歌う。
ジェフリー・R・ホルランド	(101) 妻が病気になった兄弟は, 本能的にホームティーチャーに電話をして助けを求める。
ダグラス・D・ホームズ	(50) あるアロン神権者たちは, 友人に証を伝える。神権定員会会員は, 「イエス・キリストより権能を受け〔ている〕」ことの意味を理解する。
ラッセル・M・ネルソン	(68) ある神権者たちは, 家族や, 新たな召しを受けた姉妹たちにほんとうの祝福を授けるのを怠る。ラッセル・M・ネルソンは, ある男性が教会に戻るのを助ける。 (93) ラッセル・M・ネルソンは少年のころ, 福音について学ぶのが大好きで, 両親に結び固められることを切に願う。若きラッセル・M・ネルソンは, 両親に知恵の言葉を守って欲しいため, 酒の瓶を粉々にする。
ダリン・H・オークス	(65) ある長老定員会の会長は, 大学を中退しないよう, 定員会の会員に勧告する。
ボニー・L・オスカーソン	(36) ボニー・L・オスカーソンは若い女性るとき, 通常は成人が行う割り当てや召しを果たすよう依頼される。
デーブル・G・レンランド	(46) パーリー・ブラットとオーソン・ブラットは, 先祖への愛のおかげで関係を修復する。神殿の祝福は, 亡くなった息子の心臓を提供した家族の心を癒す助けとなる。
リン・G・ロビンズ	(21) リン・G・ロビンズの大学の教授は, 失敗は教師だと考えるよう, また努力し続けるよう, 学生を励ます。
ウリセス・ソアレス	(98) ウリセス・ソアレスと妻は, 主が代わりに奇跡を起こしてくださいという信仰を示した後, 迅速に処理されたピザを受け取る。
ゲリー・E・スティーブソン	(17) ゲリー・E・スティーブソンは, デビッド・O・マッケイ大管長の死後, 後継者となった預言者についての証を得る。ある教え子は, ラッセル・M・ネルソン博士の教え方を称賛する。
ブライアン・K・テラー	(12) ブライアン・K・テラーは, 忍耐強い初等協会の教師を思い出す。交通事故を起こした若い女性は, 自分が神の子であることを知って平安を見いだす。
タニエラ・B・ワコロ	(39) 39年間教会に集ったある男性は, バプテスマと確認を受け, 後に神殿で妻と結び固められる。
ラリー・Y・ウィルソン	(75) 霊的な促しに従って行動したある末日聖徒の従軍牧師は, 台風から輸送船と乗組員を救う。
クラウディオ・D・シビック	(83) トーマス・S・モンソン大管長は, クラウディオ・D・シビックと妻に「耐え忍ぶならば勝利を得ることができる」と語る。クラウディオ・D・シビックのカヤックにひびが入ったため, 制御できなくなる。



ゲレット・W・ゴング長老

十二使徒定員会

ゲレット・W・ゴング長老は、十二使徒定員会の一員として初めての総大会でこのように語りました。「この復活祭に、わたしは喜びをもって『アレルヤ』と歌います。復活された救い主の、贖いをもたらす愛の歌は、聖約とイエス・キリストの贖罪の織り成すハーモニーをほめたたえます。」

ゴング長老は、生涯にわたってそのハーモニーに喜びを感じてきました。聖約の力が救い主の贖罪と相まって人に「能力と気高さを与え〔る〕」ことを知っているのです。その二つが「ともに、わたしたちをより良い者にし、守り、聖め、贖ってくれます」と言っています。

ある日、神殿で行われた結婚式で、贖罪と相まった聖約の力が、神殿の鏡に映っていました。永遠にわたって広がっていく自分の家系を想像したのです。分かっている中で最も古い親族である紀元837年生まれドラゴン・ゴングから始めて36代下ったゴング長老の孫に至るまで、そしてその先も、両方向に限りなく広がっていきます。

「妻とわたしが両親にとっては子供であり、子供に対しては親であり、祖父母にとっては孫、孫に対しては祖父母であることが分かってきました。子供と親、親と子供といった永遠の役割を果たしながら学び、教えるにつれて、わたしたちは人生の偉大な教訓を少しずつ学んでいくのです。」

ゴング長老は2010年4月から中央幹部七十人、2015年10月からは七十人会長会の一員として奉仕してきました。2018年3月31日に十二使徒定員会の一員として支持されましたが、「主からの神聖な召し〔に〕……圧倒されるような思い」を感じたとゴング長老は語っています。

ゴング長老は、2011年から2015年までアジア地域会長会の一員として奉仕し、地域会長としてその務めを終えました。また、台湾台北伝道部の専任宣教師、高等評議員、大祭司グループリーダー、ステーク日曜学校会長、セミナー教師、ビショップ、ステーク伝道部会長、ステーク会長、地域七十人を務めてきました。

ゴング長老は1977年に、ブリガム・ヤング大学でアジア研究と一般教養で学士号を

取得しました。また、オックスフォード大学では1979年に哲学修士号、1981年には国際関係論の博士号を取得しました。同大学ではローズ奨学生でした。1985年にはアメリカ合衆国国務省の国務次官特別補佐官、1987年には中国・北京駐在米国大使の特別補佐官を、それぞれ務めました。1989年からは、ワシントンD.C.のCenter for Strategic and International Studies (戦略国際問題研究所)で様々な役職を歴任し、2010年4月まで、ブリガム・ヤング大学で学長補佐として計画と査定を担当しました。

ゴング長老の祖父母は中国からアメリカに移住しました。ゴング長老は1953年、アメリカ合衆国カリフォルニア州レッドウッド・シティで生まれました。1980年1月にスーザン・リンゼイと結婚し、4人の子供と3人の孫がいます。

ゴング長老はこの総大会で次のように語っています。「すべてふさわしいもの、そして永遠なるものは、実在する永遠の父なる神と御子イエス・キリスト、そして主の贖いを中心としており、聖霊がそれを証してください。……敬虔かつ厳かに……証します。キリストは……、初めからわたしたちとともにおられ、終わりまでわたしたちとともにおられます。」■





ウリセス・ソアレス長老

十二使徒定員会

ラッセル・M・ネルソン大管長を含む生ける預言者が与えられていることは神が御自身の子供たちを愛しておられることのしるしであると、ウリセス・ソアレス長老は、十二使徒定員会の一員として初めての総大会の話で証しました。

「主の御心を知ろうと努め、御心に従おうと努力している預言者、聖見者、啓示者が、わたしたちの生きているこの時代に地上にいることは、すばらしい祝福です。人生で困難があっても、自分がこの世で一人でないことが分かると、心が安らぎます。」

使徒の召しを果たすに十分な力が自分にならないうと感じてはいたものの、「この責任を伝えるネルソン大管長の言葉を聞き、その優しいまなざしを見て、救い主の愛に包まれるのを感じました」とソアレス長老は言っています。

ソアレス長老は2018年3月31日の支持をもって、初のラテンアメリカ出身の使徒になりました。この召しを受ける前、2013年1月6日以降は七十人会長会の一員であり、ソルトレーク・シティーで管理ビショップリックの特別な割り当てを受けて奉仕していました。

ソアレス長老は、2005年4月2日に中央幹部七十人に召されました。この召しを受けて、アフリカ南東地域とブラジル南地域の顧問、ブラジル地域の地域会長を務めました。

ソアレス長老は、ほかにも多くの教会の召しを果たしてきました。ブラジル・リオデジャネイロ伝道部の専任宣教師、長老定員会会長、ビショップリック顧問、高等評議員、ステーキ幹部書記、地区福祉主事、ステーキ会長、ポルトガル・ポルト伝道部会長（2000 - 2003年）などです。

最も重要な召しの一つが来たのは15歳のときでした。日曜学校の青少年クラスを一時的に教えてくれないかと、ビショップから頼まれたのです。証を得る方法についてのレッスンを準備していたとき、若いウリセスは、福音が真実だという確信を求めて祈ることにしました。

当時を振り返ってこう話しています。「ひざまずいて、この福音は真実かどうか主に尋ねると、心の中にとっても心地よいものを感じました。小さな声が、福音は真実であり、この福音に従って生きていくべきだという確信を与えてくれました。あまりにもはっきりとした気持ちだったため、知らないとは決し



て言えませんでした。」

ソアレス長老は、1985年に教皇庁立サンパウロ・カトリック大学の経済学部で会計学と経済学の学士号を取得しました。そして、経営学の修士号を取得した後に、ブラジルにある多国籍企業で会計士と会計監査人として働き、サンパウロの教会地域管理本部で実務ディレクターを務めました。

ウリセス・ソアレスは、1958年10月2日、ブラジルのサンパウロで生まれ、1982年10月にロサナ・フェルナンデスと結婚しました。総大会の話でソアレス長老は、妻の愛と支えに賛美の意を表しています。

大会でこのように話しました。「妻はわたしと家族（夫妻の3人の子供と3人の孫など）にとって善と愛の模範であり、全面的に主に献身することの模範です。妻を心底愛していますし、妻がわたしと家族に良い影響を与えてきてくれたことに感謝しています。」■





カール・B・クック長老

七十人会長会

カール・B・クック長老は、奉仕する特権があることは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員にとって大きな祝福の一つだと考えています。しかし、召しを受け入れ、尊んで大いなるものとするには信仰が必要とされることも、認めています。

2018年3月31日に七十人会長会に支持されたクック長老は、ワードや支部、定員会、補助組織と一緒に奉仕する会員たちを車の「複合ギア」にたとえています。複合ギアは回転力を上げます。

複合ギアは四輪駆動と連動して「ギアを低速にし、出力を上げて動くことを可能にします」と、2016年10月の総大会で述べています。「ちょうどギアが組み合わさってさらに力を出すように、わたしたちも一緒になるとさらに大きな力を出すことができます。互いに仕え合うために団結するとき、一人のときよりもさらに多くのことを達成できます。主の業の中で仕え、助け合うために、皆が一つとなって主の業に従事するというのは、胸がわくわくするものです。」

クック長老は、2011年4月2日に中央幹部七十人として支持されました。新たにこの割り当てを受ける前まで、クック長老は教会本部に勤務し、北アメリカ西地域の管理の補佐などの責任を果たしてきました。それ以前は、アフリカ南東地域の地域会長を務めていました。

クック長老は末日聖徒たちに、教会での召しは神に任命された僕を通して神から来るということを忘れることのないように勧めてきました。

「祝福は、わたしたちが召しや責任に粘り強く取り組み、持てる信仰のすべてを使って耐え抜くときにやって来ます。」

クック長老は、ユタ州ウィーバー州立大学で学士号、ユタ州立大学で経営学修士号を取得しています。七十人に召される前は、民間の不動産開発業務に携わっていました。

クック長老が受けてきた召しには、ドイツのハンブルクでの専任宣教師としての召し、ビショップ、ステーク会長、地域七十人、ニュージーランド・オークランド伝道部の伝道部会長などがあります。

1957年10月15日に、アメリカ合衆国ユタ州オグデンで生まれ、1979年12月にリネット・ハンセンと結婚しました。夫妻には5人の子供がいます。■



ロバート・C・ゲイ長老

七十人会長会

ガーナで伝道部会長を務めていたある日のこと、ロバート・C・ゲイ長老は車を停めて、泣いている少年を助けた方がいいと感じました。最初はその気持ちを無視したのですが、後で教会員に頼んで、その少年を探して連れてきてもらいました。

2018年3月31日に七十人会長会の一員として支持されたゲイ長老は、その少年が世話人のために魚の干物を売っていたことを知りました。その日少年は、ポケットに穴が開いていたために、稼いだお金を失くしてしまったのです。

「彼はお金を持たないで帰れば、うそつき呼ばわりされ、恐らく間違いなくたたかれ、その後、通りに投げ出されたことでしょう」とゲイ長老は話しています。「わたしたちは彼の不安を鎮め、失った分の金額を渡し、彼を世話人のもとへ帰しました。」

2012年10月の総大会で説明したように、この経験からゲイ長老は二つの偉大な真理を学びました。「第1に、神は一人一人を心にかけ、決してわたしたちをお見捨てにならないということ、第2に、わたしたちは常に御霊の声に耳を傾け、たとえ恐れや不都合があろうと、御霊が導く所へはどこでも『すぐに』行かなければならないということです。」

ゲイ長老は、2012年3月31日に中央幹部七十人として支持されました。七十人会長会に召されたとき、アジア北地域の会長を務めていました。それ以前は、教会本部で自立支援サービス/永代教育基金委員会の委員長を務め、世界中の自立支援サービスに対する責任を負っていました。

七十人に召される前は、共同出資した投資会社の最高経営責任者でした。また、世界規模の人道支援組織を幾つか共同で創設しディレクターとして働いたり、ウォール街で経営コンサルタントとして投資銀行業務に携わったり、ハーバード大学で経済学の講師を務めたりもしました。

ゲイ長老は、ユタ大学で統計学に重点を置いた経済学の学士号を取得し、ハーバード大学で経営学の博士号を取得しました。

また、スペインで専任宣教師として奉仕し、その後、大祭司グループリーダー、ワード若い男性会長、高等評議員、ビショップリック顧問、地域七十人を務めてきました。

1951年9月1日に、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルスで生まれ、1974年4月、リネット・ニールセン姉妹と結婚しました。夫妻には7人の子供がいます。■



テレンス・M・ビンソン長老
七十人会長会

テレンス・M・ビンソン長老は、救い主は決して遠い存在ではないと信じています。「主はいつも近くにおられます。特に聖なる場所において、また必要なときにいつでも主を身近に感じます」と2013年10月の総大会で証しています。「時には、思いも寄らないときに、主がわたしの肩をたたいて愛を伝えてくださっているように感じます。」

かつて、ビンソン長老が十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老と一緒に歩いていたとき、ホランド長老がビンソン長老の肩に手を回して、愛していると伝えてくれました。「もしも実際に主と歩む特権を頂いたなら、主が同じように御腕を肩に回してくださるのを感じるでしょう」とビンソン長老は述べています。

2018年3月31日に七十人会長会の会員として支持されたビンソン長老は、神の愛は「この上なく美しい気持ち」だと言っています。

2018年8月1日に新しい召しに就く予定のビンソン長老は、2013年4月6日に教会の中央幹部七十人として支持されました。当時、太平洋地域において七十人第八定員会会員として奉仕していました。現在はアフリカ西地域の地域会長を務めています。

ビンソン長老は、数学と統計学の学士号、教育・教授学の卒業証書、応用財政学の修士号を取得しました。経歴には、大学における教授、研修、講義も含まれていますが、主として、財務アドバイザーやファンド・マネージャーとして働きました。

ヤングアダルト時代、教会について深く学んでいたとき、ビンソン長老は力強い霊的な印象を受けました。そして、成長するため、まだまだ解明できていない疑問への答えを見つけるために、教会に入るべきだとはっきり感じたのです。長老は、翌週バプテスマを受け、確認されました。

それ以来、「わたしは主がわたしに何をしよう期待しておられるかを知り、わたしのすべての疑問に答えがあることが分かりました。」

1974年にバプテスマを受けて以来、ビンソン長老はビショップリック顧問、ビショップ、高等評議員、ステーキ会長会顧問、地区代表、伝道部会長会顧問、神殿儀式執行者、地域七十人として奉仕してきました。

長老は1951年3月12日、オーストラリアのシドニーで生まれました。1974年5月にケイ・アン・カーデンと結婚し、夫妻には6人の子供がいます。■



ジョセ・A・ティシエラ長老
七十人会長会

ジョセ・A・ティシエラ長老は、少年のころポルトガルで学んだ教訓を思い出します。家族の集まりのとき、ティシエラ長老はこっそり抜け出して釣りに行きました。どこへ行くか両親に伝えるべきだと感じましたが、二人ともおしゃべりに夢中だったので、何も言わずに出かけることにしました。

数時間後、心配した両親は川岸で息子を見つけました。その経験から、長老は、両親だけでなく聖霊のささやきにも従うことを学んだのです。

それ以来、ティシエラ長老は静かな細い声に注意を払うことを習慣としてきました。ティシエラ長老とその家族が福音について教えを受けたのは、ポルトガルが伝道の業への門戸を開いた後の1976年のことでした。長老は16歳のときにバプテスマを受け、後にポルトガル・リスボン伝道部で専任宣教師として奉仕しました。

「わたしたちがする選択にはまぎれもなく人生を変える力があります」と2018年3月31日、七十人会長会の会員として支持されたティシエラ長老は言っています。「この賜物を持つことはわたしたちへのたくいまれな信頼のしるしであり、同時に、それを賢明に使うという重大な責任を負うことでもあります。」長老は2009年4月の総大会でそう教えています。

ティシエラ長老は、会計学と経営学で学位を取得し、教会で国際監査役として働きました。また、NATO部隊に参加したポルトガル空軍でも働きましたが、その間、教会の全国広報ディレクターの召しを受けていました。その後間もなくして、妻のマリア・フィロメナ・ロベス・テレス・グリロと出会い、1984年にスイス・ベルン神殿で結婚しました。夫妻には3人の子供がいます。

ジョセ・アウグスト・ティシエラ・ダ・シルバは1961年2月24日、ポルトガルのビラレアルで生まれました。ビショップリック顧問、地方部会長、ステーキ会長、地域七十人、ブラジル・サンパウロ南伝道部会長として奉仕してきました。2008年4月5日に中央幹部七十人として支持されました。現在、南アメリカ南地域会長として奉仕しており、2018年8月1日に七十人会長会での奉仕を始める予定です。

ティシエラ長老は2015年4月の総大会で、とりわけわたしたちに向けて次のように勧めています。「救い主に対する理解を深め、……今日できることを明日に延ばさないようにしましょう。今こそキリストのみもとに来るときです。」■



カルロス・A・ゴドイ長老

七十人会長

1980年代の終わりのこと、カルロス・A・ゴドイ長老はビショップを解任されたばかりでした。大学を卒業し、優れた業績を上げている会社で働いており、生活はこの上なくうまくいっていると思っていました。しかし、それも古い友人が訪ねて来るまでのことでした。

その友人は長老の成功を喜んでくれましたが、その後、彼の投げかけた次のような質問が長老を動揺させることになります。「もし君が今と同じ生活を続けたとしたら、君の祝福師の祝福で約束されている祝福は成就するだろうか。」

約束された祝福をすべて受けたいのなら、修正を加える必要があると、ゴドイ長老は気づきました。当時の生活に満足していたにもかかわらず、長老は修士号を取得することを決意しました。仕事を辞め、所有物をすべて売り払うと、アメリカ合衆国にある大学に行くために、家族とともに慣れ親しんだブラジルを後にしました。

2018年3月31日に七十人会長に指名されたゴドイ長老は、この経験から、主の計画を信頼し、喜んで居心地の良い環境を離れることについて多くを学んだと言います。

2014年10月の総大会では次のように証しています。「この世で生活するわたしたちのために、主が計画をお持ちであることを知っています。主はわたしたちを御存じです。わたしたちにとって最も良いものは何か御存じです。時折、すべてが順調なときでも、もっと良い何かがあるのではないかと考える時間を取する必要があります。」

ゴドイ長老は、2008年4月5日に中央幹部七十人として支持されました。現在、南アメリカ北西地域会長として奉仕しており、2018年8月1日に、七十人会長に就任する予定です。

七十人の召しを受けるに先立ち、長老は自身のコンサルティング会社を始める前、大手企業2社の人事部長として働いていました。1987年にサンパウロ・ボンティフィカル・カトリック大学で経済学と政治学の学士号を、1994年にブリガム・ヤング大学で組織行動学の修士号を取得しました。

ゴドイ長老は、ブラジル・サンパウロ南伝道部の専任宣教師、ビショップ、高等評議員、地域福祉代表、地域七十人、ブラジル・ベレン伝道部会長として奉仕してきました。

長老は1961年2月4日にブラジル、ポルトアレグレで生まれました。1984年3月に、モニカ・ソアレス・ブランダオと結婚し、夫妻には4人の子供がいます。■



スティーブ・R・バンガーター長老

中央幹部七十人

スティーブ・R・バンガーター長老が子供のころ、長老と家族はキャンプ旅行に出かけ、オフロードバイクに乗って山の頂上へ登りました。下りの道で、バンガーター長老は道に迷い、ほかの家族と離れてしまいました。

その午後、ひざまずいて天の御父に助けを願い求めると、長老の心の目に見失った道が見えました。その道を下り始めたちょうどその時のことです。「兄の乗ったバイクが小道の頂上にたどり着き、兄はわたしを抱き締めると、暗闇の中、わたしを先導して、何時間も離れたキャンプへと連れ戻してくれました。」

それは長老の子供時代に、自分が愛されていると感じさせてくれた数多くの出来事の一つです。「自分が愛されているか、または気にかけているかと疑うようなことは、生涯で一瞬たりともありませんでした」とバンガーター長老は話しています。

長老は1961年7月29日、アメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーで、マックス・Eとテルマ・R・バンガーターの間に生まれ、ユタ州グレンジャーで育ちました。

バンガーター長老は、カナダ・バンクーバー伝道部での伝道から帰還して数週間のうちに、スーザン・アレクシス・ヒューズと出会いました。最初のデートで、長老はスーザンが自分に対し、2度目のデートでプロポーズしてほしいという謙遜な望みを抱いているのを感じ取りました。二人は1983年3月17日、ソルトレーク神殿で結び固められました。夫妻には6人の息子がいます。

バンガーター長老は、アリゾナ州立大学で宗教学の学士号を、ウェスタン州立法律大学で法務博士の学位を取得しました。バンガーター長老はこれまで25年間、南カリフォルニアおよびユタ州南部で、教会と幾つかの宗教団体の法律業務の代理人を務めました。1993年から2003年まで、Cooksey (クックセイ)、Toolen (トゥールン)、Gage (ゲージ)、Duffy (ダフィ)、Woog (ウー)の共同経営者を務め、2004年にはBangerter (バンガーター)、Frazier (フレイザー)、Graff (グラフ)の業務執行社員となりました。

これまでに地域七十人、ステーキ会長、ステーキ会長会顧問、ビショップ、長老定員会会長、ワード若い男性会長として奉仕してきました。■



マシュー・L・ カーペンター長老

中央幹部七十人

マシュー・L・カーペンター長老は、聖霊を初めて感じたときのことを覚えています。7歳くらいの少年時代、初等協会の小さい子供のクラスで座っているときのことでした。光が一筋部屋に差し込んで来て、以前に感じたことのないような温かさを感じたのです。

「わたしは心が燃え立つように感じました。それは暖かかったからではありません」と長老は話しています。「神は実際におられると分かりました。そう感じたのです。」

11歳のとき、長老は父親とともに、ソルトレークのタバナクルで行われた総大会の部会の一つに出席しました。預言者であるジョセフ・フィールドینگ・スミス大管長と同じ部屋に居合わせたのは初めてのことでした。

「預言者を見たとき、御霊がわたしに、彼が預言者であると証してくれました」と長老は言います。

こうした幼いころの純真で霊的な確信が、生涯にわたって影響を及ぼす導き手である御霊に心を向けるうえで助けとなりました。

「わたしの証は、天使の現れといった並外れた一度かぎりの経験によってではなく、時を経て生まれ、少しずつ強められてきました。」2018年3月31日に支持されたこの中央幹部七十人は、そう話しています。

マシュー・レスリー・カーペンターは、1959年10月21日、アメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーで、レオン・エレクソンとロバート・オールレッド・カーペンターの間に生まれました。8人兄弟の末っ子で、5人の姉のいる家庭で育ちました。

高校生活最後の月に、ミッシェル・「シェリー」・ブラウンと出会いました。二人はデートを始めましたが、1979年から1981年まで、カーペンター長老がスイス・ジュネーブ伝道部で奉仕している間はコートシップを中断していました。長老が帰還した後、二人は1982年7月9日、ソルトレーク神殿で結婚しました。夫妻には5人の子供がいます。

カーペンター長老は、ブリガム・ヤング大学で経済学の学士号を、そしてハーバード大学経営大学院で経営学の修士号を取得しました。最近まで、Foundation Specialty Financing Fund (ファウンデーション・スペシャルティー・ファイナンス・ファンド) の経営責任者でした。

これまでカーペンター長老は、ビショップ、ビショップリック顧問、ステーキ若い男性会長、高等評議員、ステーキ会長、地域七十人として奉仕してきました。■



ジャック・N・ゲラード長老

中央幹部七十人

ジャック・N・ゲラード長老は、少年のころ、毎日午前5時ごろ起きて、家族の日課である乳牛の世話を手伝っていました。アメリカ合衆国アイダホ州マッド湖近くの小さな農村で育ったことで、長老は、一生懸命働くことや責任を持つこと以外にも、すべての人に神の子供としての価値があることを認めるようになりました。

「だれにでも果たすべき役割があります。人生における地位や名声には関係なく、ここにいるすべての人に目的があります。」2018年3月31日に中央幹部七十人として支持されたゲラード長老は、そう述べています。そうした教訓は、生涯にわたる祝福となりました。

National Mining Association (ナショナル・マイニング・アソシエーション)、America Chemistry Council (アメリカ・ケミストリー・カウンシル)、最近では American Petroleum Institute (アメリカン・ペトロリウム・インスティテュート) といった幾つかの団体で、傑出した指導者として働いてきた経歴を通して、長老は多様な地位や背景を持つ人々と交わる機会に恵まれてきました。

ゲラード長老は1957年、ジェームズとセシル・ガッサー・ゲラードの間に生まれました。オーストラリア・シドニー伝道部で奉仕した後、アイダホ大学に出席し、当校のインターンシップを経て、アイダホ州下院議員事務所の正職員として勤務しました。

ワシントン D.C. で働いているとき、ユタ州上院議員事務所職員補佐として働いていたクラウデット・ネフと出会いました。「彼女は福音の光で輝いていました」と、ゲラード長老は二人の出会いについて語っています。1984年4月4日、二人はソルトレーク神殿で結婚しました。夫妻には8人の子供と4人の孫がいます。

ゲラード長老はジョージ・ワシントン大学で、政治学の教養学士号、法務博士の学士号の両方を取得しました。

これまでゲラード長老は、ビショップ、ステーキ会長、地域七十人、福音の教義クラス教師、日曜学校会長として奉仕してきました。

ゲラード長老によると、長老夫妻はともに、主の御心を行いたいという望みを持っています。「人としての弱さを持ちながらも、わたしたちは、主がわたしたちに望まれることは何でも行うと決意をしています。そしてへりくだり、主の業のために自分たちの時間と労力をささげること……を光榮に思っています。」■



マティアス・ヘルド長老

中央幹部七十人

マティアス・ヘルド長老とその妻イレーネは、世界規模の教会の象徴と称されるのにふさわしい人物でしょう。二人ともドイツ系の先祖を持つコロンビア人です。仕事や学業のために、夫妻は祖国である南アメリカからカナダ、ドイツ、グアテマラ、ブラジルへと移り住み、最終的にコロンビアへ戻って来ました。各国で夫妻は、新しい言語と文化に順応してきました。

「ともあれ、どの地へ行こうと、教会はまったく同じです」と、2018年3月31日に中央幹部七十人として支持されたヘルド長老は言います。

そうした霊的な「統一性」が、3人の子供たちを育て、福音の中で成長する際の確固とした土台となってきたのです。

ヘルド夫妻は子供時代、故郷コロンビアのボゴタにあるドイツ語学校でクラスメートでした。マティアスがボゴタで機械工学の学位、そしてカナダで経営学の修士学位を取得した後、二人は1989年6月13日にドイツ・フランクフルト神殿で結び固められました。

後に仕事の機会を求めて、若い夫婦はドイツのハノーバーへ行きましたが、その地でヘルド姉妹は、自分たちの生活がまさに変わろうとしているという力強い印象を受けました。

「マティアスに、天からメッセージを受けると感じていると言いました」と姉妹は言います。天からのメッセージは、1987年の雨模様の午後、玄関のドアをノックする音とともにやって来ました。外に立っていたのは、アメリカ訛りのドイツ語を話すモルモンのの宣教師でした。

それからの10か月、ヘルド夫妻は宣教師とともに福音を研究し、地元の末日聖徒の集会で友人を何人か得ました。多くの祈りの後、夫妻は福音が真実であるという霊的な確認を受け、1988年バプテスマを受けました。

ヘルド長老は25年以上の間、自動車メーカーDaimler-Benz（ダイムラー・ベンツ）で働きましたが、その管理の務めを果たすために世界中を回りました。ヘルド夫妻は、移り住んだそれぞれの場所で、主に信頼を寄せてきました。

「いかなる試練の中にあろうと問題ではありません」と、長老は言います。「天との交わりがあるならば、皆さんは大丈夫です。」

1960年6月5日、マイケルとエリザベス・ヘルドの間に生まれたヘルド長老は、これまでにステーク会長会顧問、ビショップリック顧問、南アメリカ北西地域の地域七十人として奉仕してきました。■



デビッド・P・ホーマー長老

中央幹部七十人

デビッド・P・ホーマー長老の最も若いときの福音にかかわる思い出の一つは、14歳のとき、「一風変わった方法でホームティーチングを行う」ワード会員のホームティーチング同僚として働くよう割り当てを受けたときのことだと、ホーマー長老は言います。「彼のホームティーチングは、家に入れてもらうことや人々を訪問することではなく、訪問先の人々の必要を満たし、教え導き、仕えることでした。」

同僚として、二人で割り当てられた家族について祈り、話し合いました。そうしたことを成人が青少年に相対するようにはなく、神権の奉仕における仲間として行ってくれたのです。「奉仕の業に御霊が伴い、深く結びついていることを学びました」とホーマー長老は話しています。

その教訓は、長老の人生とその後の教会での奉仕において常に長老の心に留められてきました。地域七十人であろうと、託児指導者であろうと、あるいは長老と夫人がオーストラリア、メルボルン市に住んでいた間、長老が果たしていた召しの掲示板スペシャリストであろうと何ら変わりはありません。

デビッド・パウル・ホーマーは1961年4月25日、アメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーで、フレデリックとフィリス・レニラ・ホーマーの間に生まれました。1980年から1982年まで香港で伝道した後、長老はソルトレーク・シティーで開かれたインスティテュートのファイアサイドでブリガム・ヤング大学の大学院生だったナンシー・ドランスフィールドと出会いました。その地で、姉妹は働きながら、ユタ大学のクラスに出席していたのです。二人は1984年7月31日にソルトレーク神殿で結婚し、5人の娘と一人の息子を育てました。

ホーマー長老は、ユタ大学で経済学の学士号、ペンシルベニア大学ウォートン校で経営学の修士号を取得しました。

General Mills（ジェネラル・ミルズ）の重役を務める30年の間、夫妻はアメリカ合衆国フロリダ州マイアミ、ミネソタ州ミネアポリス、カナダのオンタリオ州バーリントン、スイスのボー州サンシュルピスに住みました。

ホーマー長老は、ステーク会長、ビショップ、長老定員会会長、ワード幹部書記として奉仕してきました。地域七十人としてカナダで奉仕を始め、ヨーロッパでも続けてその責任を果たしました。2018年3月31日、中央幹部として支持されるまでの4年間、ヨーロッパの地で奉仕しました。■



カイル・S・マッケイ長老

中央幹部七十人

カイル・S・マッケイ長老にとって、家族と教会の次に大好きなことは馬に乗って登山をすることです。

「わたしの生きがいではありませんが、わたしの〔信仰〕が強められたことは間違いありません。主の山と主の宮の山に交互に行くと、主は両方の場所で迎えてくださいます。」

マッケイ長老はアメリカ合衆国ユタ州ハンツビルを見下ろす山々を、モルモンの泉と森にたとえて、アルマの民にとってそれらが大切な場所であったのと同じように、自分も山で贖い主を知るようになったと語ります。

マッケイ長老は1960年2月14日、アメリカ合衆国イリノイ州シカゴでバリー・ガン・マッケイおよびイレイン・スターランド・マッケイ夫妻のもとに生まれました。長老は両親の影響によって今の自分があると言います。

1979年にブリガム・ヤング大学を休学し、日本の神戸で専任宣教師として奉仕しました。マッケイ長老は伝道から帰還後間もなくして英語の学位を取得するため復学すると、ジェニファー・ストーンと出会いました。ジェニファーはイギリス・プリストル伝道部から帰還したばかりでした。ジェニファーも英語を学んでいました。二人は1984年6月12日にカリフォルニア州オークランド神殿で結婚しました。

家族が人生の中心となっているマッケイ長老は、マッケイ姉妹も自分も子孫を通して最高の喜びを得ていると言います。マッケイ夫妻はアメリカ合衆国ユタ州ケイズビルに在住していますが、ハンツビルで9人の子供たちと定期的集まります。ハンツビルはマッケイ長老の先祖が1860年代初頭に開拓した場所です。

マッケイ長老は1987年にBYUのJ・ルーベン・クラーク・ロースクールで法務博士の学位を取得して卒業し、すぐにアメリカ合衆国オレゴン州ポートランドの大きな法律事務所に就職しました。その後、ユタ州に戻って別の法律事務所での勤務を経て、Kroger Company (クローガー社)に入社しました。Smith's (スミス) および Fry's (フライズ) の両社で副社長を務め、2000年から2017年までクローガーのユタとアリゾナの各部署で勤務しました。

マッケイ長老はこれまで、ビショップ、高等評議員、ステーキ会長、地域七十人として奉仕してきました。■



ファン・パブロ・ビラル長老

中央幹部七十人

フアン・パブロ・ビラル長老が教会を知ったのは、チリのサンティアゴで一番上の兄イバンが家族に、両親の許しなしにバプテスマを受けたことを告白し、次に伝道に出るつもりだと語ったときでした。どうしてか尋ねられたとき、イバンは自分の証と奉仕したいという気持ちを述べました。

当時17歳だったビラル長老はこう回想しています。「言っていたことを全部理解しませんでした。その瞬間、わたしの心に種がまかれました。」

その種は、イバンがビラル長老を宣教師に紹介してくれたときに育つ機会を得ました。最初のレッスンの最中、ビラル長老はモルモン書が真実であるという証を得ました。

「ひざまずいて祈る必要はありませんでした。なぜなら、宣教師が証を述べた瞬間、わたしはその言葉が真実であると心で分かりました。それが分かったら、ほかの部分もすべて真実であると確信したのです。」

隣の伝道部で奉仕していたイバンは、1988年にビラル長老にバプテスマを施す許可を受けました。その後、母親ともう一人のきょうだいくラウディオも教会に加わりました。

バプテスマを受けて1年後、ビラル長老はチリ・ビニャデルマール伝道部で奉仕を始め、それ以来、ステーキ会長、ビショップ、ビショップリック顧問、チリ・サンチアゴ東伝道部会長顧問、南アメリカ南地域の地域七十人など、生涯にわたって奉仕を行ってきました。ビラル長老は2018年3月31日に中央幹部七十人として支持されました。

長老は1969年9月11日、チリのバルパライソでセルジオ・ビラル・ベラおよびジェノババ・サーバルドラ夫妻のもとに生まれました。1994年3月31日にカロラ・クリスティナ・バリオスとチリ・サンチアゴ神殿で結婚し、夫妻には3人の子供がいます。

社会コミュニケーションおよび広報の学士号、マーケティングの修士号を取得後、製薬業界や医療機器業界で働きました。2007年にブリガム・ヤング大学で経営学の修士号をさらに取得し、その後、チリに戻ってオリカという採鉱会社に勤務し、最近までシニアマネージャーを務めていました。■



和田貴志長老

中央幹部七十人

11月のある寒い日、和田貴志長老は一人のアメリカ人宣教師に地元の郵便局の行き方を尋ねられ、戸惑いました。

当時15歳だった和田長老は父親に、長野県の自宅近くの通りで人々に声をかけているモルモンたちとかかわらないよう警告されていたのです。しかし、和田長老はアメリカ人宣教師の日本語の技能に感心しました。

数日後、別の宣教師が彼に声をかけました。日本に来てまだ間もない宣教師で、片言の日本語でジョセフ・スミスについて話そうとしました。

和田長老は内容をすべて理解することはできませんでしたが、「聞いたほうがよいと感じた」と言います。

宣教師たちは祈りの方法やレッスンを教えました。和田長老は教会の集会に出席し、地元の会員の証に感銘を受けました。仏教を信仰する家族の期待を裏切れず、宣教師に「教会に入れませんが、もっと知りたいです」と言い続けました。

2年後、17歳のとき、留学のためアメリカ合衆国に渡る直前、両親の許しが出て、教会に入りました。

和田長老は1965年2月5日、和田健三、和田計子夫妻のもとに生まれ、ブリガム・ヤング大学で1990年に言語学の学士号、1996年に経営学の修士号を取得しました。

ユタ州ソルトレーク・シティー北伝道部で奉仕し、1994年6月18日に上野直美姉妹と日本東京神殿で結婚しました。夫妻には2人の息子がいます。

和田長老はアメリカ合衆国および日本で多国籍企業で勤務したほか、北アメリカ西地域、北アメリカ北西地域、アジア北地域において教会管理本部の実務ディレクターを務めました。

和田長老は、ビショップ、高等評議員、セミナー教師を歴任しています。2013年から2016年まで日本東京南伝道部会長を務め、2018年3月31日に中央幹部七十人として支持されました。■



ボニー・H・コードン

中央若い女性会長

ボニー・H・コードン姉妹の好きな聖句の一つは教義と聖約第123章17節です。「わたしたちの力の限りすべてのことを喜んで行おう。そして願わくは、その後、わたしたちがこの上ない確信をもって待ち受けて、神の救いを目にし、また神の腕が現されるのを見ることができるよう。」

コードン姉妹によると、この節は生涯の中で学んだ教訓を包括しています。「わたしたちは難しいことができます。それも、喜びをもってできます」と語ります。コードン姉妹は2018年3月31日に新しい中央若い女性会長として支持されました。

その知識は「おとぎ話のような子供時代」、アイダホ南東部の小さな農場を手伝っているときも、ポルトガルで宣教師として新しい言葉を学ぶのに奮闘していたときも心に植え付けられました。このメッセージは、夫がブラジル・クリティーバ伝道部を管理しているときも宣教師に繰り返し語りました。そして、今度は世界中の若い女性に伝える計画を立てています。

現代の若い女性は一段階上に上がり、主の業を前進させるよう求められています。「そして、それができます」とコードン姉妹は言います。

ボニー・ヒラム・コードンは1964年3月11日、アメリカ合衆国アイダホ州アイダホフォールズでハロルド・ヒラムおよびキャロル・ラスムッセン・ヒラム夫妻の間に生まれ、伝道から帰還した後、ブリガム・ヤング大学で教育学の学士号を取得しました。在学中にデレク・レーン・コードンと出会い、1986年4月25日にソルトレーク神殿で結婚しました。夫妻には4人の子供と4人の孫息子がいます。

託児指導者、セミナー教師など、生涯に渡って奉仕を行ってきました。中央初等協会会長顧問として召される2年前、コードン姉妹はステーク若い女性会長の奉仕を楽しんでいました。召しから解任された後も、「若い女性のために祈るのをやめていません」と語ります。

世界中の若い女性に伝えたいメッセージの一つは、自分が彼らを愛していること、そして何よりも神が彼らを愛しておられることです。■



ミッシェル・D・クレーグ

中央若い女性会長会第一顧問

16歳のとき、ミッシェル・D・クレーグ姉妹は家族でアメリカ合衆国ユタ州プロボからアメリカ合衆国ペンシルベニア州 Harrisburg に引っ越すことを知りました。父親が伝道部長として奉仕し始めるためでした。

家族といられることはうれしかったものの、若いミッシェルは高校の最後の2年間は「社会的に孤独」を感じました。

「人生の土台が形成された時期でした」とクレーグ姉妹は言います。「友達に頼る代わりに、家族と自分の証に頼り、教会が命綱となりました。」彼女は天の御父と救い主との関係を何よりも大事にしました。

ミッシェル・デインズ・クレーグは1963年7月13日、ユタ州プロボでジャネット・ランドグレン、ロバート・ヘンリー・デインズ3世の7人の子供のいちばん上の子供として生まれ、家族がペンシルベニア州に引っ越すまでプロボに住んでいました。2年後、クレーグ姉妹はブリガム・ヤング大学で学ぶためにプロボに戻り、初等教育の学士号を取得しました。1984年にはドミニカ共和国サントミンゴ伝道部で奉仕する召しを受けました。

「わたしはいつも信仰を持ってきました」とクレーグ姉妹は語ります。クレーグ姉妹は2018年3月31日に中央若い女性会長会第一顧問として支持されました。「若いときから、自分が神の娘であると知っていました。しかし、〔伝道中に〕預言者ジョセフ・スミス の証を述べる度に御霊を感じました。自分の証を固めてくれる美しい確認があったのです。」

帰還して数日後、クレーグ姉妹の兄はボイド・クレーグという伝道地の友人とデートする必要があるとクレーグ姉妹に言いました。8か月後、二人は婚約し、1986年12月19日、ソルトレーク神殿で結婚しました。夫妻には3人の子供と6人の孫がいます。

クレーグ姉妹は、ユタ州プロボ神殿の神殿儀式執行者および福音の教義クラス教師の召しを含め、様々な召しを歴任してきました。中央若い女性会長会に召されたとき、中央初等協会管理会で奉仕していました。■



ベッキー・クレーブ

中央若い女性会長会第二顧問

ベッキー・クレーブ姉妹が宣教師としてよく語った言葉があります。「自分が何者であるか分かると、行動が変わる。」

「それは、自分の服装、言葉遣い、ふるまい、参加する活動など、あらゆる面で変わるのです」とクレーブ姉妹は言います。クレーブ姉妹は、2012年から2015年まで夫のロナルド・L・クレーブがノースカロライナ州シャーロット伝道部を管理していたときとともに奉仕しました。

クレーブ姉妹は2018年3月31日に中央若い女性会長会の第二顧問として支持されました。「若い女性は神の計画における自分の役割が見え始めると、自分の持つべきビジョンが見えます。ビジョンは必要です。ビジョンがなければ、どこを目指してどのように進むべきか分からないからです。」と語ります。

レベッカ・リン・クレーブは1959年10月26日、アメリカ合衆国オハイオ州チャードンでコーレス・ウォルター・ミッチェル、リンド・ルイズ・カズスク・ミッチェル夫妻の間に生まれました。アメリカ軍人の子供であることに誇りを持つクレーブ姉妹は、家族で教会に改宗したときはアメリカ合衆国テキサス州、家族で結び固めをスイス神殿で受けたときはドイツ、そしてイギリス、父が1回目のベトナムでの任務中にバプテスマを受けたときは合衆国ユタ州、そのほかに合衆国のメリーランド州、ケンタッキー州、ミズーリ州、カンザス州に住んでいました。

1980年8月5日、ソルトレーク神殿で結婚したクレーブ夫妻には5人の子供がいます。

新しい召しに支持される前、クレーブ姉妹はワード扶助協会会長会顧問やユタ州バウンティフル神殿の儀式執行者として奉仕していました。そのほかにも、ワード若い女性会長、ステーキ扶助協会管理会会員、ステーキ宣教師、カブスカウトのウィービローズ指導者を歴任してきました。

クレーブ姉妹はブリガム・ヤング大学でインテリアデザインの学士号を取得したほか、体育諮問委員会で奉仕しました。また、ユタ州を拠点に活動するCHOICE ヒューマニタリアンの理事役員としても奉仕しました。

ハイキング、水上スポーツ、スノーシューイング、旅行、絵画、キルト作り、家族とゲームや活動をすることが好きです。■



リサ・L・ハークネス

中央初等協会会長会第一顧問

リサ・L・ハークネスは、自分の両親に倣って、いつも学ぶことや自分を取り巻く世界を愛してきました。政治学を学び、ブリガム・ヤング大学在学中に Monte L. Bean Life Science Museum (モンテ・L・ビーン・ライフ・サイエンス・ミュージアム) で働いていたときに、へびを含めて爬虫類の取り扱いを覚えました。

「信じにくいかもしれませんが、爬虫類にも性格があります。わたしが抱き上げると、わたしであることを毎回分かってくれた子もいました」と言っています。ハークネス姉妹が博物館の見学者たちに説明をする間、赤い尾を持つボアコンストリクターのハワードは彼女の肩を這い上り、彼女の首に巻きつき、肩に頭をそっと乗せるのでした。

今でも、へびの機嫌が悪くなければ、様々な種類のへびを見分け、持ち上げることができます。

ハークネス姉妹は1965年1月13日、カリフォルニア州ロサンゼルスでロナルド・ロングとラレイ・ロング夫妻の間に生まれました。5人きょうだいの最年長の子供だった彼女は家族で「いつも冒険し、外で遊び、世界を探検していました。」いつでも両親に質問をすることができたので、「天の御父にも尋ね、答えをいただけると心から信じ、信頼していました。」と語っています。

ルイジアナ州バトンルージュ伝道部でスペイン語で伝道した後、ハークネス姉妹は政治学と中等教育の学位を取得してBYUを卒業しました。1988年4月22日、デビッド・S・ハークネスとソルトレーク神殿で結婚しました。夫妻には5人の子供と2人の孫がいます。

2018年3月31日に中央初等協会会長会第一顧問として召されたハークネス姉妹はこれまで、中央初等協会管理会会員、ステーク若い女性会長、ワード扶助協会会長、ワード若い女性会長会顧問、マイアメイドアドバイザー、若い女性キャンプディレクター、ステーク家族歴史ディレクター、ワード家族歴史相談員、福音の教義クラス教師として奉仕してきました。

ほかにも、地元のPTA、地域評議会、Utah Symphony (ユタ・シンフォニー)、Timpanogos Storytelling Festival (ティンパノゴス・ストーリーテリング・フェスティバル)をはじめ、自治体で様々なボランティア活動を行ってきました。■



ミニスタリングが強調される

総 大会日曜午後の部会で、ラッセル・M・ネルソン大管長は、ホームティーチングと訪問教師が廃止されると発表しました。「ミニスタリング」は、キリストのように人々を心にかける「より新しく、より神聖な方法」であり、会員たちの霊的および物質的な必要を満たすのを助ける組織的な取り組みをもたらします。

中央扶助協会会長のジーン・B・ピングム姉妹と十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老も、この新しい方式によって、メルキゼデク神権定員会と扶助協会の取り組みが、救い主が行われたように仕え、教え、導くことにかに焦点を当てたものになるか語っています(101, 104 ページ参照)。

ローレルとマイアメイドは、扶助協会の姉妹のミニスタリング同僚として奉仕する

ことができます。四半期ごとの面接で、ミニスタリングプラザ―とミニスタリングシスターは、自分に割り当てられた人々の必要と強さについて指導者と協議します。四半期中に指導者が行った面接の数が、今後なされる唯一の正式な報告となります。可能であれば訪問することが大切ですが、ミニスタリングには、毎月連絡するための規定された方法はありません。

「青少年は、救いの業において成人とともに仕えるときに、それぞれの特別な賜物を分かち合い、霊的に成長することができます」と、ピングム姉妹は語っています。青少年を参加させることにより、人々の世話をする会員の数が増加し、青少年が「教会や地域社会の指導者として、また家族に貢献するパートナーとして、役割を果たすためによりよく備える」ことにも

なります。

「教会本部にいるわたしたちが知り、心にかける必要があるのは、働きかけた方法や場所、時間ではなく、皆さんが担当する会員に働きかけ、考えられるすべての方法で彼らを祝福したかどうかということです」と、ホランド長老は語っています。

大管長会からの手紙に記されているように、ミニスタリングに関する変更には幾らか時間を要するかもしれませんが、できるかぎり早く実施する必要があります。Ministering.lds.org には、よくある質問に対する回答を含め、さらに詳しい情報が掲載されています。今後数週間のうちに、指導のためのビデオやそのほかのリソースがウェブサイト追加される予定です。

『リアホナ』の6月号から「ミニスタリングの原則」という特集記事が毎月掲載されます。会員が互いに仕え合い、教え合うときにもっとキリストのようになる方法を理解するのに、役立つことでしょう。■



定員会が再編成される

ワード(または支部)の大祭司グループと長老定員会は今後一つの長老定員会に統合されると、総大会の神権部会でラッセル・M・ネルソン大管長が発表しました。ステーク会長会は引き続きステーク大祭司定員会の会長会を務めますが、その定員会には、現在ステーク会長会、ビショップリック、高等評議会、ならびに召しを果たすことができる状態の祝福師として奉仕している大祭司だけが所属することになります。

長老定員会は、長老や大祭司から成る会長会によって導かれます。長老定員会会長は、ステーク会長に報告し、またビショップと定期的に会合を持ちます。神権の職は今のままで変わりません。現在のワード(または支部)の長老定員会会長と大祭司グループの指導者は解任され、ステーク会長が新しい長老定員会会長会を召します。■

7つの新しい神殿が発表される

神殿がアルゼンチンのサルタ、インドのバンガロール、ニカラグアのマナグア、フィリピンのカガヤン・デオロ、アメリカ合衆国ユタ州レイトン、アメリカ合衆国バージニア州リッチモンド、ロシアの主要都市(場所は未定)の地に建設される予定であることが、総大会日曜午後の部会でラッセル・M・ネルソン大管長から発表されました。

大会の直前に、イタリア・ローマ神殿が2019年3月10日(日)から3月17日(日)の間に奉獻される予定であると、大管長会から発表されました。また教会は、タイ・バンコク神殿の美しい完成予想図を公開しました。

2017年10月にハイチ・ポルトープランス神殿の鋤入れ式が行われ、アイダホ州メリディアン神殿が2017年11月に奉獻され、ユタ州シーダーシティ神殿が2017年12月に奉獻されました。

二つの神殿が間もなく再奉獻されます。再奉獻日は、洪水に起因する修理後のテキサス州ヒューストン神殿が2018

年4月22日(日)、また改築後のユタ州ジョーダンリバー神殿が2018年5月20日(日)です。さらに二つの神殿が今年の後半に奉獻される予定です。奉獻日は、チリ・コンセプション神殿が2018年10月28日(日)、またコロンビア・バランキージャ神殿が2018年12月9日(日)です。

ニュージーランド・ハミルトン神殿は、大規模改築のために2018年7月に閉館され、2021年に再奉獻される予定です。

現在全世界で159の神殿が稼働中であり、30の神殿が発表済みか建設中です。■

イタリア・ローマ神殿



タイ・バンコク神殿の美しい完成予想図





家族歴史—— 見つけ、集め、つなぐ

中央幹部七十人であり教会の家族歴史部管理ディレクターであるブラッドリー・D・フォスター長老によれば、地元の神殿・家族歴史相談員は、教会員やそのほかの人々が先祖を見つけ、集め、つなぐことから得られる喜びを見いだせるように助けることができます。

だれにでも自分の家族歴史にかかわる物語があります。そのため、先祖を探し、見つけ始めると、すばらしいことが起こります。

「今後わたしたちが重要視するのは、会員がこれを経験できるように助けるという相談員の役割を、相談員自身が理解できるように助けることです」と、フォスター長老は語っています。「わたしたちは一対一でそれを行います。わたしたちは、12歳になる人たちと新しい改宗者に特に重点を置いて、どこへでも出かけて行きます。」この二つのグループは、どのように神殿活動が永遠に家族を強化するかを理解してすぐに祝福を得ます。そしてしばしば、自分の友人と家族の間に熱意を生み出します。

教会員でない人でさえ、全世界の5,000を超えるファミリーサーチ家族歴史センターのどこかで、一対一の支援を受けて、見つけ・集め・つなぐ経験をすることができます。■



伝道活動を促進する

過 去6か月の間、教会は、伝道活動を促進するために幾つかの対策を講じてきました。

標準に関する質問。大管長会は、ビショップとステーキ会長が専任宣教師候補者を面接する際に用いる標準に関する一連の質問事項を発表しました。そして、指導者と親、青少年に、その質問についてよく理解しておくように勧めました。

その質問の中で述べられている標準は、専任宣教師の奉仕に関する条件を変更または追加するものではありません。しかし、それを定期的に復習することによって、宣教師候補者と親は、原則を学び、改善やさらなる準備が必要な分野を確認することができます。

テクノロジーの活用。モバイル機器を使用している伝道部の数は87から162に増加しており、タブレットはスマートフォンに取って代わられつつあります。スマートフォンは、宣教師が学び、見つけ、教えるのに役立つことでしょう。

テクノロジーは、宗教の疑問に対する答えを求めている人々にオンラインコンテンツを提供するためにも利用されています。教会は6年前にオンライン・ティーチングセンターの活用を開始し、現在、全世界で20のオンライン・ティーチングセンターを運営しています。

テクノロジーがあるおかげで、現在、宣教師に友人を託している会員は、その友人を教えている宣教師と連絡を取ることができます。必要な事項について宣教師と話し合うことができますし、インターネット経由でレッスンに参加することもできます。その方法については、[lds.org/referrals](https://www.lds.org/referrals)をご覧ください。

現在の必要を満たす。2018年7月付で、教会は19の伝道部の境界を再編し、5つの伝道部を新設します。それに伴い、伝道部の数は、421から407になります。新しい伝道部は、ブラジル・リオデジャネイロ南伝道部、コートジボワール・ヤムスクロ伝道部、ナイジェリア・イバダン伝道部、フィリピン・カバナチュアン伝道部、ならびにジンバブエ・ブラバヨ伝道部です。伝道部の統合に関する詳細は、将来、関係する伝道部の伝道部会長から宣教師の親に連絡されます。

2012年に伝道に出る年齢の変更が発表された後、宣教師が5万8,000名から8万8,000名に急増したのに対応して、教会は76の伝道部を新設しました。その後、予想されたとおり、宣教師の最初の波が収まり、現在はおよそ6万8,000名の宣教師が奉仕中です。つまり、現在は伝道部の数を減らす必要があるということです。しかしまた、世界の必要な地域

に宣教師を適切に配置するように特に注意を払わなければなりません。

宣教師訓練センター。アメリカ合衆国ユタ州のプロボ宣教師訓練センターとフィリピンのMTCが拡張され、奉献されました。また、ガーナで新しい宣教師訓練センターが奉献されました。スペインとチリの訓練センターは2019年1月に閉鎖され、これらのセンターに入っていた宣教師は、世界中の別の13の宣教師訓練センターの一つで訓練を受けることになります。■

新たな方針, 方法, リソース

青 **少年と神殿活動。**大管長会は神殿の方針に関する変更を発表しました。この変更によって、若い男性と若い女性は神殿活動を行う機会が増え、初等協会の子供たちは神殿で奉仕する準備がもっとよくできるようになります。

虐待の防止と識別, 虐待への対応。虐待を防止し、識別する方法と虐待に対応する方法に関して指導者に助言する努力を継続する中で、大管長会は、2018年3月26日に、アメリカ合衆国とカナダの教会指導者あてに手紙とリソース文書を送りました。その文書には、ビショップとステーク会長が性的虐待の被害者に助言を与える方法、ならびに教会員と面接をする方法に関する最新の指針が含まれています。

若い女性のキャンプに関する変更。教会の若い女性キャンププログラムに関す

る変更が、数か月以内に公開される新しいキャンプガイドに掲載されます。これには、証明書の廃止と青少年指導者を重要視することが含まれます。

世界のすべての地域に住んでいる若い女性のために「世界的に適用できる」ことを意図した、新しい *Young Women Camp Guide* (『若い女性キャンプガイド』) が、若い女性会長会、キャンプスペシャリスト、ならびに青少年キャンプリーダー用のリソースとして、現在、youngwomen/lds.org から英語版を入手可能です (将来、23言語で利用できるようになります)。

音楽作品の応募。教会音楽作品の応募プロセスが最近変更されたことにより、会員は、迅速かつ容易にオリジナルの宗教音楽作品を教会に応募できるようになっています。音楽作品は apps.lds.org/artcomp で提出することができます。

「How To」ビデオチャンネル。教会は、YouTube 上に、実生活の様々なチャ

レンジに対して簡単で実用的な支援を提供する「How To」と呼ばれる新しいチャンネルを設定しました。このチャンネルは「必要なときに必要な助けを見つけられるワンストップチャンネル」と言われ、現在、9つのカテゴリーに分類された600を超えるビデオが準備されています。そしてそれぞれに、英語版で、関連した様々なテーマの多数のビデオのプレイリストがあります。一部の項目は、スペイン語とポルトガル語です。HowTo.lds.org でご覧ください。

聖文の翻訳。教会は、34の新たな言語で翻訳プロジェクトを進める計画について、また最終翻訳の出版前に個人が翻訳の草稿部分を研究できる新しいプロセスについて発表しました。つまり、会員は自分の言語で早く聖文にアクセスできるようになるということです。■

上記の事項については、news.lds.org でさらに詳しくご覧になれます。





わたしに 従って きなさい ——

長老定員会および
扶助協会用

これらのリソースは、「福音ライブラリー」アプリと
comefollowme.lds.orgでもご覧になれます。

定員会と扶助協会の 集会在

なぜあるので しょうか

この末日に、神は神権を回復し、神権定員会と扶助協会を組織されました。これは、救いの業を成し遂げるためです。この理由でわたしたちは、毎週日曜日に定員会と扶助協会の集會に集って神の業を成し遂げるために何をするか話し合い、計画を立てます。効果を上げるためには、その集會はクラス以上のものがある必要があります。この集會は、救いの業について評議し、その業について教会の指導者の教えからともに学び、それを成し遂げるために計画を立てて組織的に働けるようにする機会です。



第1日曜日

の評議會集會

毎月第1日曜日に行われる長老定員会と扶助協会の集會では、教師が行うレッスンはありません。その代わりに、長老定員会と扶助協会の会長が評議會集會の司會をします。この第1日曜日の評議會集會では、長老定員会と扶助協会のそれぞれが、地元の責任や機会、課題についてともに評議し、互いの考えや経験から学び合い、御霊から受けた印象に基づいて行動する方法を計画します。この話し合いは、関連する聖句と生ける預言者の教えに基づいて行います。

評議會集會はそれぞれ異なるものになるでしょう。会長が評議會をうまく導けるよう、助けとなる指針を幾つか挙げます。



第1日曜日の評議会集会のテーマ

評議会集会で話し合うテーマは会長会やワード評議会です。話し合っただけで決めることもできず、エニアプランの中から決めることもできます。または、指導者が会員にミニスタリングを行いながら感じたことの中から選ぶことも、聖霊からの促しで決めることもできます。以下のテーマは提案にすぎません。指導者は、取り組むよう促しを感じるそのほかの必要に留意するとよいでしょう。

- 周りの人たちに対してミニスタリングを行うために、どのようなことができるでしょうか（モーサヤ 23:18 参照）。
- どうすれば、いろいろな責任の中からどれを優先すればよいか分かるようになるでしょうか。
- どのようにして福音を友人や近所の人々に分かち合えばよいでしょうか（アルマ 17 章参照）。
- どうすれば不適切なメディアやポルノグラフィから自分自身と家族を守れるでしょうか。
- ワードの子供と青少年の良き相談相手となって彼らを強めるためには、どのようなことをすればよいでしょうか。
- どうすれば、家族歴史の業や神殿での礼拝にもっと携われるようになるでしょうか。
- 福音に関する疑問への答えを探し求めたり、福音をさらに深く理解しようとした際に、どうすれば主の助けを受けることができるでしょうか。
- どうすれば主と主の福音に対する証を強めて、自分の家族が霊的に自立できるよう助けることができるでしょうか。

評議会集会の前に

すること：

- 地元の必要や機会、課題を挙げる。
- よく祈って話し合いのテーマを決める。
- 自分の考えや経験を発表する準備をしておくよう、定員会の会員または扶助協会の姉妹にお願いする。

しないこと：

- レッソンを準備する。
- 具体的な解決方法や行動計画を考えてくる。

評議会集会の間に

すること：

- 前回の集会で感じたことや計画したことに基づいて行動した経験を話すよう、会員に勧める。
- 集会で話し合うテーマを紹介して、それについてともに評議するよう会員に勧める。その際に、聖典と預言者の言葉を活用し、聖霊の導きを求めながら解決方法を探す。
- 話し合ったことに基づいて行動計画を立てる。これには、グループの計画や、個人が自分で立てる計画が含まれる。

しないこと：

- 会話を独占する。
- 自分の考えを人に押し付けようとする。
- 慎重に扱うべき事柄や内密事項について話し合う。
- レッソンを教える。
- 発言を強要する。

評議会集会の後に

すること：

- 評議会集会で立てた計画や与えられた割り当ての進捗状況を確認し、励ます。
- 召しやその他の理由で集会に出られなかった人を仲間に入れる方法を見つける。立てた計画を彼らにも知らせる。
- 今後の集会で経験談を分かち合う機会をクラスの人に与える。

**「この評議会集会の
すばらしい点の一つは、
集会の最後に
実際に行動計画を
立てるとことです。」**

—— 中央扶助協会会長、
ジーン・B・ビンガム



第2, 第3日曜日

の集会

毎月第2, 第3日曜日には、長老定員会と扶助協会は、最新の総大会で話された教会指導者の教えから学びます。大管長会と十二使徒定員会のメッセージに重点を置くようにしてください。ただし、地元に必要な事柄や御霊から受けた靈感に基づいて、最新の総大会からどの話を選んで話し合ってもかまいません。

ほとんどの場合、長老定員会会長会または扶助協会会長会が、会員に必要な事柄に基づいて、大会のどのメッセージを研究するかを決めますが、ビショップまたはステーク会長の意見を取り入れることもできます。指導者は、最近の第1日曜日の評議会集会で話し合ったテーマに関連したメッセージを選ぶこともできますし、御霊から受けた靈感に基づいて別のテーマのメッセージを選ぶこともできます。

指導者と教師は、選ばれたメッセージを会員が事前に読んで、福音の真理と、それに基づいた行動のアイデアを分かち合う準備をして来るように励ます方法を見つける必要があります。以下に提案されている学習活動は、『救い主の方法で教える』にある原則に基づいたもので、会員が総大会のメッセージから学ぶのに役立てることができます。

**「家庭の夕べの中で、
そして、福音を教えるときに、
また、家族や友人との会話で、
……これらのメッセージを
取り入れる方法を
注意深く探してください。」**

ラッセル・M・ネルソン大管長

「神のみ業に進みて」

「リアホナ」2018年5月号, 118

M・ラッセル・バラード「神から与えられる 貴重な賜物」9-11

バラード会長はこのメッセージの中で、預言者、キリストを信じる信仰、聖餐、奉仕など、様々なテーマについて話しています。特に大切だと感じるテーマは、定員会や扶助協会によって異なるかもしれません。このメッセージから靈感を受けたことを会員に話してもらってください。バラード会長のメッセージには、どのような勧告や約束された祝福がありましたか。この話し合いをした結果、行動するよう靈感を受けたことについて、何か考えてもらってもよいかもしれません。

ゲリー・E・スティーブソン「預言者の 心」17-20

会員が、新しい預言者が召されるという「すばらしい出来事……を理解する」ことができるよう、スティーブソン長老のメッセージをよく読んで、この神聖なプロセスの意義と神聖

さを理解するのに役立つ真理や考えを探してもらおうとよいでしょう。聖会でネルソン大管長が教会の大管長に支持されたときに感じたことを会員に話してもらってもよいかもしれません。ホワイトボードにハートを描き、その中に、ネルソン大管長の心と性格を表す言葉を会員に書いてもらおうとよいでしょう。ネルソン大管長の教えの中でわたしたちにとって祝福となったのは、どんなことですか。

ニール・L・アンダーセン「神の預言者」 24-27

アンダーセン長老のメッセージについて話し合うと、生ける預言者に対する会員の信仰が強くなるかもしれません。このメッセージをよく読んで、神が地上に預言者を置かれた理由と、わたしたちが預言者に従う理由を理解するのに役立つ事柄を会員に見つけてもらおうとよいでしょう。預言者がいるおかげで、わたしたちはどんな祝福を受けてきたでしょう

か。ラッセル・M・ネルソン大管長が主の預言者であり、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長であるという証をどのようにして得たか、会員に話してもらおうとよいでしょう。

デビッド・A・ベドナー「柔和で心のへりく だった者」30-33

ベドナー長老のメッセージについての話し合いに靈感を与えるために、「柔和とは……である」「柔和とは……ではない」とホワイトボードに書くとういでしょう。会員は、ベドナー長老のメッセージをよく読んで空欄に当てはまる言葉を入れ、文を完成させます。このメッセージから学べることで、わたしたちをもっと柔和になりたいという気持ちにさせるのはどんなことでしょうか。柔和の模範として、どんなことが考えられますか。どうすれば、柔和になるようにというベドナー長老の勧告を実践できるでしょうか。

ボニー・L・オスカーソン「業に励む若い女性たち」36-38

質問は、深く考えてもらうための一つの方法です。オスカーソン姉妹のメッセージから答えが見つかるような質問を、幾つかホワイトボードに書いてもよいかもしれません。「どうすれば若い女性も主の業に携わることができるでしょうか」といった質問です。会員にオスカーソン姉妹のメッセージをよく読んで質問の答えを探し、分かったことについて話し合ってもらいます。若い女性がミニスタリングに加わると、どんな祝福があるでしょうか。若い女性と一緒にミニスタリングをした経験をクラスの人たちに話してもらってもよいかもしれません。その話し合いを基に、どんなことをするよう靈感を受けましたか。

デール・G・レンランド「家族歴史と神殿活動——結び固めと癒し」46-49

レンランド長老は、エゼキエルの見た、神殿から水があふれ出る示現について話しています（エゼキエル 47:8-9 参照）。定員会の会員または扶助協会の姉妹に、この示現の絵をホワイトボードに描いてもらうとよいでしょう。神殿と家族歴史の祝福は、エゼキエルの見た示現とどのような点で似ていますか。これまで経験してきた神殿と家族歴史活動の祝福を、会員に話してもらうとよいかもしれません。家族歴史と神殿の活動をもっと日常的にできるようにするためには、どんなことができるでしょうか。

D・トッド・クリストファーソン「長老定員会」55-58

長老定員会では、クリストファーソン長老のメッセージの「これらの変更の目的」という項目を、定員会の会員たちに読んでもらうとよいでしょう。これらの目的を確実に達成するために、わたしたちにはどんなことができるでしょうか。扶助協会では、クリストファーソン長老が説明しているメルキゼデク神権定員会への変更を要約するようだけかをお願いします。その説明を聞いた後で、この変更から分かる原則の中から自分たちの扶助協会での働きに応用できるものを、姉妹たちに挙げてもらうとよいでしょう。長老定員会または扶助協会、ゴータス兄弟の話から何が学べるか、それを自分たちの行う業にどう応用できるかを話し合うとよいでしょう。

ロナルド・A・ラズバンド「見よ、王の軍は」58-61

「見よ、王の軍は」（『賛美歌』160番）を



一緒に歌うと、ラズバンド長老のメッセージについての話し合いに靈感を与えられるかもしれません。この歌を皆で聞いても、歌詞を読んでもよいでしょう。神権定員会と扶助協会が王の軍のようなものだと言えるのはなぜでしょうか。神権定員会の再編成からどのような「祝福」が「たくさん」もたらされるとラズバンド長老は言っているかを会員に調べてもらい、それについて話し合ってもらうとよいでしょう。この変更を実施して、どのような祝福がありましたか。または、どのような祝福が期待できるでしょうか。扶助協会も、「多様な賜物」や「助言を受ける機会」などの祝福を十分に受けることができます。それはどのように受けるでしょうか。

ヘンリー・B・アイリング「靈感に基づくミニスタリング」61-64

アイリング管長は、印象に残ったミニスタリングについての聖餐会の話をつ二つ採り上げています。定員会または扶助協会、クラスの半数に14歳の少年の話、残りの半数にホームティーチャーについての話を、それぞれ読み返してもらおうとよいでしょう。読みながら、ミニスタリングを行う業に新しく割り当てられた若い男性または若い女性に対してどんなアドバイスができるか考えてもらいます。わたしたちはどうすれば、「さらに靈感を受けて慈愛の心で……ミニスタリングの務めを果たせるように」なるでしょうか。

ダリン・H・オクス「神権の力」65-68

話し合いを始めるために、オクス管長のメッセージの4つの項目の標題をホワイトボー

ドに書くとよいでしょう。次に、一人一人に項目のどれか一つを選んで黙読してもらい、その項目でおもに伝えていることを一つの文にまとめてホワイトボードに書いてもらいます。それらの書かれた文を読んでどのようなことをするよう感じたかを発表してもらいます。オクス管長のメッセージで教えられていることを実践すると、神権者と扶助協会の姉妹の奉仕はどのように改善されるでしょうか。

ラッセル・M・ネルソン「神の力と権能によるミニスタリング」68-75

ネルソン大管長は、「立ち上が〔り、〕神権の力を使って天の御父の子供たちを祝福するよう神権者に呼びかけています。ネルソン大管長が挙げている模範を定員会または扶助協会の会員によく読んでもらい、神権をどう活用できるかを理解するために、その模範がどう役立つか話し合います。神権の力によって祝福されたときの、どのような経験を話せるでしょうか。周りの人や自分が「主の御名により……仕える」ために神の神権を使う信仰を持つようにするには、どうすればよいでしょうか。

レイナ・I・アブラト「心を合わせて」78-80

アブラト姉妹のメッセージは定員会または扶助協会に、どのくらいうまく一致して主の業を行っているか評価する機会を与えます。会員がこの評価を行えるように、オオカバマダラというチョウの写真と、ニーファイ人を訪れる救い主の絵（『福音の視覚資料集』82, 83, 84 参照）、教会の慈善奉仕活動の写真（LDS、

集会のための パターン

1. 経験を分かち合う。前回の神権会または扶助協会集会で感じたことや勧告に基づいて行動した経験（会長会の一員が進行役）。

2. ともに学ぶ（召されている教師が進行役）。多くの場合、以下のことを会員にしてもらうとうまくいきます。

- 大会のメッセージの中から何か（質問の答えや、霊を鼓舞された言葉、原則の例など）を探す。
- 分かったことを発表して話し合う。
- そのメッセージが自分の生活や経験にどう当てはまるかをよく考える。

3. 行動計画を立てる。個人またはグループで行う（会長会の一員が進行役）。



org 参照)を見せるとよいでしょう。このメッセージをよく読んで、アブラム姉妹がこれらの例を挙げて一致して働くことの目的と祝福についてどんなことを教えているか考えてもらうこともできます。「心を合わせて」働くために、わたしたちにはどんなことができるでしょうか。

ヘンリー・B・アイリング「御子の御霊を受けられるように」86-89

聖霊を受ける望みと力を強くするために、アイリング管長は幾つかの経験を話し、具体的な指示を与えています。アイリング管長の経験を読んで、似たような経験をしたことがあるかどうか、定員会または扶助協会の会員に考えてもらい、あれば、それを話してもらってください。聖霊が自分の心に触れ、真理を確信させてくださった経験です。「御霊の導きや教えを受けられるように心を開く」ことができるようにするための指針をアイリング管長は挙げています。それを会員に、ホワイトボードに書き出してもらうとよいでしょう。アイリング管長が挙げて指針に従うと、自分の生活や家族、定員会または扶助協会にとってどのような助けになるでしょうか。

ダリン・H・オクス「小さな、簡単なこと」89-92

オクス管長のメッセージでは、小さくて簡単なことには、良きにつけ悪きにつけ大きな影響を与える力があることを、たとえを用いて教えています。木の根や、舟をこぐ仲間、綱を作り上げる繊維、滴り落ちる水などのたとえが用いられています。会員に、これらのたとえを読んで、小さな簡単なことを絶えず行うことについてどんなことを教えているかを話し合ってもらおうとよいでしょう。わたしたちの生活に聖霊の影響を導き入れる小さな簡単なことには、どのようなものがあるでしょうか。オクス管長の勧告に従って何をしよう印象を受けたか、会員に考えてもらいます。

ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」93-96

このメッセージの中でネルソン大管長は、「啓示を受ける霊的な能力」を伸ばすようにわたしたちに切にお願いしています。会員がこの願いにこたえられるようにするために、以下のような質問をホワイトボードに書くといよいでしょう。啓示が必要なのはなぜでしょうか。個人的な啓示と、ともに評議しているときに受ける啓示の両方を受ける能力は、どうすれば

伸ばすことができるでしょうか。啓示を受けようと努力するならば、どんな祝福があるとネルソン大管長は約束しているでしょうか。会員を幾つかのグループに分け、各グループに一つの質問を割り当ててその答えを見つけて発表してもらいます。

ゲレット・W・ゴング「主はよみがえりぬ」97-98

ゴング長老のメッセージから、定員会または扶助協会の会員は、聖約とイエス・キリストの贖罪についてどのようなことが学べるでしょうか。救い主の贖罪と聖約はともに働いてどのような祝福をもたらすと言っているか、会員にこのメッセージをよく読んで考えてもらうとよいでしょう。次に、分かったことについて、以下のような質問をしてもよいかもしれません。聖約と救い主の贖罪はともにどう働いてわたしたちに「能力と気高さを与え〔る〕」のでしょうか。聖約と救い主の贖罪は、何を大切に、何を捨てることができるよう助けてくれますか。

ウリセス・ソアレス「預言者は聖なる御霊の力によって語る」98-99

ソアレス長老のメッセージは、主の御心を行う力が不十分だと感じているときに信仰をもって行動するための励みにすることができます。ソアレス長老は使徒という新しい召しを受けたとき、どのようにして安らぎと確信を得ましたか。伝道部長に召された経験から、ソアレス長老はどんなことを学びましたか。彼の経験から、どんなことが学べるでしょうか。時間を取って、主が望んでおられる行動が自分にできるかどうか不安を感じた経験を、会員に話してもらってください。前進する信仰を見いだすために何をしましたか。

ジェフリー・R・ホランド「『彼らとともにいて、彼らを強める』」101-103

「神権組織と扶助協会のミニスタリングに関する概念」の変更点について学びながら、定員会または扶助協会の会員はどんな疑問を持ったでしょうか。ホランド長老のメッセージから答えが見つかるかもしれません。これらの変更の基盤となっている福音の原則は何であるとホランド長老が教えているか、会員に考えてもらうとよいでしょう。このメッセージの中にはどのような勧めがあるでしょうか。どのような祝福が約束されていますか。この新しいミニスタリングという方法を実践することによって、「キリストの真の弟子」になることがで

きるのはなぜでしょうか。

ジーン・B・ビンガム「ミニスタリング—— 救い主のように」104–107

ビンガム姉妹はこのメッセージの中で、ミニスタリングの指針にできるような問いかけを心の中でできるよう勧めています。この問いかけがこの働きのような指針になるのか会員に話し合ってもらい、「では、ミニスタリングとはどのようなものなのでしょう」というビンガム姉妹の質問の答えを見つけてもらうとよいでしょう。ビンガム姉妹が挙げているミニスタリングを行っている人たちの例を時間を取って復習し、会員に、自分が行った例を挙げてもらってもよいでしょう。ビンガム姉妹のメッセージの中で、ミニスタリングを行う理由とその行い方の理解を深めるのに役立つものには、どのようなものがあるのでしょうか。

ディーター・F・ワークトドルフ「『見よ、この人だ』」107–110

イエス・キリストの贖いの犠牲と復活が世界の歴史の中で最も重要な出来事だということをごだれかに理解してもらうには、どうすればよいのでしょうか。会員に、ワークトドルフ長老のメッセージの一部を読みながら、この質問についてよく考えてもらいます。この出来事がなぜ自分にとって非常に大切なかを説明するのに役立つ言葉には、どのようなものがありましたか。この話し合いの後、「見よ、この人だ」という言葉が自分にとってどのような意味を持つのかを会員に話してもらおうとよいでしょう。わたしたちはどのようにして、この御方を見る方法を学んできたのでしょうか。

クエンティン・L・クック「神にお会いする用意」114–117

カートランド神殿で神権の鍵が回復されたときのことを一人の人に手短かに話してもらってから、クック長老のメッセージに関する話し合いを始めるとよいでしょう。クック長老のメッセージによると、この神権の鍵に関連して、教会にはどのような責任がありますか。その責任は、今日の教会にどのように表れているのでしょうか。「義」「一致」「平等」という言葉をホワイトボードに書いて、このそれぞれの原則についてクック長老のメッセージから分かったことを、会員に挙げてもらいます。これらの原則は、教会の神聖な責任を果たすうえでどのような助けになるのでしょうか。



第4日曜日

の集会

毎月の第4日曜日、長老定員会と扶助協会は、大管長会と十二使徒定員会が選んだテーマについて話し合います。第4日曜日のテーマは、毎回の総大会の後に更新されます。今から次の総大会まで、テーマは「周りの人へのミニスタリング」になります。毎月、指導者または教師は、ミニスタリングに関する話し合いの司会をします。話し合いのテーマは以下の原則から選ぶことができます。

話し合いに役立つその他の資料としては、ministering.lds.orgと今後『リアホナ』に掲載される「ミニスタリングの原則」という記事を参照してください。

ミニスタリングの意味

ワードまたは支部の会員にとって、「ミニスタリング」とはどういう意味でしょうか。それを知るために、ホワイトボードに「ミニスタリング」と書き、その周りに、ミニスタリングから連想する言葉を会員に書いてもらいます。以下のような聖句を読んで、言葉を書き加えるといいでしょう。マタイ25:34–40; ルカ10:25–37; 2ニーファイ25:26; モーサヤ18:8–9; 3ニーファイ18:25; 教義と聖約81:5。ミニスタリングについて、これらの聖句からどのようなことが学べるのでしょうか。目にしたことのあるミニスタリングの実例を、会員に紹介してもらおう

とよいでしょう。どうすれば、ミニスタリングを通して人々の霊的および物質的な必要を満たすことができるのでしょうか。それを通して、人々はどのようにキリストに近づくことができるのでしょうか。

救い主はミニスタリングの完全な模範

効果的にミニスタリングを行うにはどうしたらよいかを学ぶには、救い主が人々に伝えられた話を会員が聖文から採り上げて、皆に伝えるといいでしょう。幾つかの例は、ヨハネ4–6章とマルコ2:1–12にあります。会員に、その話のどのようなところが印象に残ったか、ミニスタリングについてどの

ような原則を学んだかを話してもらってもできます。救い主はそれぞれの人に合った奉仕をされました。それは例えばどんな奉仕だったでしょうか。人の霊的および物質的な必要を、どのように満たされたでしょうか。これらの原則に従ってミニスタリングを行う人を見たときのことを、会員に話してもらおうとよいでしょう。

ミニスタリングの動機は キリストのような愛

キリストのような愛が動機となって行うミニスタリングの力を探るために、以下の言葉をホワイトボードに書いて、空欄に入れる言葉を会員に挙げてもらうとよいでしょう。「奉仕する相手を心から愛していたらわたしは____。愛以外の理由で奉仕すればわたしは____。」キリストのような愛を動機としたミニスタリングを行うには、どうすればよいでしょうか。だれかに対してミニスタリングを行う割り当てを受けたら、その人に対してキリストのような愛を育むために、どのようなことをしますか(モロナイ7:45-48参照)。会員は、キリストのような愛が動機となったミニスタリングの例を挙げるができるかもしれません。

神は、すべての子供たちが見守られ、 愛されることを望んでおられる

ラッセル・M・ネルソン大管長はこう言っています。「主のまことの生ける教会の特徴は、組織として導かれて神の子供一人一人とその家族に仕えるよう常に努力が図られることです。」(「神の力と権能によるミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号, 69) 教会からどのように「組織として導かれ」と、個人に対する支援がさらによくできるようになると、ネルソン大管長は教えてください。こうした努力が「主のまことの生ける教会の特徴」であるのは、なぜでしょうか(ヒントはモーサヤ18:21-22とモロナイ6:4-6参照)。教会の召しや割り当てを受けてミニスタリングしたときに、それを受けた人や周りの人たちの生活にどのような祝福があったのでしょうか。

人の価値は神の目に大いなるものである

モーサヤの息子たちの話は、人に対する見方が、その人に対するミニスタリングの仕方にもどう影響するかを表しています。ホワイトボードに、「レーマン人に対するニーファイ人の見方」「レーマン人に対するモーサヤの息子たちの見方」と書くといよいでしょう。そして、クラスの人たちにモーサヤ28:1-3とアルマ26:23-26を読んでそれを表す言葉や語句を探してもらい、それぞれの文の下に書いてもらいます。両者を比較すると、人に対する見

方がその人に対するミニスタリングの仕方にもどのような影響を与えることが分かりますか。神が御覧になるような見方で人を見なければならぬことがここから分かるのは、なぜでしょうか(教義と聖約18:10-16参照)。

真のミニスタリングは、 その人に必要なことに的を絞って行う

その人にとって必要なことに的を絞ってミニスタリングを行うことの大切さを会員によく理解してもらうために、プレゼントをあげるミニスタリングとプレゼントをもらうミニスタリングを比較するとよいでしょう。自分に必要なものや自分が欲しいものをよく知っている人から、価値あるプレゼントをもらったことがありますか。ミニスタリングは、思いやりのあるプレゼントとどのような点で似ているでしょうか。その人に必要なことに基づいてミニスタリングをしていることが分かる話を最新の総大会から選び、それについて話し合ってもよいかもしれません(例えば、ジーン・B・ビンガム「ミニスタリング—救い主のように」『リアホナ』2018年5月号参照)。会員は、この原則を示すほかの話を発表することもできます。

その人に何が必要かは、どうすれば分かるでしょうか。自分がミニスタリングを行っている相手に必要なことを書き出すよう、会員に言います。「キリストに近づくために、この人には何が必要だろうか」という問いの答えを、名前の横に書くといよいでしょう。該当者がいる場合、各人が受けるべき儀式も入れるようアドバイスしてください。引き続きこの問いについて考え、その人の必要を満たせるよう靈感を求めることを会員に勧めます。

周りの人からのミニスタリングを 受け入れることを、主は望んでおられる

ロバート・D・ヘイルズ長老はこう言っています。「福音の計画では与えることと受けることが要求されます。……人はよく困難に遭うと、『独りで頑張ります』……『自分のことは自分でできます』と言います。しかし、人の助けが要らないほど人生経験に富んでいる人はいませんし、隣人に役立つことが何も無いほどに経験の乏しい人もいないのです。信賴して人の助けを仰ぐ気持ち、親切にそれに応じる気持ちが、わたしたちの心の底にいつもなければなりません。」(ロバート・D・ヘイルズ「ひとりではできない」『聖徒の道』1976年2月号, 124, 126参照) 人から助けをもらうのを躊躇することがあるのはなぜでしょうか。喜んで助けを受け入れると、自分に奉仕してくれる人にはどんな祝福がありますか。少し時間を取って、人からのミニスタリングをもっと快く受け入れられるようにな

る方法を、会員に考えてもらいます。お互いに助け合う必要があることについて、1コリント12:13-21にはどのようなことが示唆されていますか。

周りの人にミニスタリングを行う方法は たくさんある

ミニスタリングを行う方法はたくさんあると考えられるように、ジェフリー・R・ホランド長老のメッセージ「『彼らとともにいて彼らを強める』」を復習するよう会員に呼びかけるとよいでしょう(『リアホナ』2018年5月号, 101-103参照。今後『リアホナ』に掲載される「ミニスタリングの原則」も参照)。次のようにするとよいでしょう。会員を小さなグループに分け、人が困っている状況を幾つか考えてもらい、そのような状況にある人に霊的、物質的に必要な助けを与えるためにどのようなことができるか、いろいろな意見を出してもらいます。各グループに、アイデアを出し合い、話し合ったアイデアの中に、自分がミニスタリングを行っている人にとって役立つものがあるかどうか考えてもらいます。■





十二使徒定員会

前列左から — M・ラッセル・バラード会長、ジェフリー・R・ホランド長老、デビッド・A・ベドナー長老、クエンティン・L・クック長老。
後列左から — D・トッド・クリストファーソン長老、ニール・L・アンダーセン長老、ロナルド・A・ラズバンド長老、ゲアリー・E・ステーパーンソン長老、
デール・G・レンランド長老、ケレット・W・ゴング長老、ウリセス・ソアレス長老。



「もっと多くの時間を神殿で過ごすために、何を脇に置くべきかが分かるよう、皆さんを祝福します」とラッセル・M・ネルソン大管長は教会の第188回年次総大会の日曜午後の部会で話しました。「さらにすばらしい調和と愛が皆さんの家庭にもたらされるように、また、永遠の家族関係を大切にしたいという望みが深まるように祝福します。主イエス・キリストへの信仰が増すように、そして、主の真の弟子として主に従う力が増すよう祝福します。

今わたしがしているように、わたしたちが全能の神の業に携わっていることを、皆さんが大胆に証できるよう祝福します。イエスはキリストであられます。これは、主が、主の油注がれた僕たちを通して導いておられる主の教会です。」

末日聖徒
イエス・キリスト
教会



JAPANESE